本資料のうち、枠囲みの内容 は商業機密の観点から公開で きません。

女川原子力発電所第2号機 工事計画審査資料						
資料番号	02-補-E-19-0600-40-9_改 0					
提出年月日	2021年4月23日					

補足-600-40-9 配管耐震・応力計算書における計算モデルについて

1.	燃料プール冷却浄化	:系の計算モデル
	• VI-2-4-3-1-3 管の	耐震性についての計算書 (燃料プール冷却浄化系)・・・・・1
	• VI-3-3-2-2-1-4-2	管の応力計算書 (燃料プール冷却浄化系)・・・・・・・35
2.	燃料プール代替注水	系の計算モデル
	・VI-2-4-3-2-1 管の	耐震性についての計算書 (燃料プール代替注水系)・・・・・59
	• VI-3-3-2-2-2-2	管の応力計算書 (燃料プール代替注水系)・・・・・・・73
3.		
		耐震性についての計算書 (燃料プールスプレイ系)・・・・・87
	• VI-3-3-2-2-3-1-2	管の応力計算書 (燃料プールスプレイ系)・・・・・・・109
4.		
		耐震性についての計算書(原子炉再循環系)・・・・・・131
	• VI-3-3-3-1-1-1-2	管の応力計算書 (原子炉再循環系)・・・・・・・・・148
5.	主蒸気系の計算モデ	î л.
υ.		が耐震性についての計算書(主蒸気系)・・・・・・・・165
		管の応力計算書 (主蒸気系)・・・・・・・・・・299
	VI 0 0 0 2 1 0 2	
6.	復水給水系の計算モ	デル
	· VI-2-5-3-2-1 管の	耐震性についての計算書(復水給水系)・・・・・・・・370
	• VI-3-3-3-2-2-1-2	管の応力計算書(復水給水系)・・・・・・・・・390
7.	残留熱除去系の計算	モデル
	• VI-2-5-4-1-4 管の	耐震性についての計算書 (残留熱除去系)・・・・・・・415
	• VI-3-3-3-3-1-5-2	管の応力計算書 (残留熱除去系)・・・・・・・・529
8.	ストレーナ部ティー	・(残留熱除去系)の計算モデル
	・VI-2-5-4-1-5 スト	レーナ部ティーの耐震計算書 (残留熱除去系)・・・・・613
	• VI-3-3-3-3-1-5-3	ストレーナ部ティーの強度計算書 (残留熱除去系)・・・・・650
9.	高圧炉心スプレイ系	
		耐震性についての計算書(高圧炉心スプレイ系)・・・・・670
	• VI-3-3-3-4-1-4-2	管の応力計算書(高圧炉心スプレイ系)・・・・・・・702

10. ストレーナ部アイー(高圧炉心スプレイ糸)の計算モテル
・VI-2-5-5-1-4 ストレーナ部ティーの耐震計算書 (高圧炉心スプレイ系)・・・・736
・VI-3-3-3-4-1-4-3 ストレーナ部ティーの強度計算書(高圧炉心スプレイ系)・・・753
11. 低圧炉心スプレイ系の計算モデル
・VI-2-5-5-2-3 管の耐震性についての計算書(低圧炉心スプレイ系)・・・・・763
・VI-3-3-3-4-2-3-2 管の応力計算書(低圧炉心スプレイ系)・・・・・・・784
12. ストレーナ部ティー(低圧炉心スプレイ系)の計算モデル
・VI-2-5-5-2-4 ストレーナ部ティーの耐震計算書(低圧炉心スプレイ系)・・・・794
・VI-3-3-3-4-2-3-3 ストレーナ部ティーの強度計算書(低圧炉心スプレイ系)・・・805
13. 高圧代替注水系の計算モデル
・VI-2-5-5-3-2 管の耐震性についての計算書(高圧代替注水系)・・・・・・812
・VI-3-3-3-4-3-3-2 管の応力計算書(高圧代替注水系)・・・・・・・・・825
14. 低圧代替注水系の計算モデル
・VI-2-5-5-4-2 管の耐震性についての計算書(低圧代替注水系)・・・・・・838
・VI-3-3-4-5-2-2 管の応力計算書(低圧代替注水系)・・・・・・・・・875
15. 代替水源移送系の計算モデル
・VI-2-5-5-5-1 管の耐震性についての計算書 (代替水源移送系)・・・・・・913
・VI-3-3-3-4-6-1-2 管の応力計算書(代替水源移送系)・・・・・・・・・921
16. 原子炉隔離時冷却系の計算モデル
・VI-2-5-6-1-3 管の耐震性についての計算書 (原子炉隔離時冷却系)・・・・・930
・VI-3-3-3-5-1-3-2 管の応力計算書(原子炉隔離時冷却系)・・・・・・・965
17. 原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水系の計算モデル
・VI-2-5-7-1-6 管の耐震性についての計算書(原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷
却海水系)・・・・・・・・・・・・・・・・・・988
・VI-3-3-3-6-1-6-2 管の応力計算書(原子炉補機冷却水系及び原子炉補機冷却海水
系)・・・・・・・・・・・・・・・・・1211
18. 高圧炉心スプレイ補機冷却水系及び高圧炉心スプレイ補機冷却海水系の計算モデル
• VI-2-5-7-2-5 管の耐震性についての計算書(高圧炉心スプレイ補機冷却水系及び高

圧炉心スプレイ補機冷却海水系)・・・・・・・・・1328

• VI-3-3-3-6-2-5-2	管の応力計算書 (高圧炉心スプレイ補機冷却水系及び高圧炉心ス
	プレイ補機冷却海水系)・・・・・・・・・・・1387
19. 原子炉補機代替冷	却水系の計算モデル
・VI-2-5-7-3-1 管の	つ耐震性についての計算書(原子炉補機代替冷却水系)・・・1420
• VI-3-3-3-6-3-4-2	管の応力計算書(原子炉補機代替冷却水系)・・・・・1454
20. 原子炉冷却材浄化	系の計算モデル
• VI-2-5-8-1-1 管 Ø	つ耐震性についての計算書(原子炉冷却材浄化系)・・・・1488
21. 制御棒駆動水圧系	の計算モデル
• VI-2-6-3-2-2 管の	つ耐震性についての計算書(制御棒駆動水圧系)・・・・・1494
• VI-3-3-4-1-2-1-4-	2 管の応力計算書(制御棒駆動水圧系)・・・・・・・1557
22. ほう酸水注入系の	計算モデル
• VI-2-6-4-1-3 管の	つ耐震性についての計算書(ほう酸水注入系)・・・・・1589
• VI-3-3-4-2-1-3-2	管の応力計算書(ほう酸水注入系)・・・・・・・・1616
23. 高圧窒素ガス供給	系の計算モデル
• VI-2-6-6-1-1 管の	つ耐震性についての計算書(高圧窒素ガス供給系)・・・・1627
• VI-3-3-4-3-1-2-2	管の応力計算書(高圧窒素ガス供給系)・・・・・・・1825
24. 代替高圧窒素ガス	供給系の計算モデル
・VI-2-6-6-2-1 管の	つ耐震性についての計算書(代替高圧窒素ガス供給系)・・・1939
• VI-3-3-4-3-2-1-2	管の応力計算書(代替高圧窒素ガス供給系)・・・・・1952
25. 放射性ドレン移送	系の計算モデル
• VI-2-7-3-1-1 管 Ø	り耐震性についての計算書(放射性ドレン移送系)・・・・1965
26. 緊急時対策所換気	空調系の計算モデル
• VI-2-8-3-2-2 管の	つ耐震性についての計算書(緊急時対策所換気空調系)・・・1971
• VI-3-3-5-1-2-1-2	管の応力計算書(緊急時対策所換気空調系)・・・・・1997
27. 中央制御室待避所	加圧空気供給系の計算モデル
• VI -2-8-3-3-1 管	の耐震性についての計算書(中央制御室待避所加圧空気供給
系)	••••••••••••••••••••••••
• VI-3-3-5-1-3-2-2	管の応力計算書(中央制御室待避所加圧空気供給系)・・・・2036

28. 緊急時対策所加圧空気供給系の計算モデル
・VI-2-8-3-4-1 管の耐震性についての計算書(緊急時対策所加圧空気供給系)・・・2049
・VI-3-3-5-1-4-2-2 管の応力計算書(緊急時対策所加圧空気供給系)・・・・・2120
29. 原子炉格納容器下部注水系の計算モデル
・VI-2-9-4-3-2-1 管の耐震性についての計算書 (原子炉格納容器下部注水系)・・2191
・VI-3-3-6-2-7-2-1-2 管の応力計算書 (原子炉格納容器下部注水系)・・・・・2204
30. 原子炉格納容器代替スプレイ冷却系の計算モデル
・WI-2-9-4-3-3-1 管の耐震性についての計算書(原子炉格納容器代替スプレイ冷却
系)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2217
・VI-3-3-6-2-7-3-1-2 管の応力計算書(原子炉格納容器代替スプレイ冷却系)・・2233
31. 代替循環冷却系の計算モデル
・VI-2-9-4-3-4-2 管の耐震性についての計算書 (代替循環冷却系)・・・・・・2249
・VI-3-3-6-2-7-4-2-2 管の応力計算書 (代替循環冷却系)・・・・・・・・・2257
32. 非常用ガス処理系の計算モデル
・VI-2-9-4-4-1-2 管の耐震性についての計算書 (非常用ガス処理系)・・・・2265
・VI-3-3-6-2-8-1-2-2 管の応力計算書(非常用ガス処理系)・・・・・・・2284
33. 可燃性ガス濃度制御系の計算モデル
・VI-2-9-4-4-2-1 管の耐震性についての計算書 (可燃性ガス濃度制御系)・・・2295
34. 可搬型窒素ガス供給系の計算モデル
・VI-2-9-4-4-4-1 管の耐震性についての計算書 (可搬型窒素ガス供給系)・・・2308
・VI-3-3-6-2-8-3-1-2 管の応力計算書(可搬型窒素ガス供給系)・・・・・2323
35. 原子炉格納容器調気系の計算モデル
・VI-2-9-4-5-1-1 管の耐震性についての計算書(原子炉格納容器調気系)・・・2338
・VI-3-3-6-2-9-1-2-2 管の応力計算書(原子炉格納容器調気系)・・・・・2377
36. 原子炉格納容器フィルタベント系の計算モデル
・VI-2-9-4-6-1-1 管の耐震性についての計算書(原子炉格納容器フィルタベント
系)・・・・・・・・・・・・・・・・・・2420

・VI-3-3-6-2-10-1-3-2 管の応力計算書(原子炉格納容器フィルタベント系)・・2446

37.	非常用ディ	ーゼル	※発電設備の計	算モデル						
• `	VI-2-10-1-2	-1-6	非常用ディー	ゼル発電設	设備	管の耐震性	生につい	ての計算	事・・	2472
			系ディーゼル 高圧炉心スプ				備をの	耐震性に	.つい	ての
			計算書・・・	• • • •					• •	2603
			記設備の計算モ							
• `	VI-2-10-1-2	-3-5	ガスタービン	発電設備	管の	耐震性に、	ついての	計算書・・	• • •	2646
40.			ーゼル発電設				* . 7 =	[t]) > ·		-1 <i>th</i>
•	VI-2-10-1-2	2-4-2	緊急時対策所書・・・・・		ル発 [†]			性につい・・・・		
			の計算モデル							
•	VI-2-10-2-1	3-2	取水ピット水位	な計の耐震	性につ	ついての計	·算書・・		• •	2720
42.	地下水位低	下設備	iの計算モデル							
•	VI-2-13-7	地下水	位低下設備配	管の耐震性	生につ	いての計算	算書・・			2733

- 1. 燃料プール冷却浄化系の計算モデル
- ・VI-2-4-3-1-3 管の耐震性についての計算書 (燃料プール冷却浄化系)

設計基準対象施設

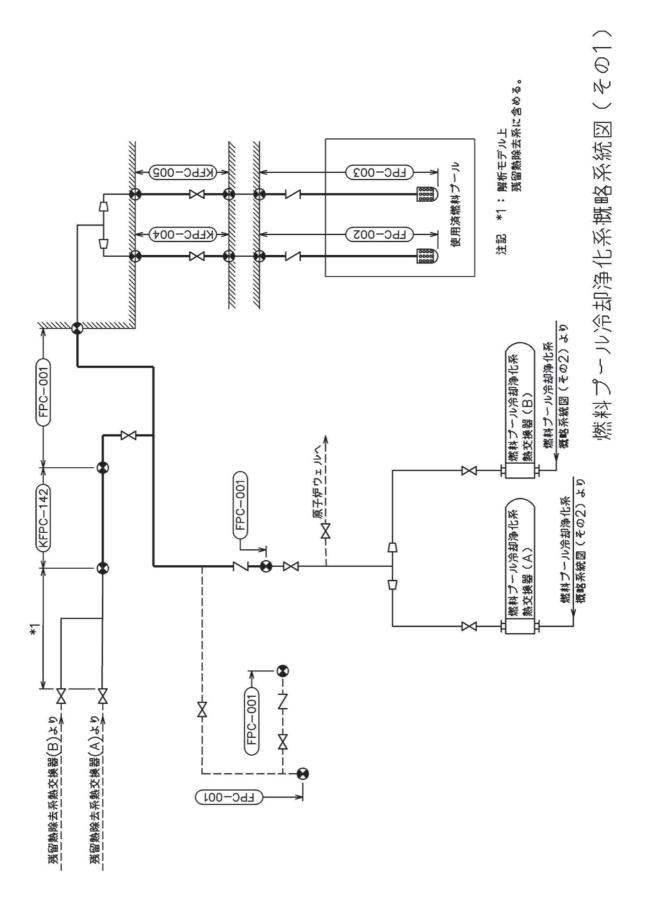
4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を 記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

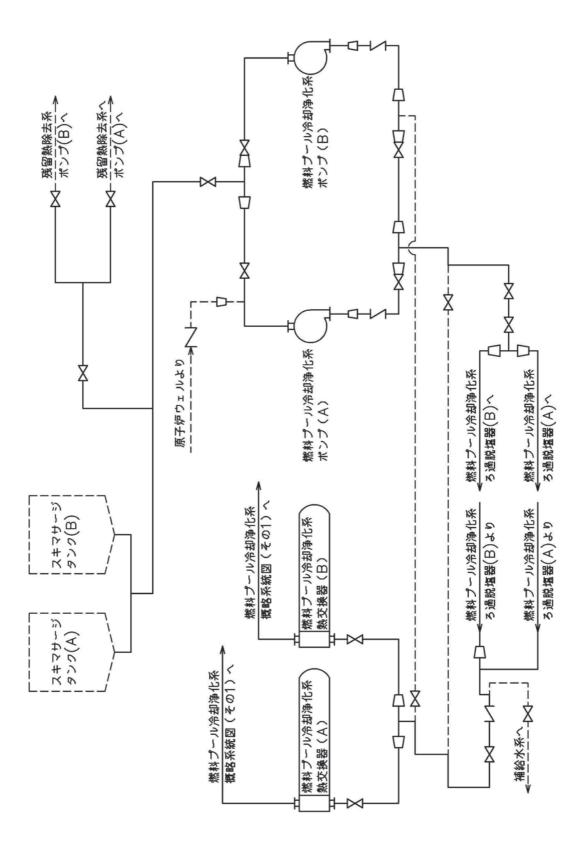
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(クラス2以下の管)

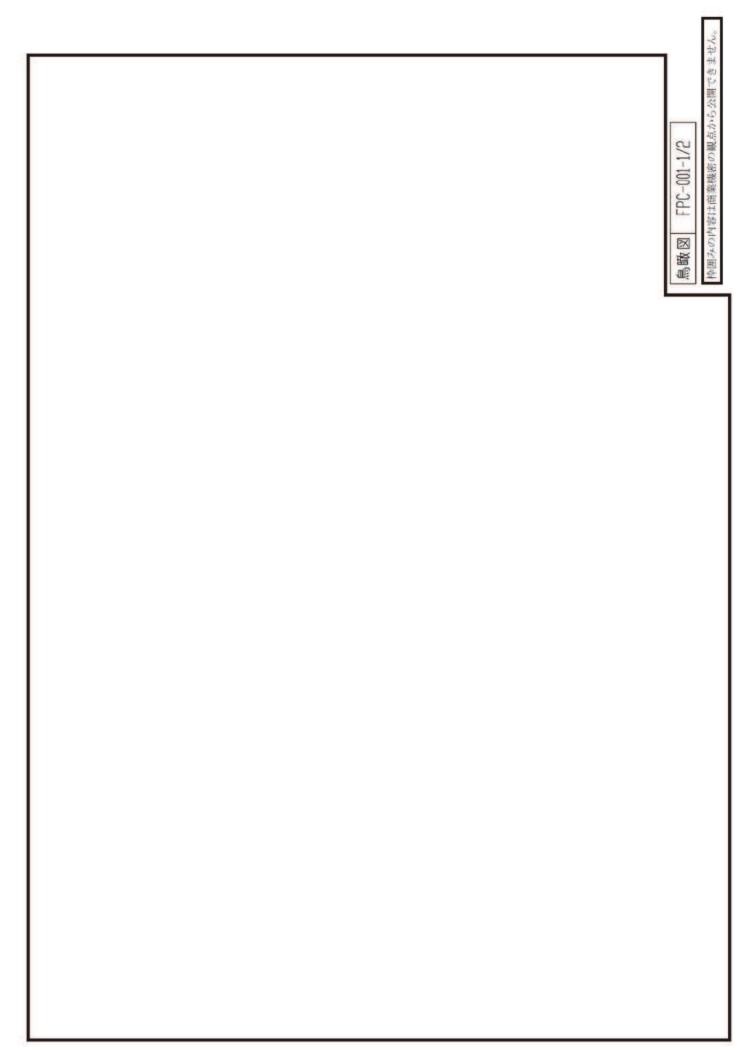
	代表	[0	0	Ι]	
疲労評価	海 網 系 養 数	[0.0034	0.0034	1	1	I
沙	評価点	[12	12	I]	[
1)*	代表		0	0	1]	1
	裕度	2, 13	0.86	0.86	94.00	94.00	1, 33
一次十二次応力*	許容 応力 (MPa)	376	376	376	376	376	462
一次十	計算 応力 (MPa)	176	436	436	4	4	347
	評価点	19	12	12	5	5	7
	代表	Į	Ţ	Ţ	1]	0
一次応力	裕度	7,62	1.92	1.92	35.91	35.91	1,86
	許容 応力 (MPa)	366	431	431	431	431	366
	1	計算 応力 (MPa)	48	224	224	12	12
	評価点	901	12	12	5	5	7
	代表	-	0	0	I]	I
一次応力	裕度	5,92	1. 48	1.48	15.66	15.66	2,00
	許容 応力 (MPa)	231	188	188	188	188	231
	計算 応力 (MPa)	39	127	127	12	12	115
	評価点	901	12	12	1	1	7
配管モデル			FPC-002	FPC-003	KFPC-004	KFPC-005	KFPC-142
;	.o	I	2	3	4	5	9
	_	No. 配管					

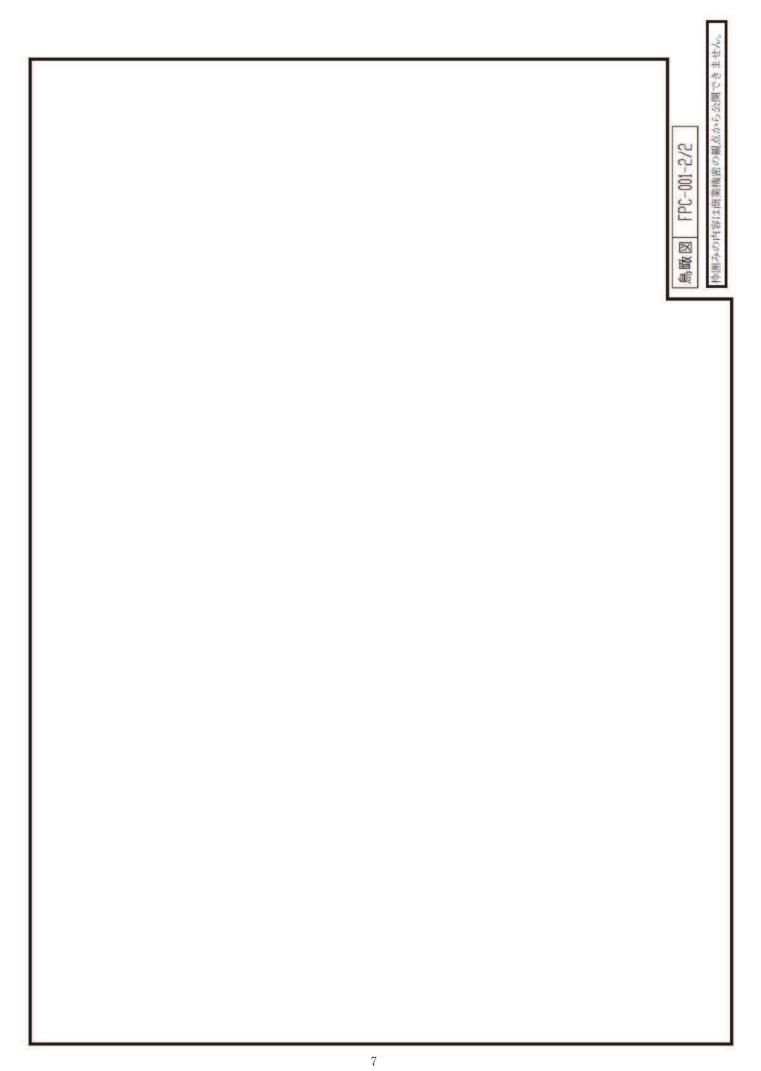
注記 $*: \Pi_A S の一次+二次応力の許容値は<math>\Pi_A S 2$ と同様であることから,地震荷重が大きい $\Pi_A S の一次+二次応力裕度最小を代表とする。$

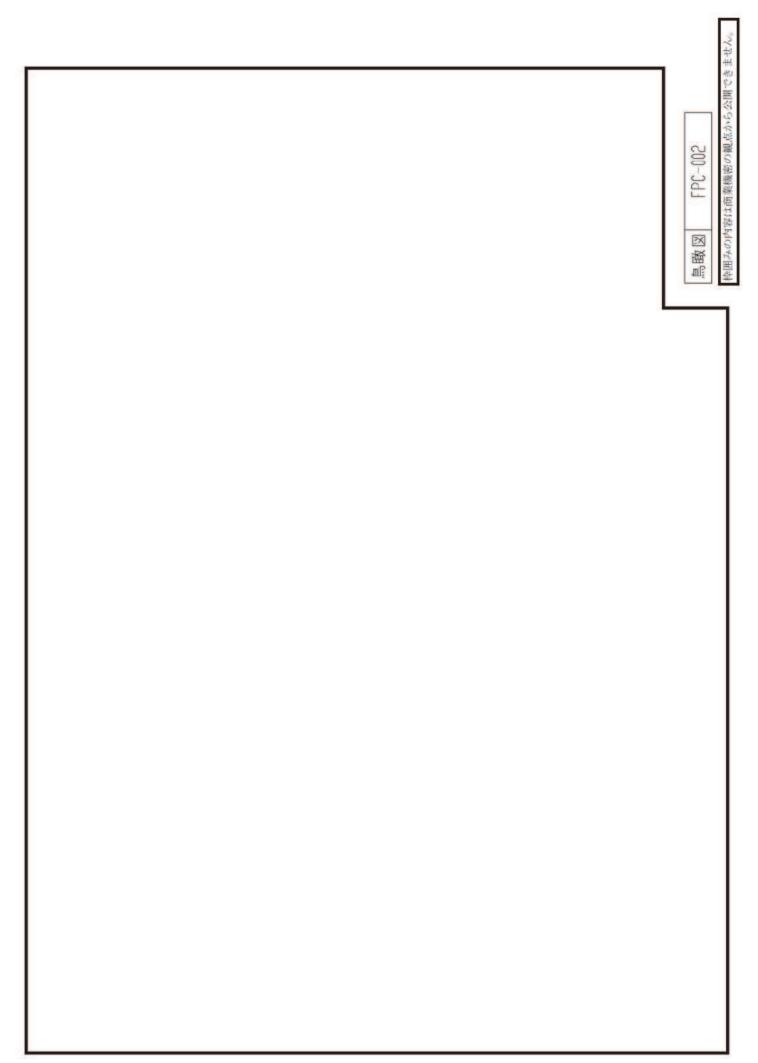


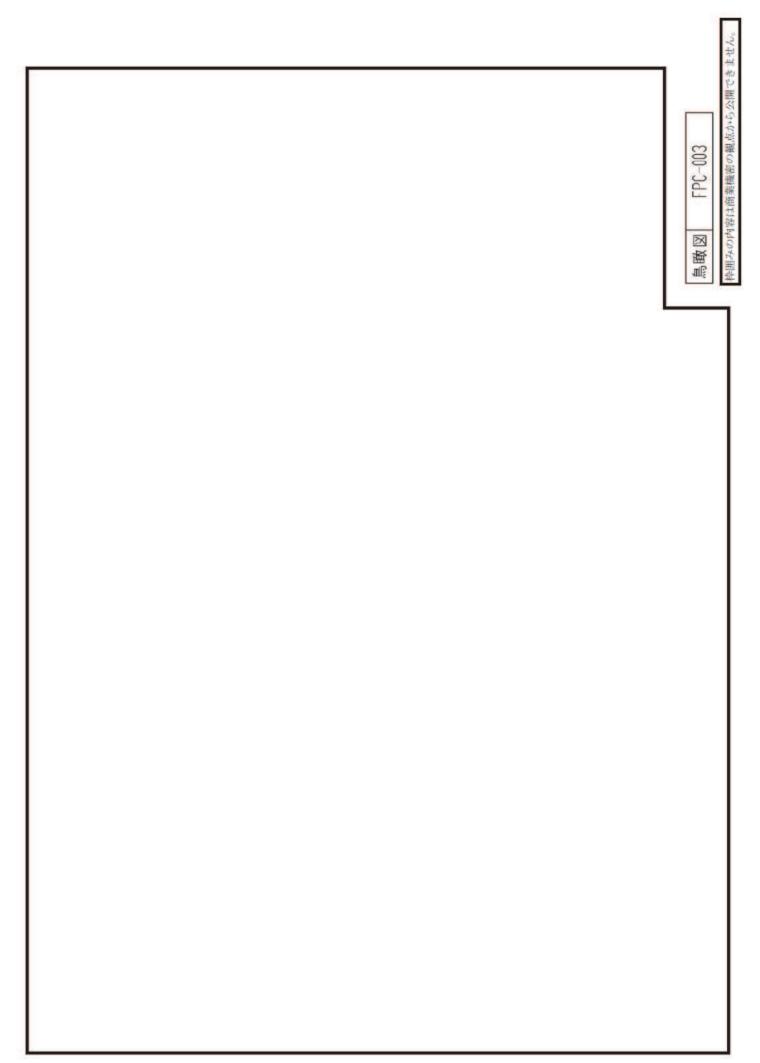
燃料プール冷却浄化糸概略系統図(その2)

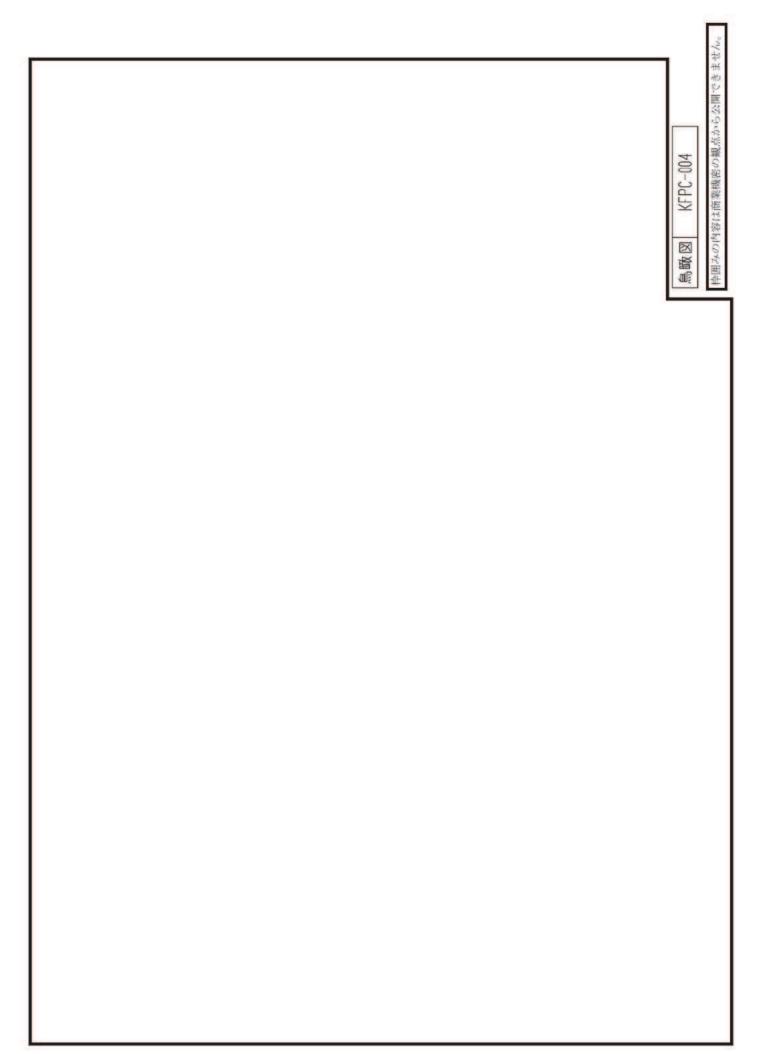


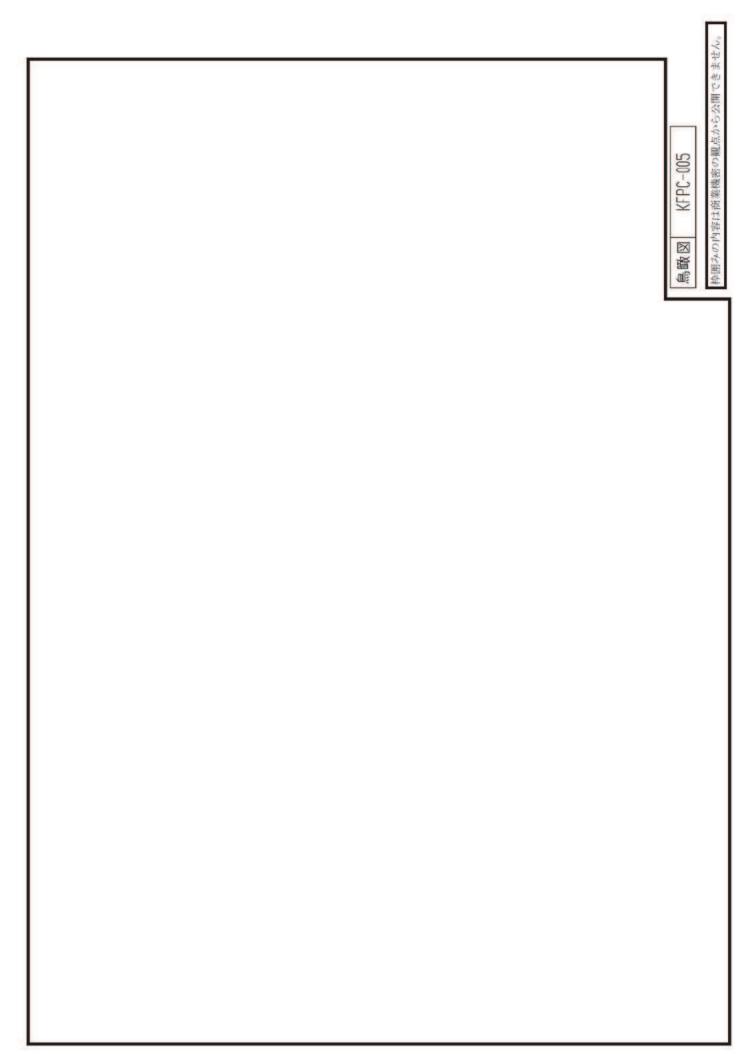


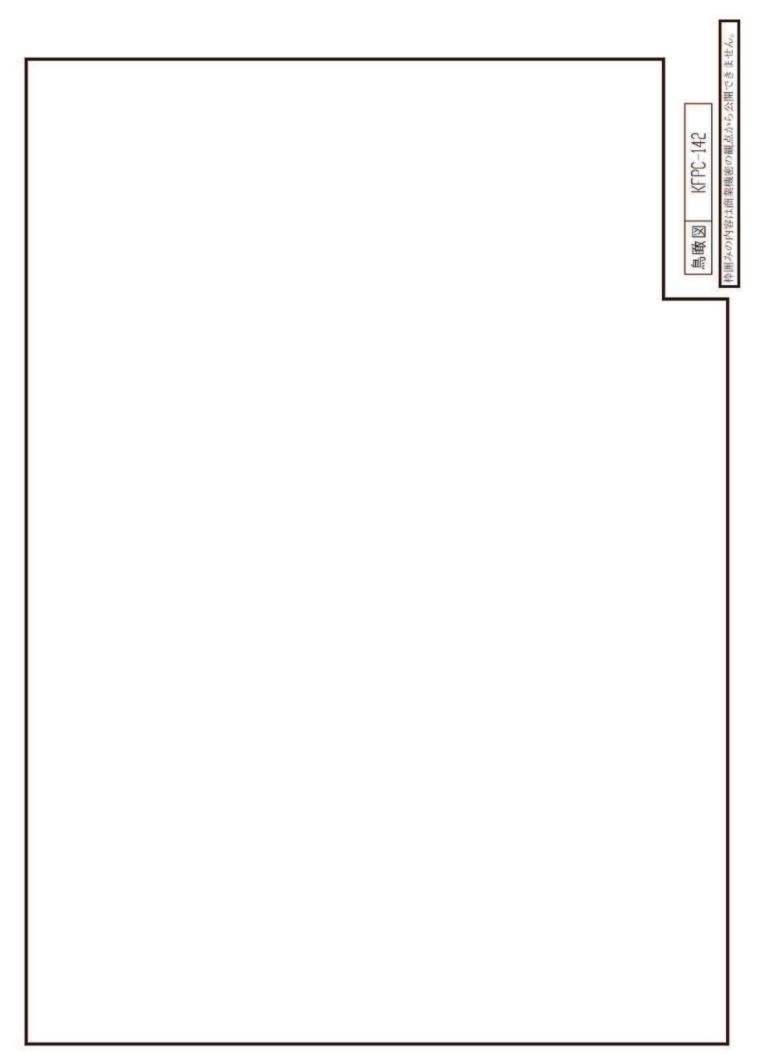












重大事故等対処設備

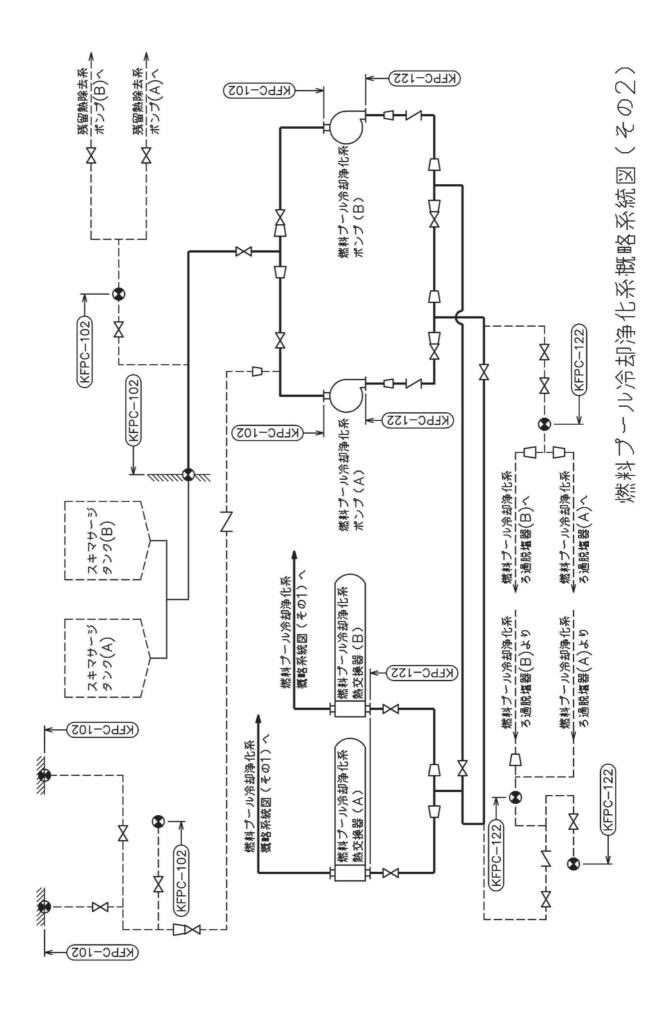
4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

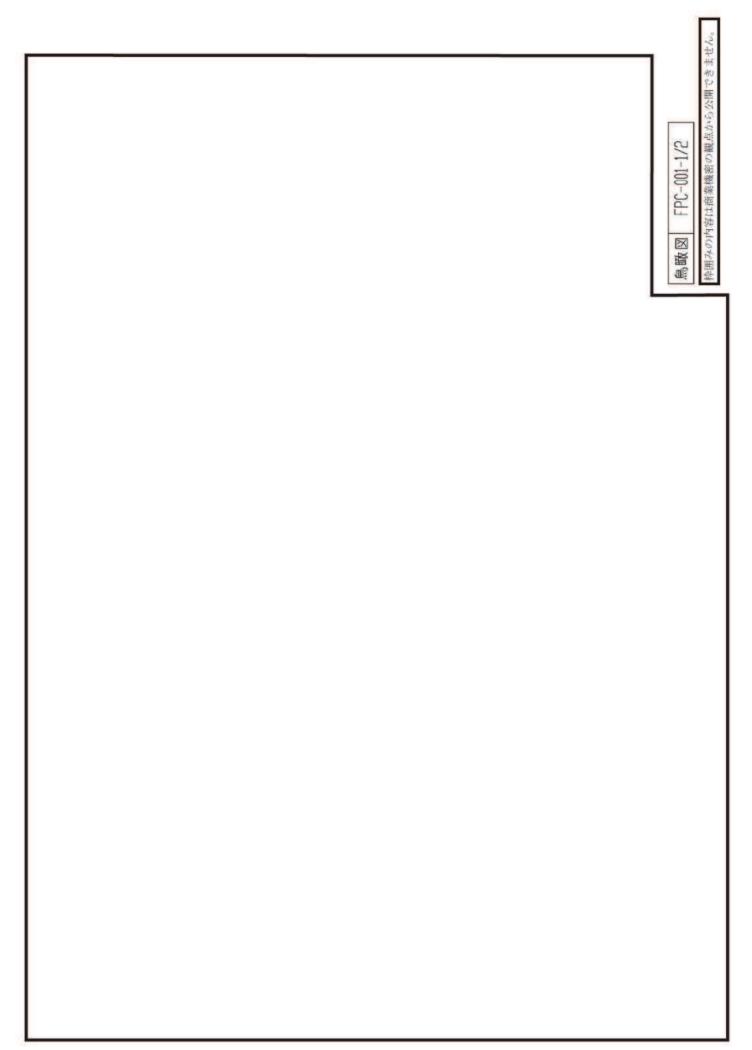
代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を 記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

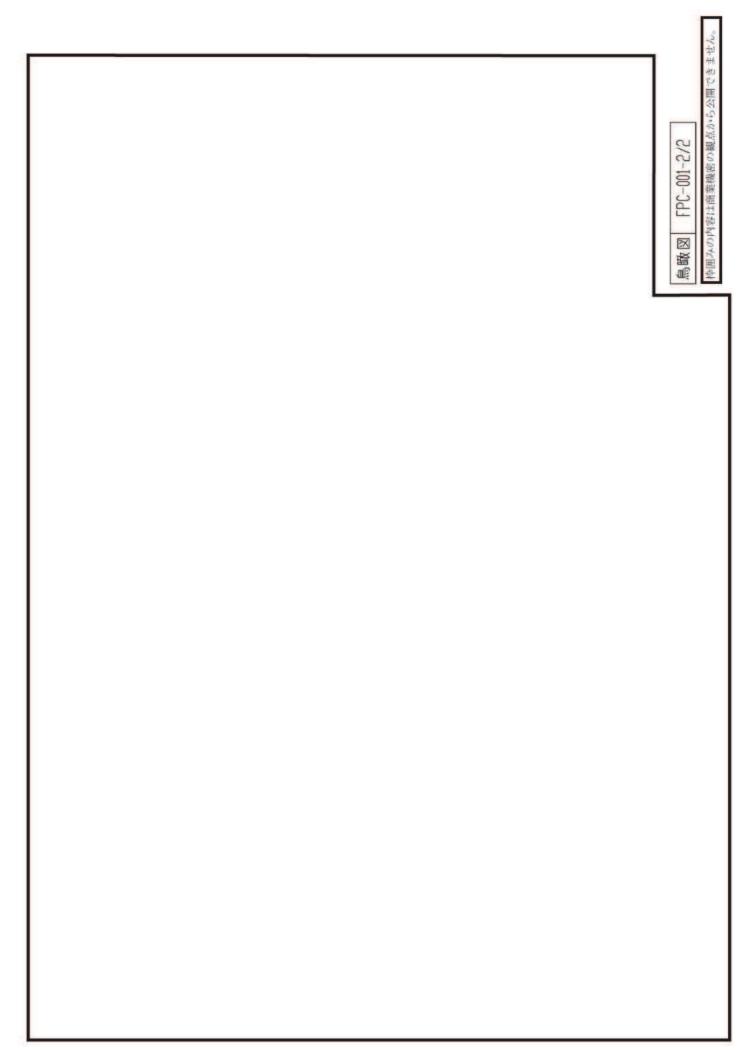
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

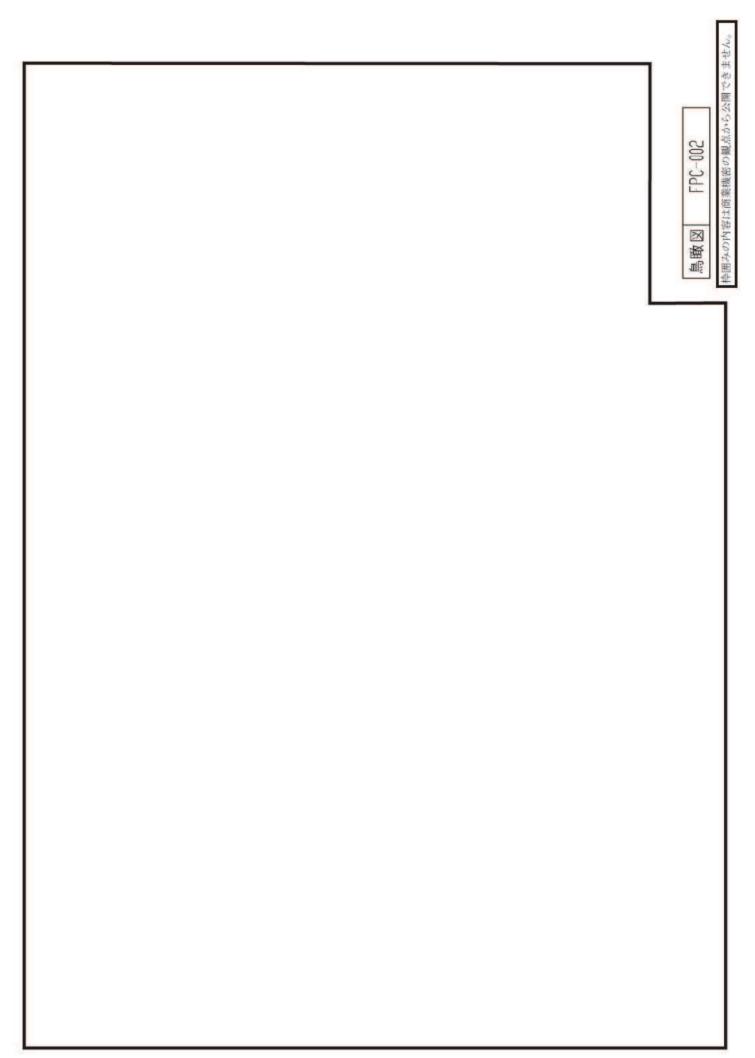
	疲労評価	疲労評価	代表		0	0							
			坡 緊 烧 類 類 数	Ι	0.0034	0.0034	I	l	J	Į			
		<u></u> 萨	1	12	12		[1		1			
	一次十二次応力	代表		0	0	Ī							
		裕	2.13	0.86	0.86	94	94	2, 29	1.03	1, 00			
VAS		許容応力状態 VAS 一次十二次応	許容 応力 (MPa)	376	376	376	376	376	376	462	462		
力状態			<i>≫</i> −	-W	計算 応力 (MPa)	176	436	436	4	4	164	448	460
許容応				評值点	19	12	12	5	5	37	40	32	
	一次応力	一次応力	代表			1	1	[0		
					裕	11.05	1, 93	1, 93	39. 18	39. 18	13.90	1.65	1,51
			許容 応力 (MPa)	431	431	431	431	431	431	366	366		
			計算 応力 (MPa)	39	223	223	11	11	31	221	241		
		<u></u> 岸 恒 点	19	12	12	5	5	12	40	32			
	配管モデル			FPC-002	FPC-003	KFPC-004	KFPC-005	KFPC-101	KFPC-102	KFPC-122			
		No.	-	2	3	4	2	9	2	8			

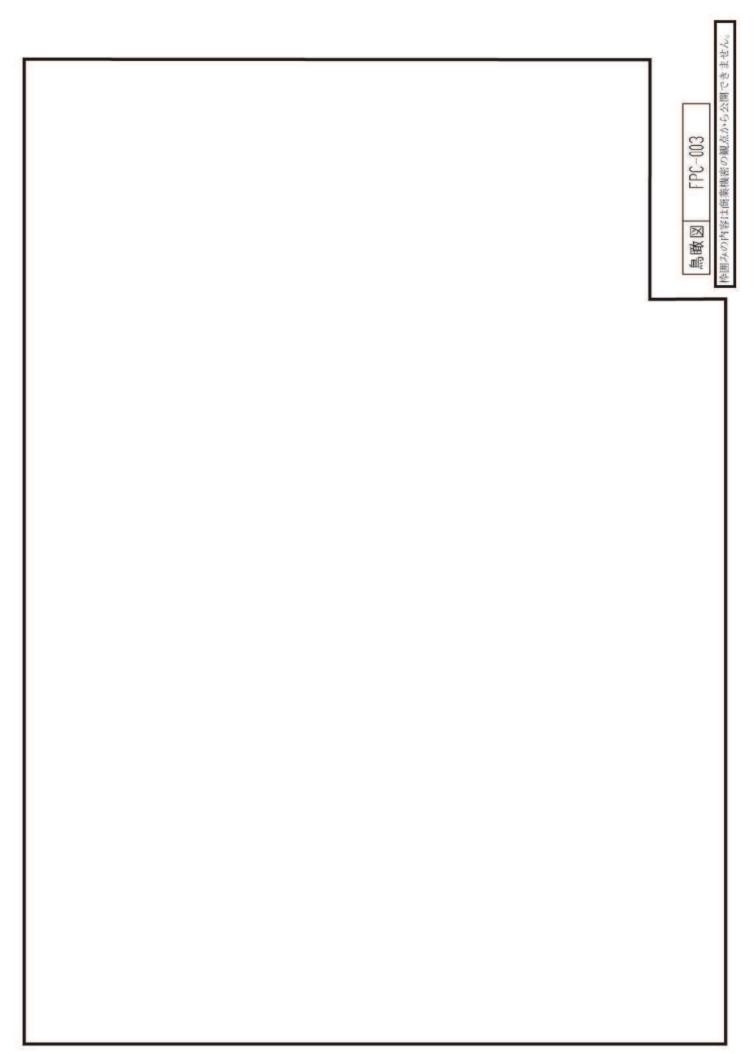
燃料プール冷却浄化糸概略系統図(その1) 使用済燃料プール KFPC-005 FPC-003 FPC-002 KFPC-004 MILLIAM 概略系統図 (その2)より 燃料プール冷却浄化系 燃料プール冷却浄化系 熱交換器(B) FPC-001 KFPC-101 7-4 þ FPC-001 燃料プール冷却浄化系 概略系統図(その2)より KFPC-101 燃料プール冷却浄化系 熱交換器(A) KFPC-101 KFPC-101 | 残留勲除去系勲交換器(B)より | (KFPC-122) FPC-001 * (KFPC-101) FPC-001 (3)

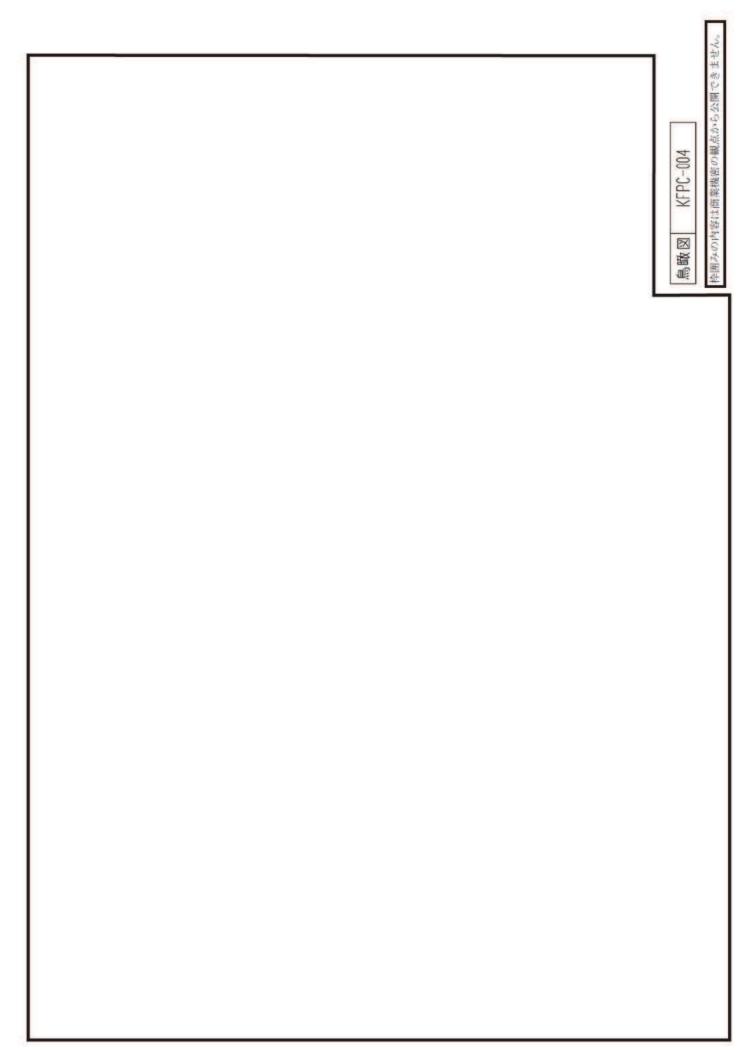


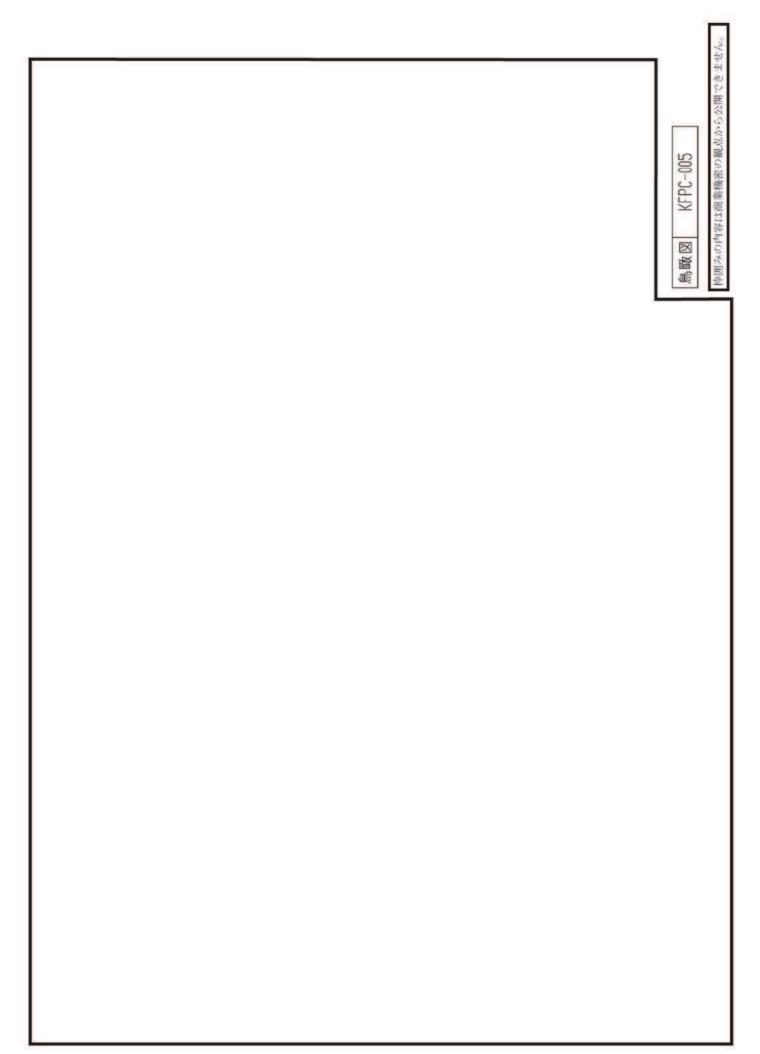


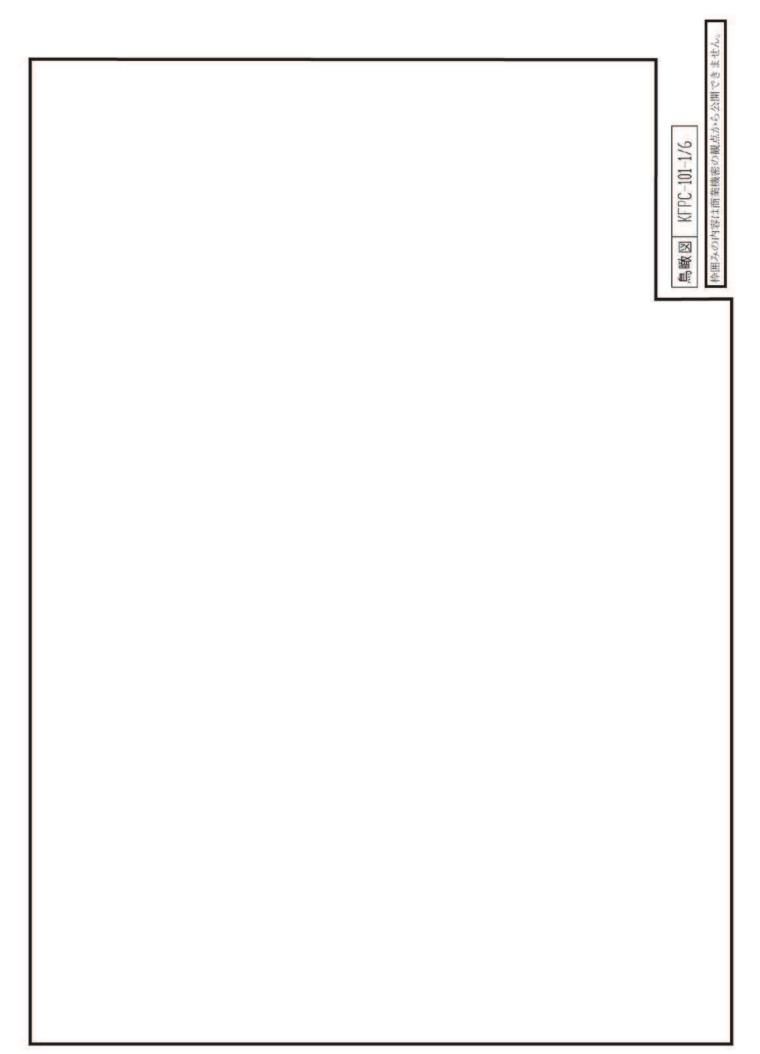


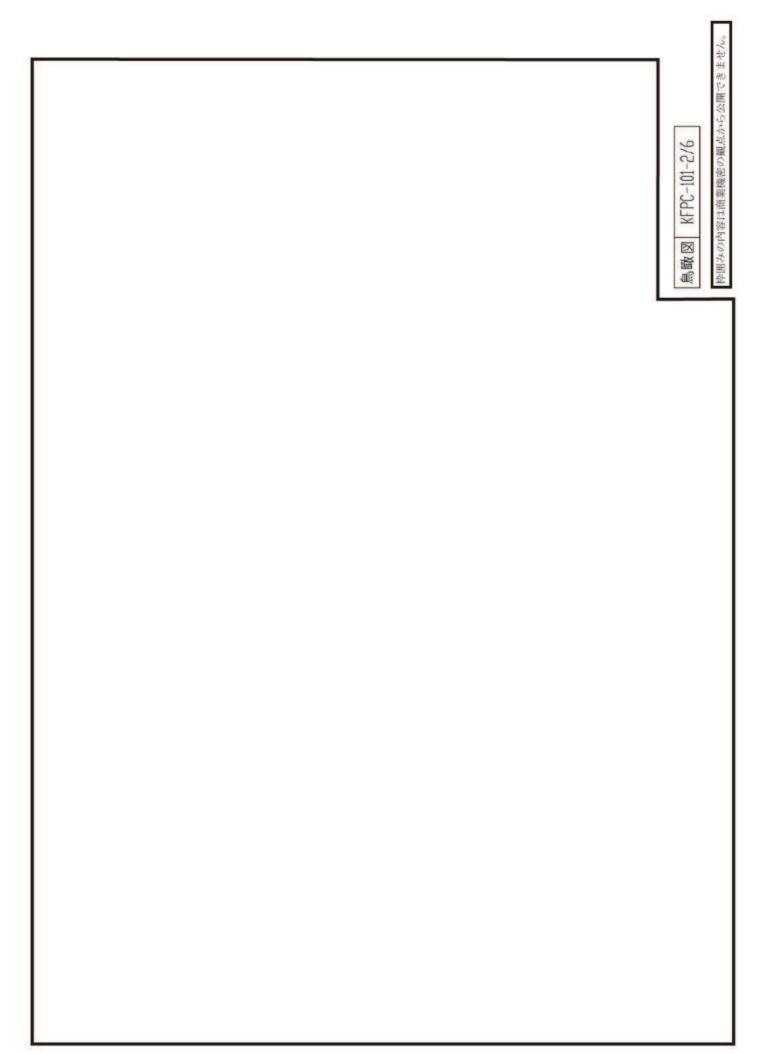


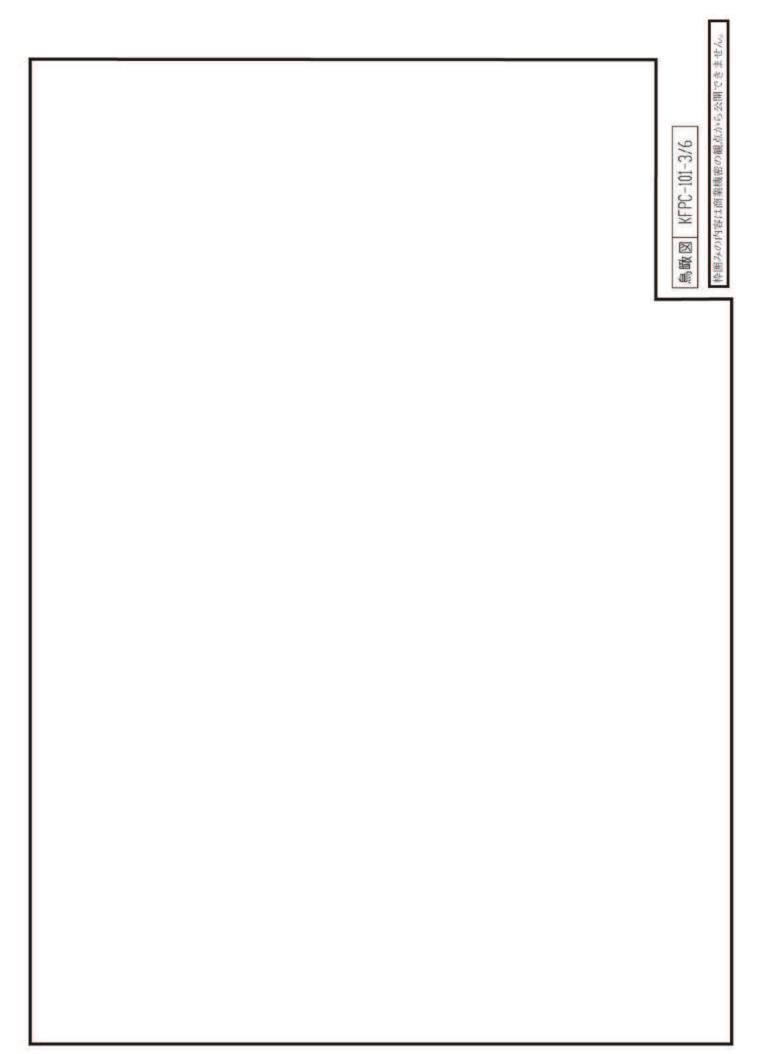


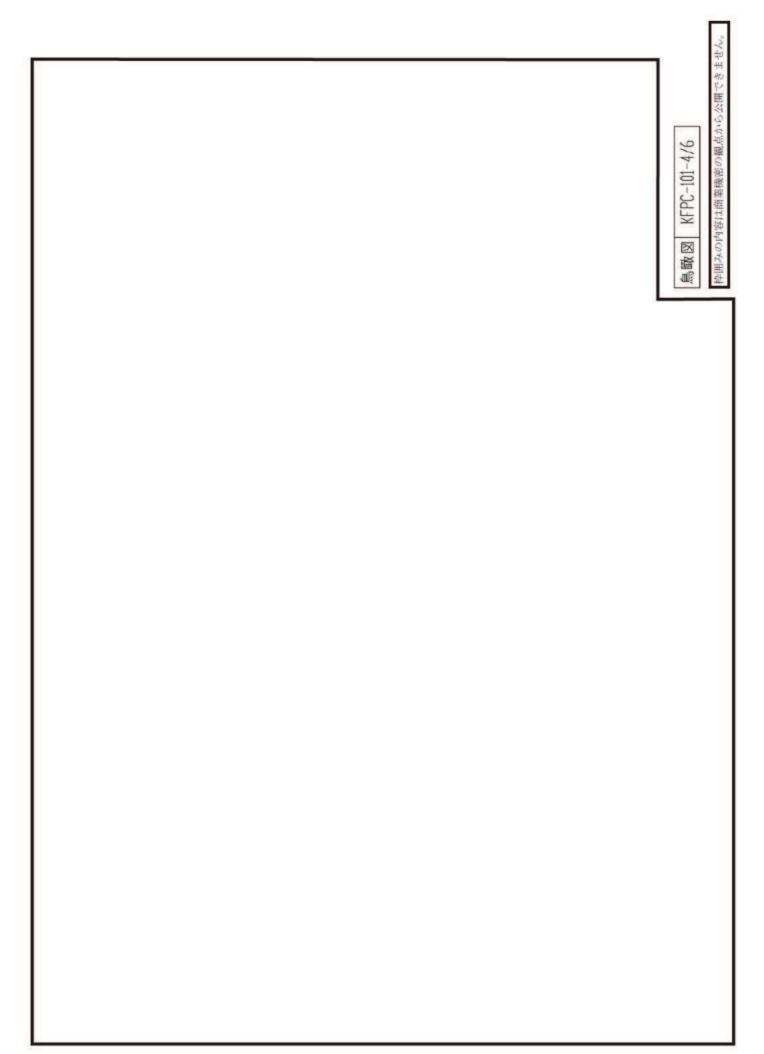


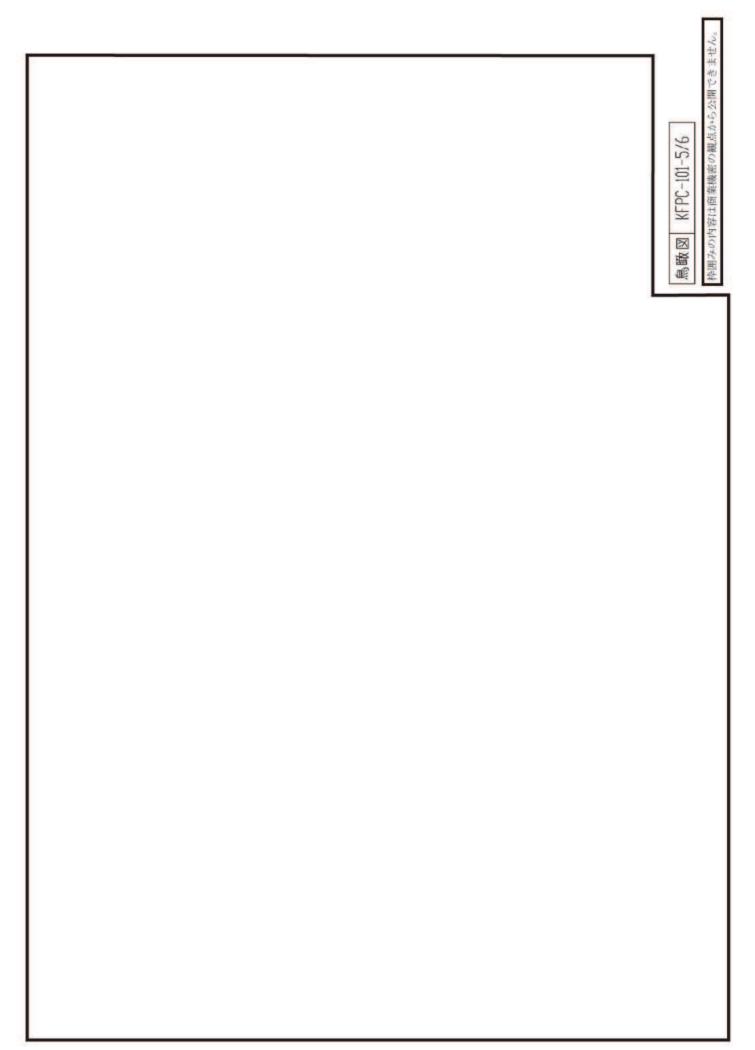


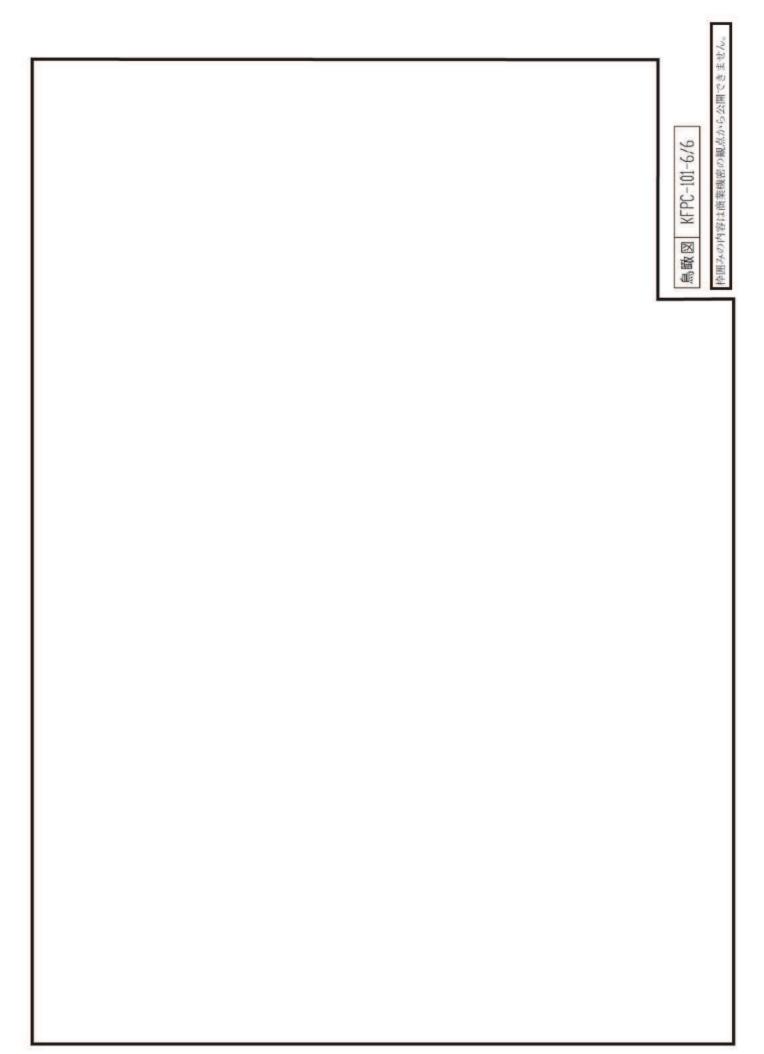


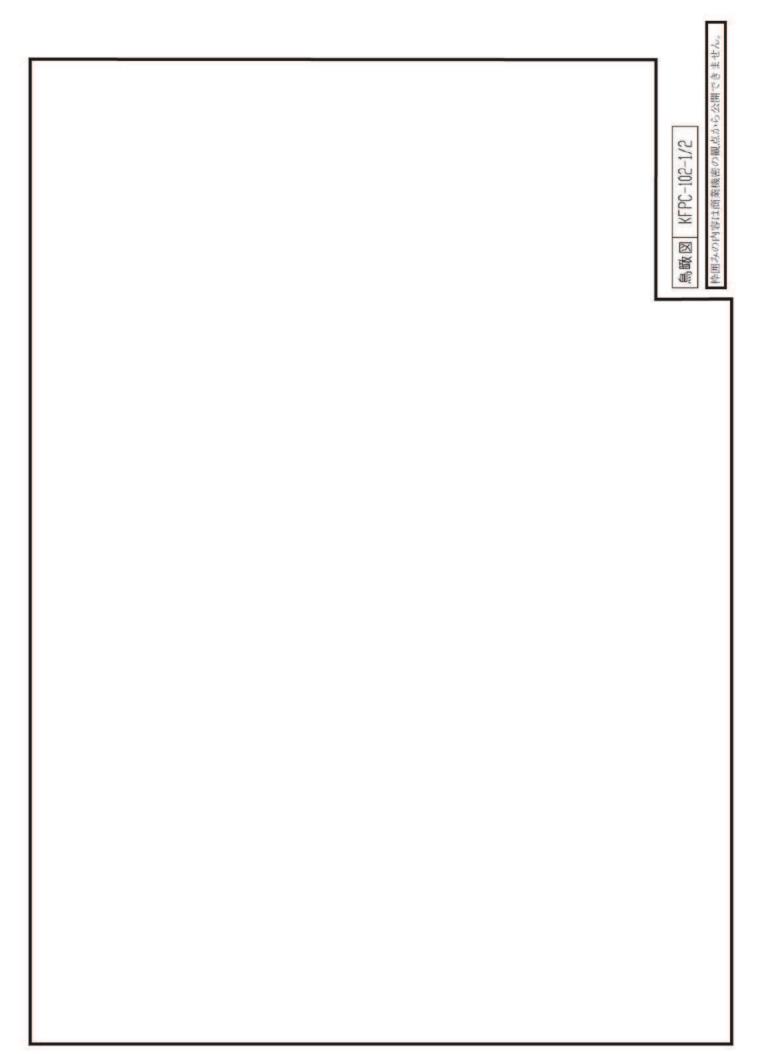


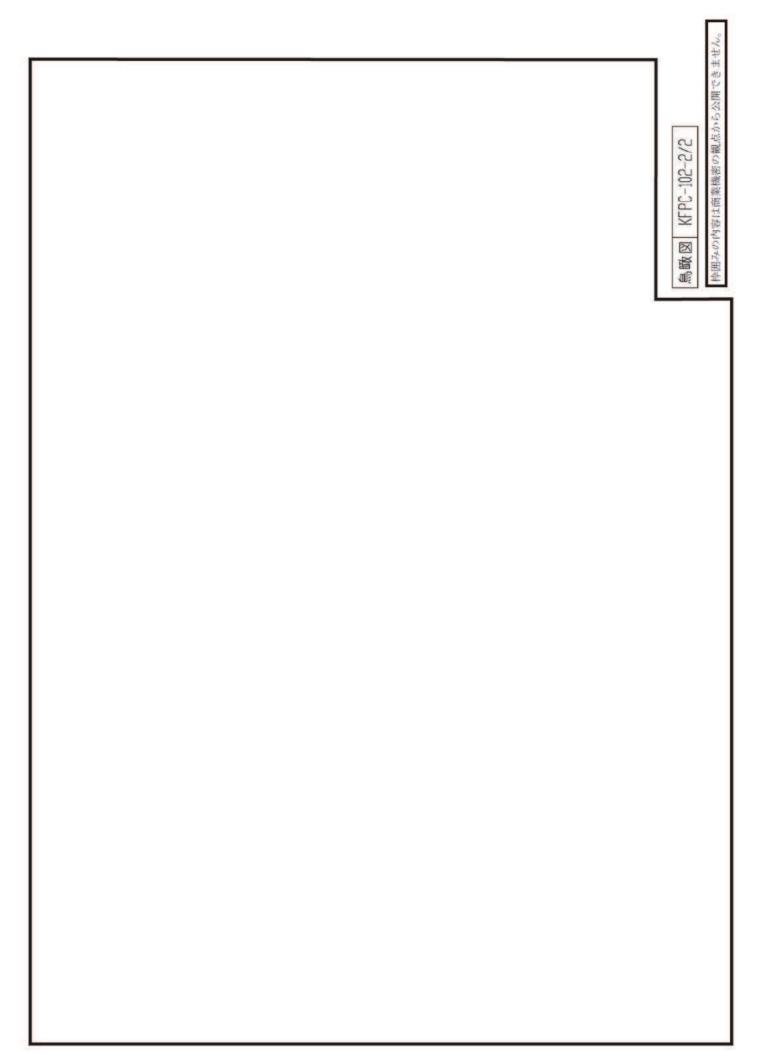


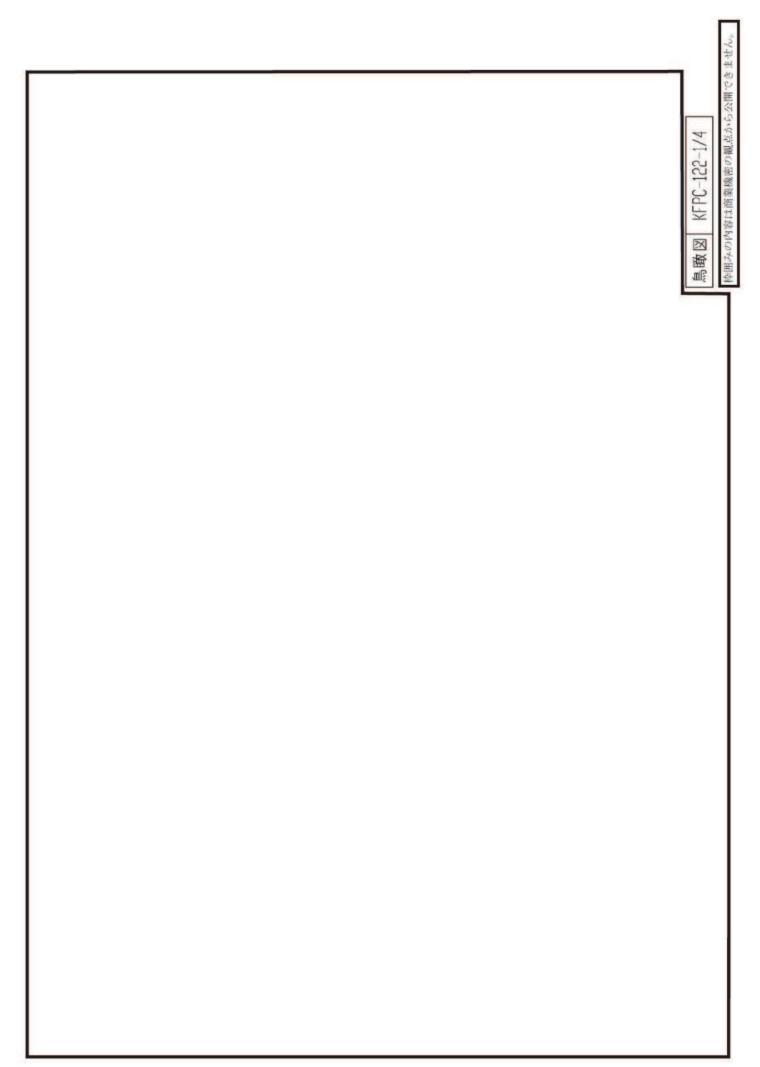


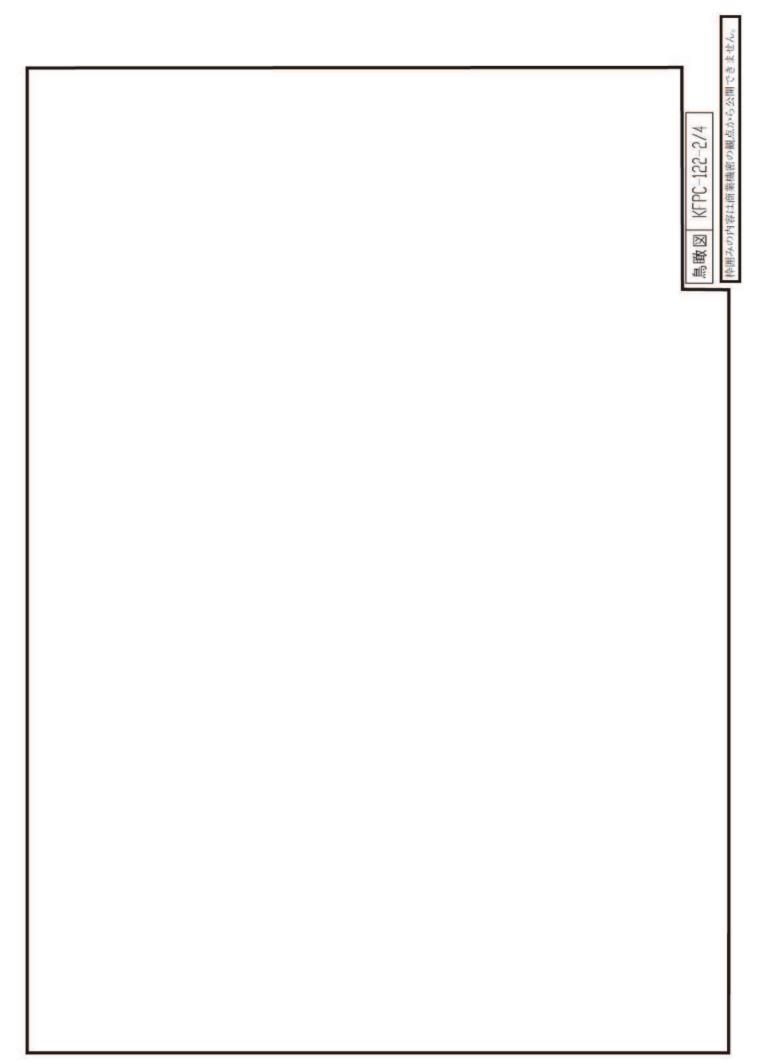


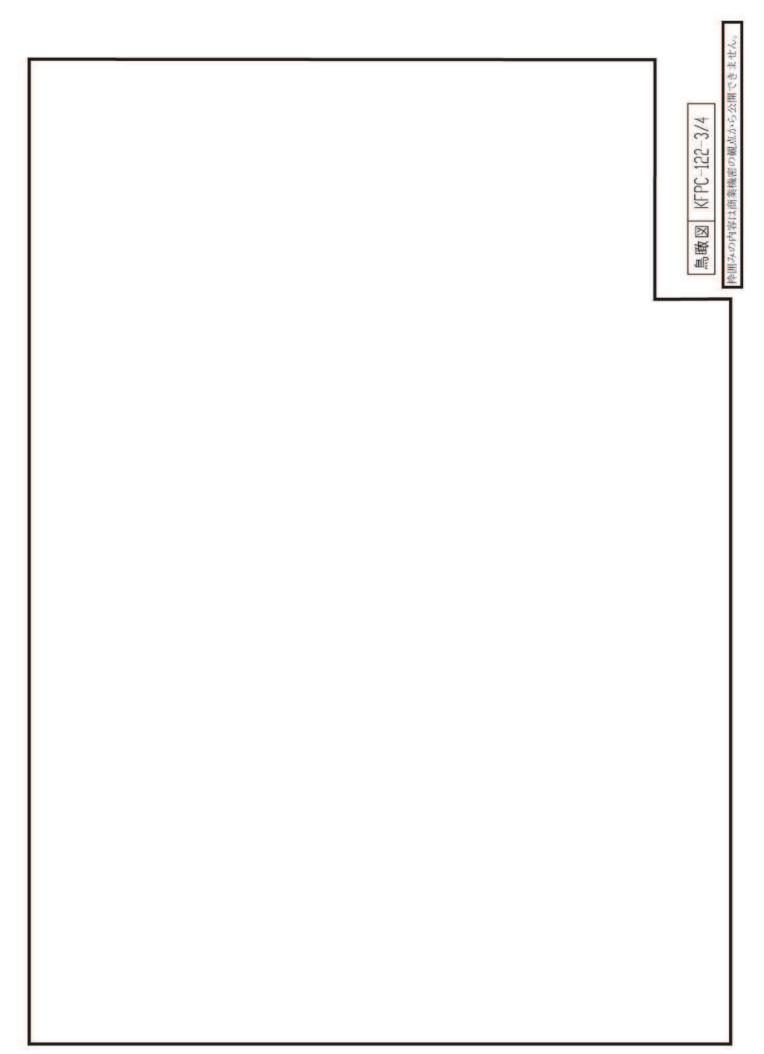


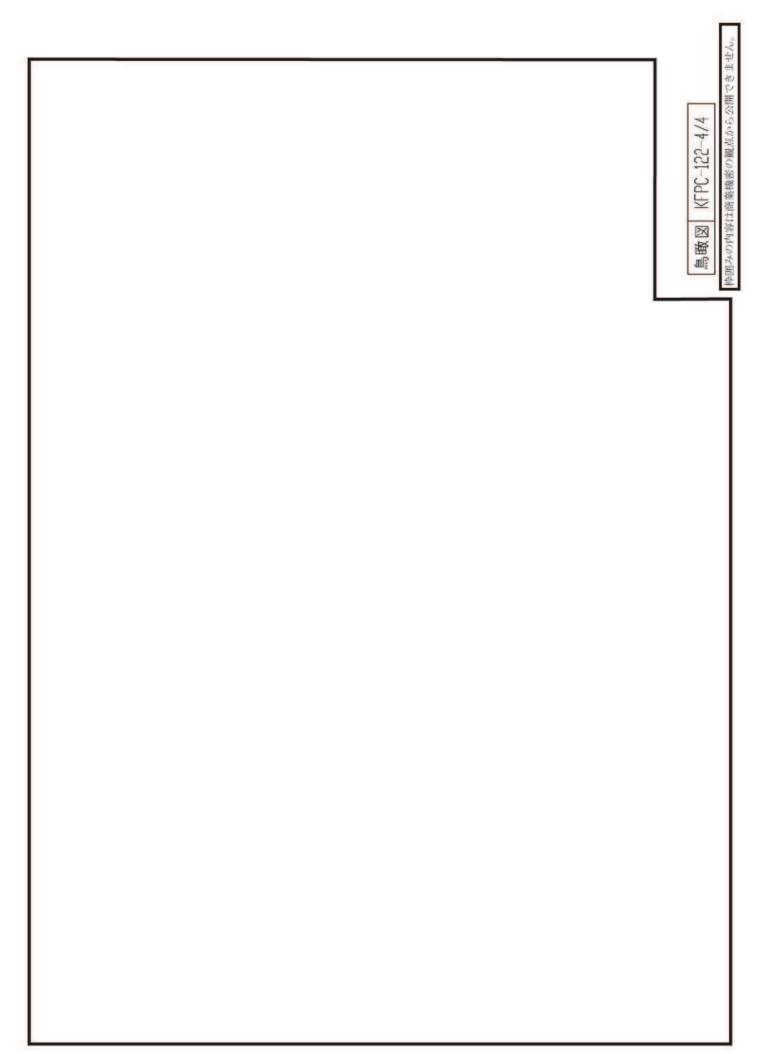












燃料プール冷却浄化系の計算モデル

・VI-3-3-2-2-1-4-2 管の応力計算書 (燃料プール冷却浄化系)

重大事故等対処設備

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を 記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

運転状態 (V) *2	一次応力	計算 許容 応力 応力 裕度 代表 (MPa) (MPa)	18 151 8.38 —	18 151 8.38 —	18 151 8.38 —	9 151 16.77 —	9 151 16.77 —	13 151 11.61 —	18 122 6.77 —	_
	一次応力	計 計 中	24	5	5	5	5	19	23	310
		- 大			_	0	0			
V) *1		裕度	7.00	7.00	7.00	14.00	14.00	9.69	5.66	3 40
運転状態 (V)		群容 応力 (MPa)	126	126	126	126	126	126	102	196
運		計算 応力 (MPa)	18	18	18	6	6	13	18	37
		計 計	24	2	2	2	2	19	23	310
配管モデル			FPC-001	FPC-002	FPC-003	KFPC-004	KFPC-005	KFPC-101	KFPC-102	VEDC_199
		2	3	4	5	9	7	٥		

注記*1:告示第501号第56条第1号(イ)に基づき計算した一次応力を示す。

*2: 告示第501号第56条第1号(ロ)に基づき計算した一次応力を示す。

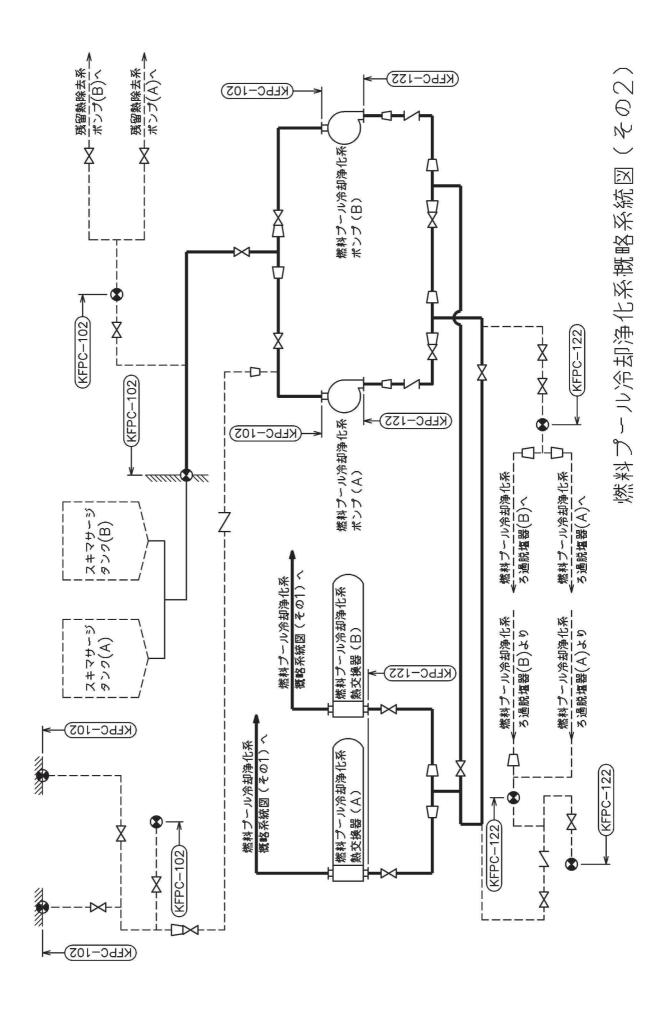
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

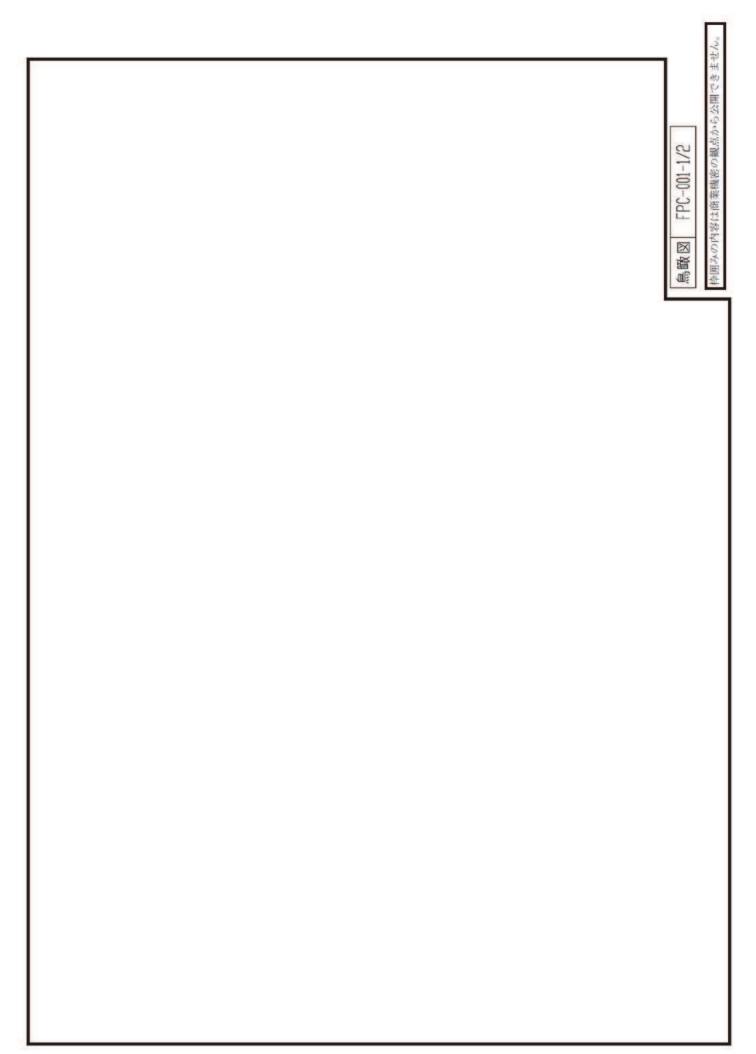
供用状態(E)*2 一次応力		代表									0		
	裕度		12.55	9.82	9.82	25.11	25.11	11.89	8.04	6.27			
	一次応力	許容	応力	(MPa)	226	226	226	226	226	226	185	226	
供用		計算	応力	(MPa)	18	23	23	6	6	19	23	36	万子。
		Ⅲ/	<u>1</u> 14	Ę	24	2	2	2	2	28	23	306	に 上 を
			代表									0	ゲー派
供用状態(E)*1 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※			裕度		10.50	8.21	8.21	21.00	21.00	9.94	69 '9	5.25	き計算し
	一次応力	字堤	応力	(MPa)	189	189	189	189	681	681	154	681)に基づ
供用		計算	応力	(MPa)	18	23	23	6	6	19	23	36	PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。
		郭伍	<u>†</u> 4	Ę	24	2	2	2	2	28	23	306	
配管モデル			FPC-001	FPC-002	FPC-003	KFPC-004	KFPC-005	KFPC-101	KFPC-102	KFPC-122	: 設計• 建設規格		
		No.			1	2	3	4	2	9	2	8	1 * 温 * 1

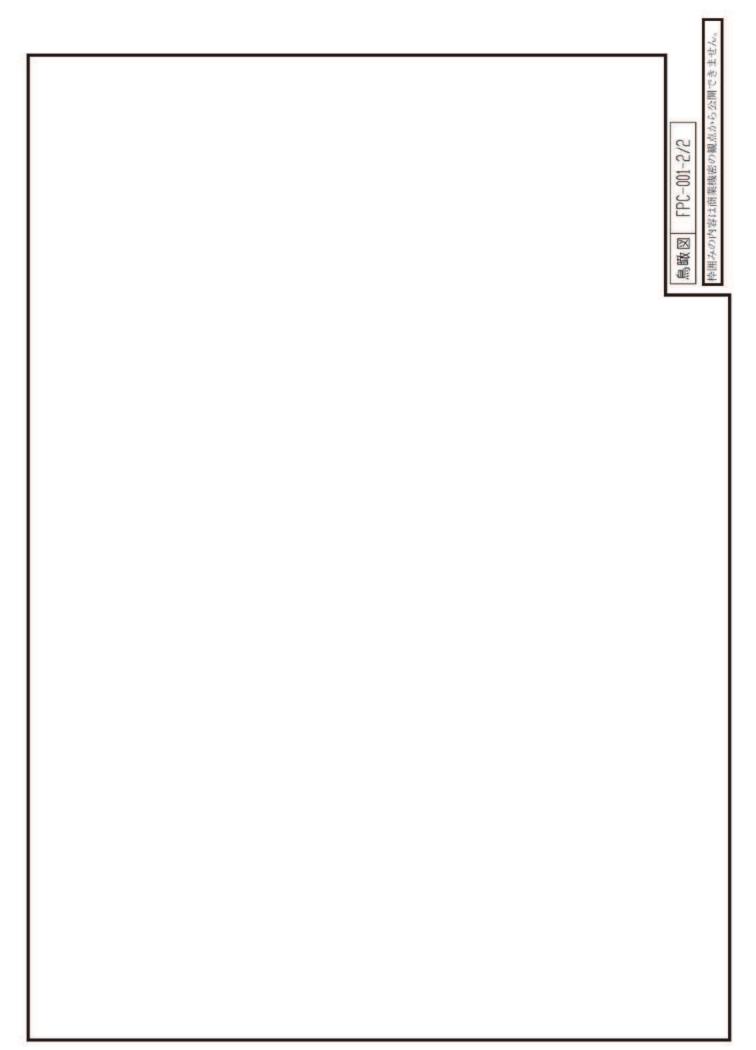
PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

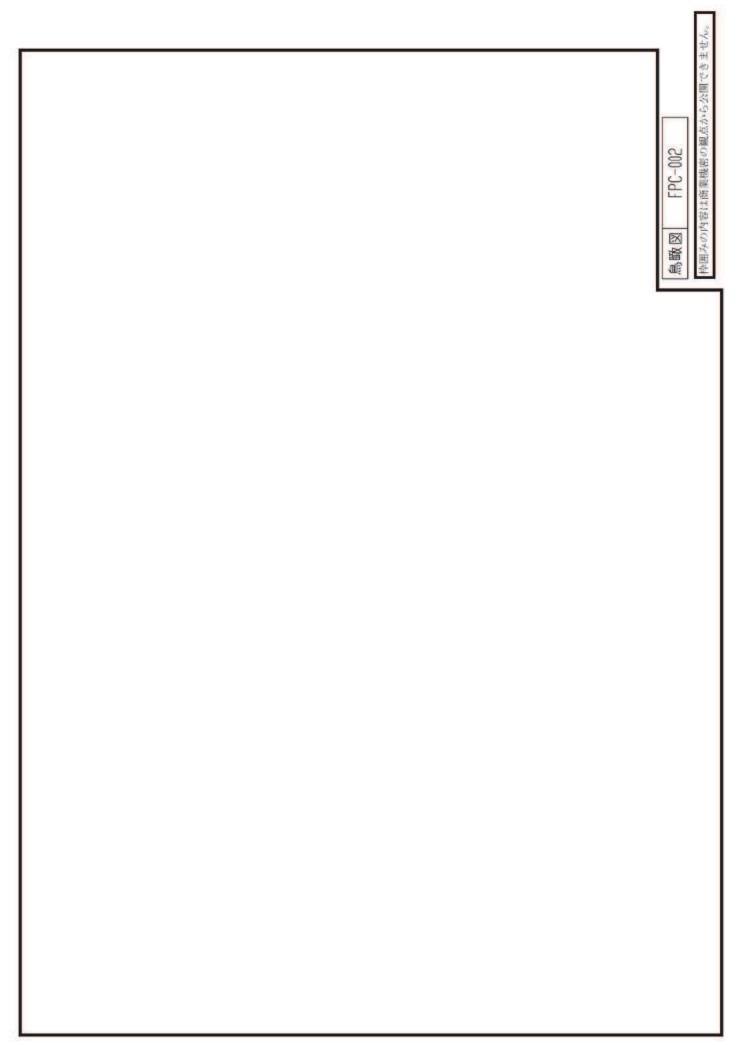
PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。 *2:設計·建設規格

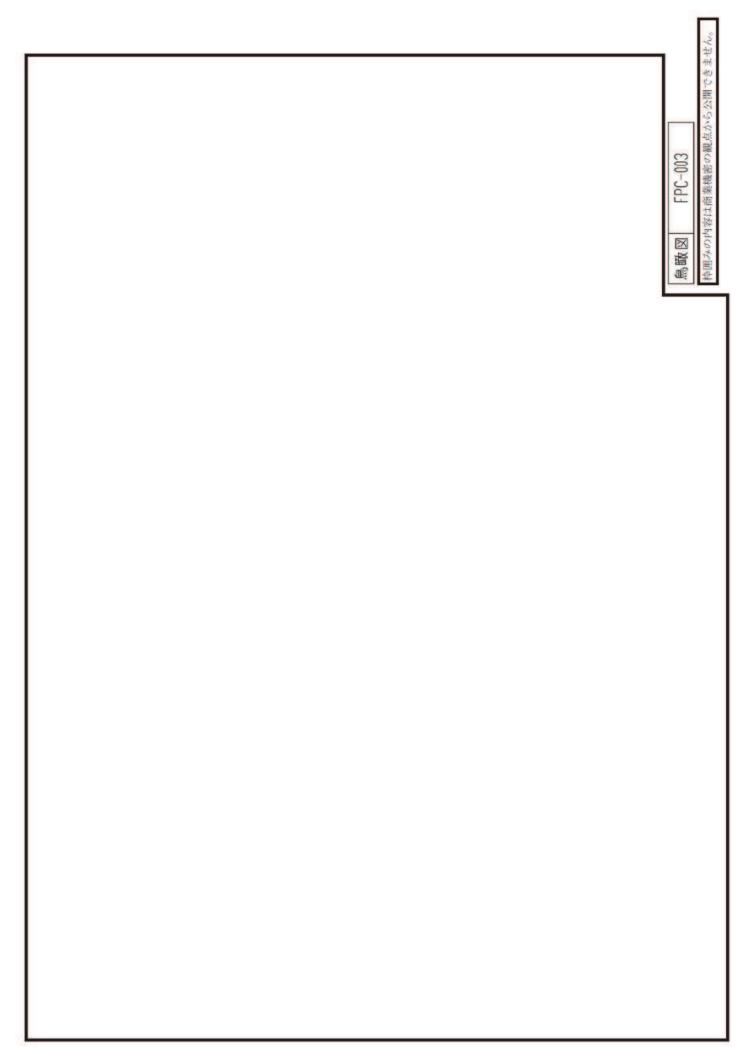
燃料プール冷却浄化糸賦略糸統図(その1) 使用済燃料プール KFPC-005 FPC-003 KEPC-004 FPC-002 概略系統図 (その2)より 燃料プール冷却浄化系 燃料プール冷却浄化系 熱交換器(B) FPC-001 KFPC-101 Ϋ́ FPC-001 燃料プール冷却浄化系 概略系統図(その2)より KFPC-101 燃料プール冷却浄化系 熱交換器(A) KFPC-101 KFPC-101) - 展留熱除去系熱交換器(B)より (KFPC-122) | 張留勲除去系勲交換器(A)より FPC-001 \$ (KFPC-101) FPC-001

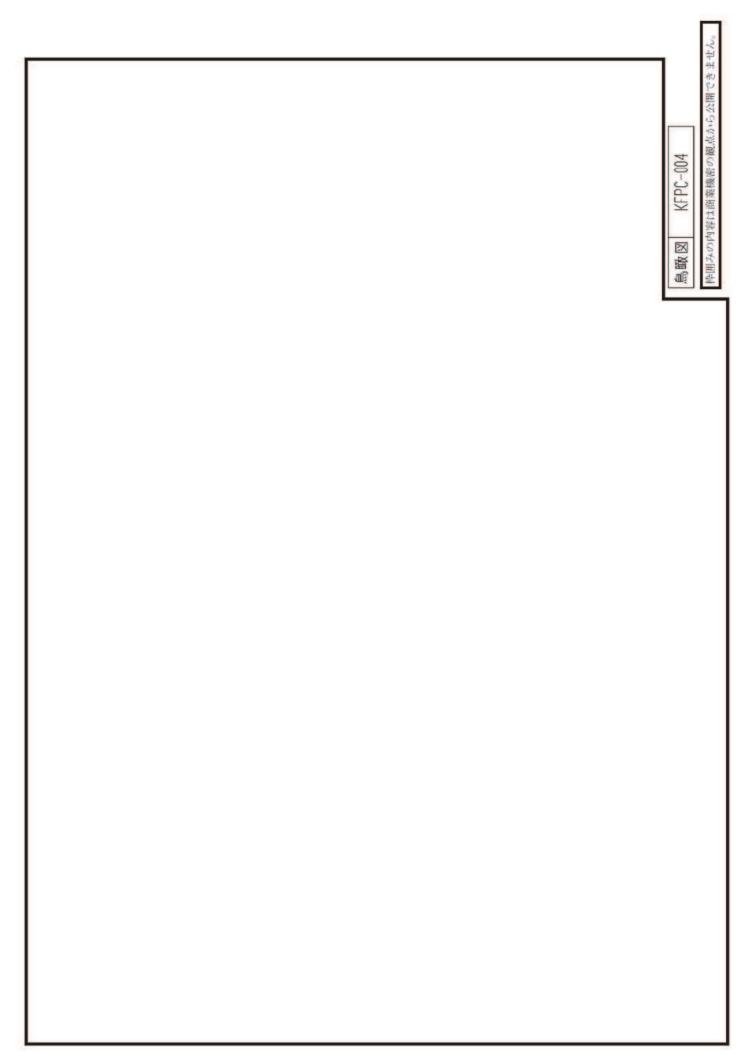


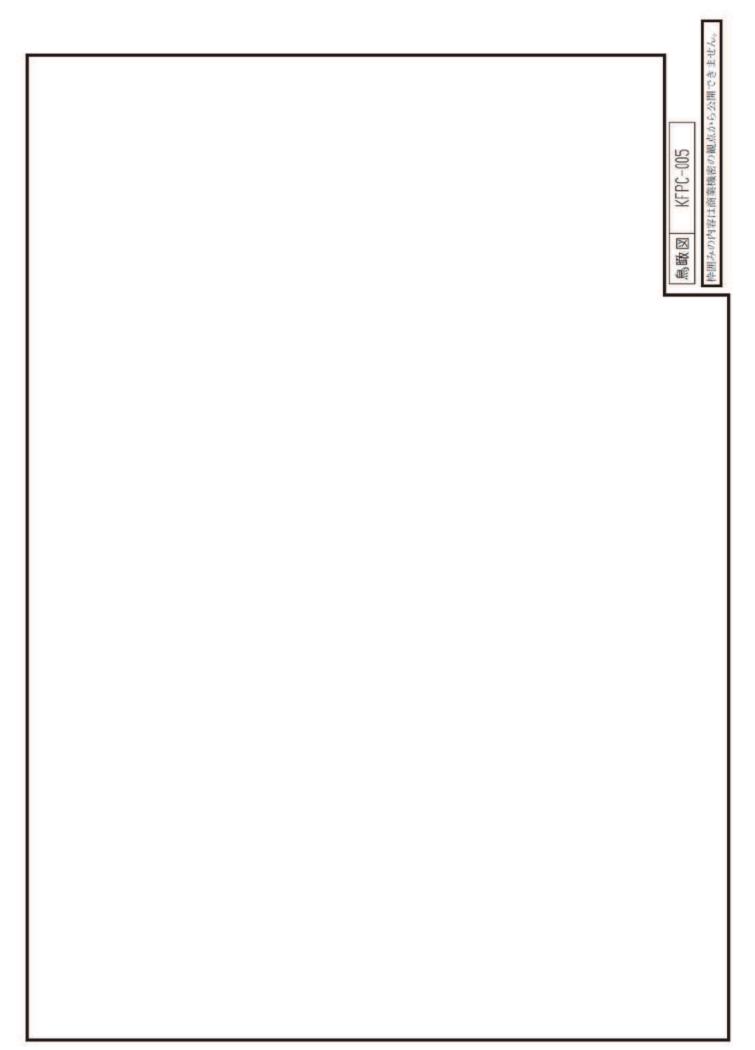


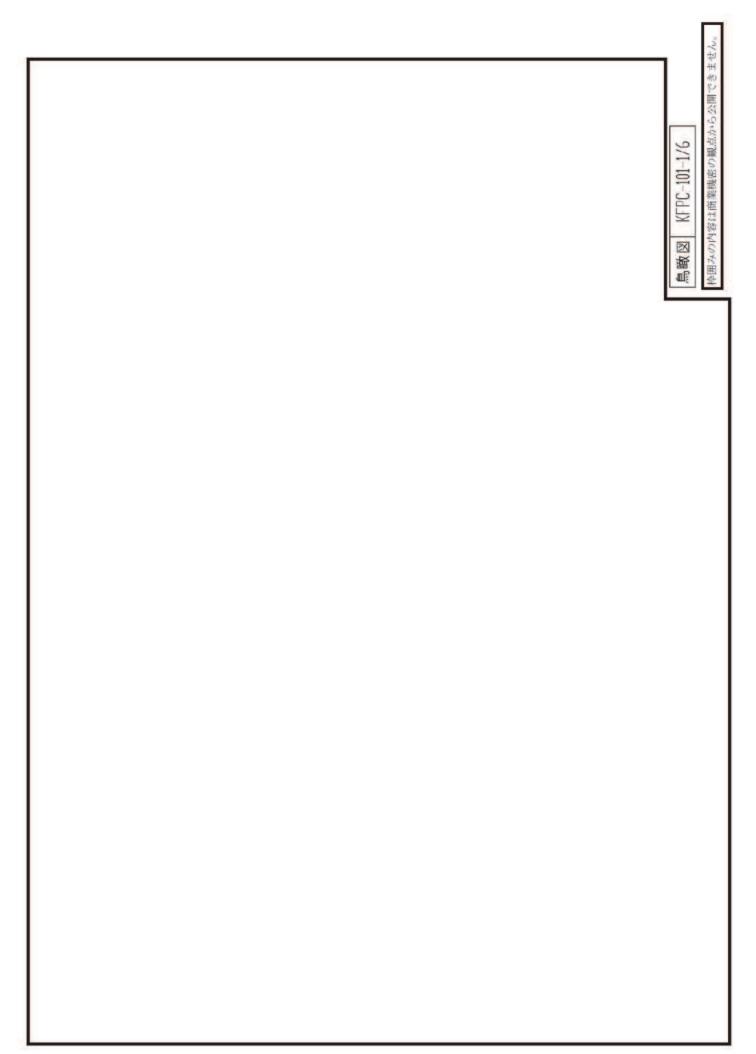


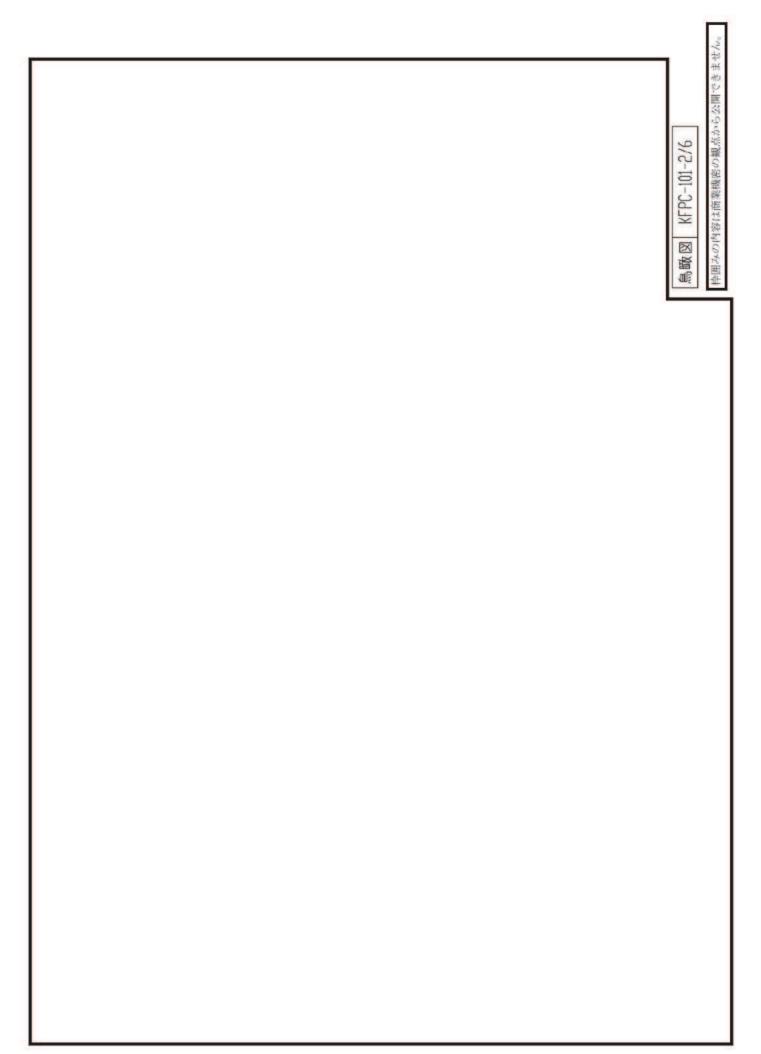


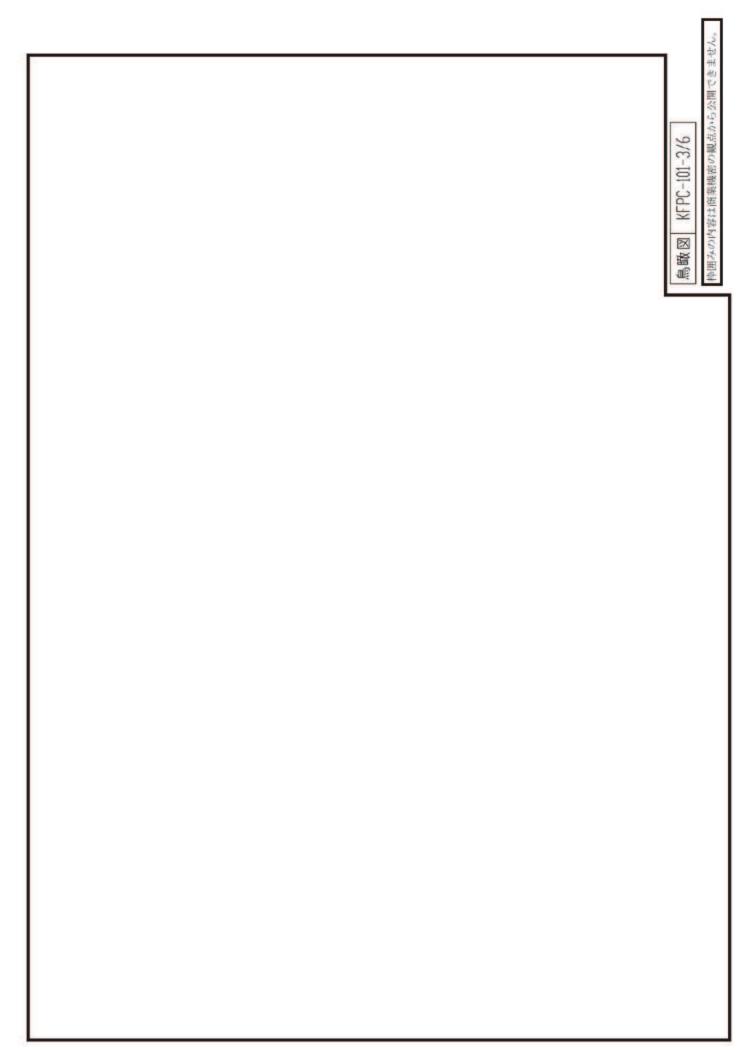


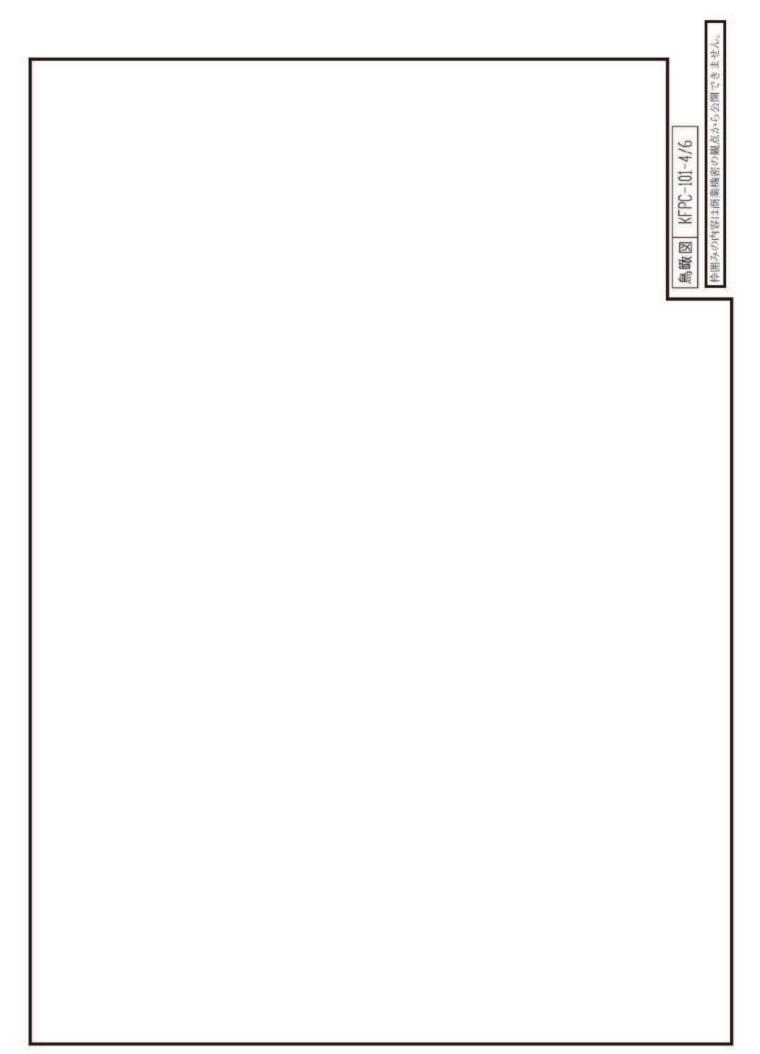


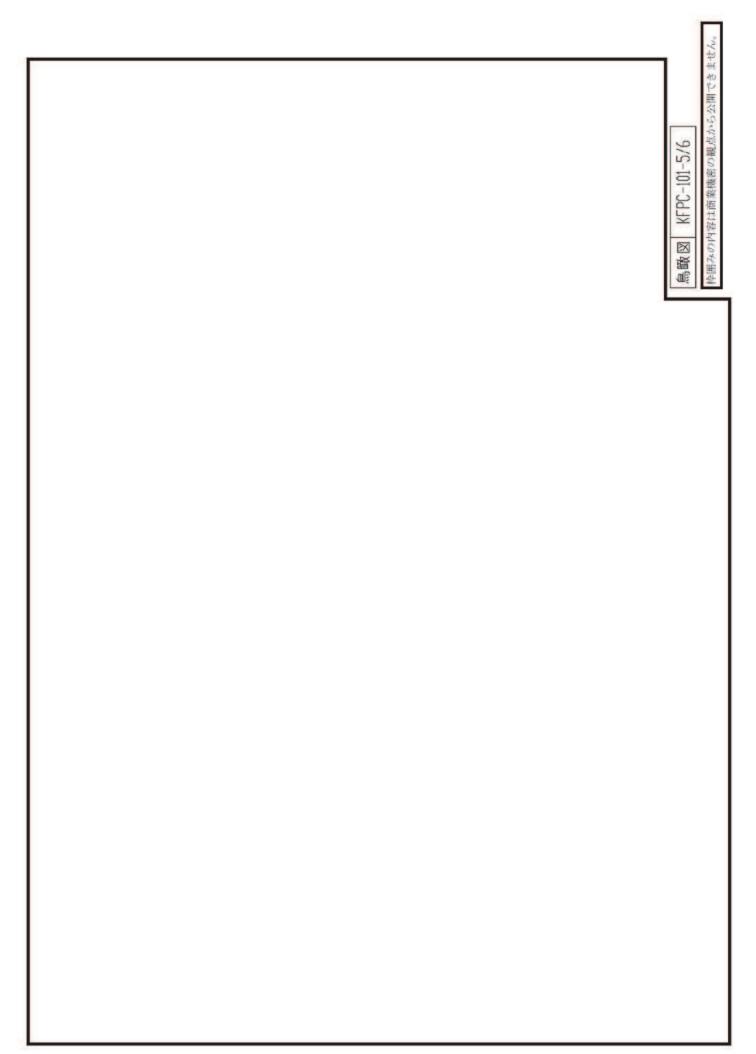


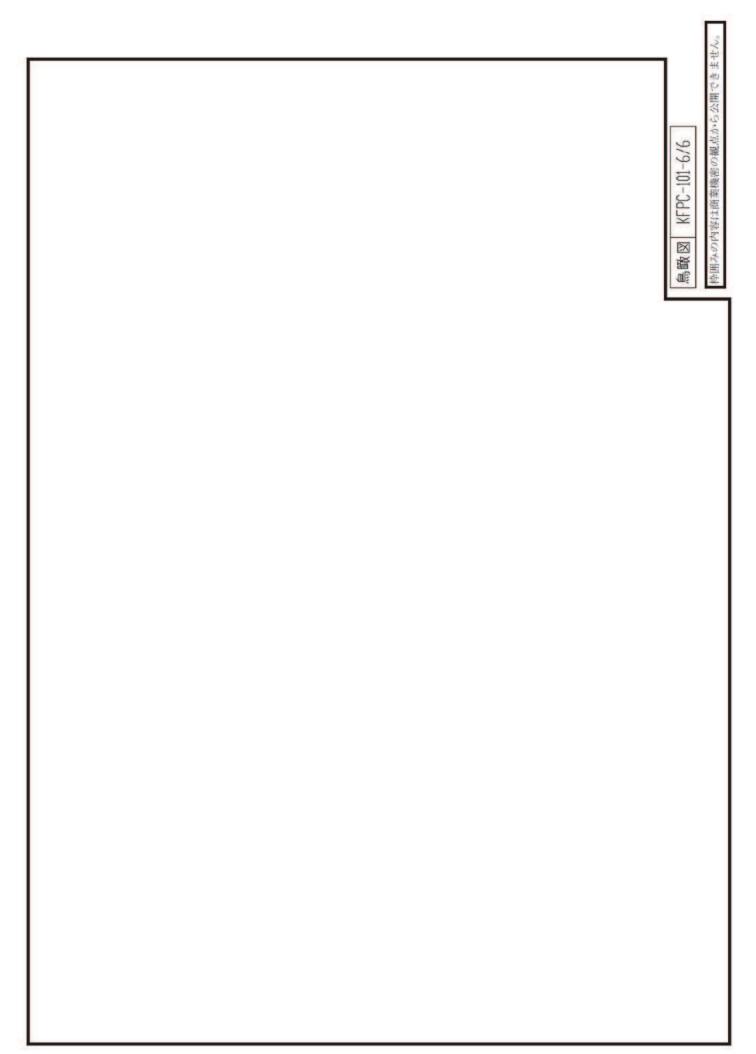


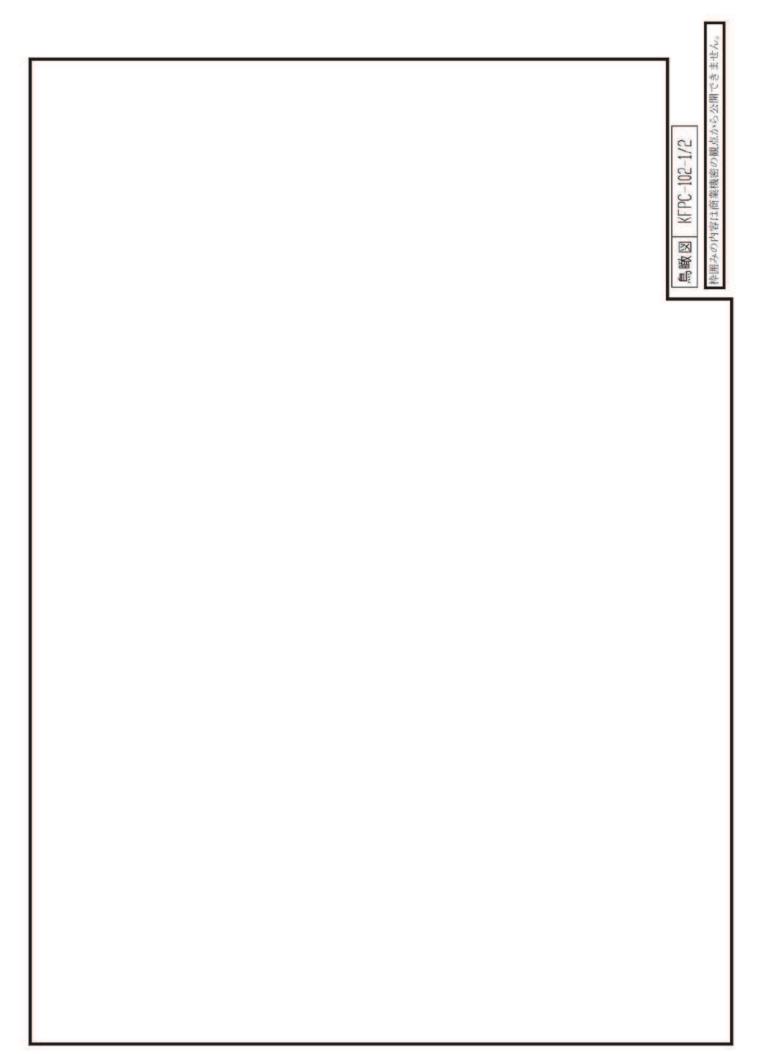


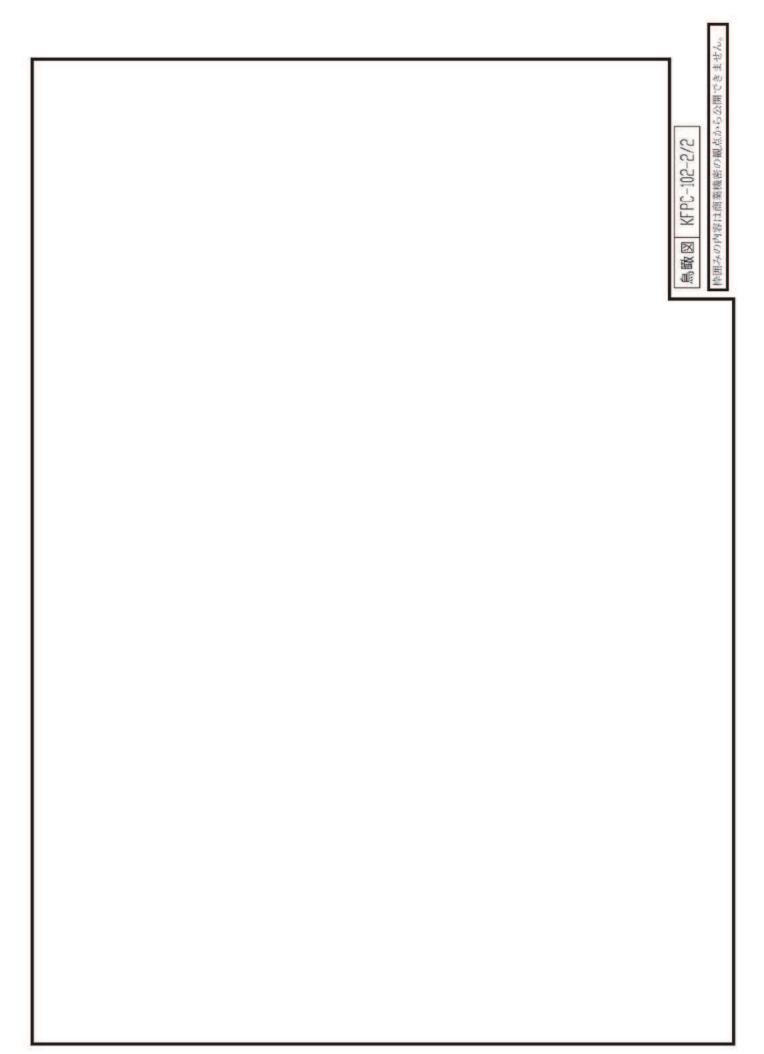


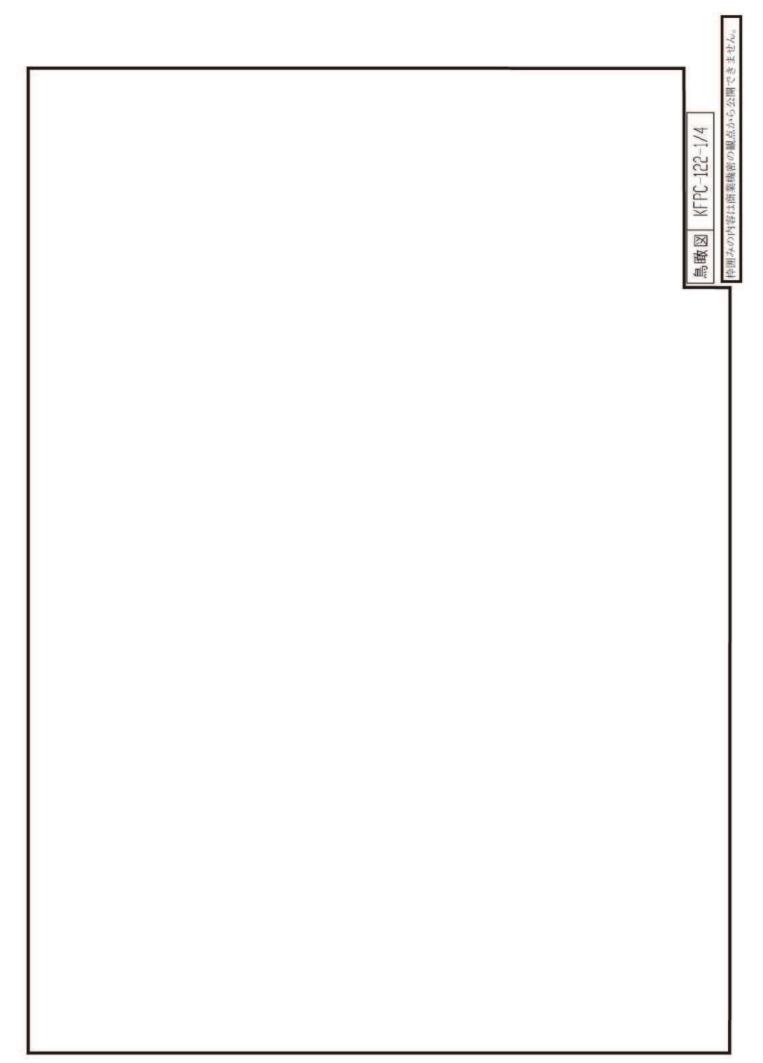


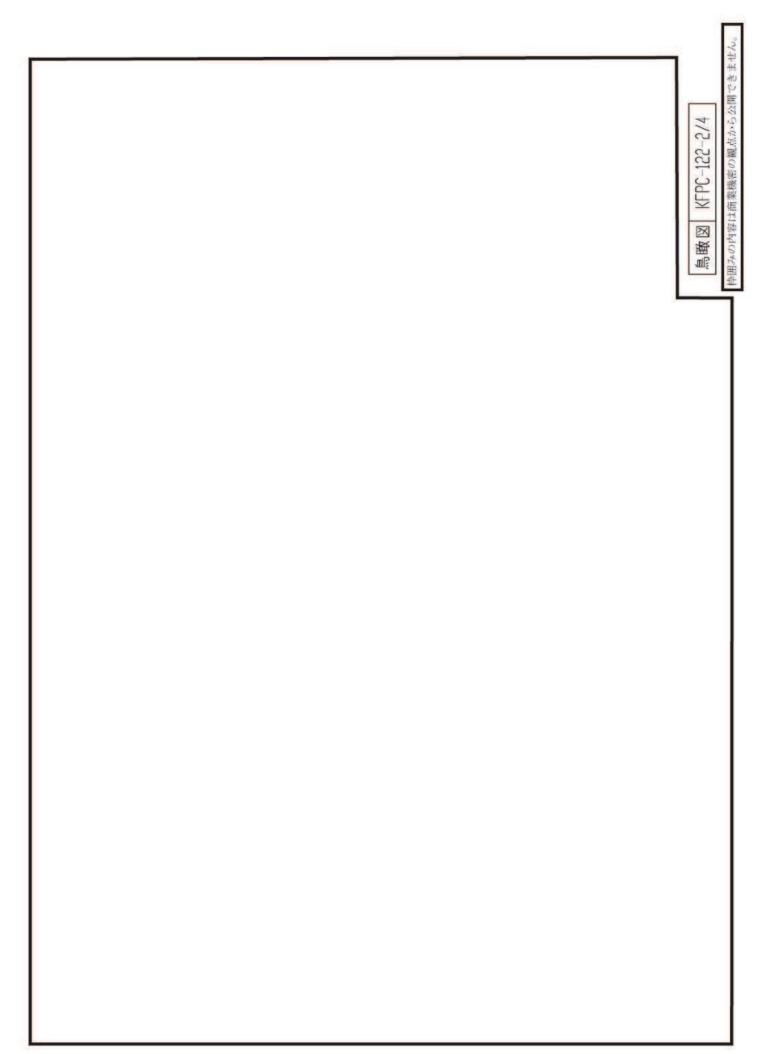


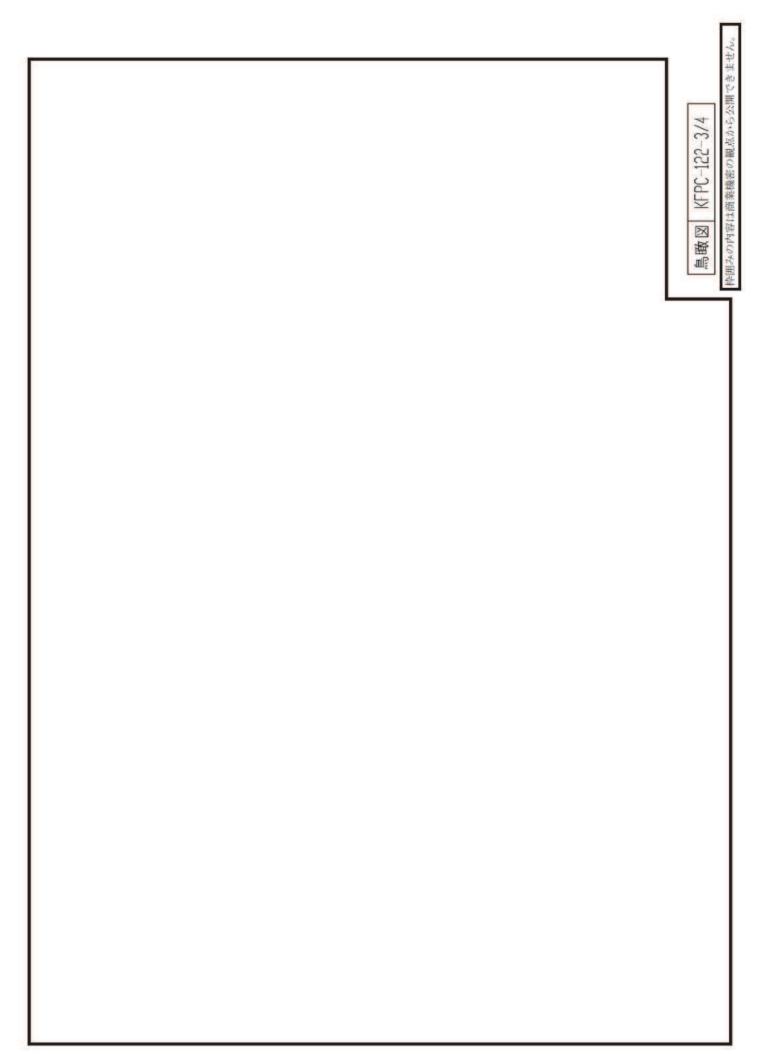


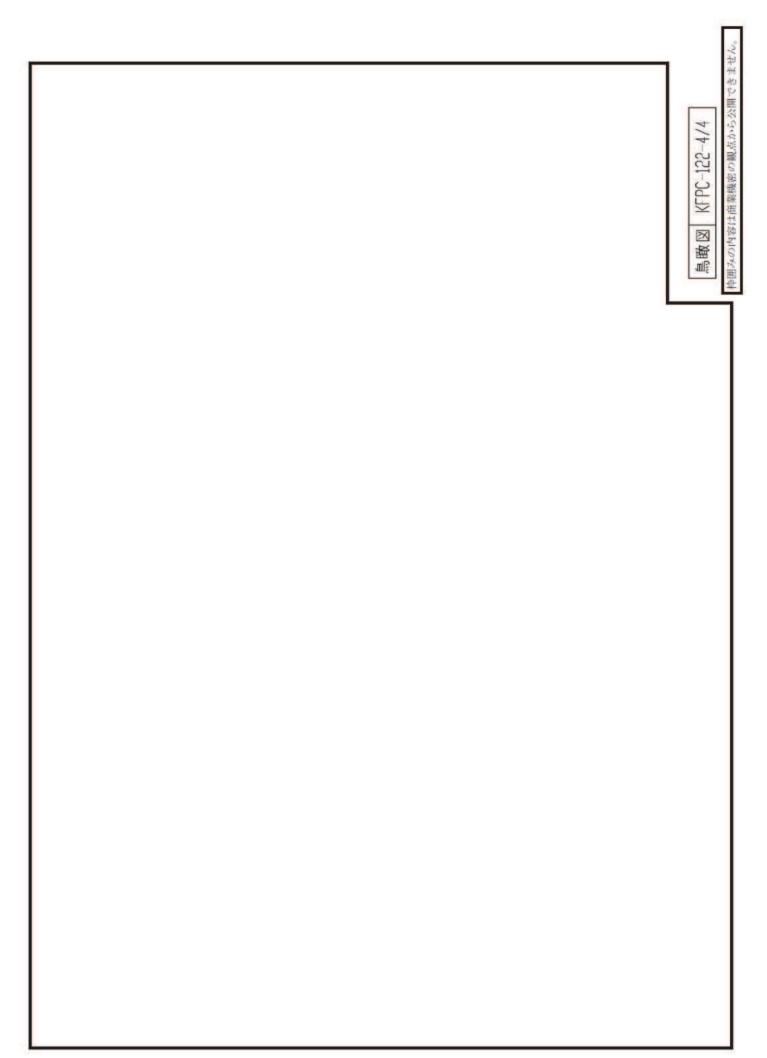












- 2. 燃料プール代替注水系の計算モデル
- ・VI-2-4-3-2-1 管の耐震性についての計算書 (燃料プール代替注水系)

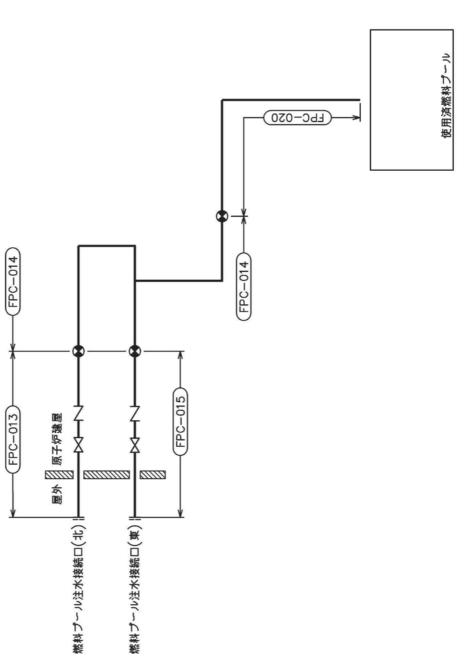
重大事故等対処設備

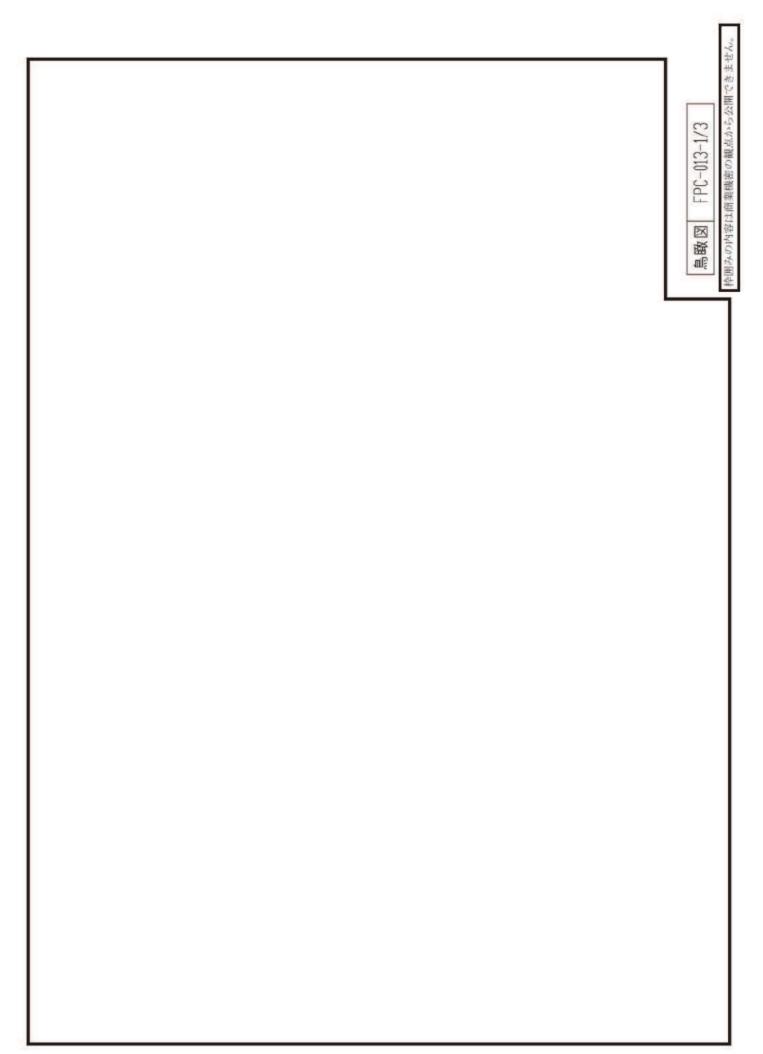
4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

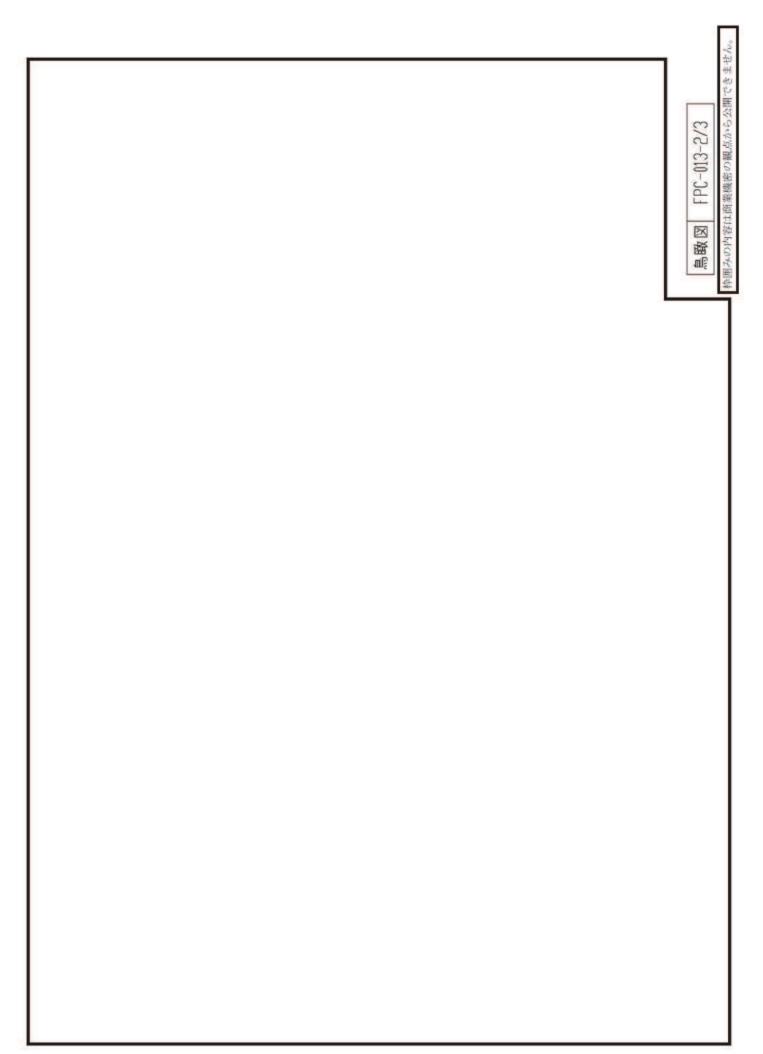
代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最本のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果 を記載している。下表に, 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

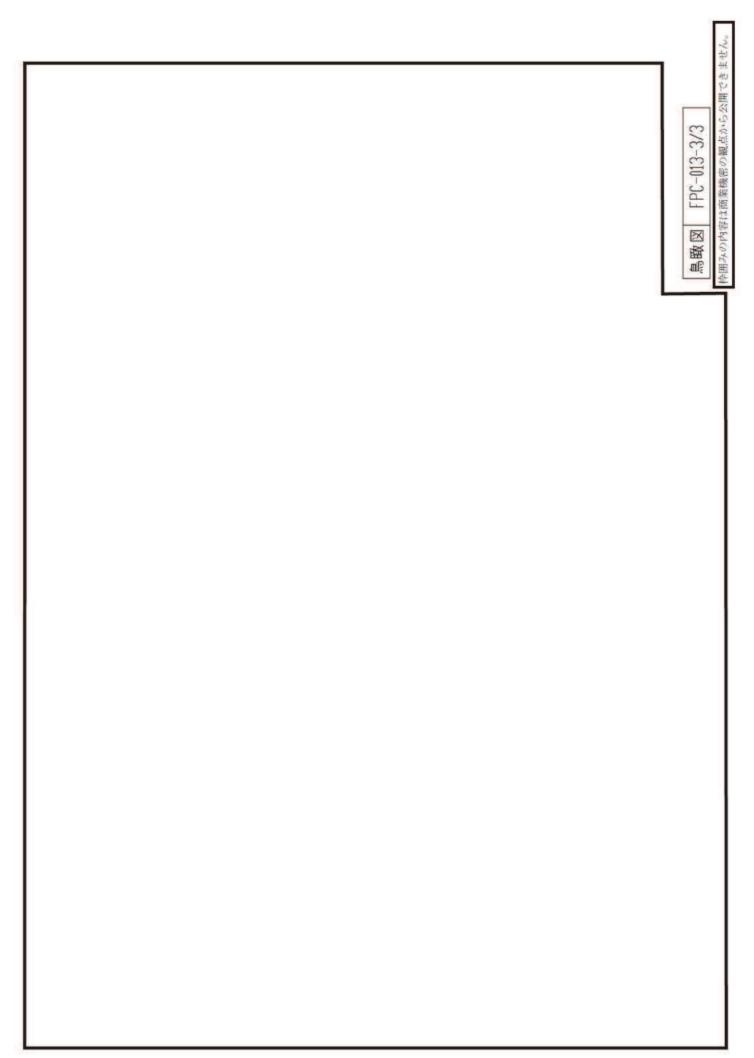
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

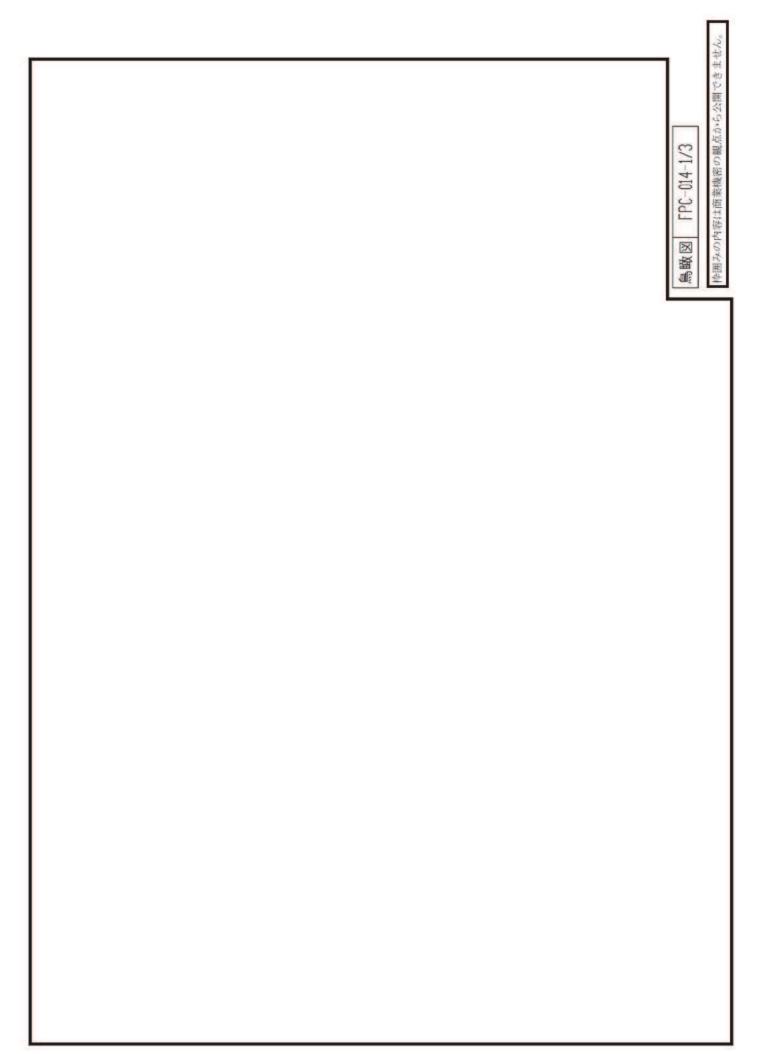
		代表	1	0		1
許容応力状態 VAS	疲労評価	瀬 瀬 衆 日 日 日 年 日 年 日 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	Ι	0. 1882		J
		評価点	Ι	88	[1
		代表	1	0		1
	一次応力	裕度	4.22	0.96	4.47	1.35
		許容 応力 (MPa)	376	376	376	376
		計算 応力 (MPa)	89	390	84	277
		評価点	136	88	29	1
		代表	0	-		Ţ
		裕度	7.95	11.64	9.38	10.02
		許容 応力 (MPa)	366	431	366	431
		計算 応力 (MPa)	46	37	39	43
		評価点	4	79	13	25
		配管モデル	FPC-013	FPC-014	FPC-015	FPC-020
		No.	1	2	3	4

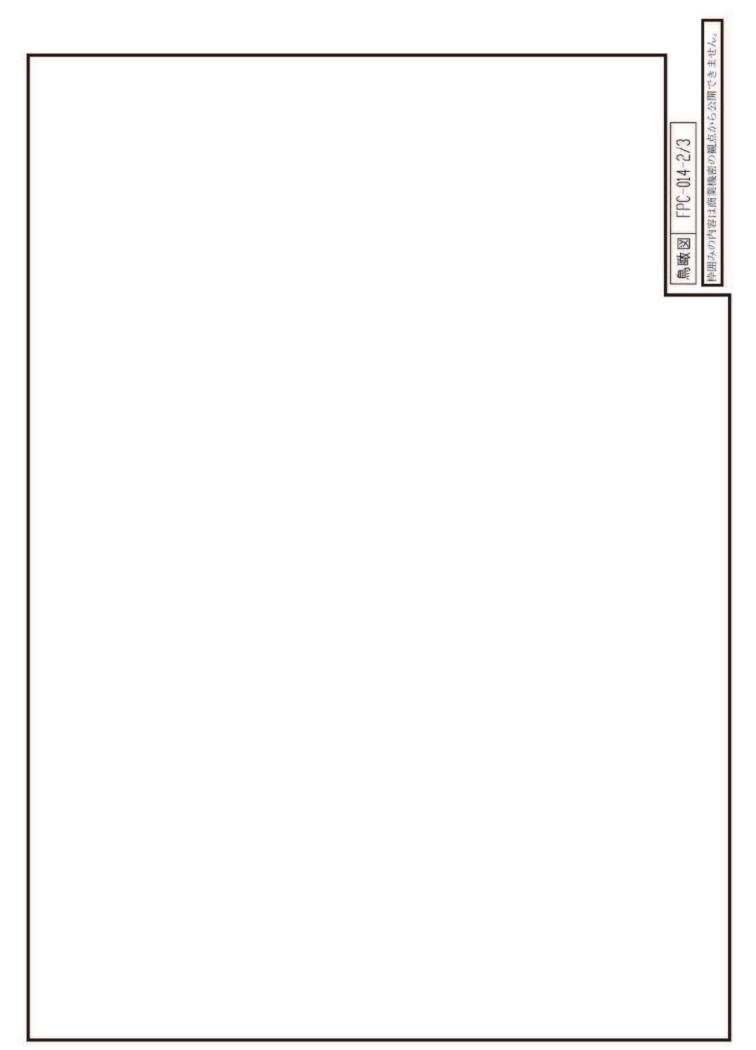


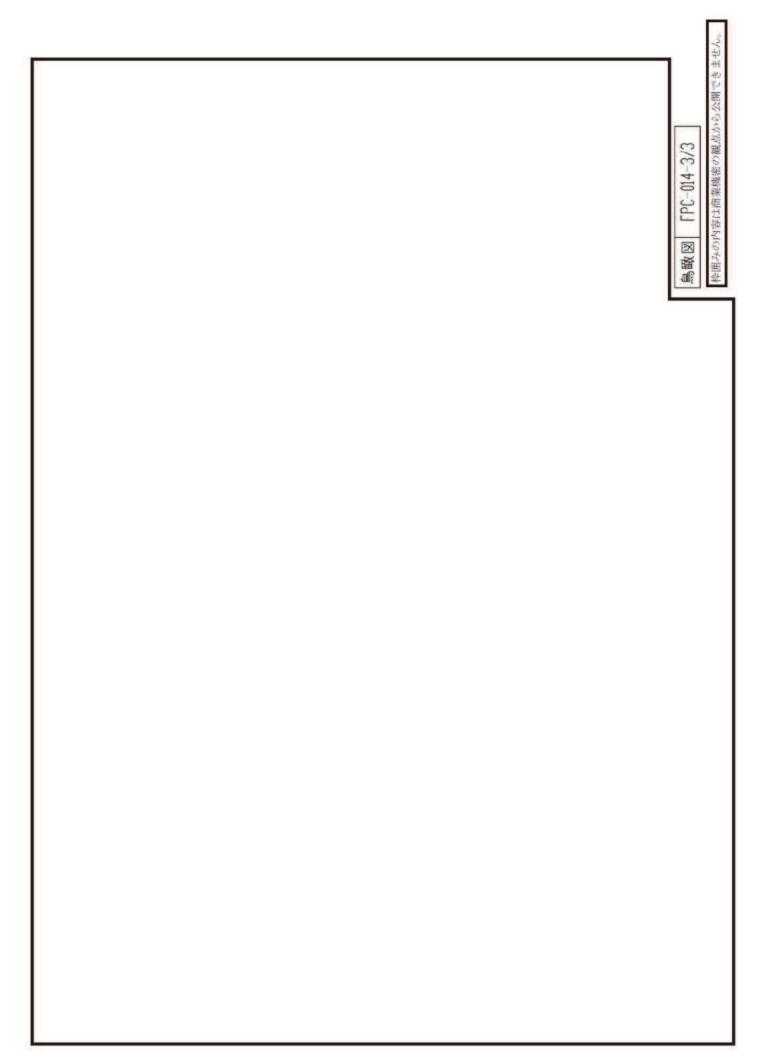


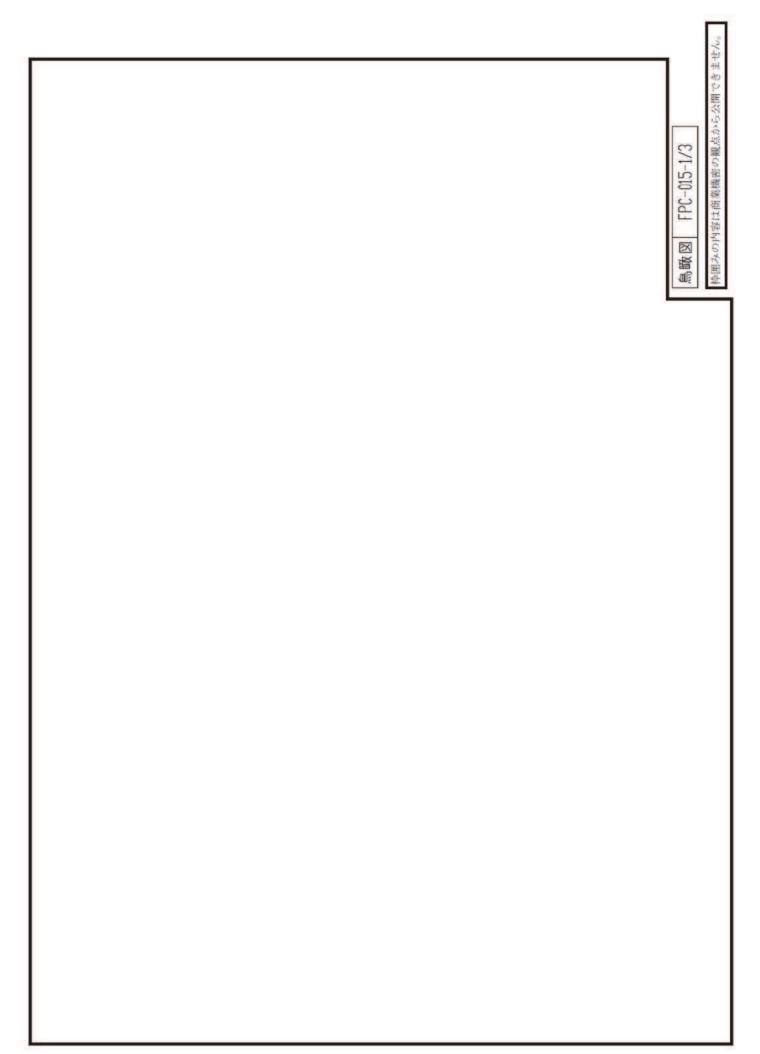


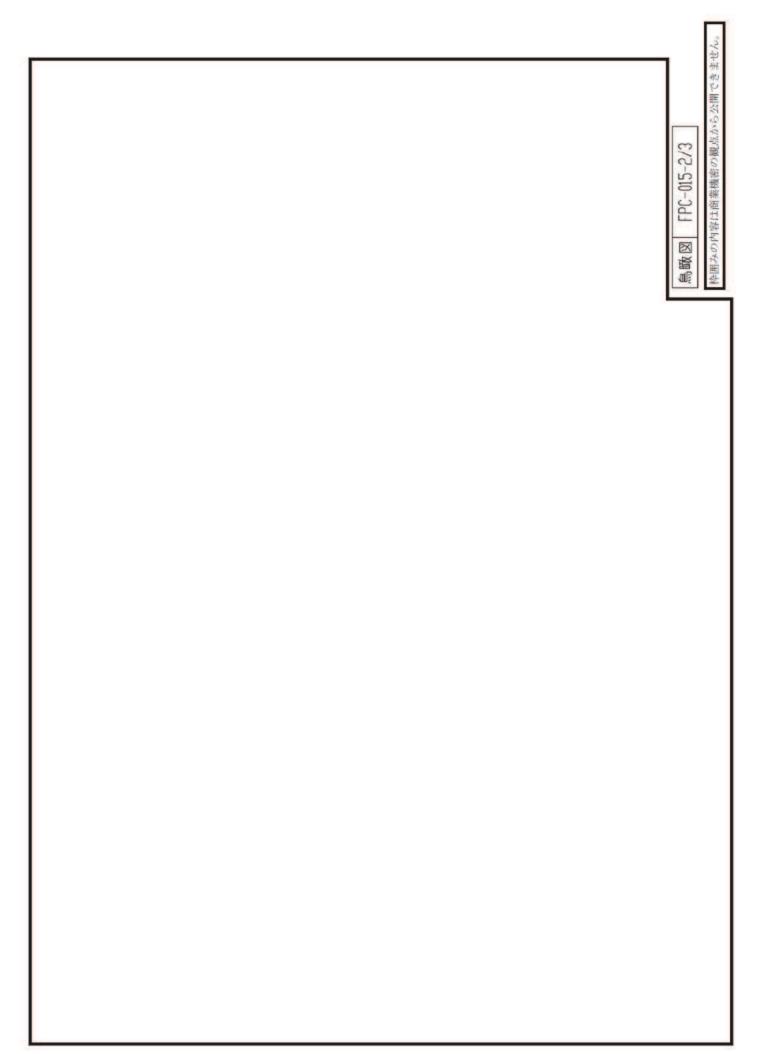


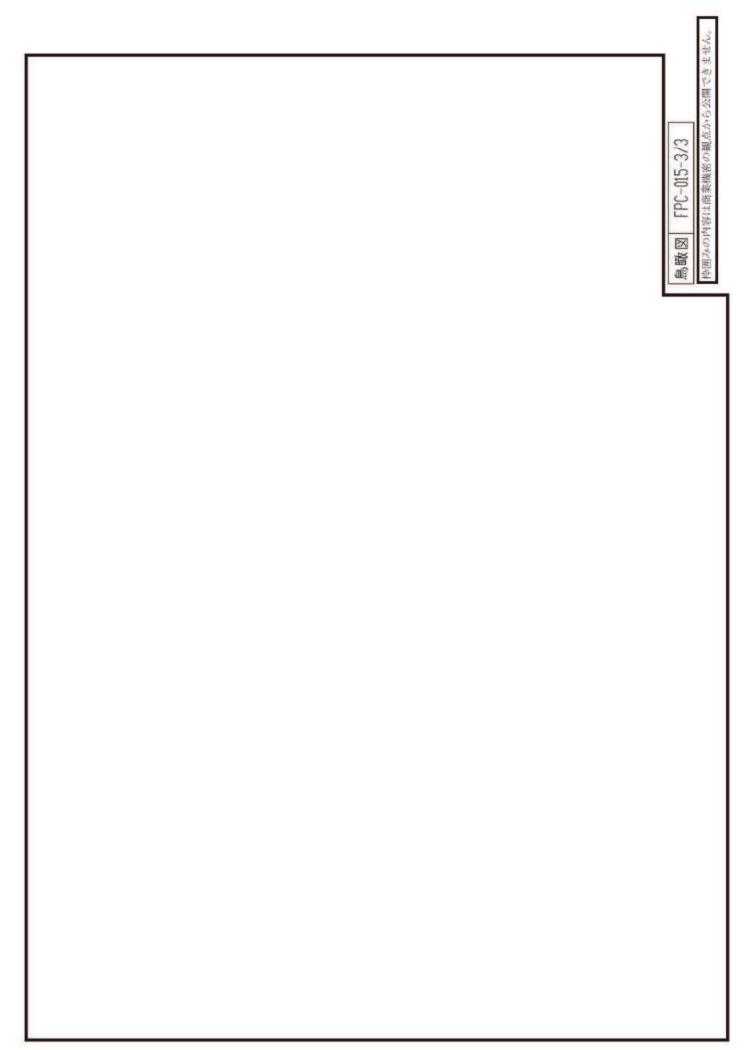


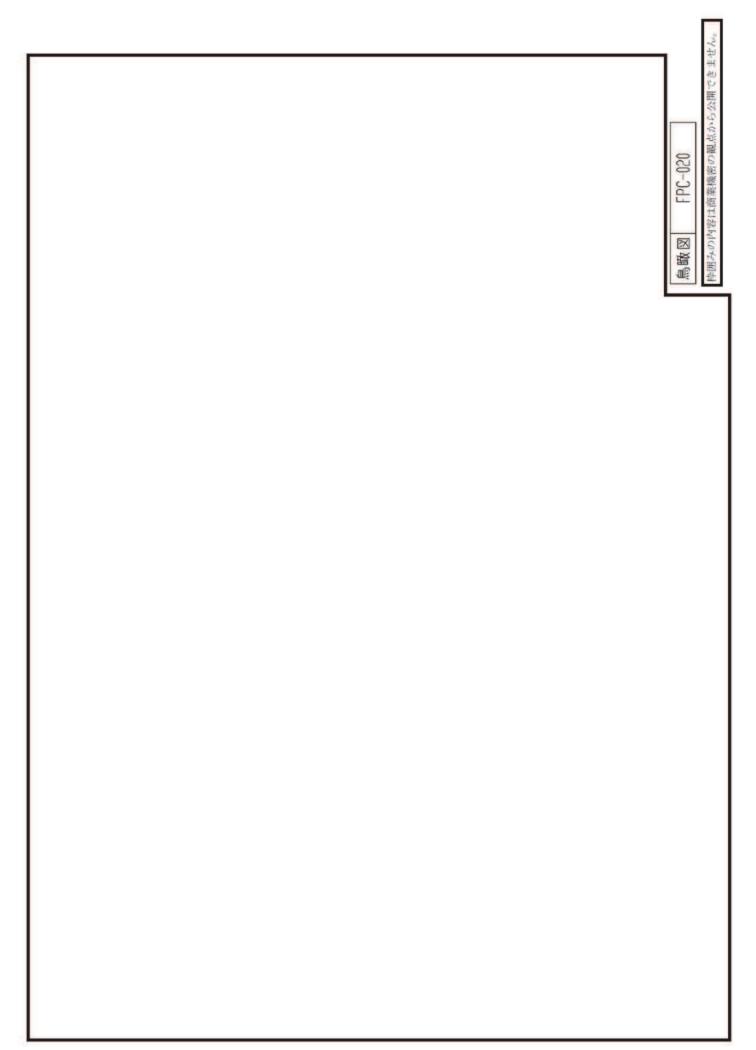












燃料プール代替注水系の計算モデル

・VI-3-3-2-2-2-2 管の応力計算書 (燃料プール代替注水系)

重大事故等対処設備

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

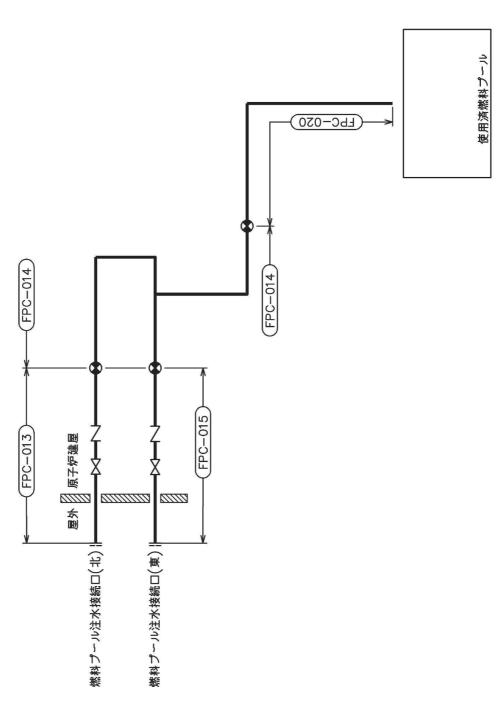
代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を 記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

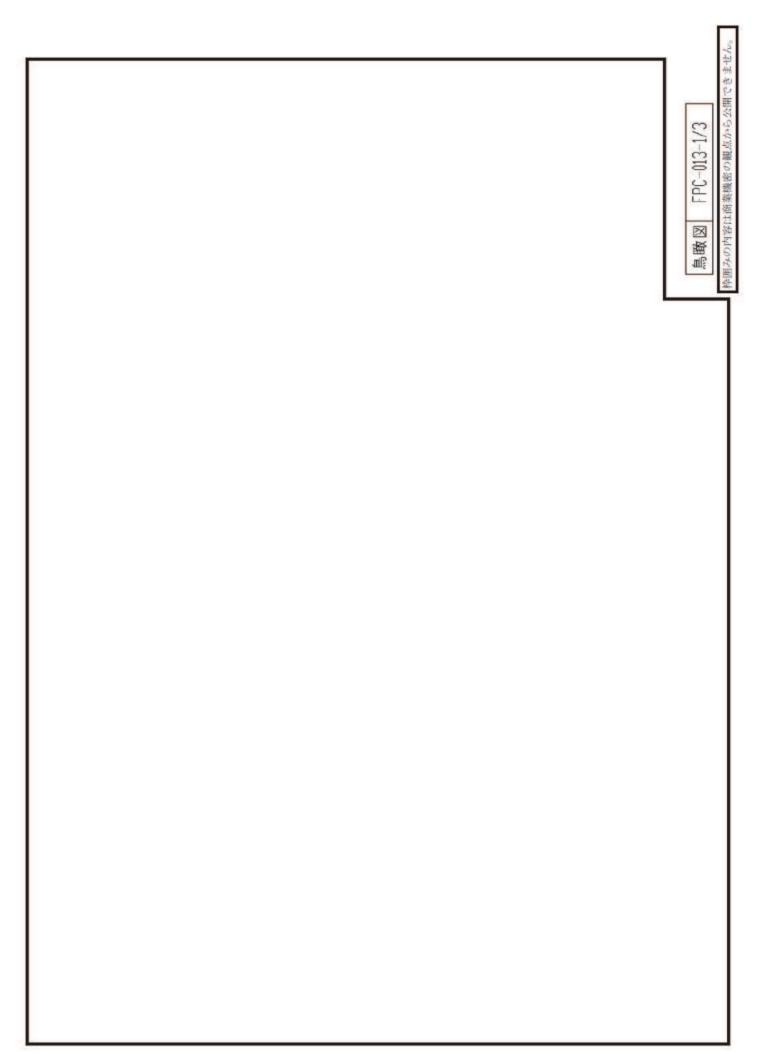
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

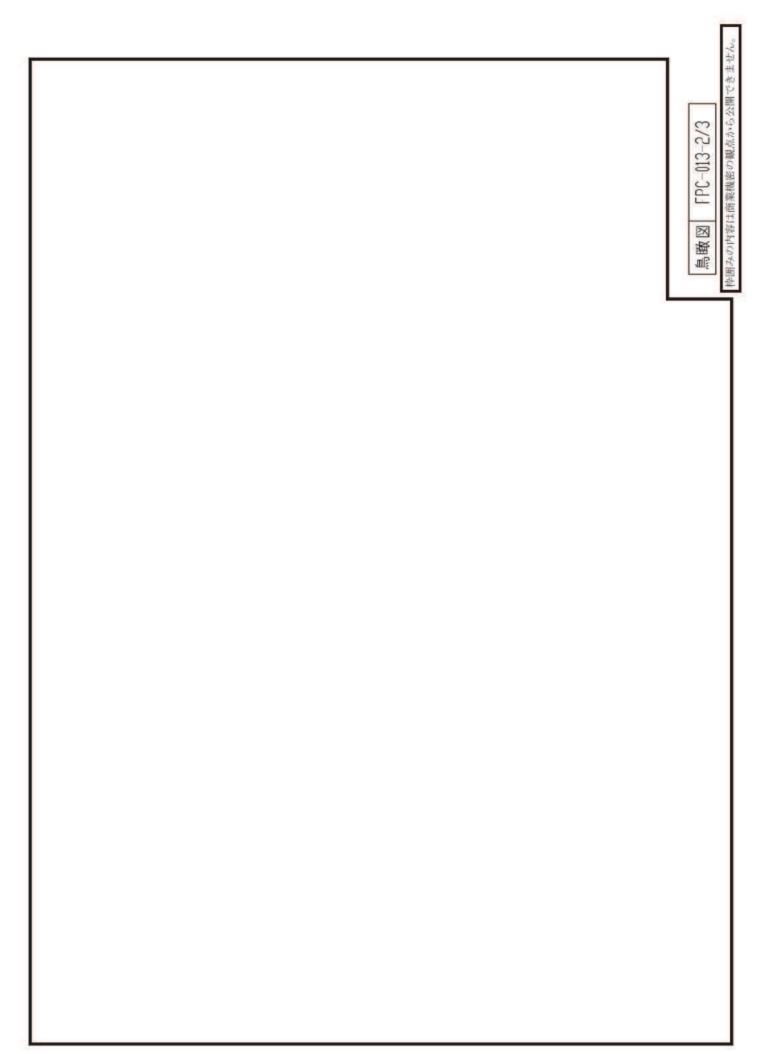
					-		
		代表		0	Ι	I	
供用状態 (E) *2	一次応力	裕度		7.70	9, 41	8.04	11.30
		許容応力	(MPa)	185	226	185	226
		計算応力	(MPa)	24	24	23	20
供用状態(E) *1	一次応力	評価点		8	37	6	26
		代表		0	Ţ	Ī	
		裕度		6.41	7.87	69 .9	9, 45
		許容応力	(MPa)	154	189	154	189
		計算応力	(MPa)	24	24	23	20
		評価点		8	37	6	26
配管モデル				FPC-013	FPC-014	FPC-015	FPC-020
No.				ı	2	3	4

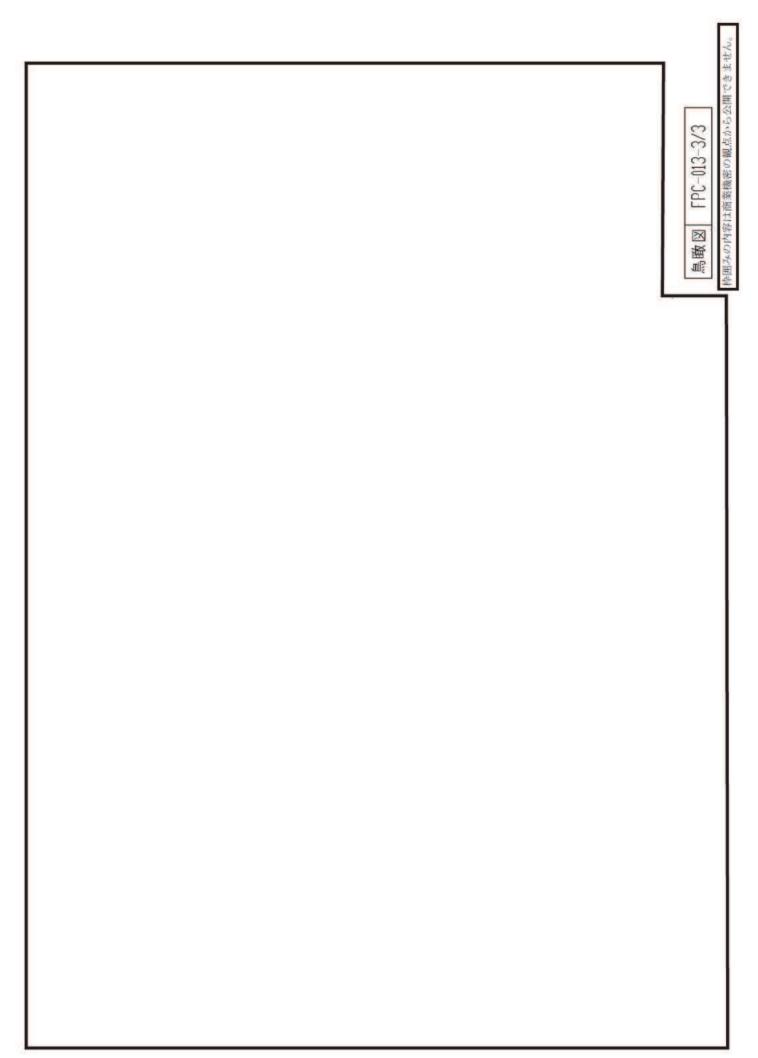
注記*1:設計・建設規格 PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

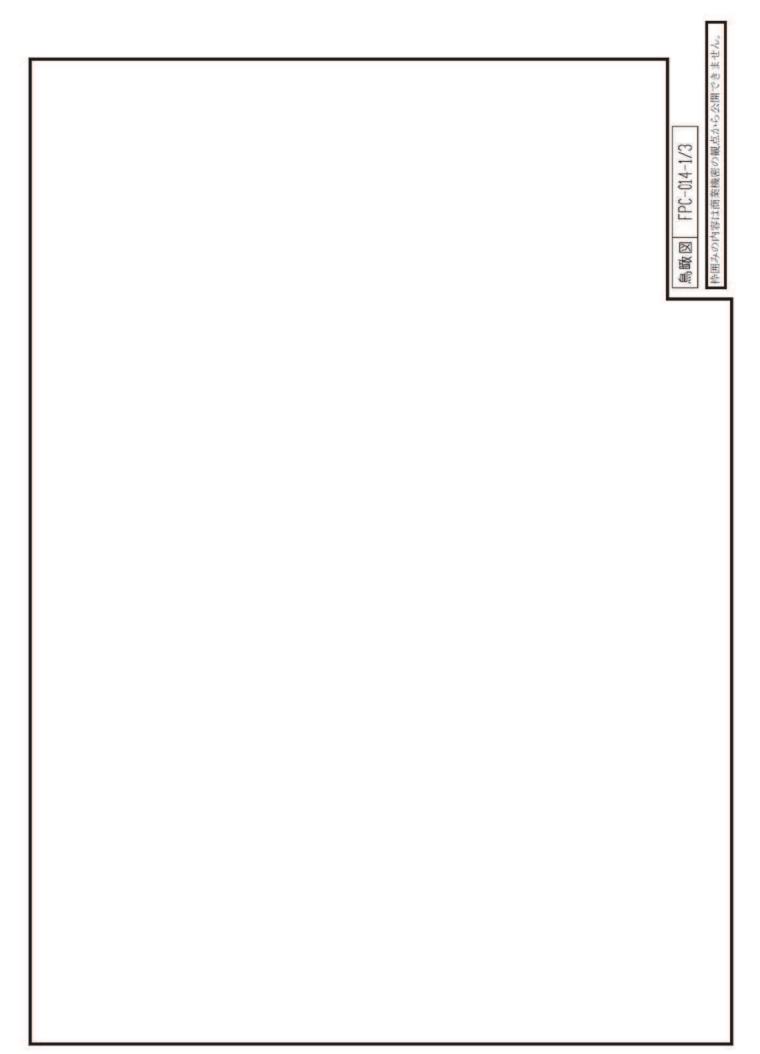
*2:設計・建設規格 PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。

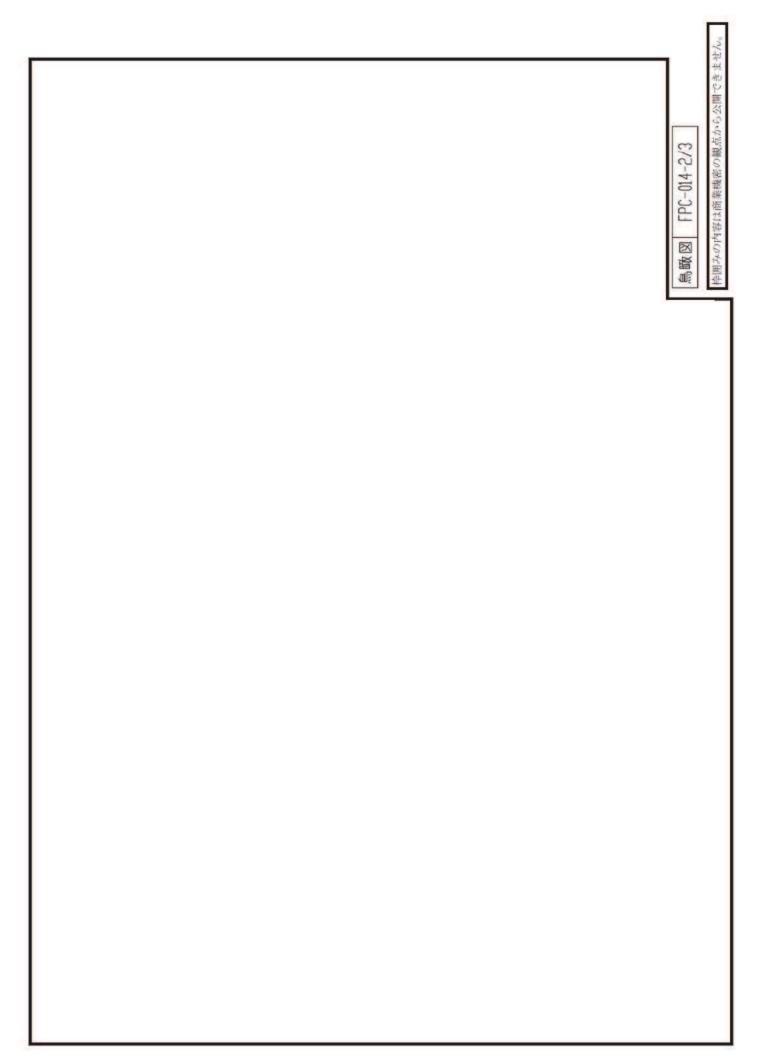


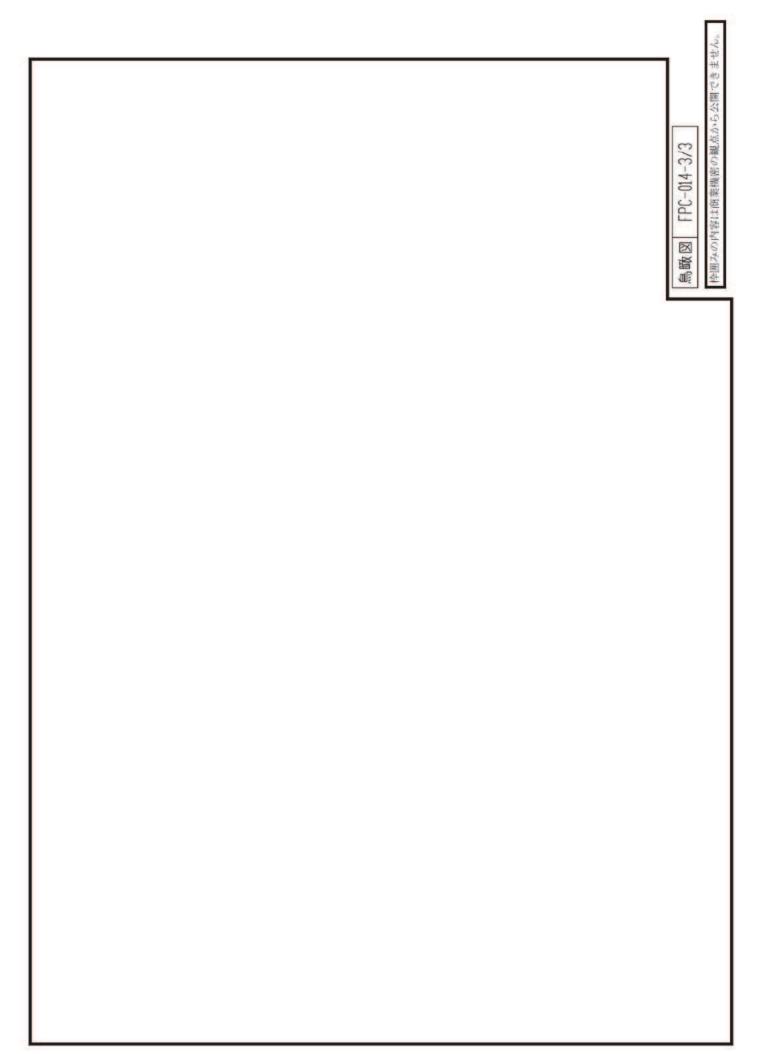


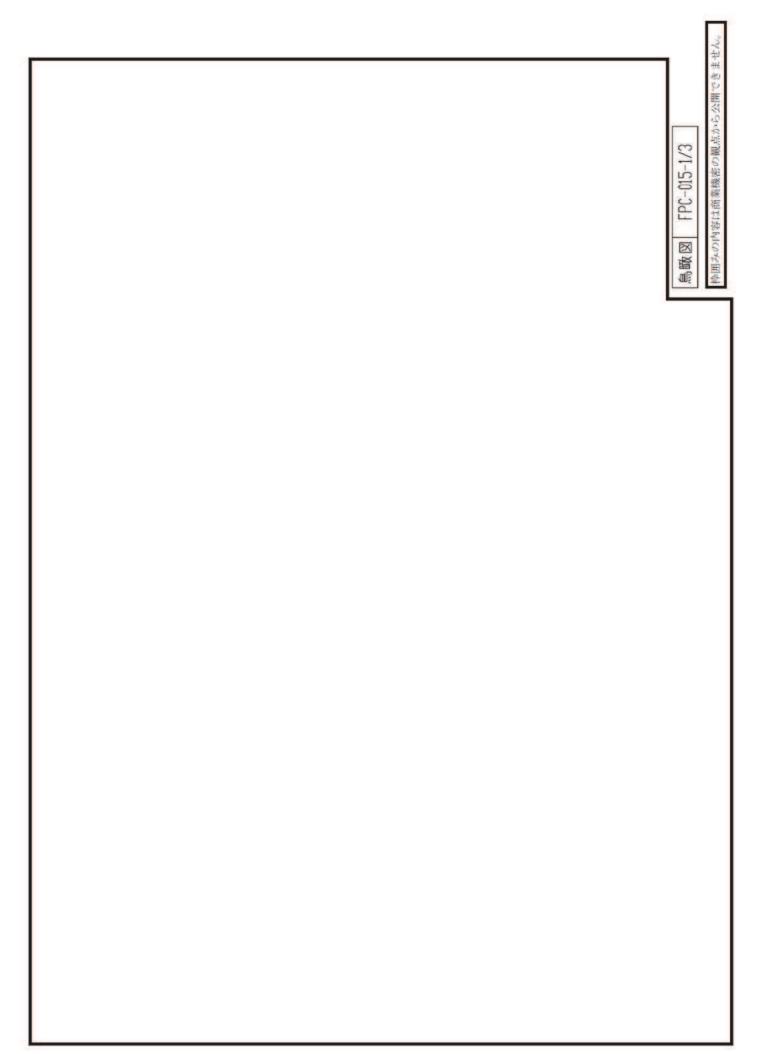


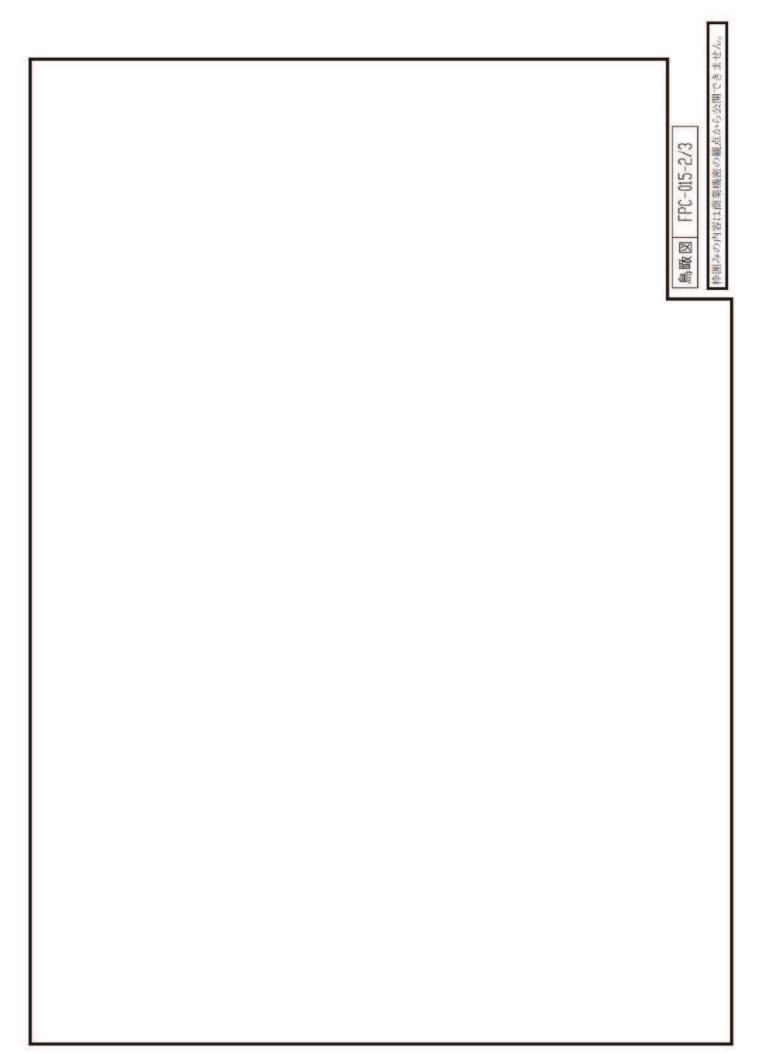


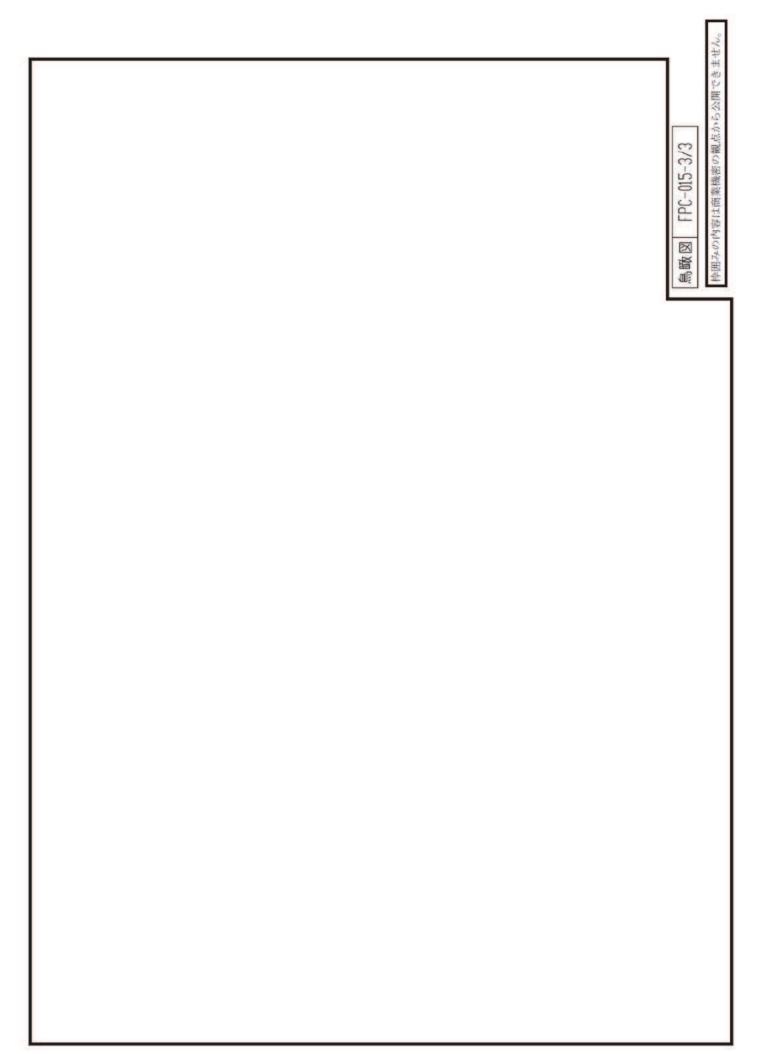


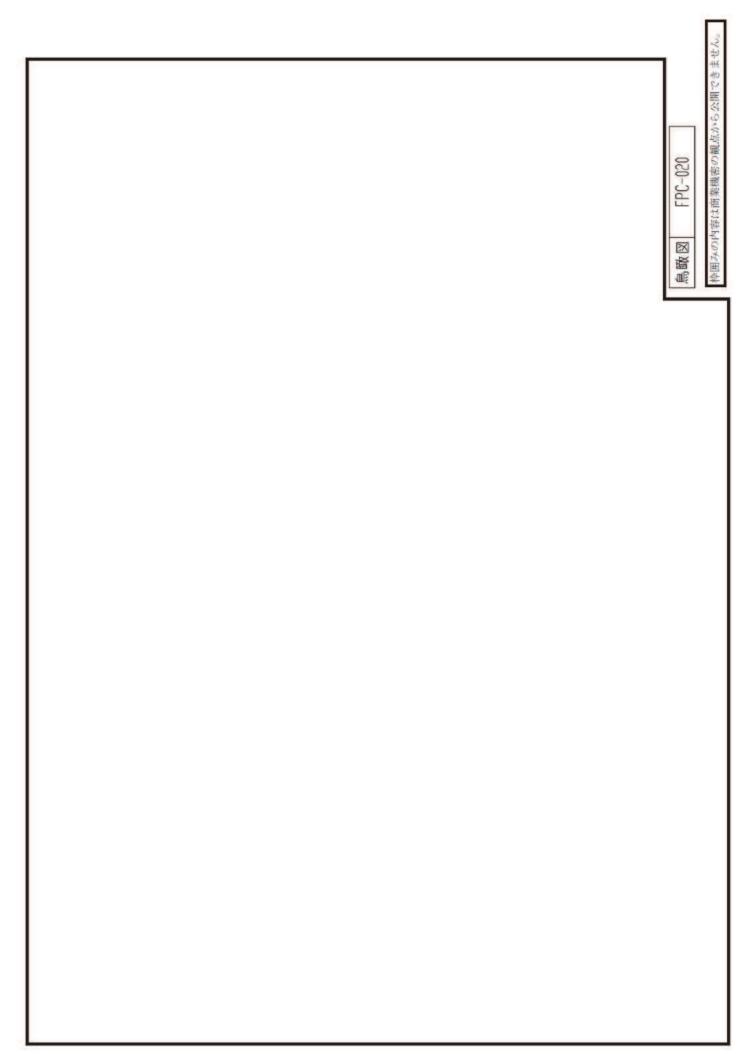












- 3. 燃料プールスプレイ系の計算モデル
- ・VI-2-4-3-3-1 管の耐震性についての計算書 (燃料プールスプレイ系)

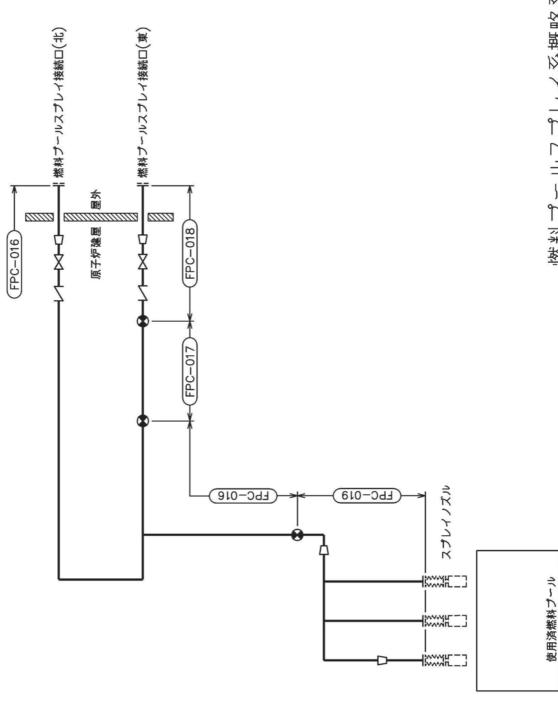
重大事故等対処設備

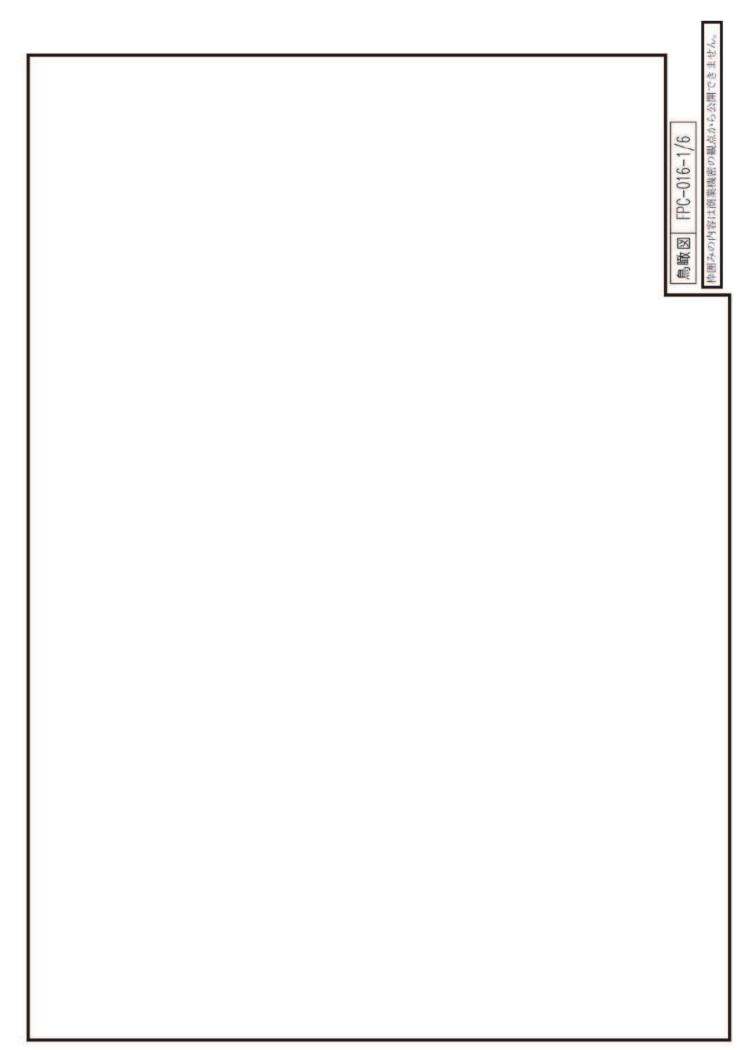
4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

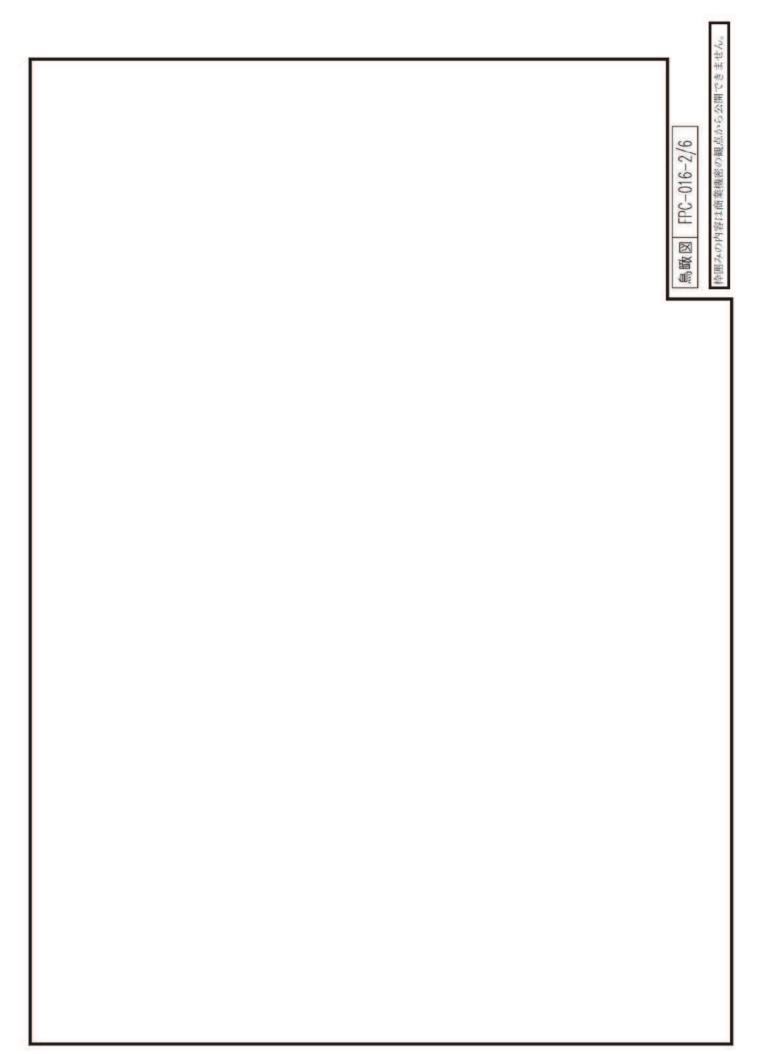
代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結 果を記載している。下表に,代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

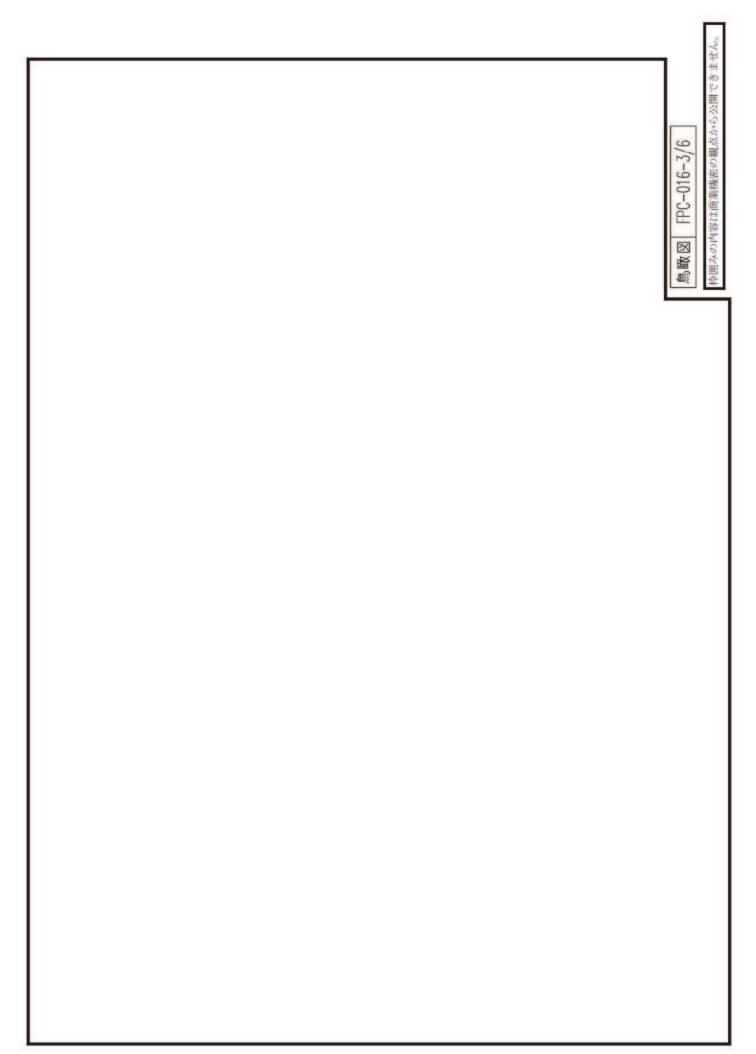
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

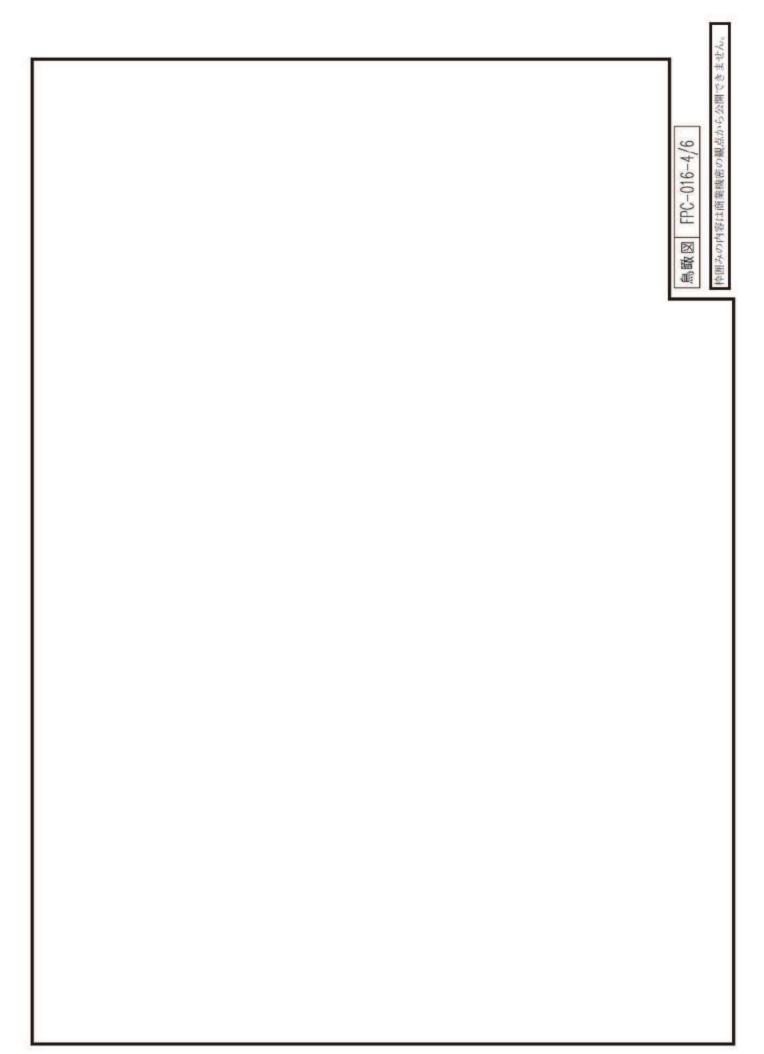
		代表	1		1	
許容応力状態 VAS	疲労評価	海 雅 孫 發 發 發	1		1	1
	一次十二次応力	評価点	1]	I	Ī
		代表	Ι	0	1	0
		裕度	2.9	2.3	4.9	2.3
		許容 応力 (MPa)	462	462	462	462
		計算 応力 (MPa)	155	195	93	195
	一次応力	評価点	1	78	12	1
		代表	0	-	1	
		裕度	5.9	11.8	6.3	8.9
		許容 応力 (MPa)	366	366	366	366
		計算 応力 (MPa)	62	31	58	41
		評值点	91	45	18	1
		配管モデル	FPC-016	FPC-017	FPC-018	FPC-019
		No.	1	2	3	4

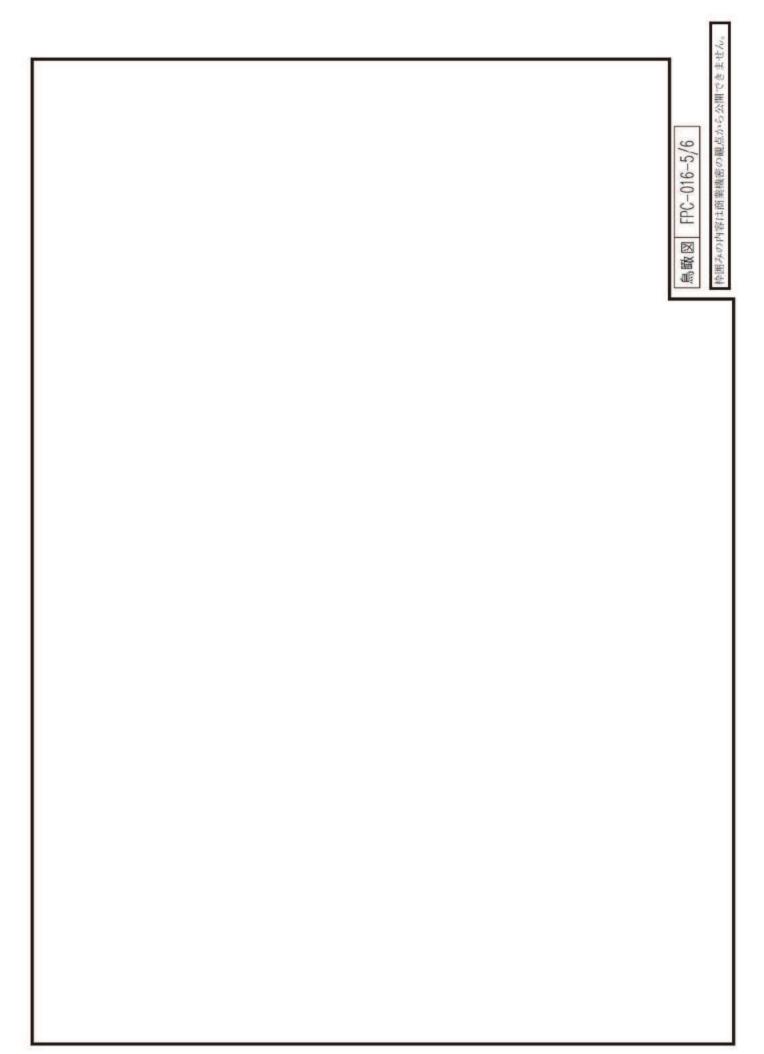


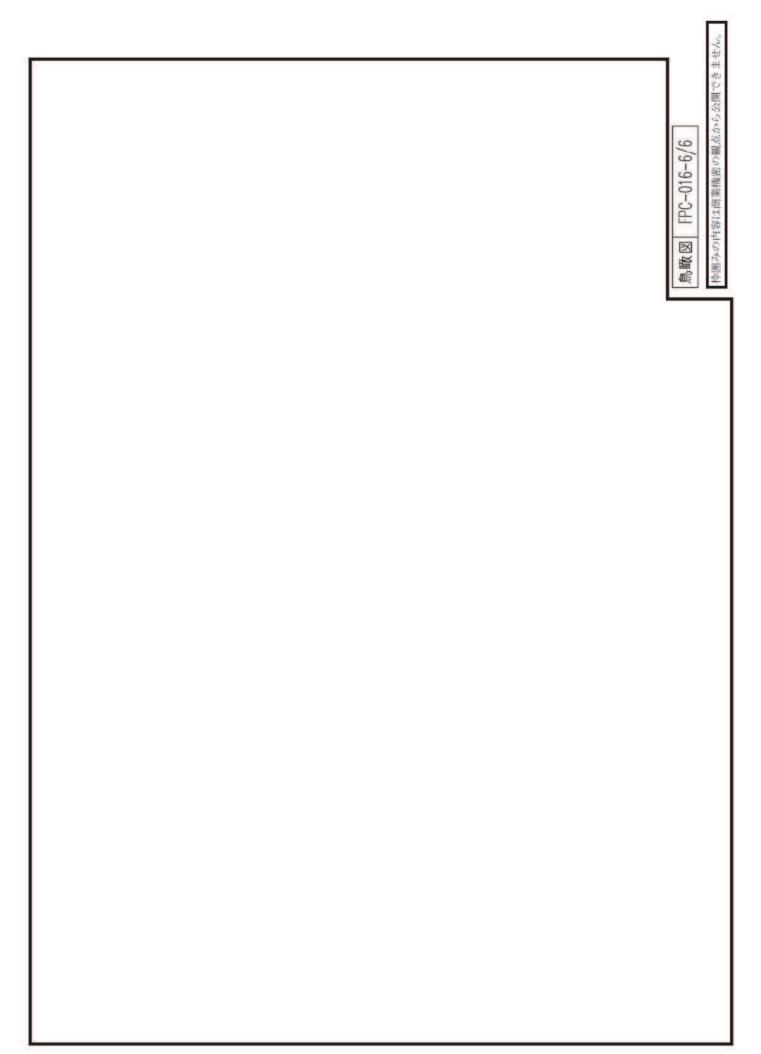


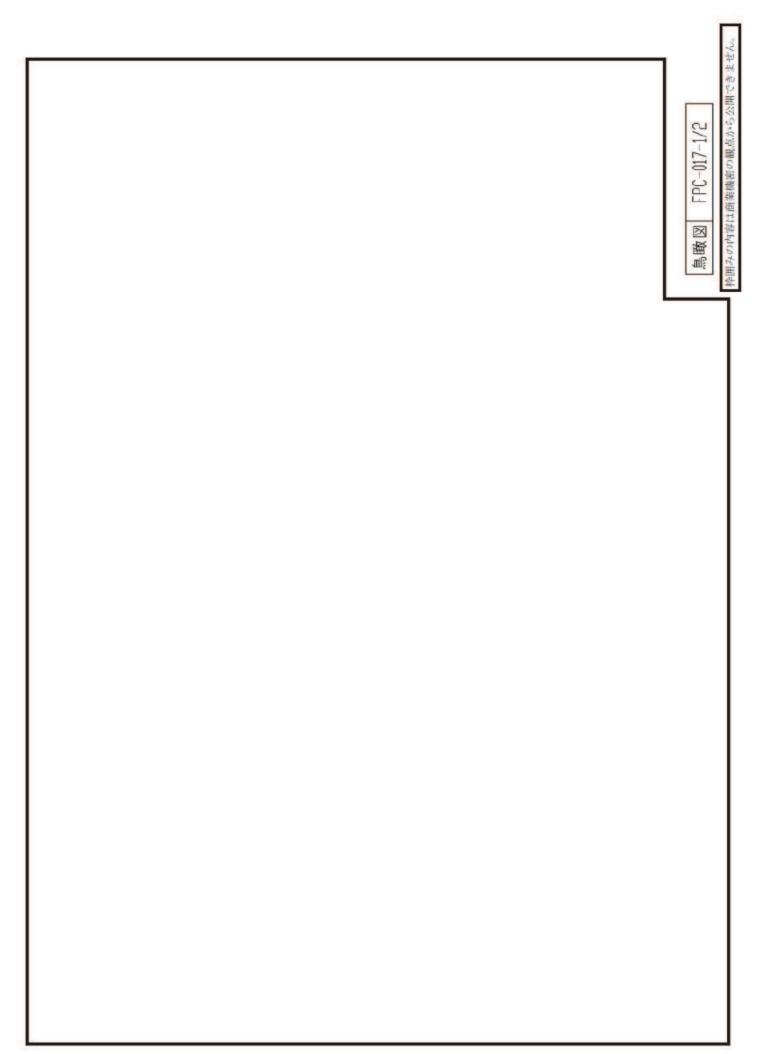


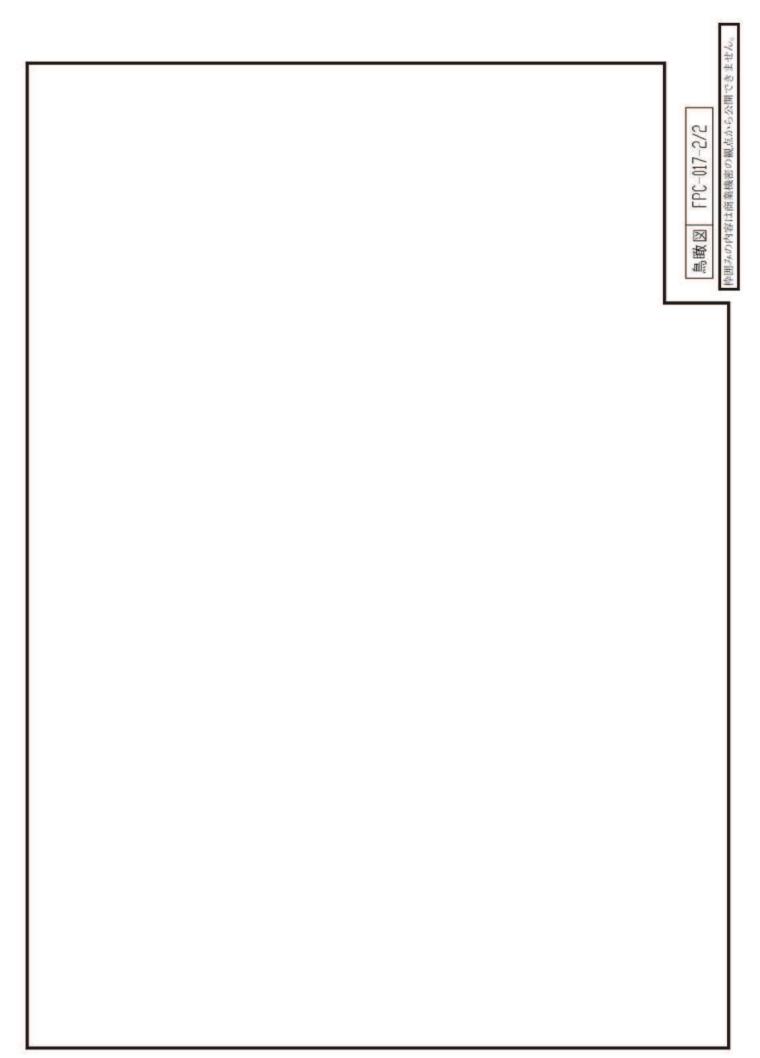


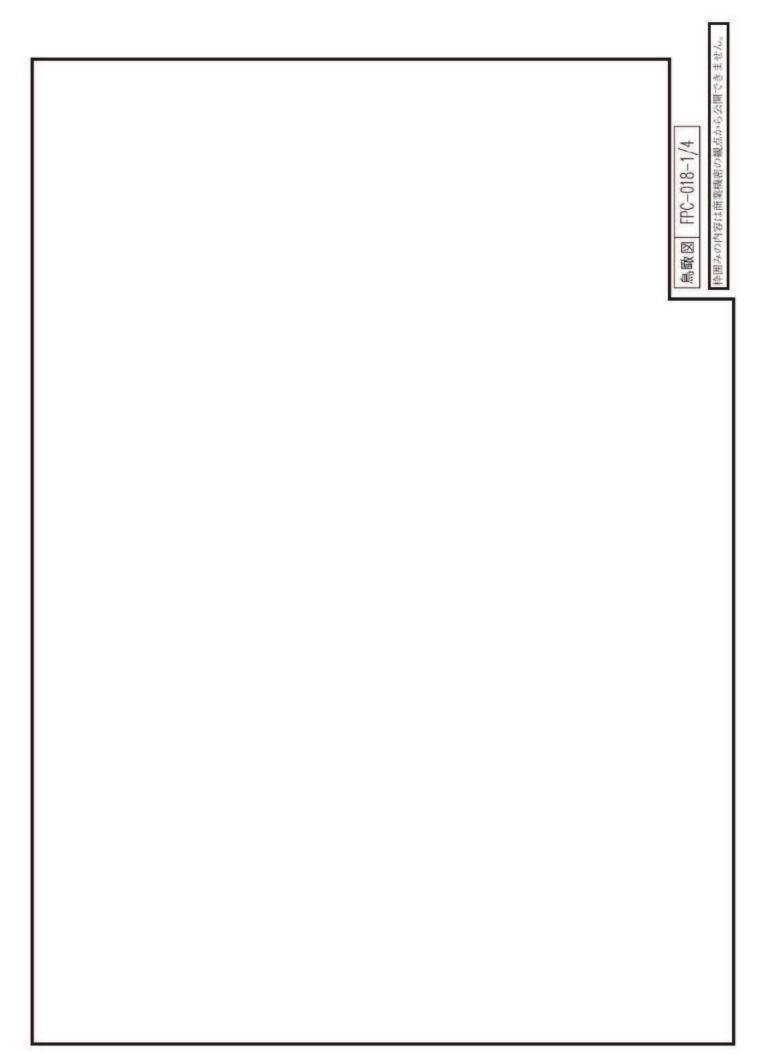


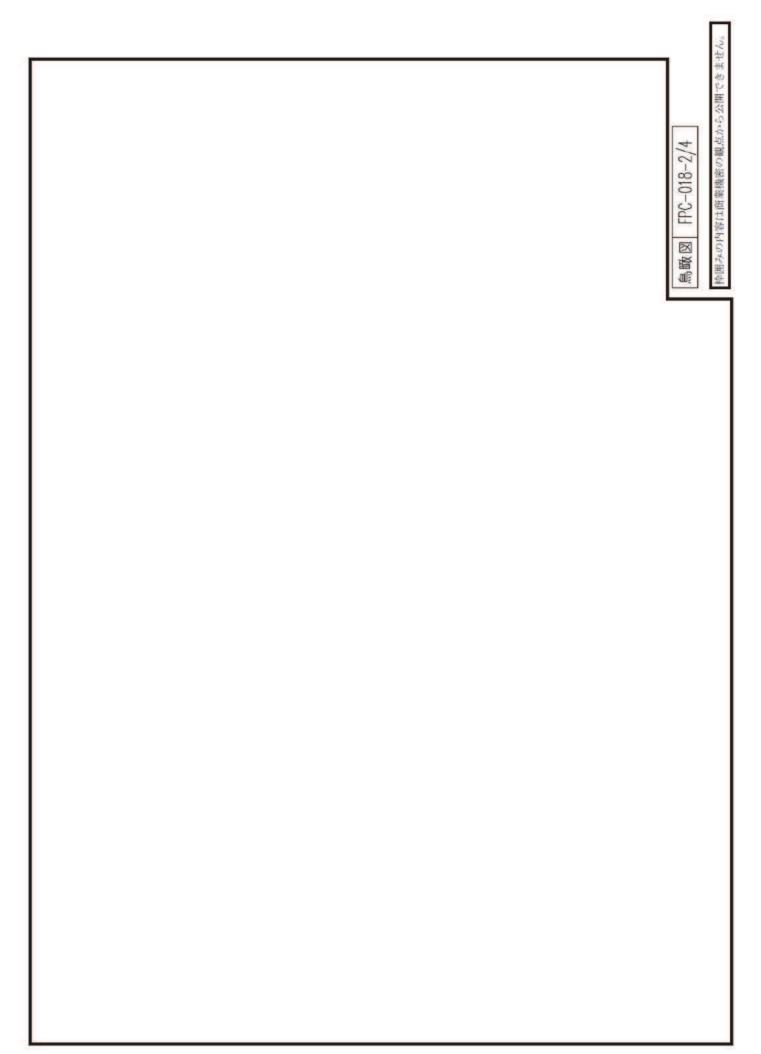


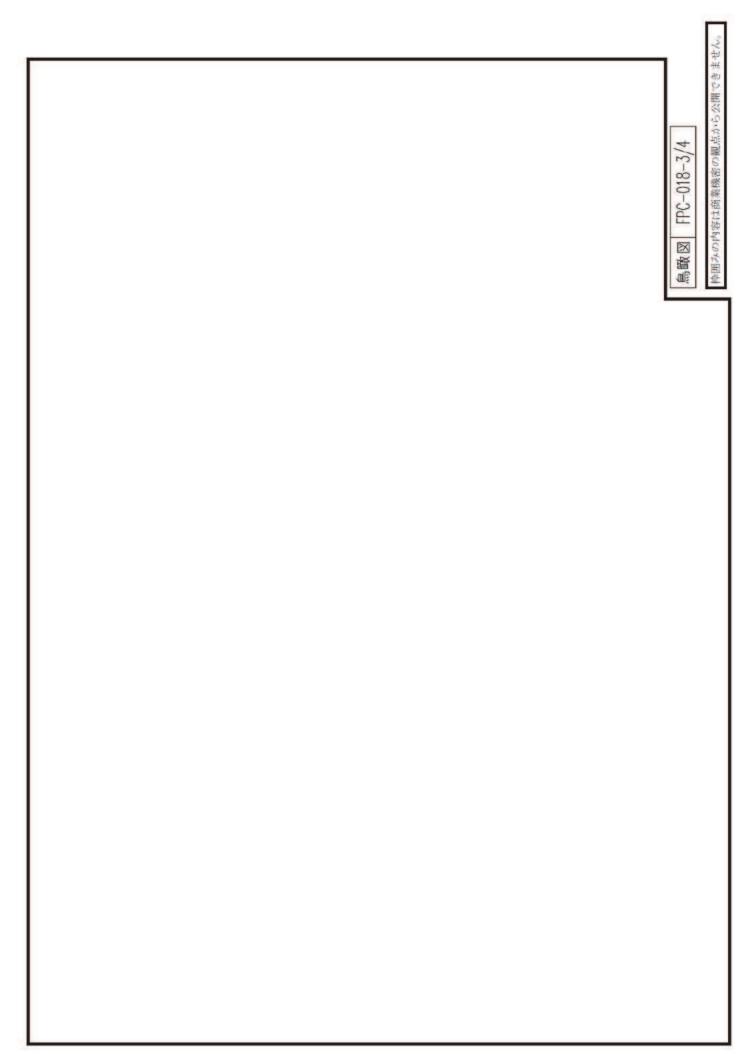


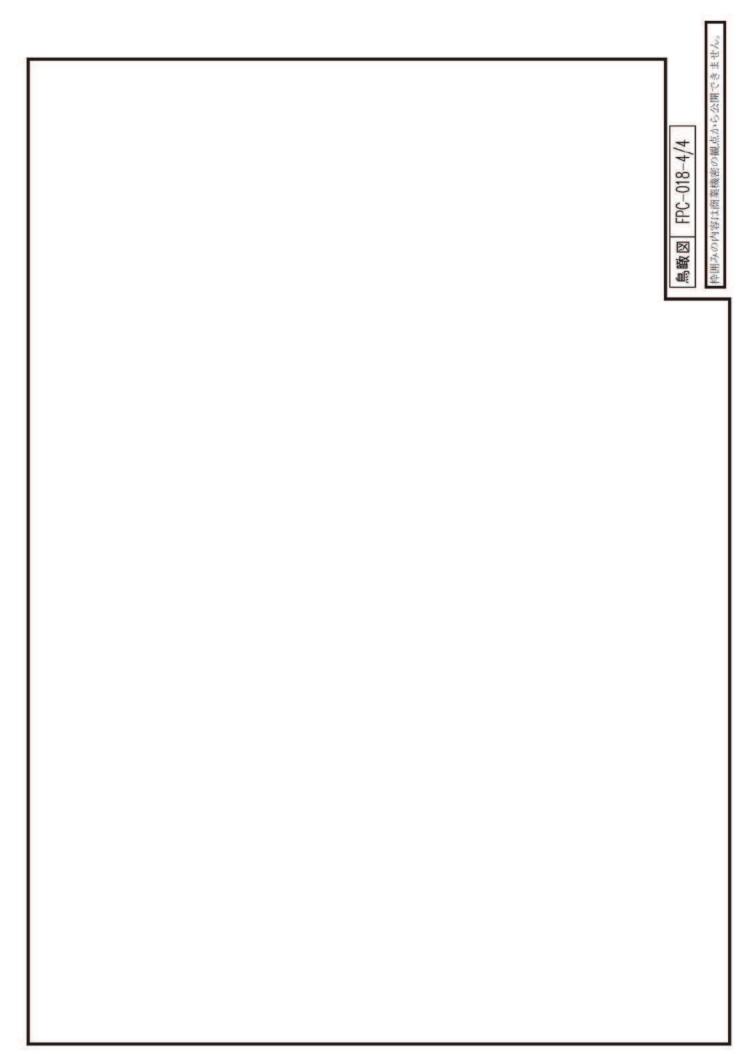


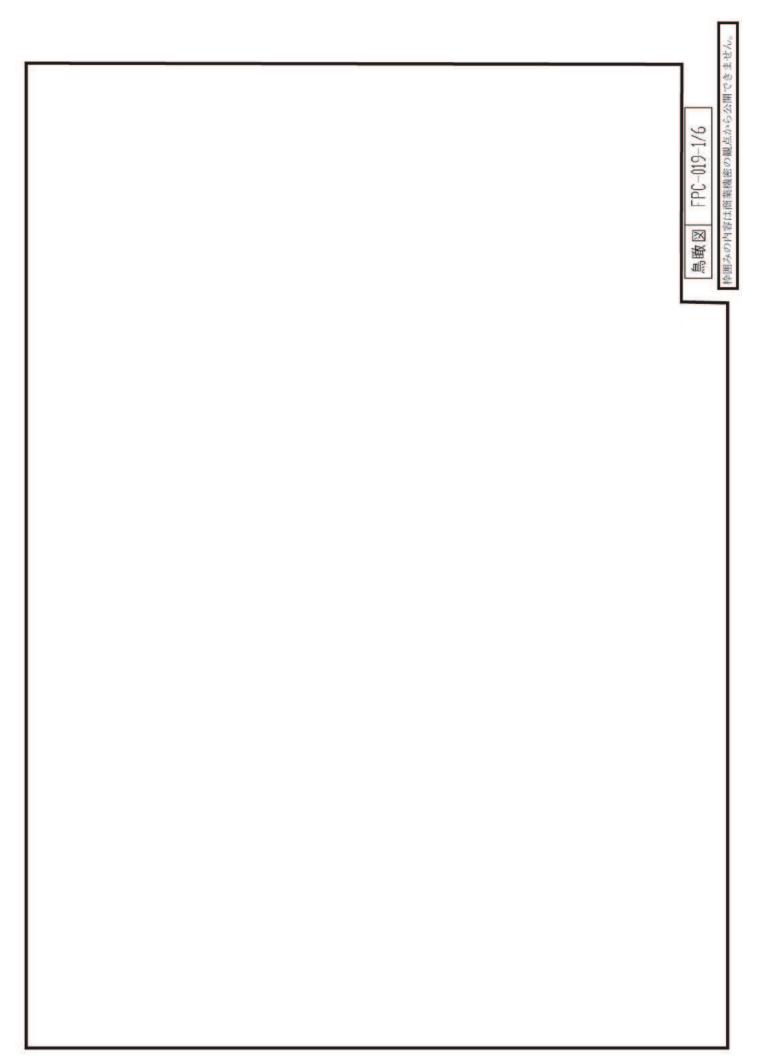


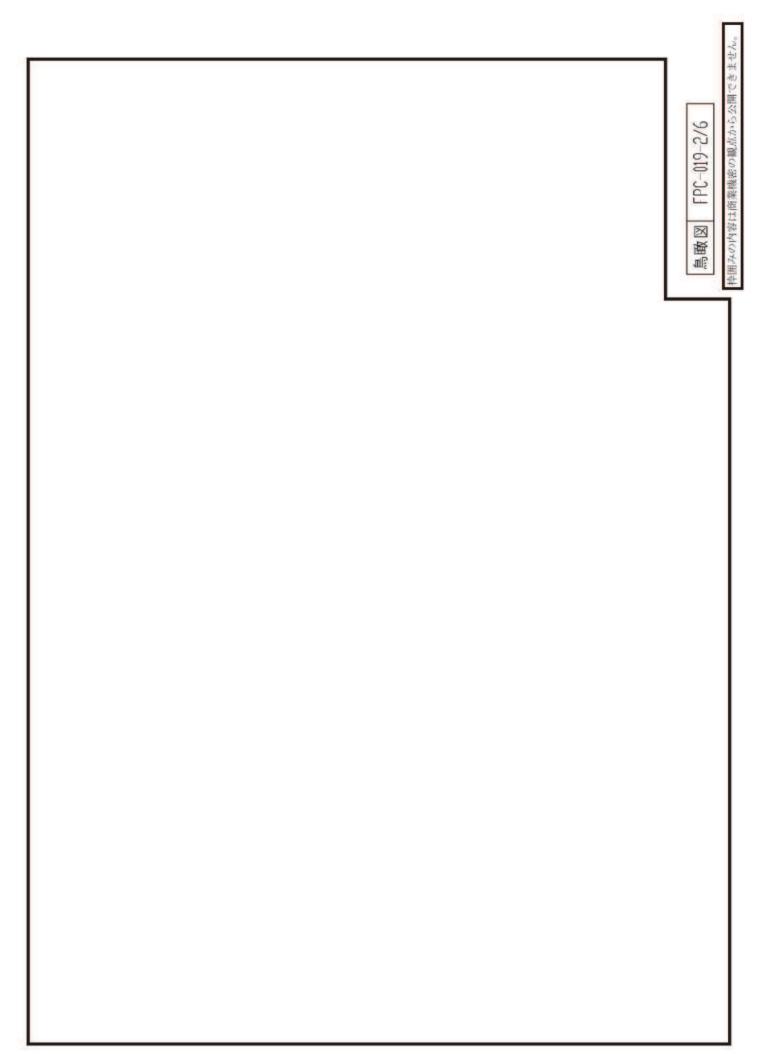


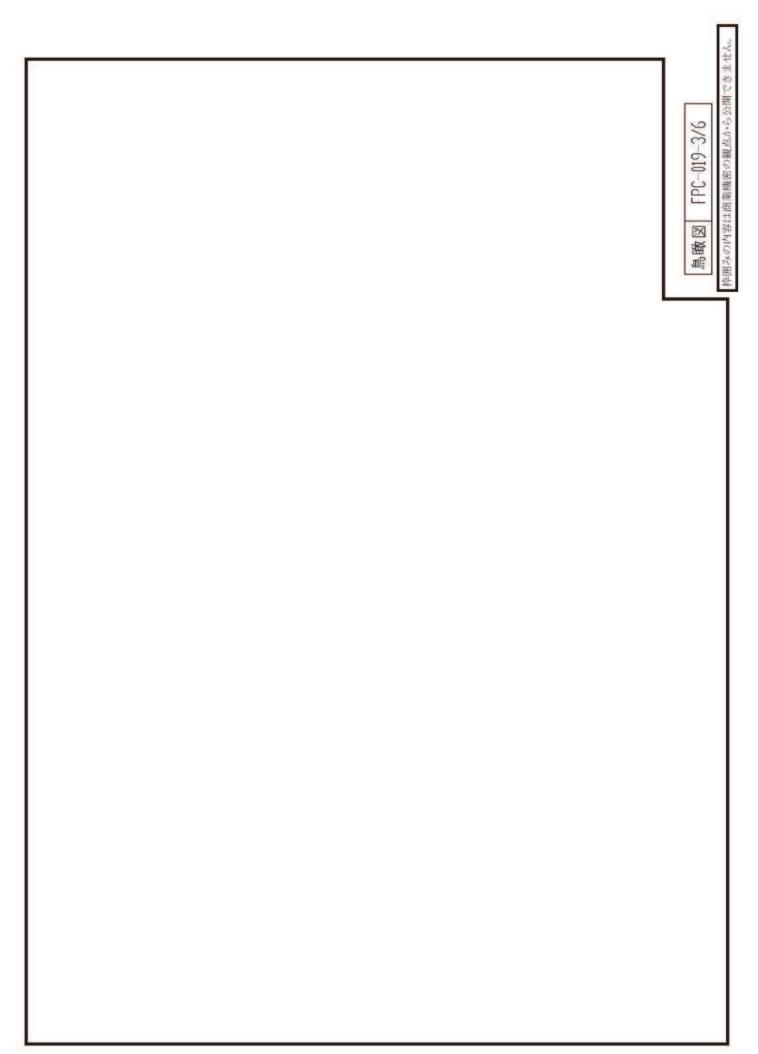


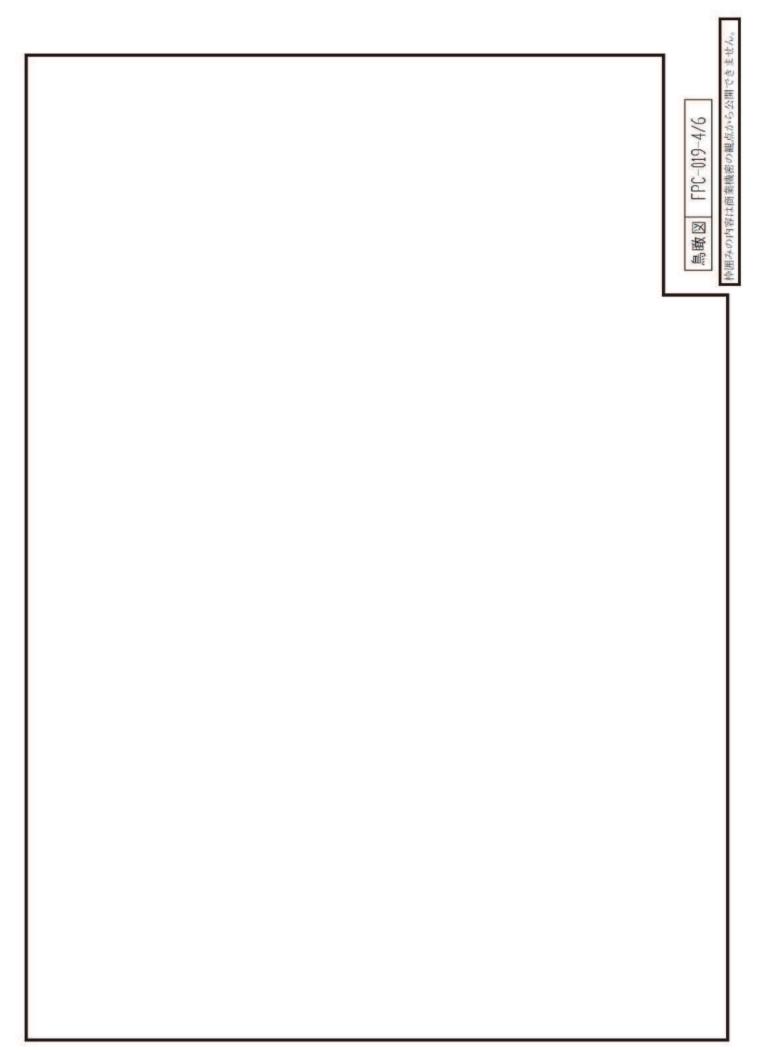


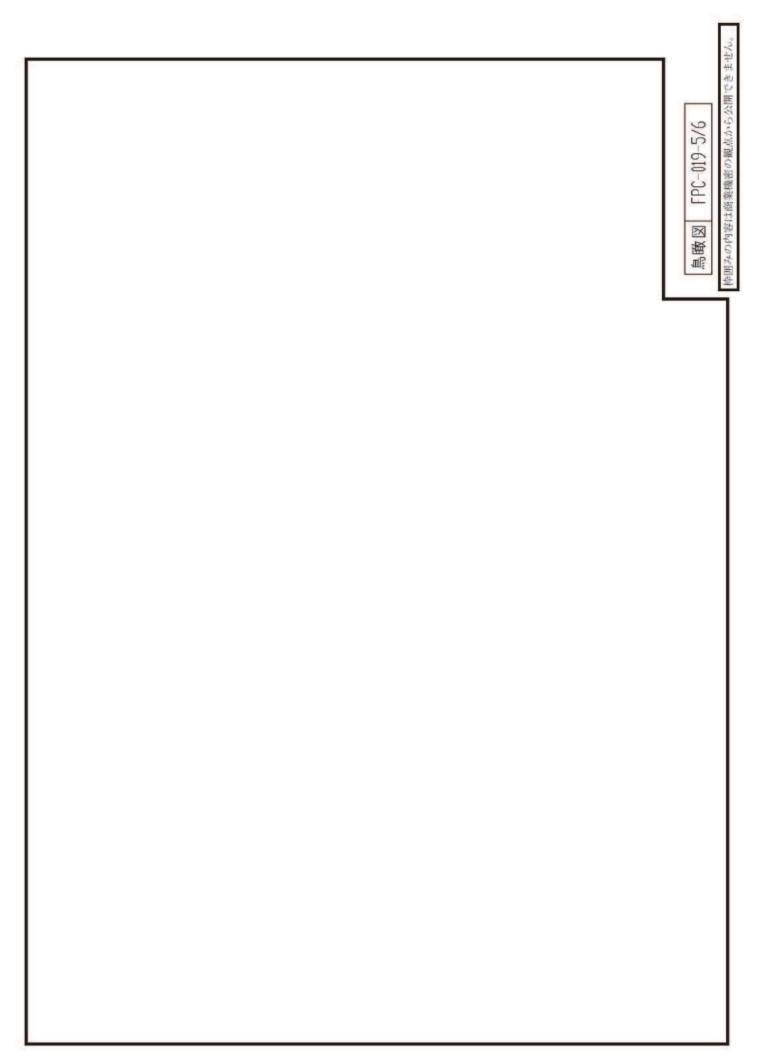


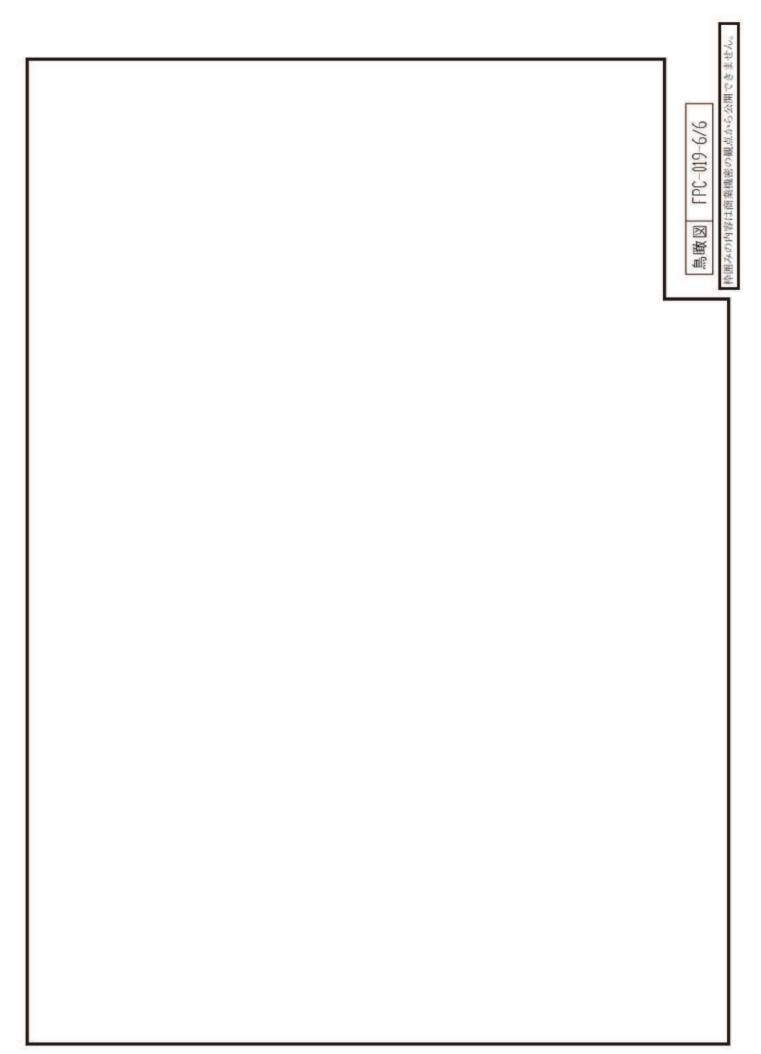












燃料プールスプレイ系の計算モデル

·VI-3-3-2-2-3-1-2 管の応力計算書 (燃料プールスプレイ系)

重大事故等対処設備

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

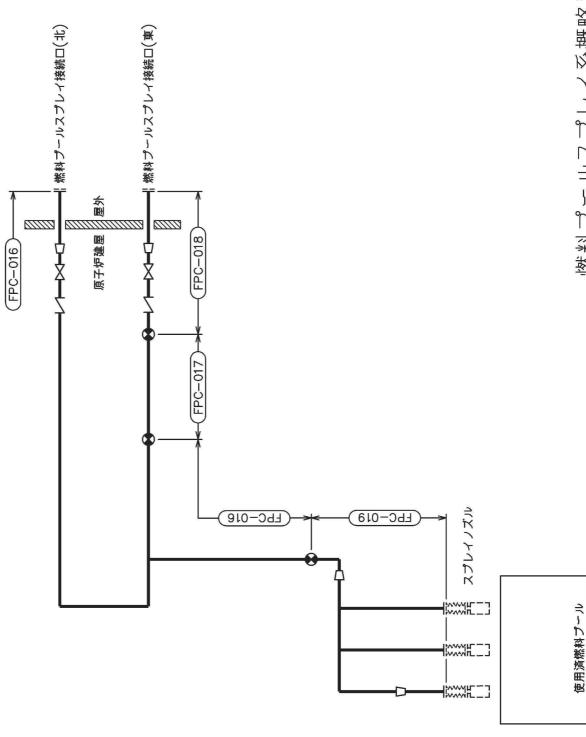
代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を記 載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

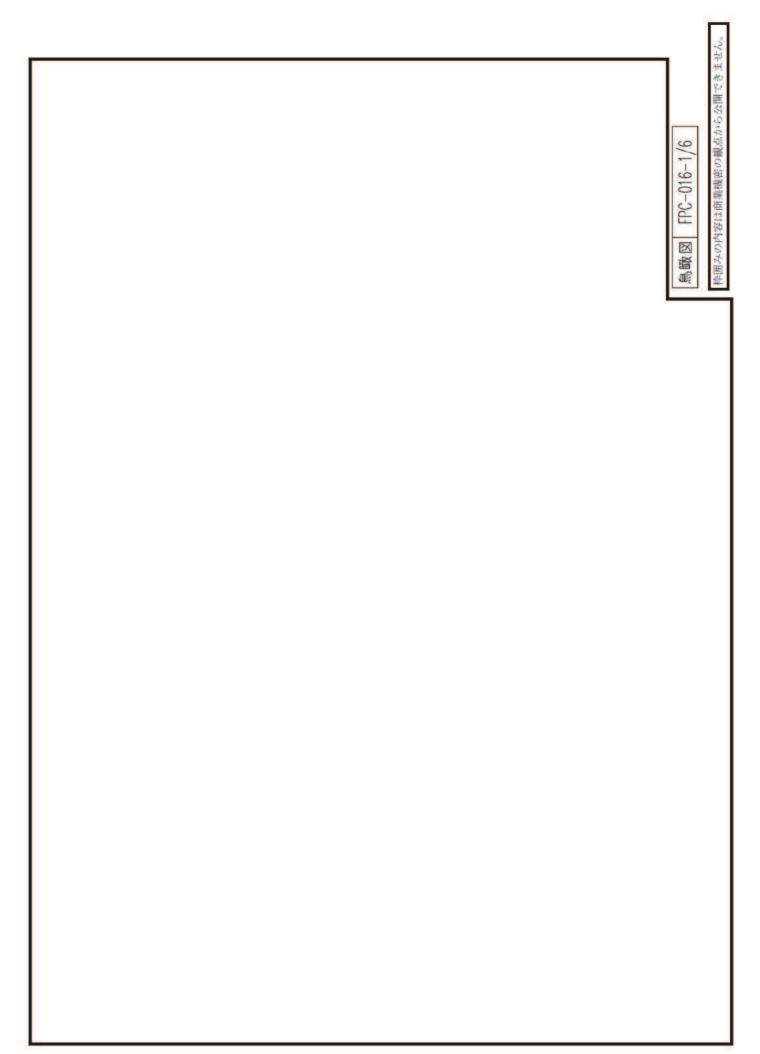
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

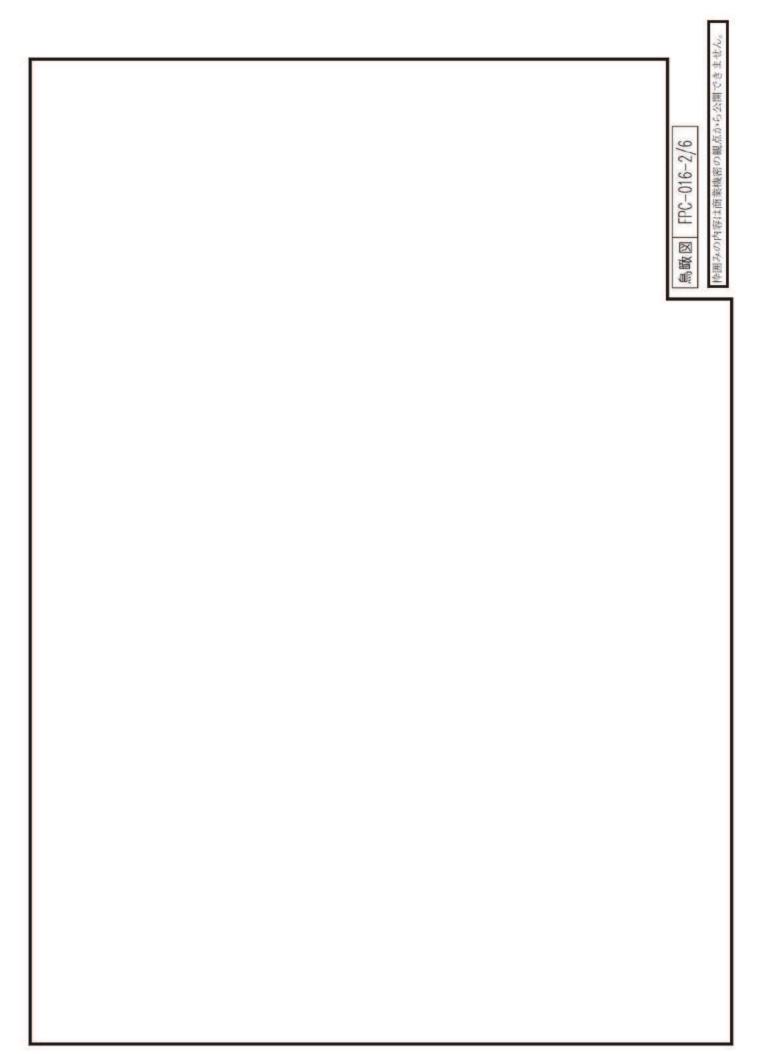
				_			
		代表			I	0	[
.2		世	好好	8.80	9, 25	8.04	9, 25
供用状態 (E) *2	一次応力	許容応力	(MPa)	185	185	185	185
供供		計算応力	(MPa)	21	20	23	20
		評価点		12	21	21	5
供用状態 (E) *1	一次応力	# 47	Š		I	0	1
		裕度		7.33	7.70	69 .9	7.70
		許容応力	(MPa)	154	154	154	154
供		計算応力	(MPa)	21	20	23	20
		評価点		12	21	21	5
	10000000000000000000000000000000000000			FPC-016	FPC-017	FPC-018	FPC-019
		NO.		П	2	3	4

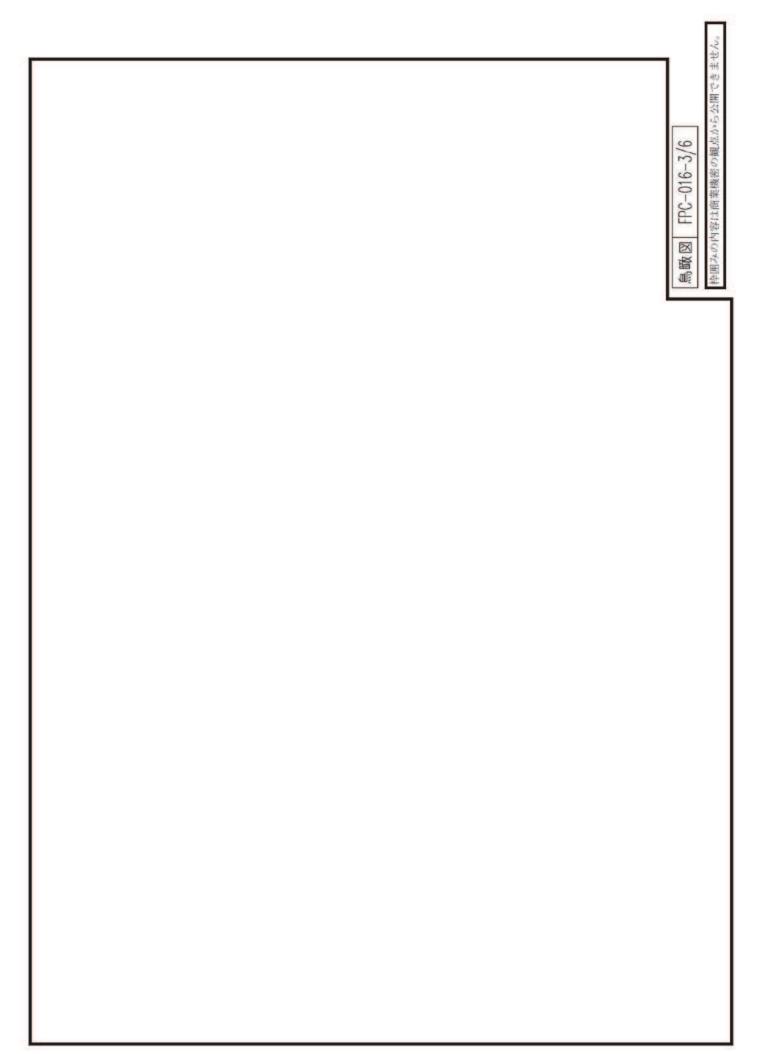
注記*1:設計・建設規格 PPC-3520(1)に基づき計算した一次応力を示す。

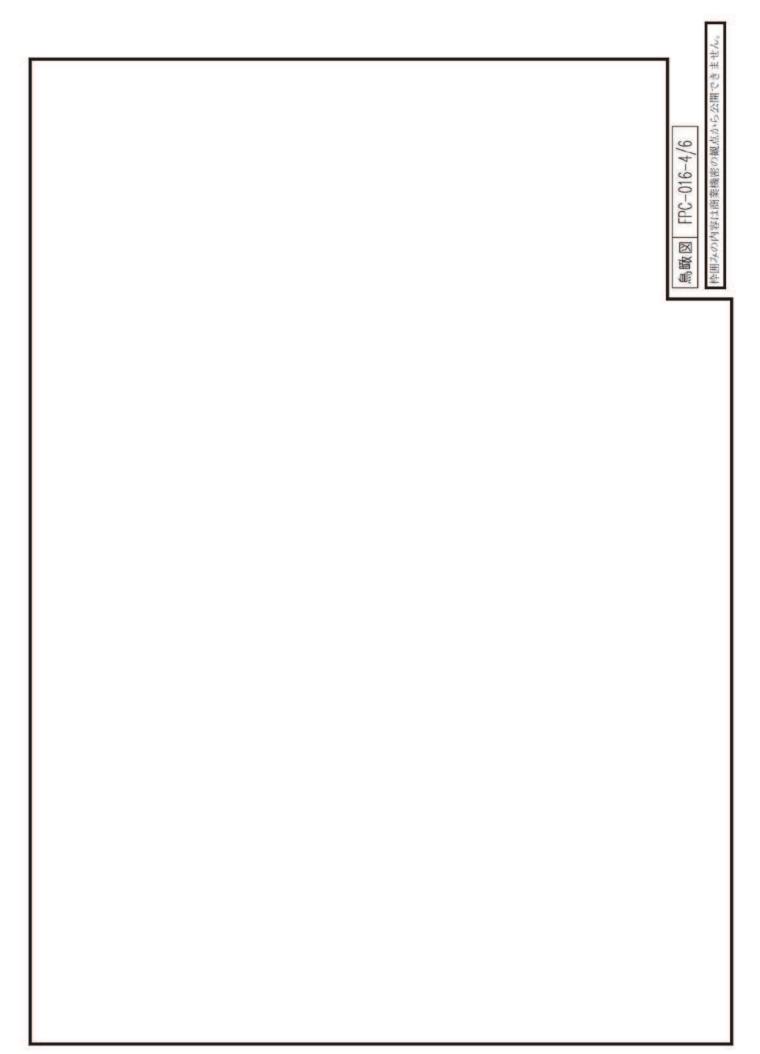
*2:設計・建設規格 PPC-3520(2)に基づき計算した一次応力を示す。

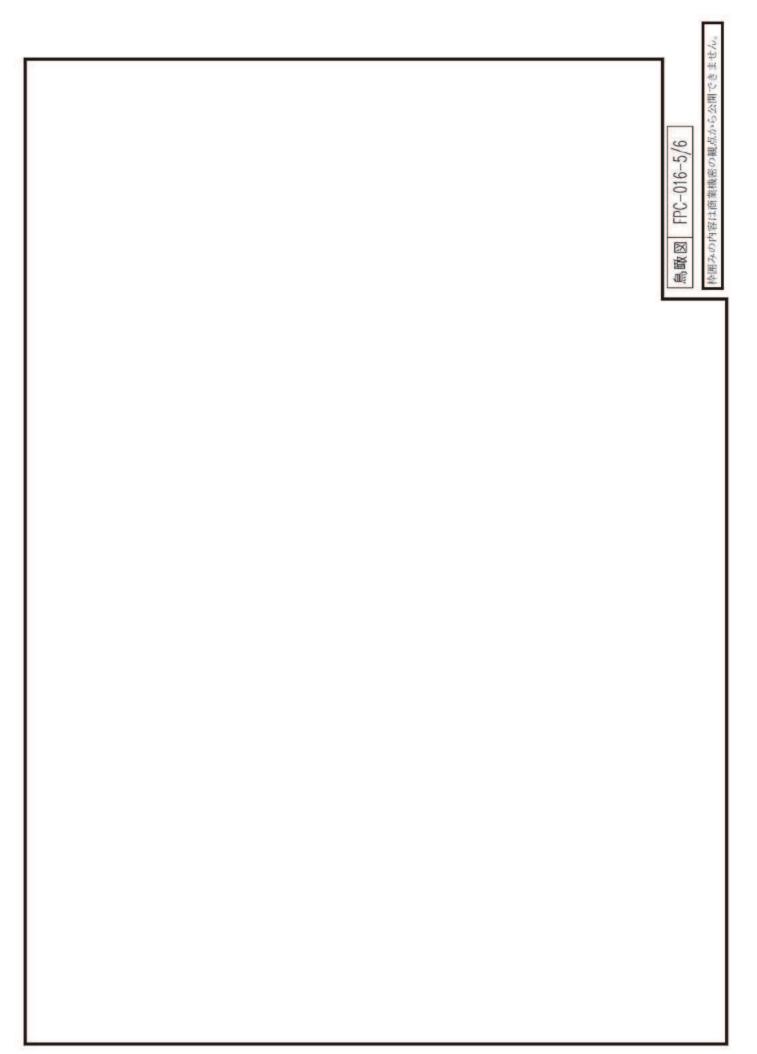


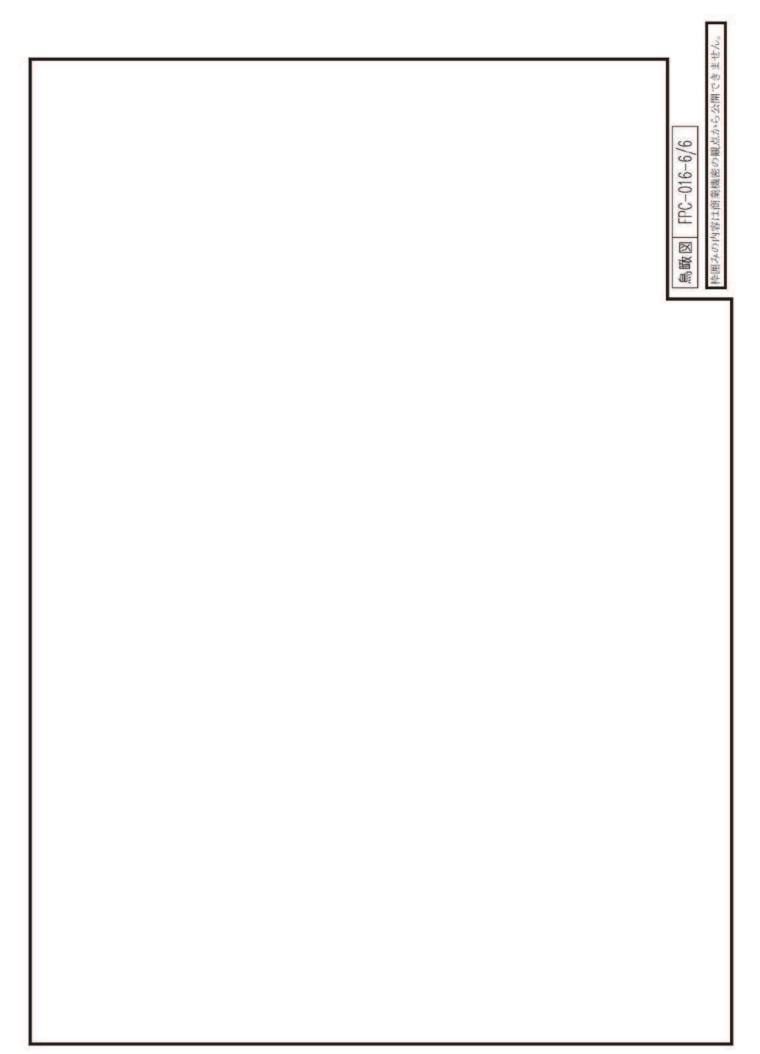


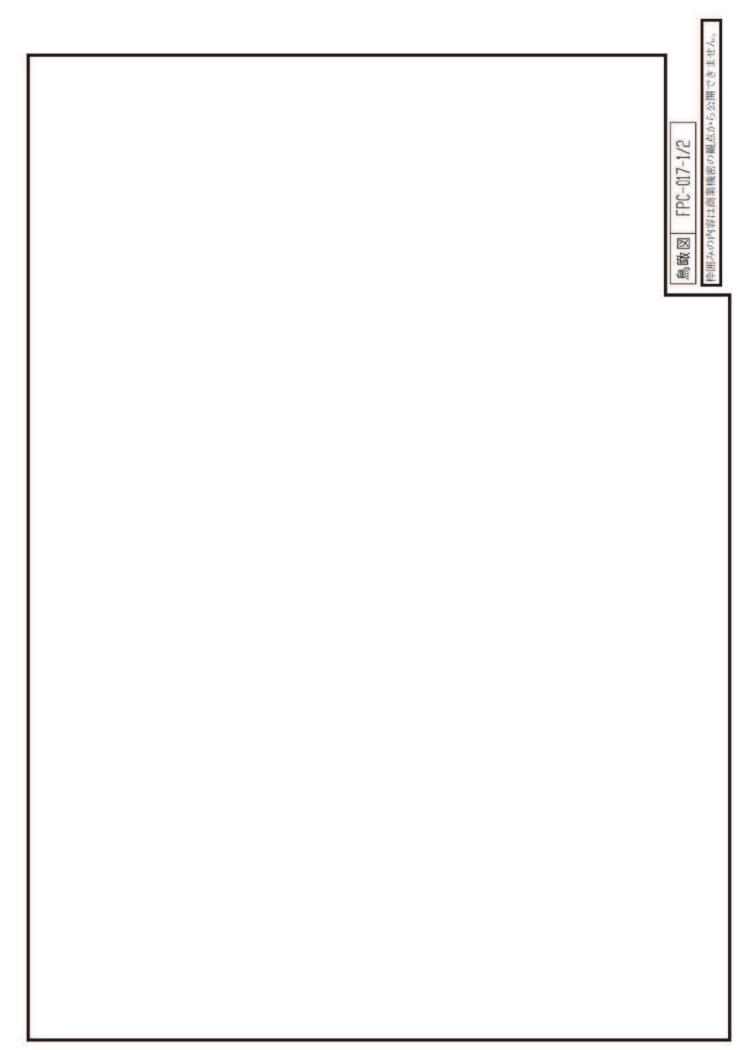


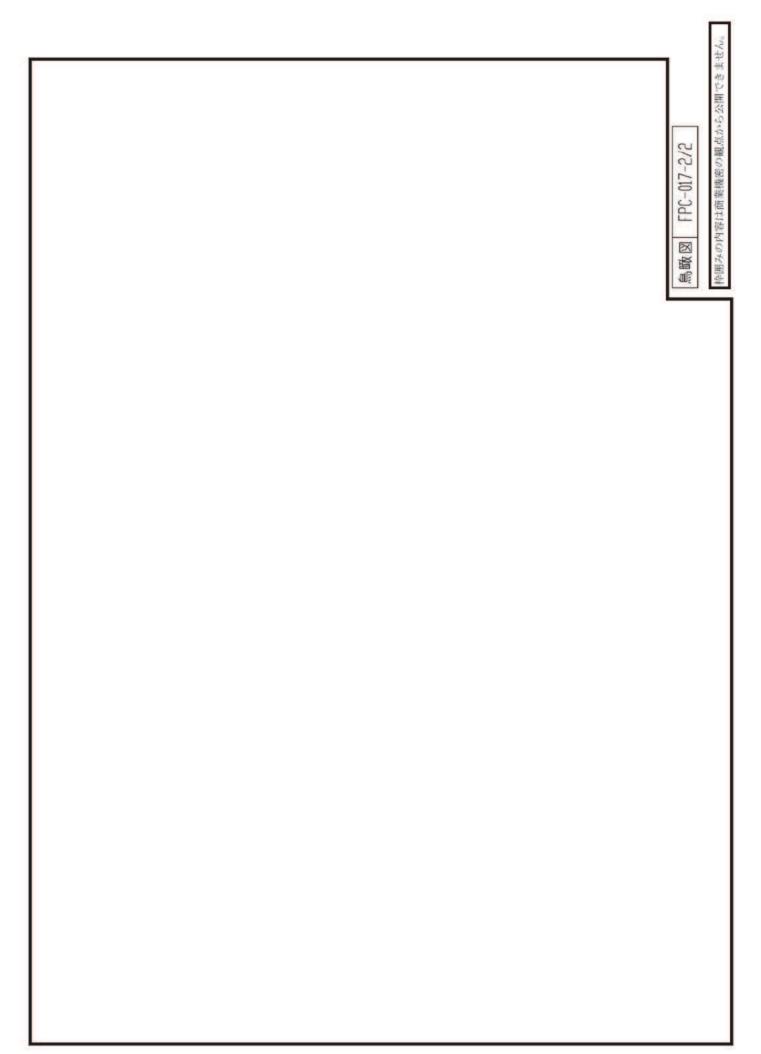


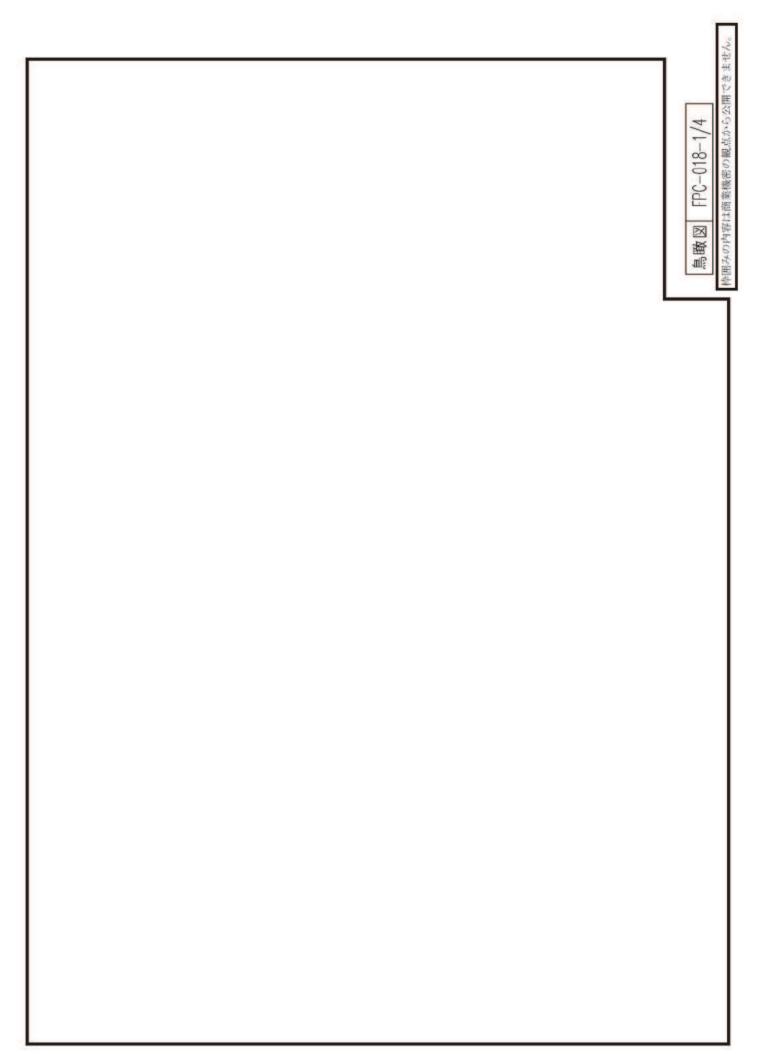


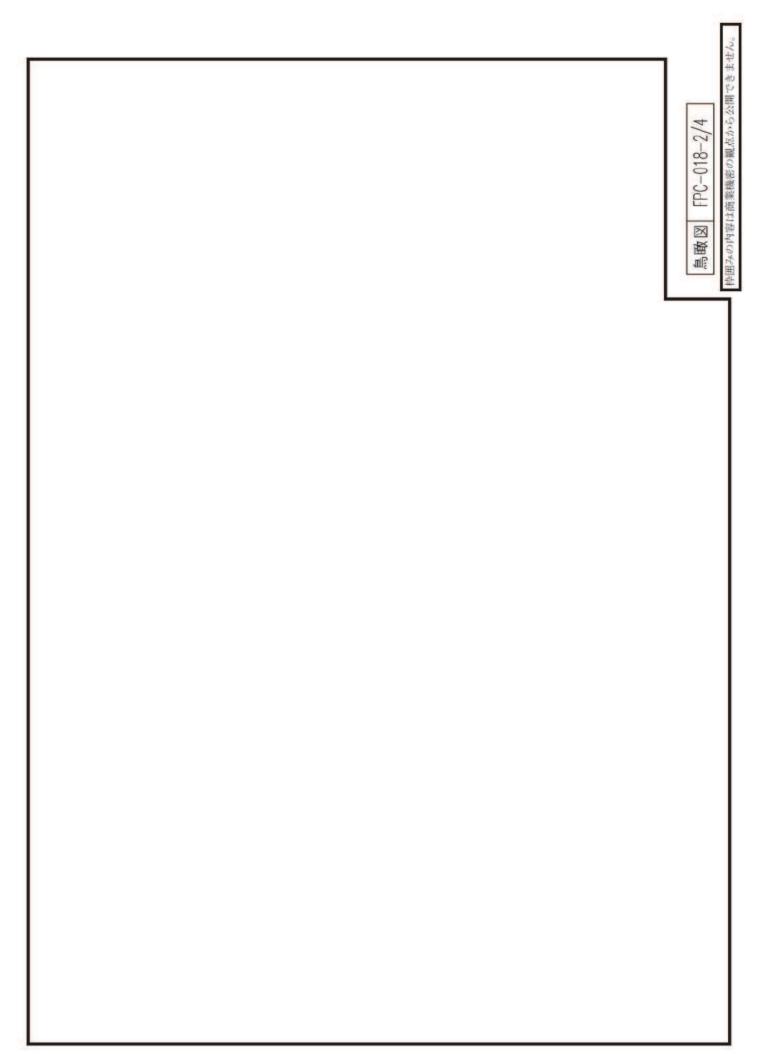


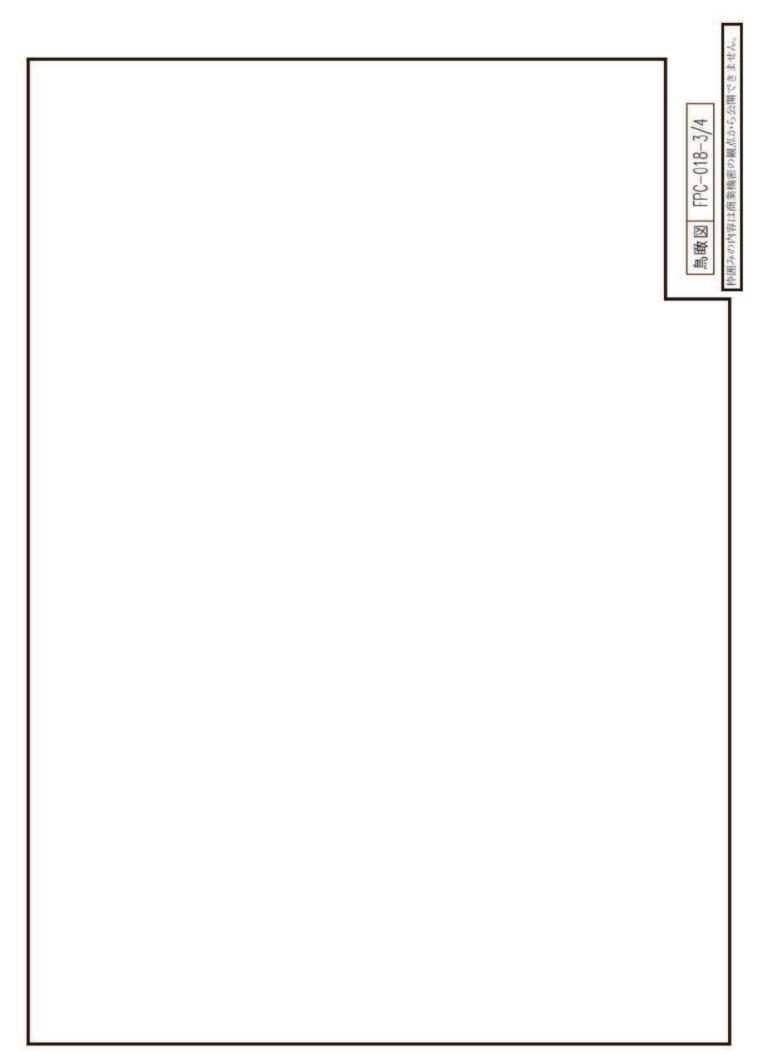


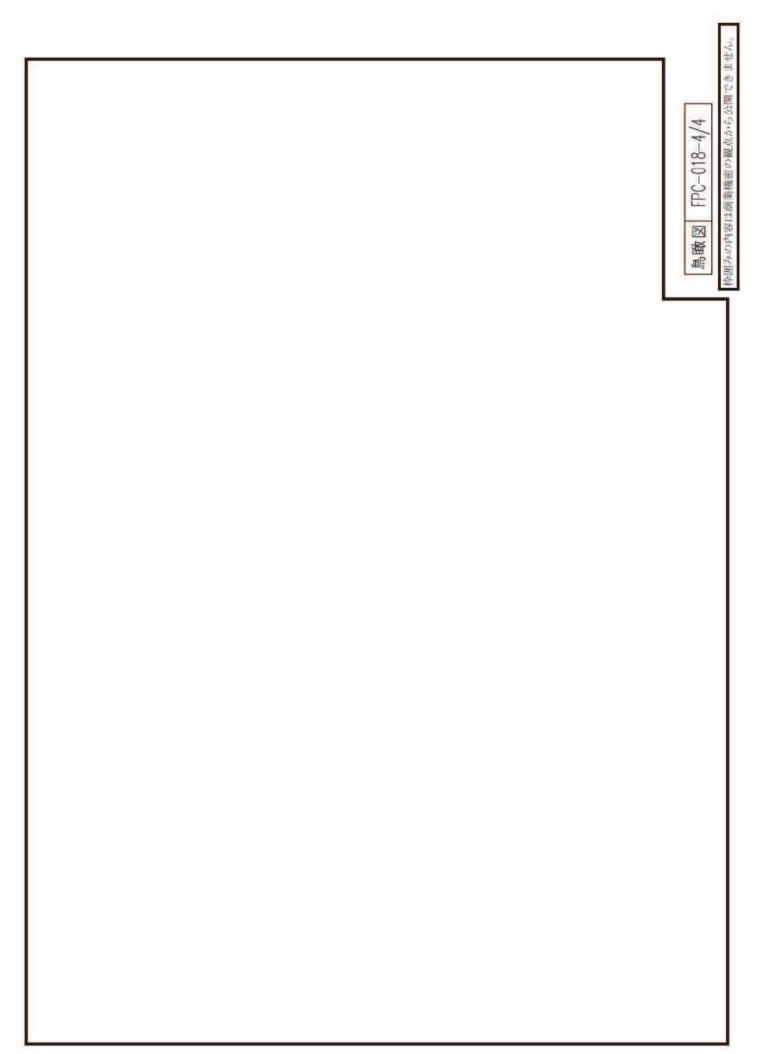


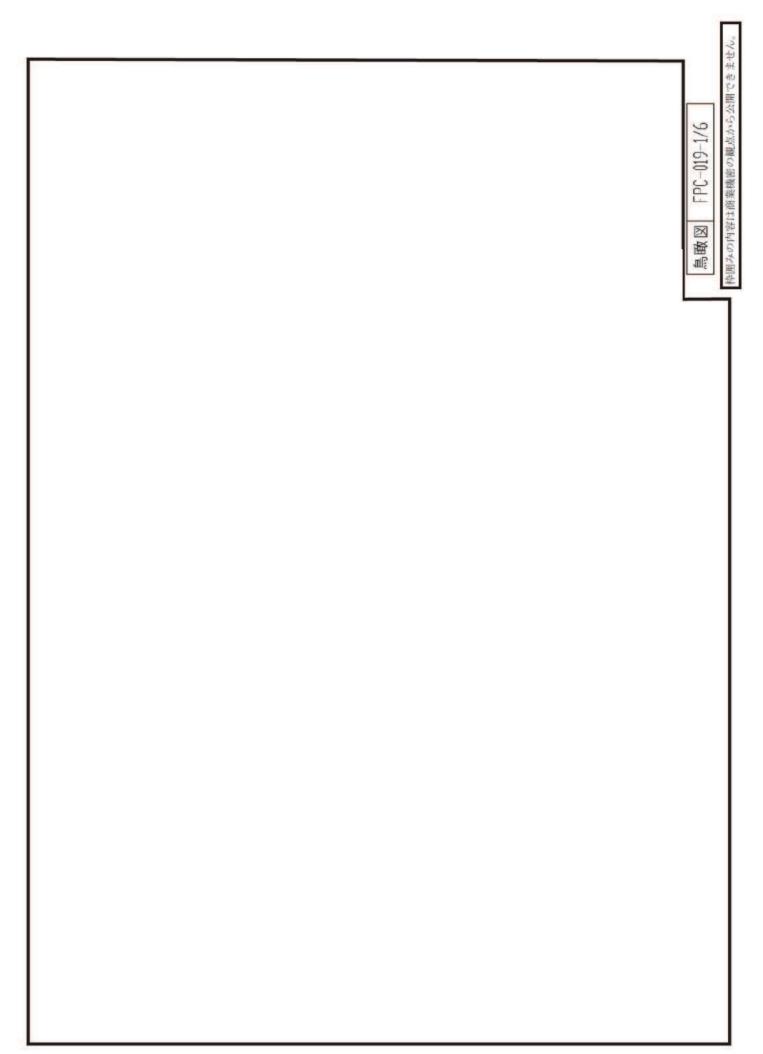


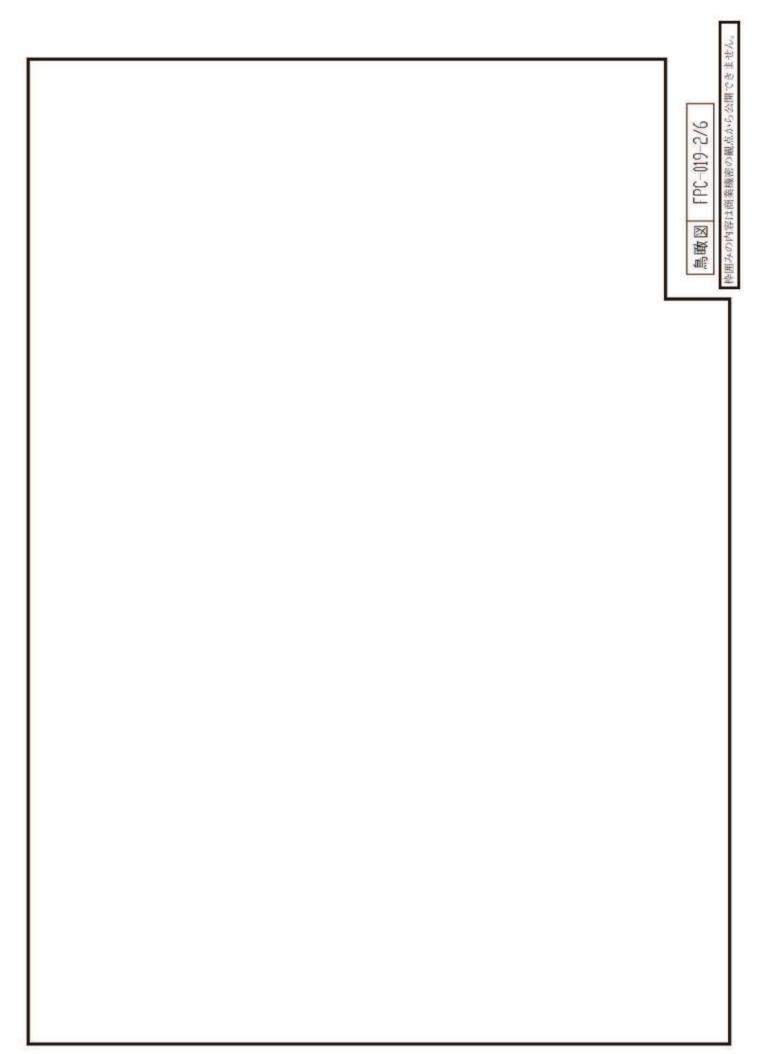


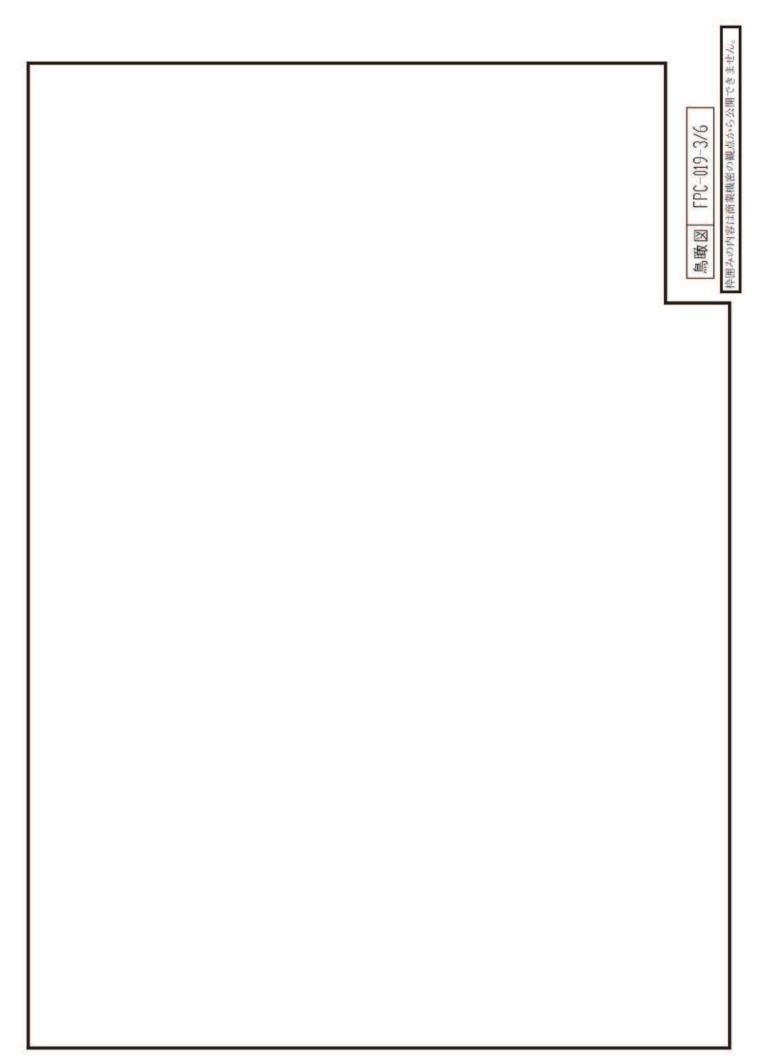


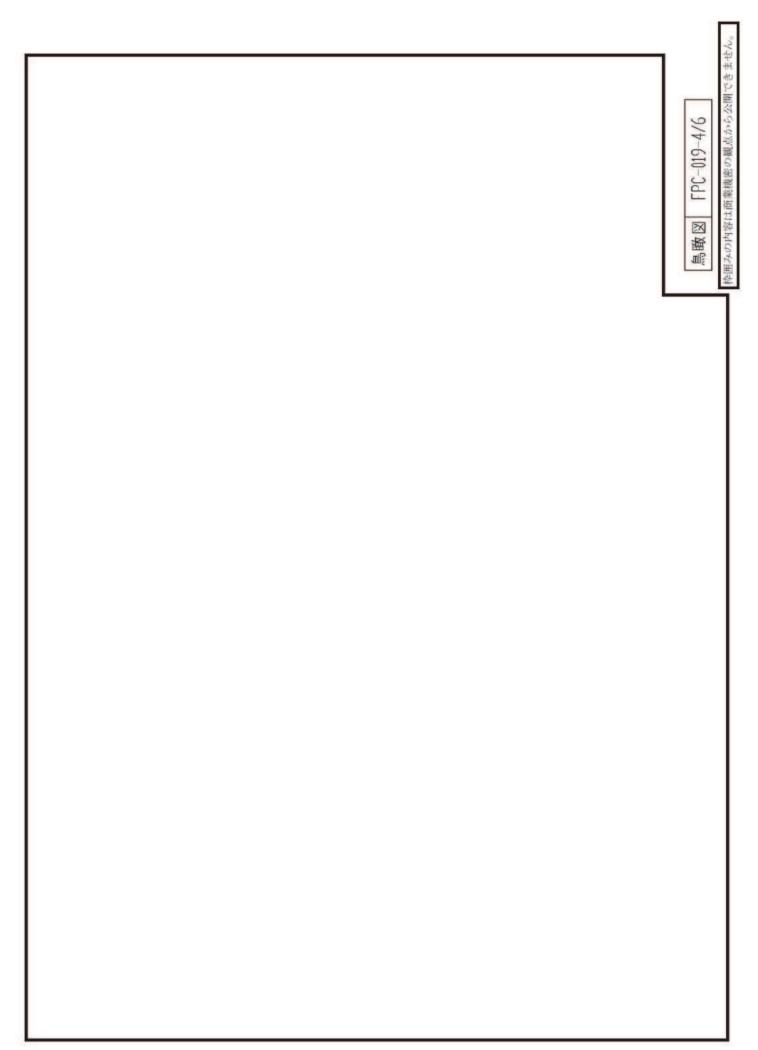


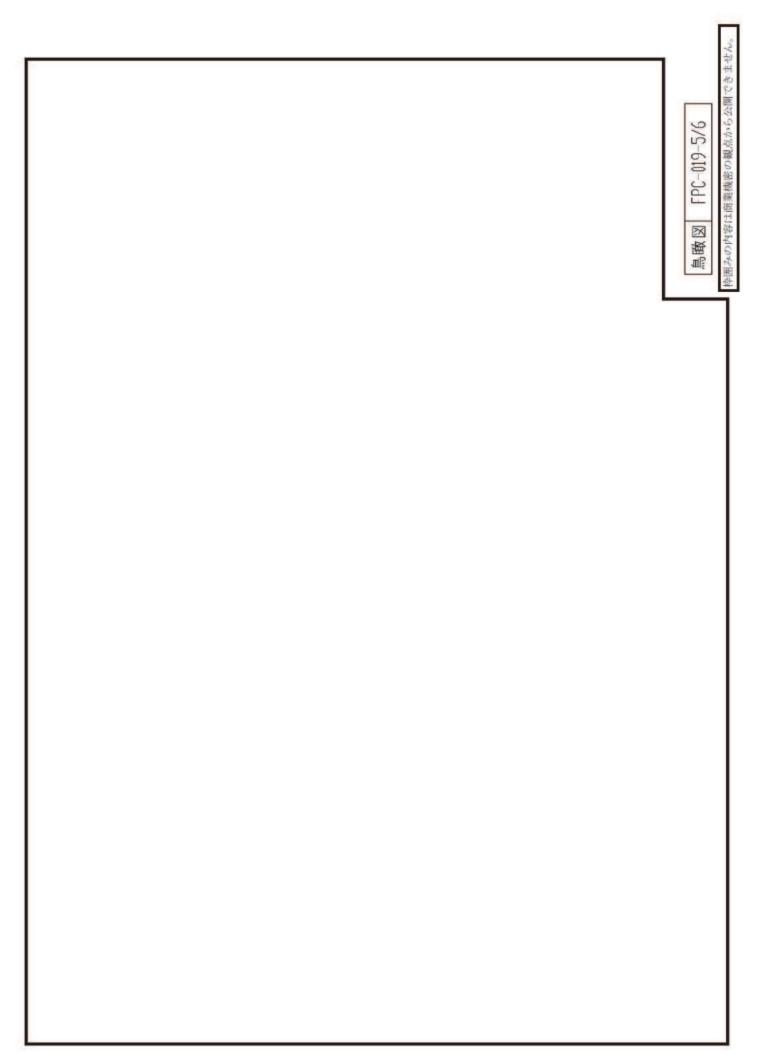


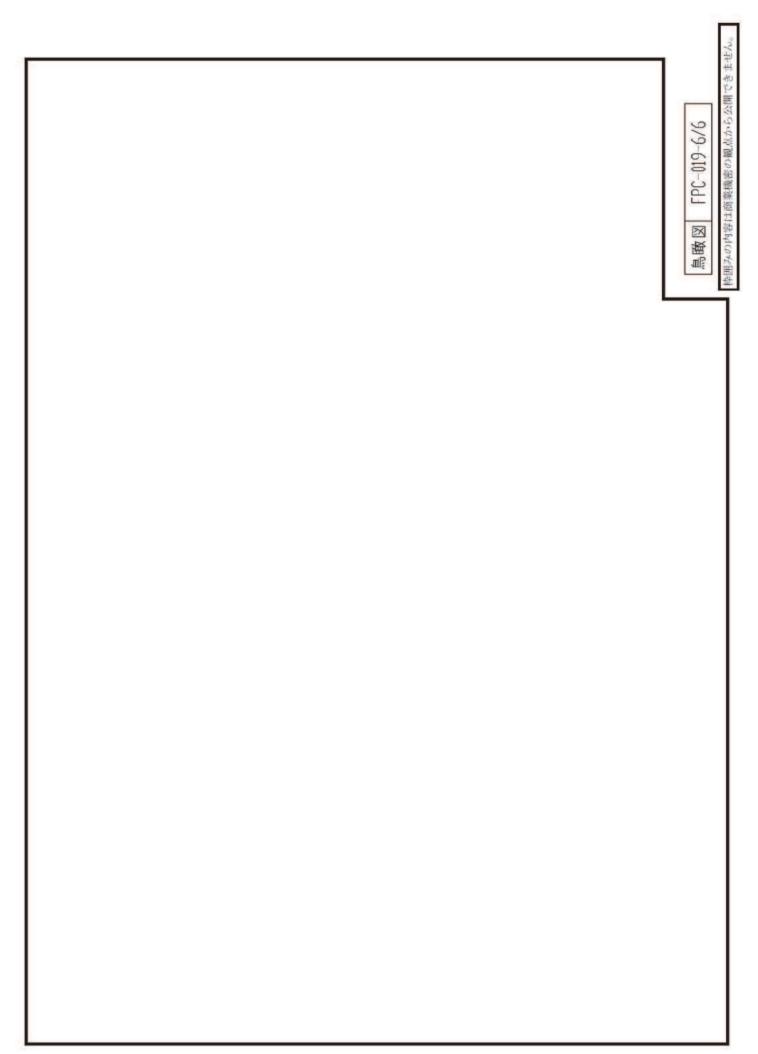












4. 原子炉再循環系の計算モデル

・VI-2-5-2-1-1 管の耐震性についての計算書(原子炉再循環系)

設計基準対象施設

4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を 記載している。下表に、代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(クラス1管)

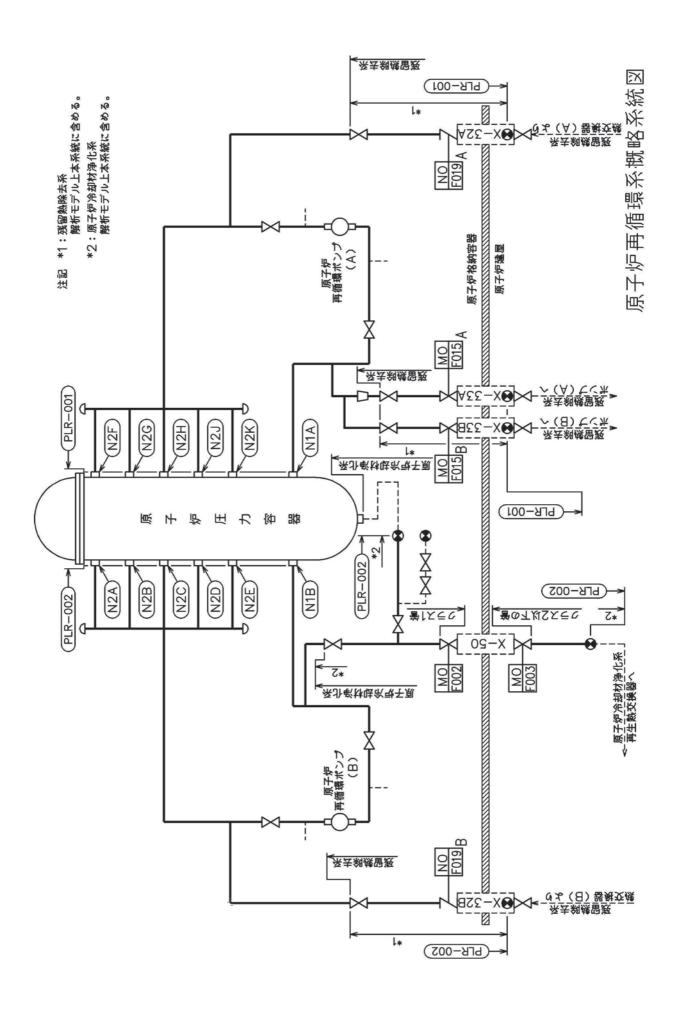
		17 147	ſ	
	疲労評価	代表	Ĺ	0
許容応力状態 IVAS		被緊然	0.2091	0.3181
		評価点	106	222
	一次十二次応力*	代表	0	Į
		裕度	0.53	0.53
		許容 応力 (MPa)	354	354
		計算 応力 (MPa)	663	657
F容応)		評価点	9	35
ille.	一次応力	代表	-	0
		裕度	1, 31	1.25
		許容 応力 (MPa)	354	354
		計算 応力 (MPa)	270	282
		評価点	9	29
	一次応力	代表	[0
許容応力状態 IIIAS		裕度	1.36	1.32
		許容 応力 (MPa)	265	265
		計算 応力 (MPa)	194	200
		評価点	9	29
	and the first	PLR-001	PLR-002	
	;	1	2	

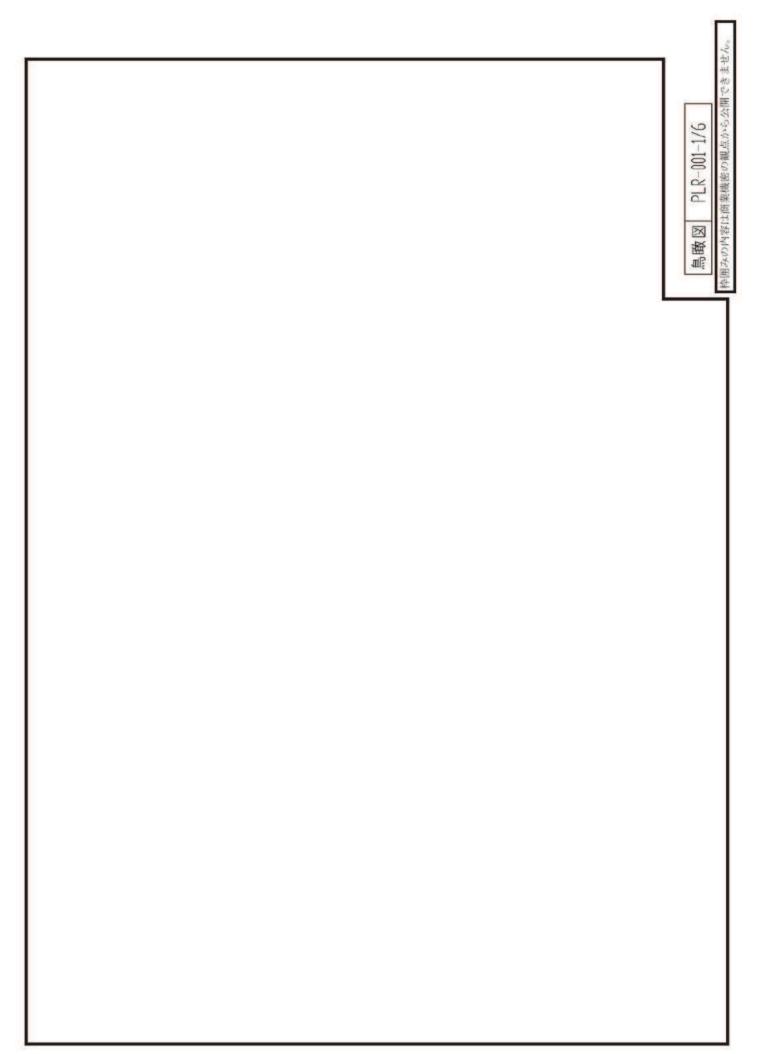
注記 $*: \Pi_A S$ の一次+二次応力の許容値は $\Pi_A S$ と同様であることから,地震荷重が大きい $\Pi_A S$ の一次+二次応力裕度最小を代表とする。

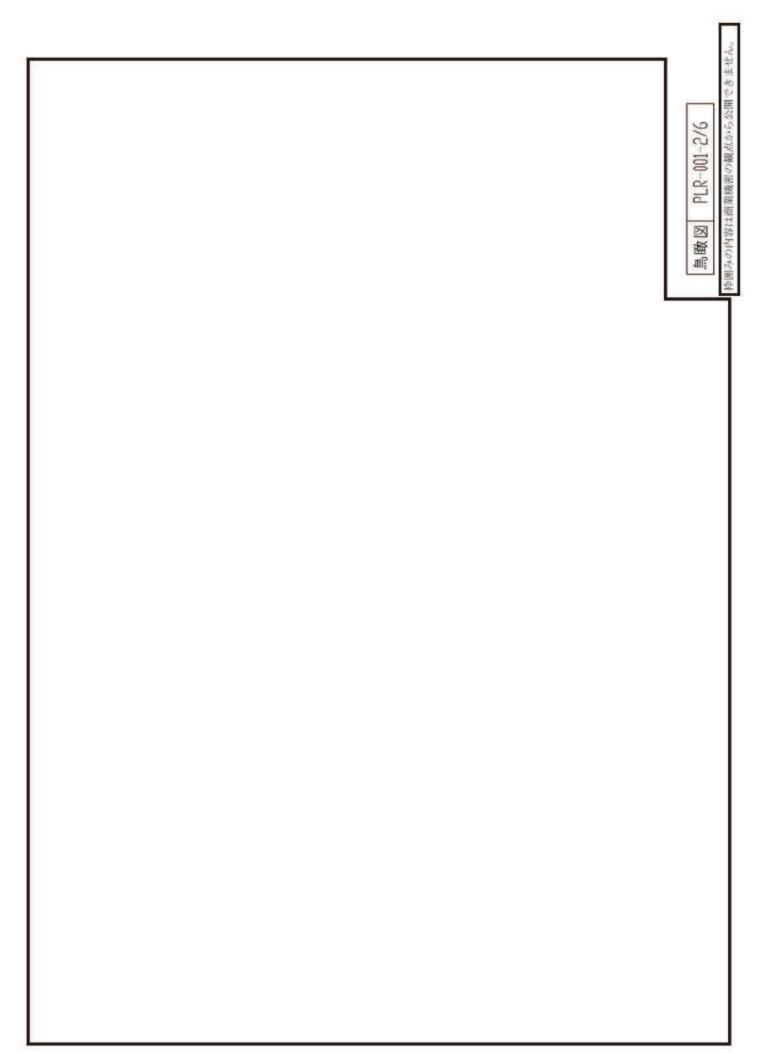
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(クラス2以下の管)

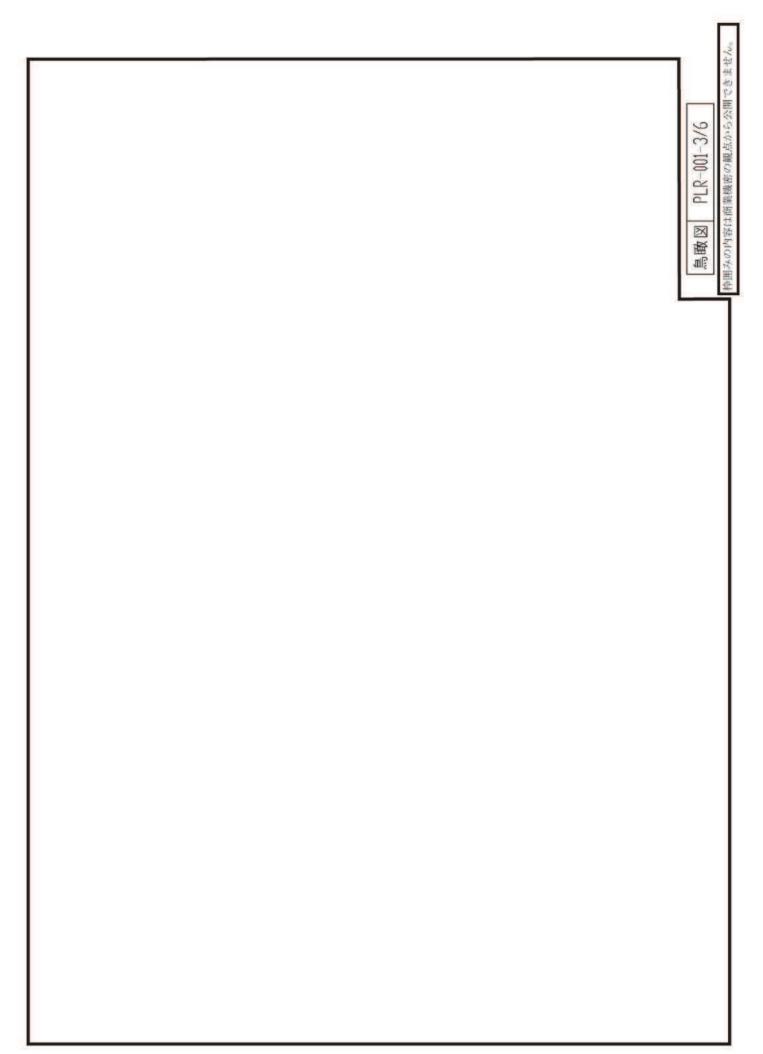
	_		_
許容応力状態 IVAS	疲労評価	代表	Ţ
		海 森 養 養	ļ
		評価点	1
	一次十二次応力*	代表	0
		裕度	1.15
		許容 応力 (MPa)	364
		計算 応力 (MPa)	314
		評価点	137
	一次応力	代表	0
		裕度	1.87
		許容 応力 (MPa)	363
		計算 応力 (MPa)	194
		評価点	137
III _A S	一次応力	代表	0
		裕度	1.44
		許容 応力 (MPa)	182
許容応力狀態		計算 応力 (MPa)	126
		評価点	137
	PLR-002		
	ī		

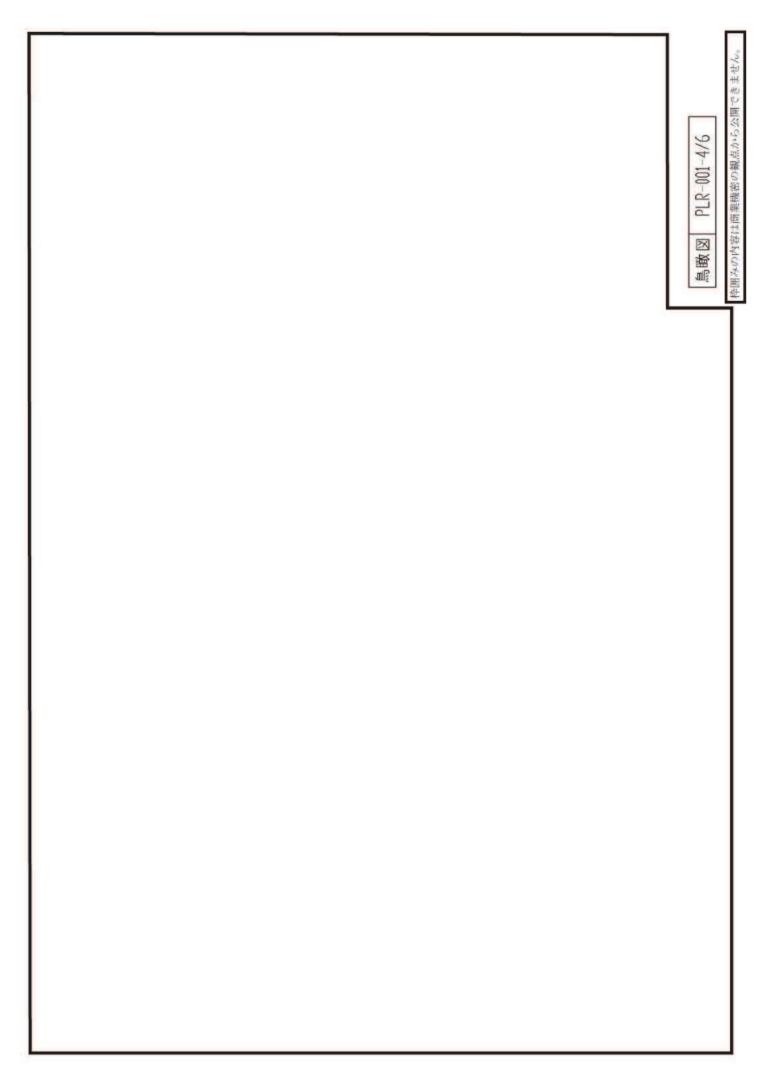
注記 $*: \Pi_A S$ の一次+二次応力の許容値は $\Pi_A S$ と同様であることから,地震荷重が大きい $\Pi_A S$ の一次+二次応力裕度最小を代表とする。

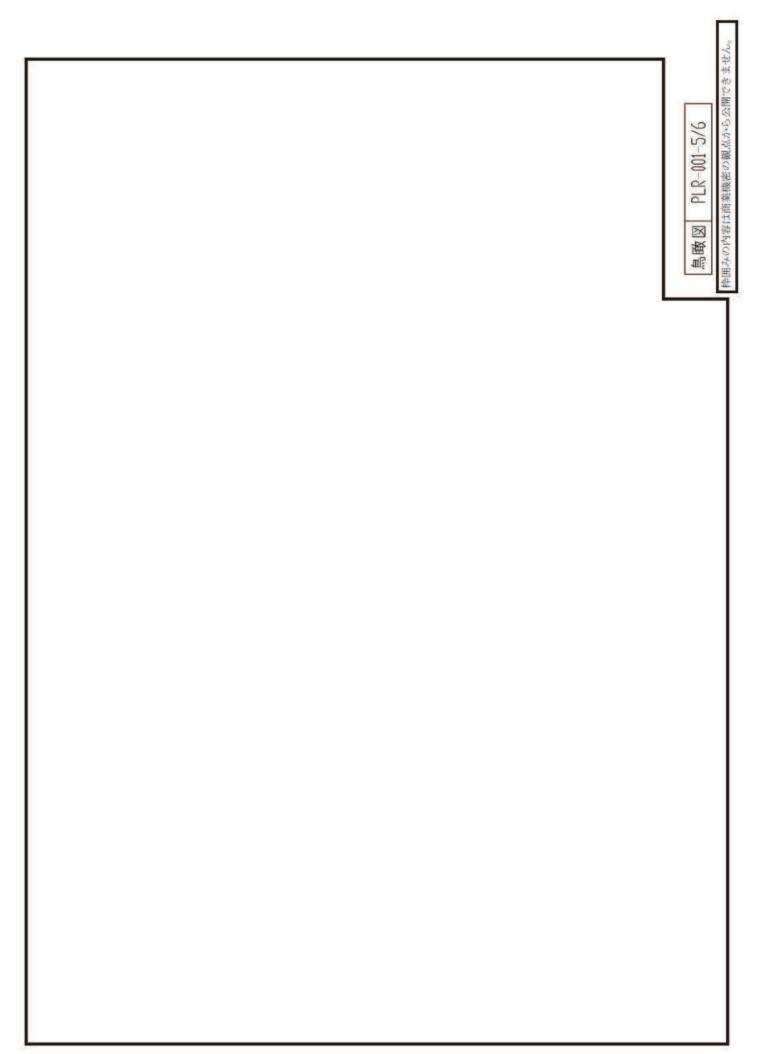


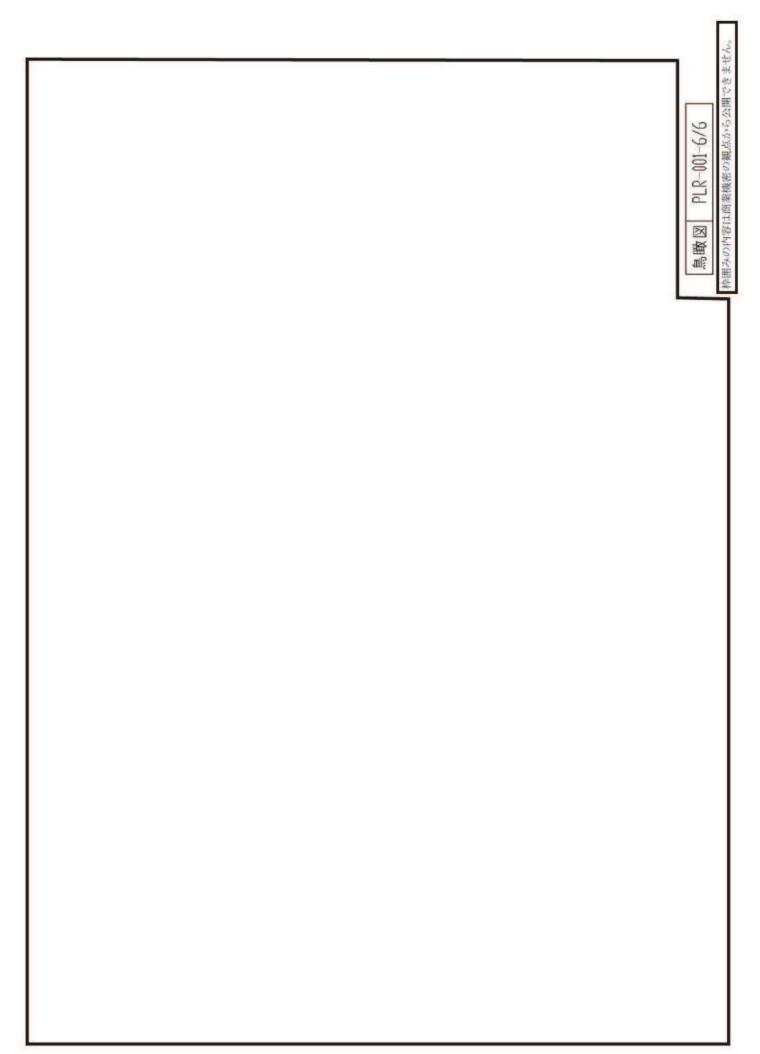


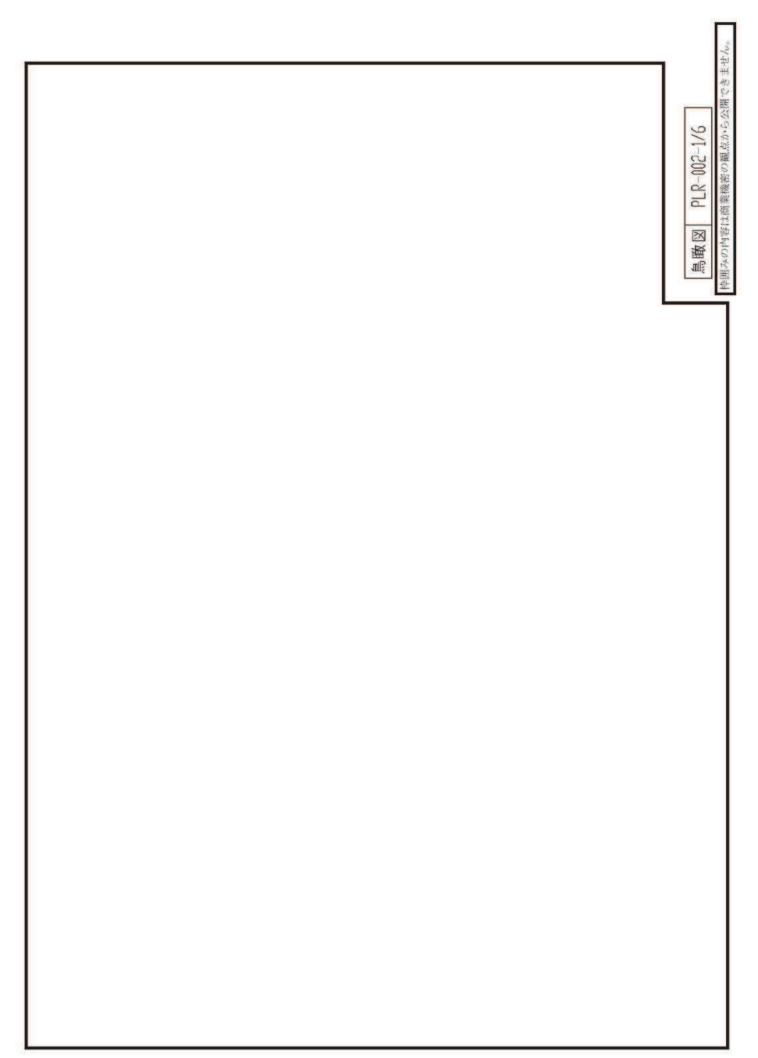


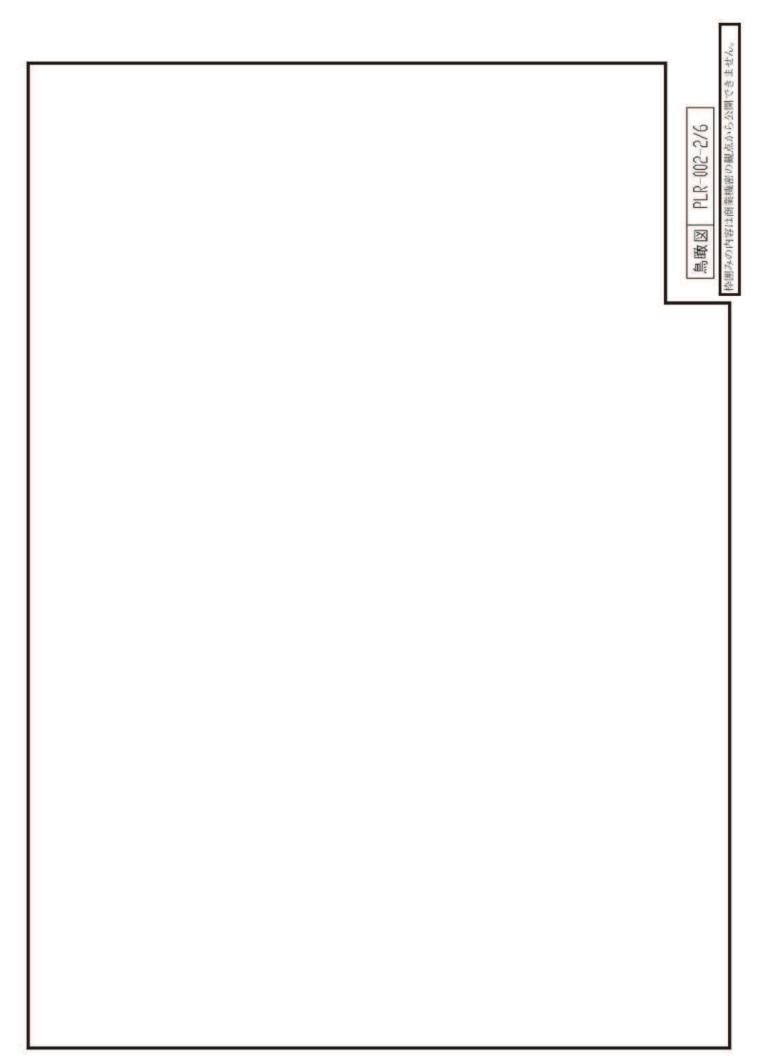


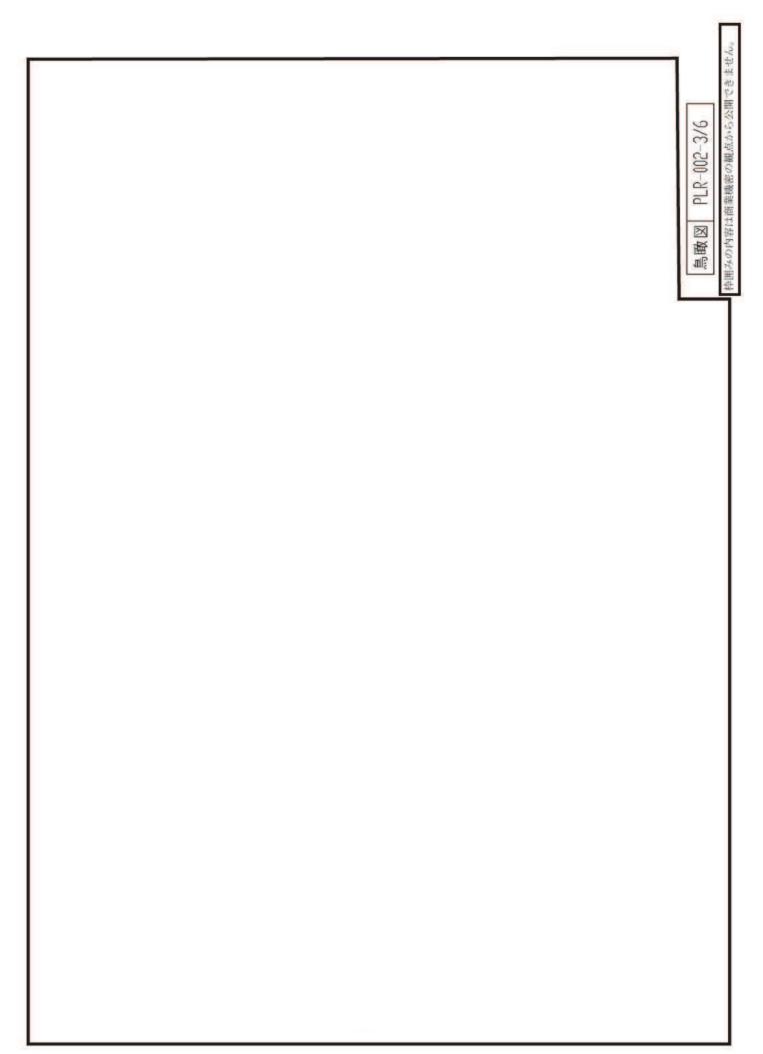


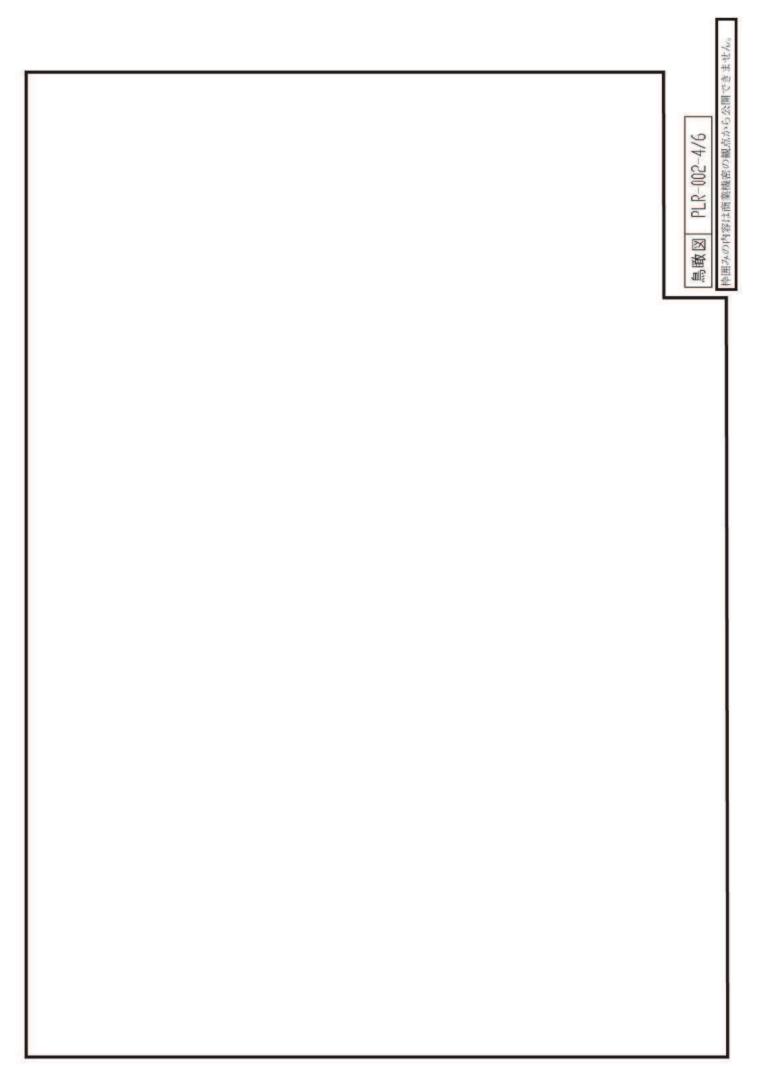


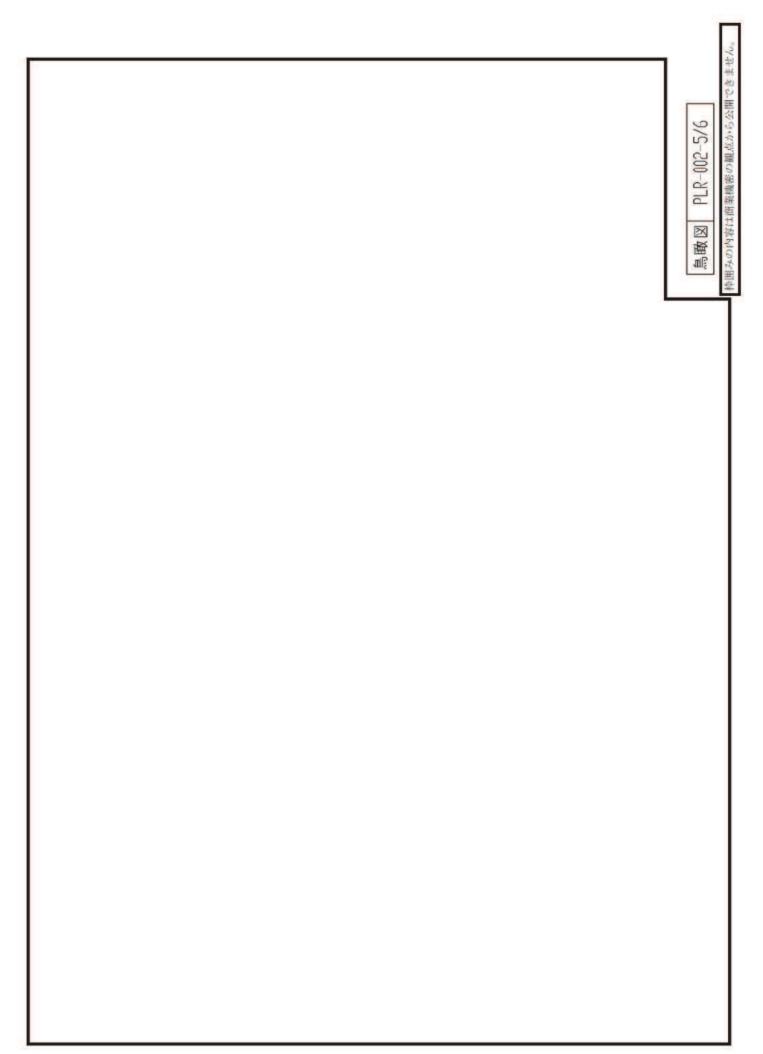


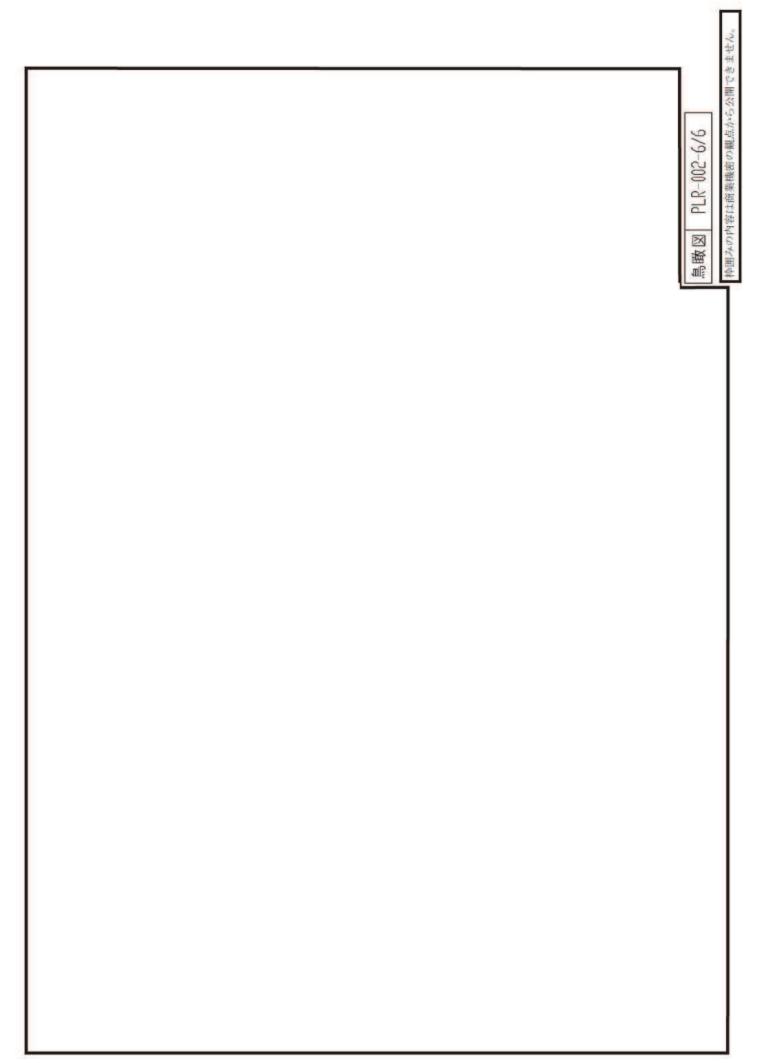












原子炉再循環系の計算モデル

· VI-3-3-3-1-1-1-2 管の応力計算書(原子炉再循環系)

重大事故等対処設備

5. 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結果を 記載している。下表に, 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス1管)

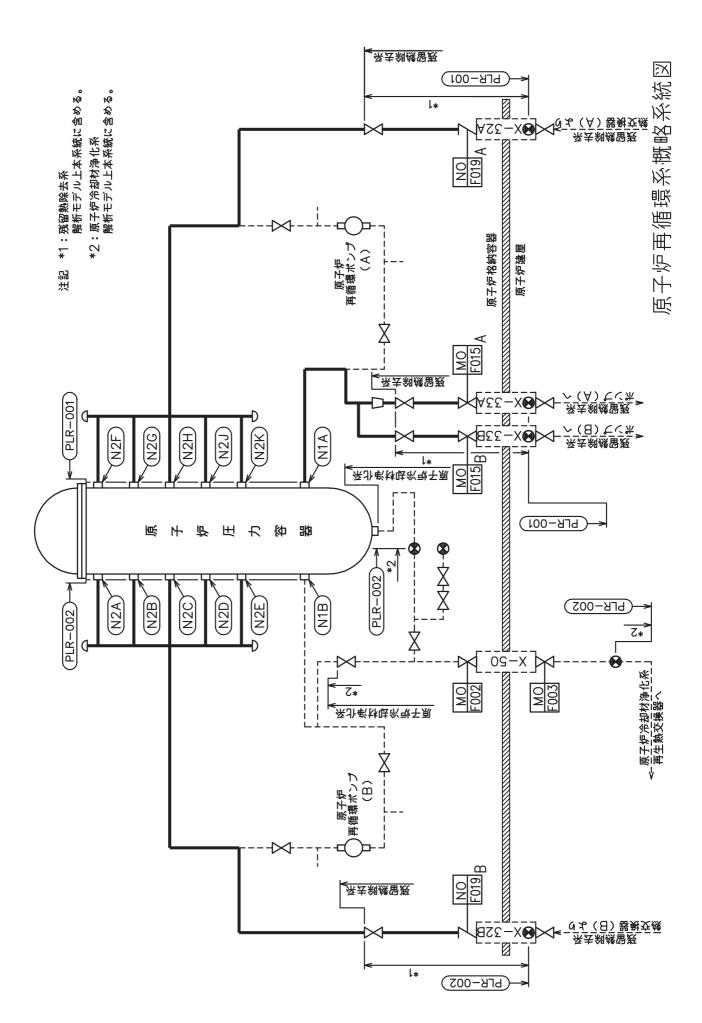
*			代表	0		
			裕度	3, 98	5. 16	
運転状態 (V)	一次応力	許容	応力	(MPa)	351	351
運転	1	計算	応力	(MPa)	88	89
		三万/正	計	Ę	9	29
		配管モデル			PLR-001	PLR-002
		No.			1	2

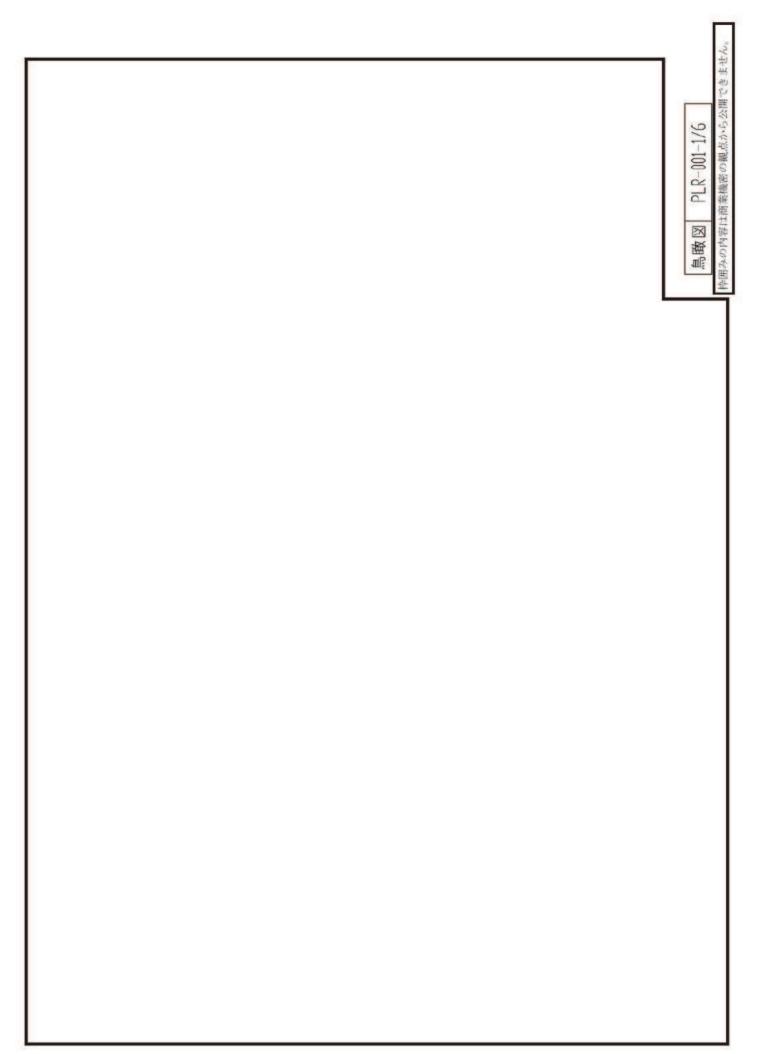
注記*:告示第501号第46条第1号及び第3号に基づき計算した一次応力を示す。

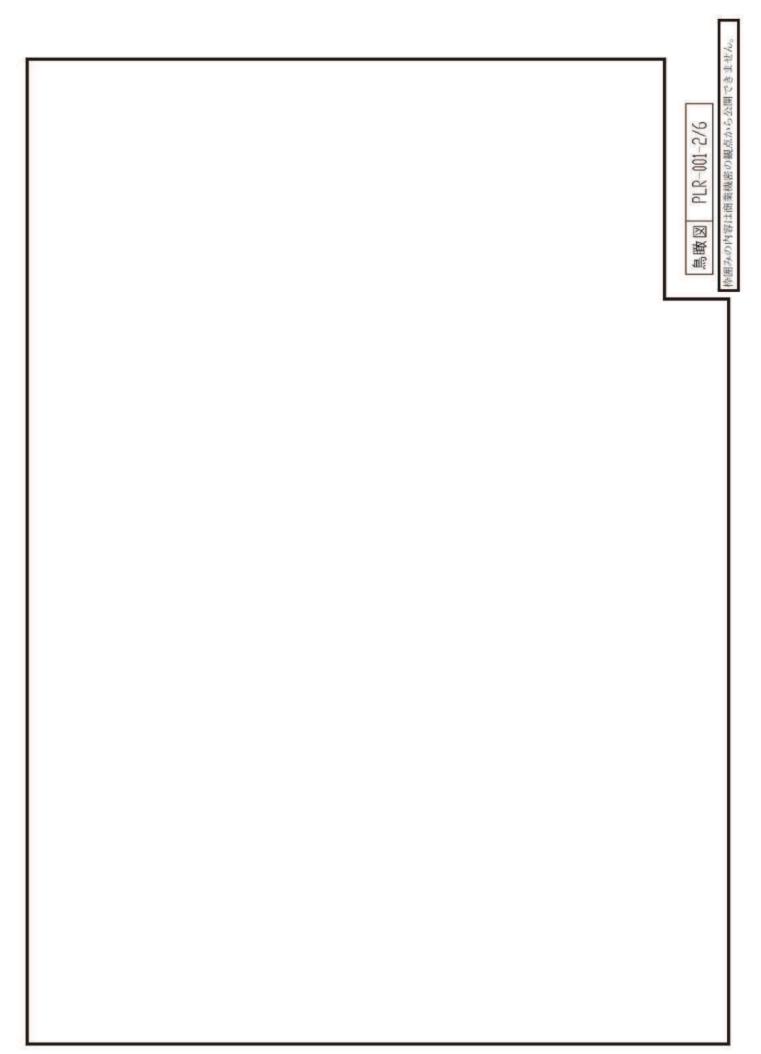
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス1管)

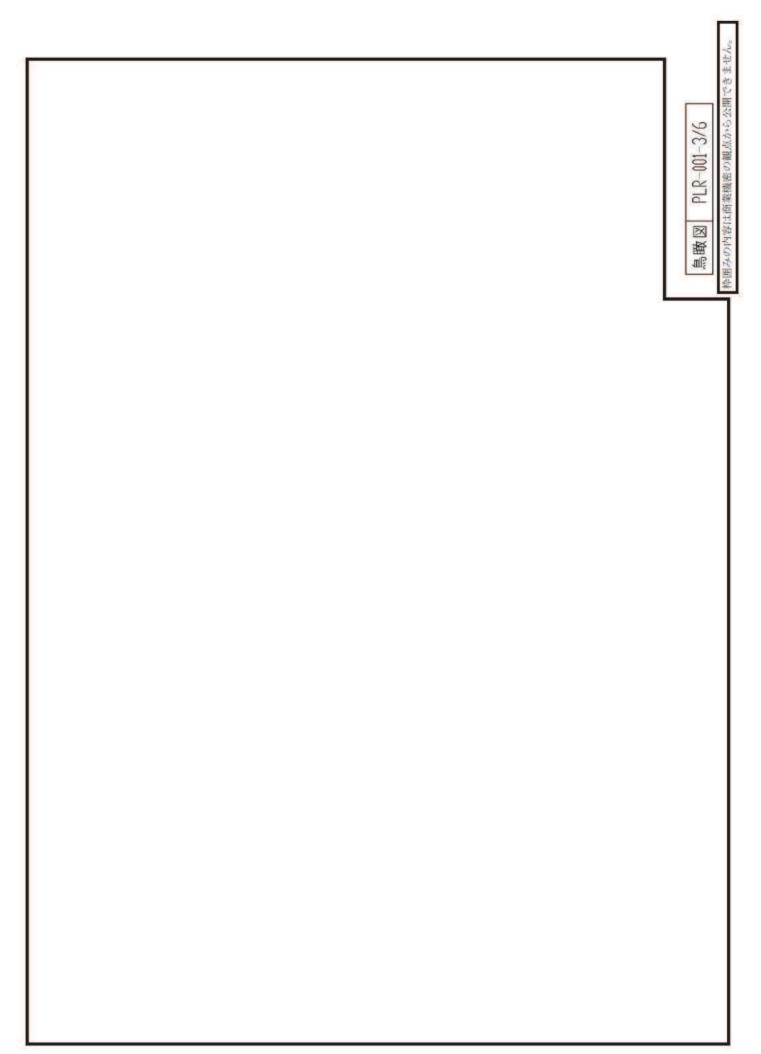
		长			0]
*			2.96	3, 79		
供用状態 (E)	一次応力	許容	応力	(MPa)	258	258
供用	L	計算	応力	(MPa)	87	89
		三元/正	# 4	Ę	9	29
		配管モデル			PLR-001	PLR-002
		No.			1	2

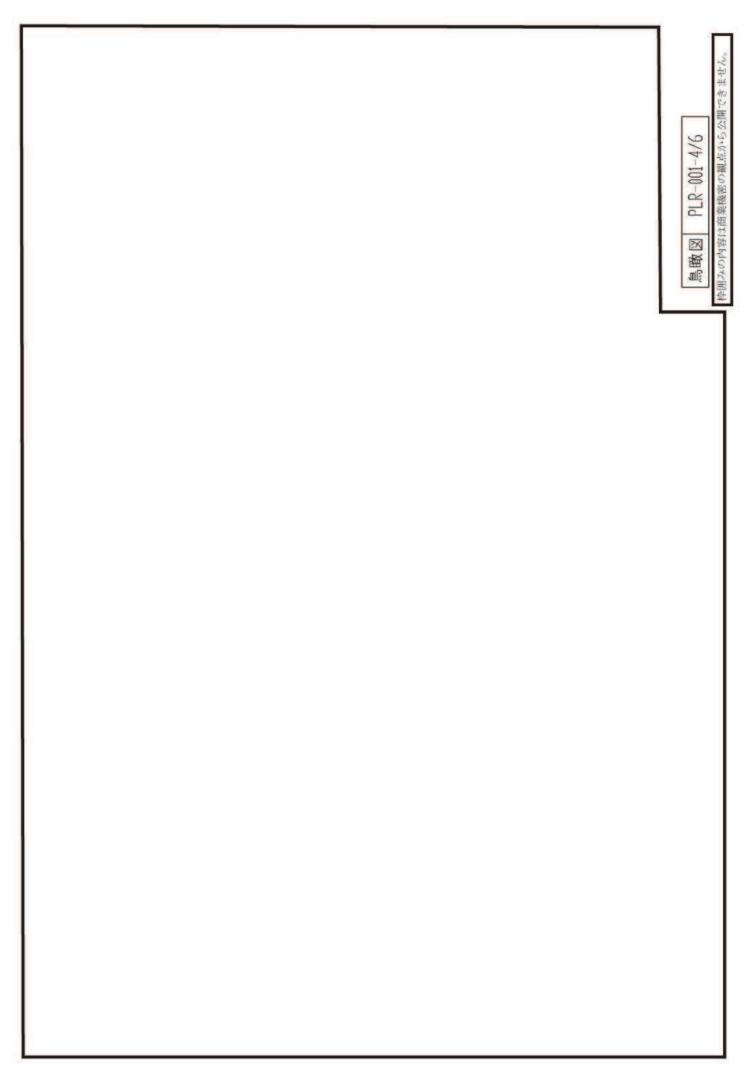
注記*:設計・建設規格 PPB-3520及びPPB-3562に基づき計算した一次応力を示す。

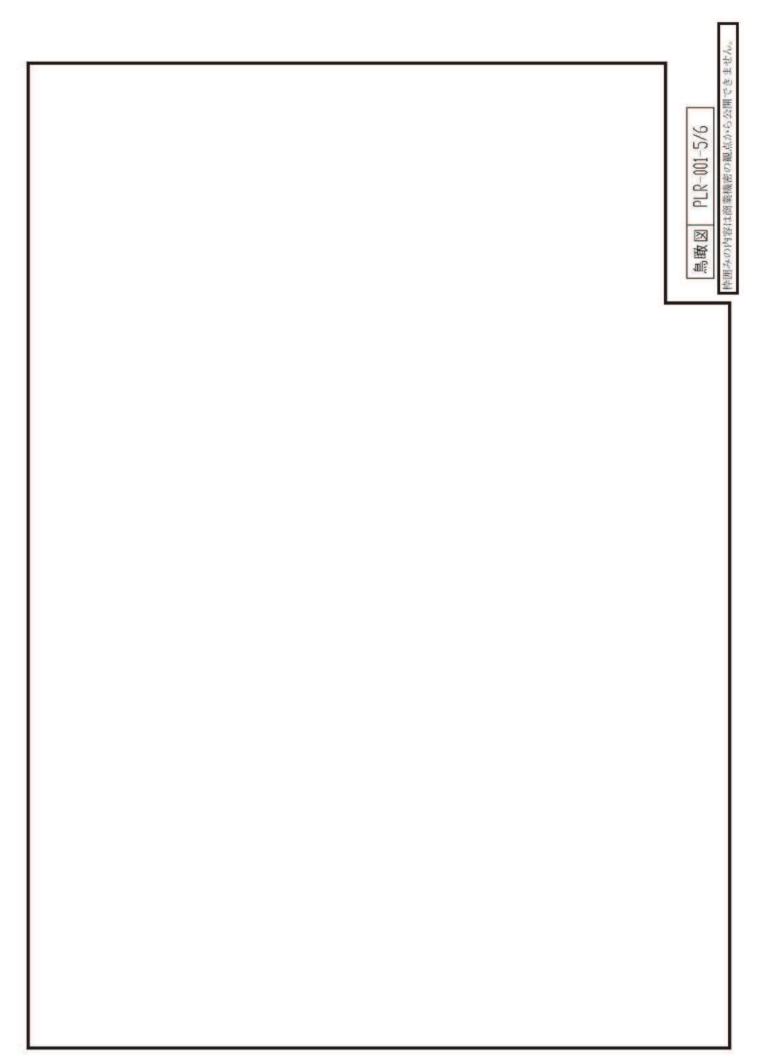


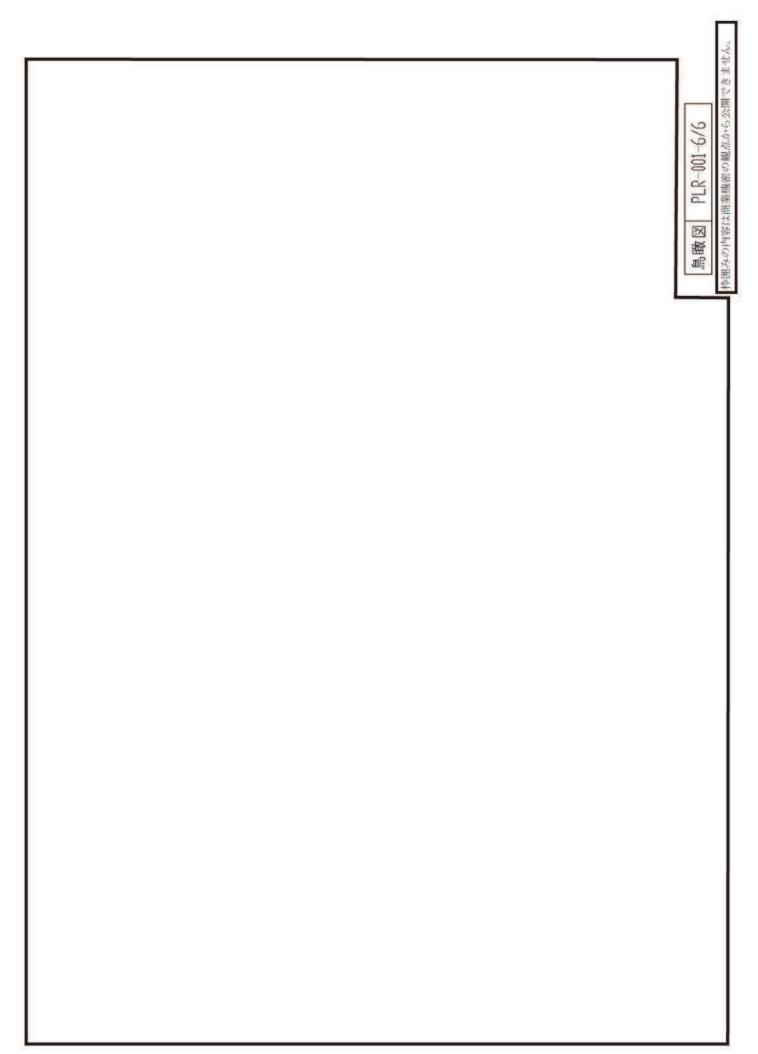


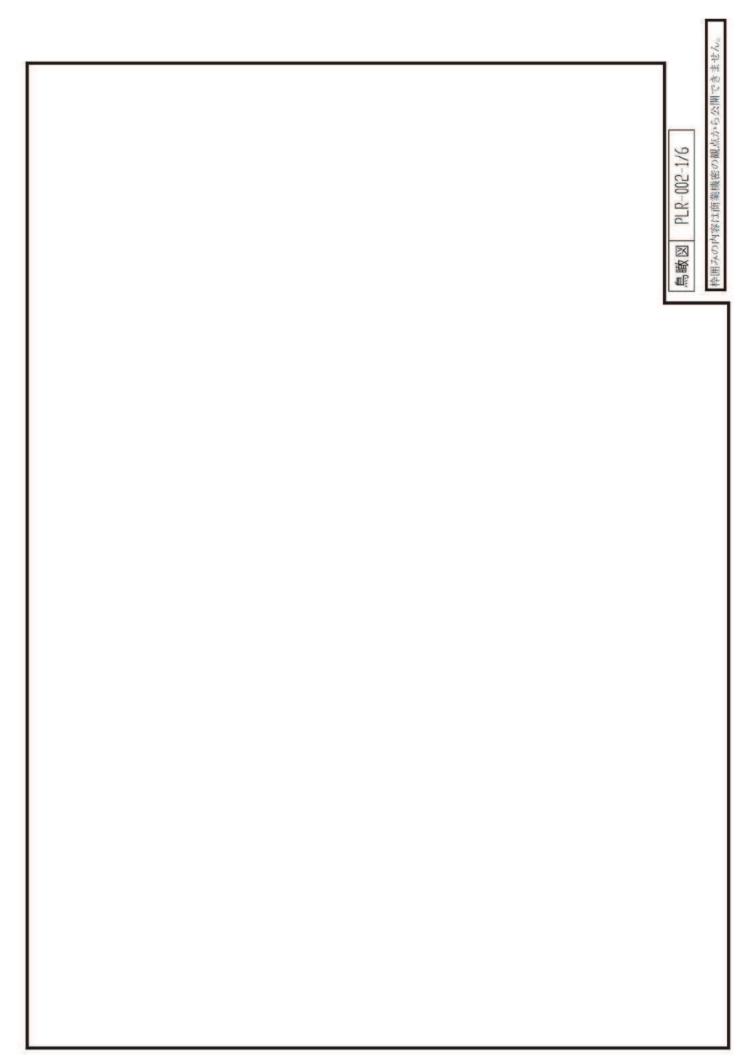


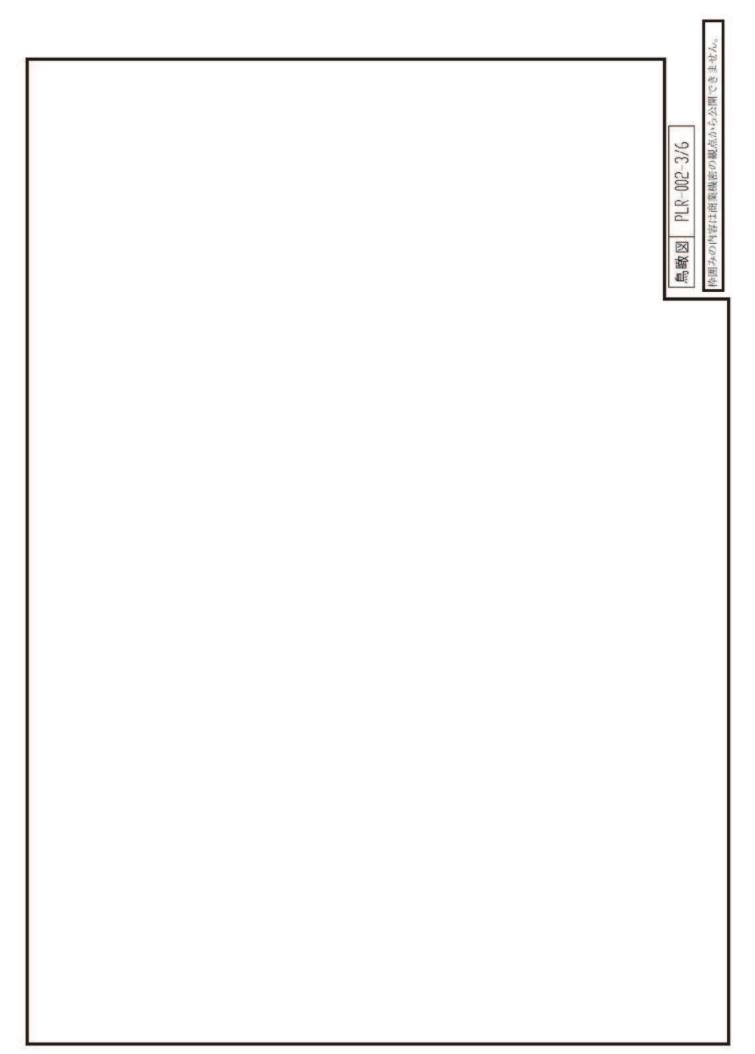






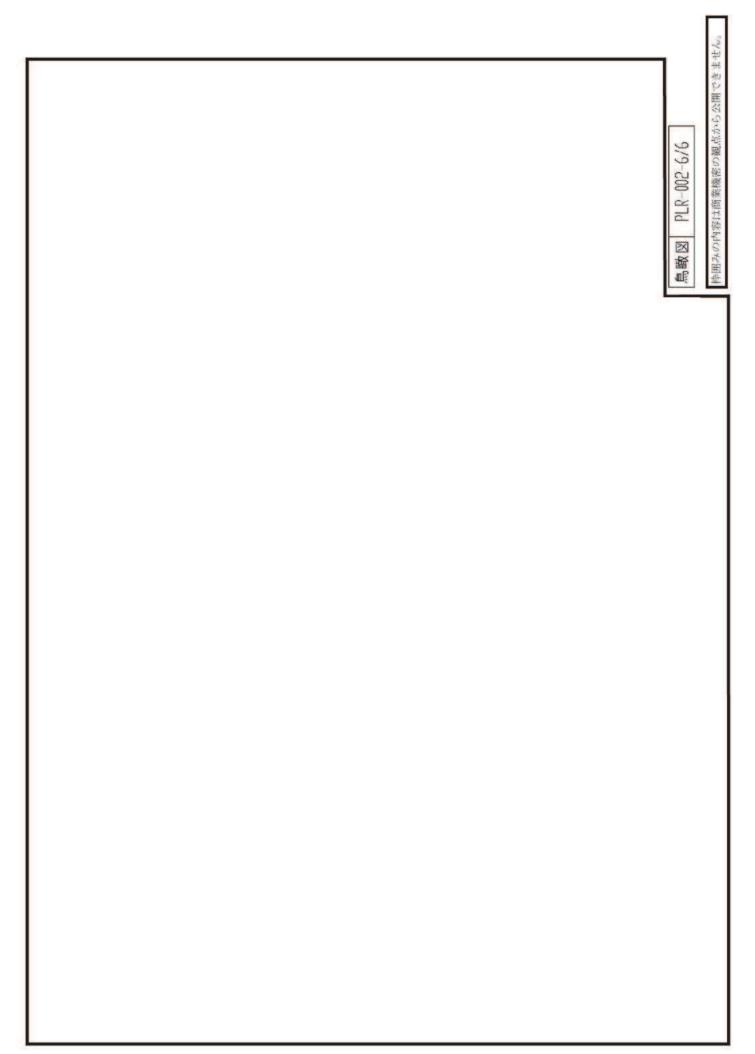






		鳥瞰図 PLR-002-4/6 韓囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

		鳥瞰図 PLR-002-5/6



5. 主蒸気系の計算モデル

・VI-2-5-3-1-2 管の耐震性についての計算書(主蒸気系)

設計基準対象施設

4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結 果を記載している。下表に,代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(クラス1管)

		代表	[]		0
	疲労評価	被緊緊	0,6140	0.3572	0.3900	0,6836
	*	評価点	19	19	19	119
		代表	0]	Ţ	Ι
	1 *	裕度	0.54	0.62	0.59	0.59
IV_AS	一次十二次応力*	許容 応力 (MPa)	375	375	375	375
許容応力状態 IV	一次-	計算 応力 (MPa)	684	601	630	626
F容応フ		評価点	19	19	19	17
侧田		代表	0]		1
	一次応力	裕度	1, 33	1.48	1.46	1.42
		幸 売 (MPa)	375	375	375	375
		計算 応力 (MPa)	281	253	256	264
		評価点	16	17	19	17
		代表	0	1		Ι
II S		裕度	1.39	1.45	1.46	1.44
許容応力状態 IIIAS	一次応力	許容 応力 (MPa)	281	281	281	281
許容応ブ		計算 応力 (MPa)	202	193	192	194
		評価点	16	17	19	17
	44	配管モデル	MS-001	MS-002	MS-003	MS-004
	;	No.	1	2	3	4

注記 $*: \Pi_A S$ の一次+二次応力の許容値は $\Pi_A S$ と同様であることから,地震荷重が大きい $\Pi_A S$ の一次+二次応力裕度最小を代表とする。

代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(クラス2以下の管)

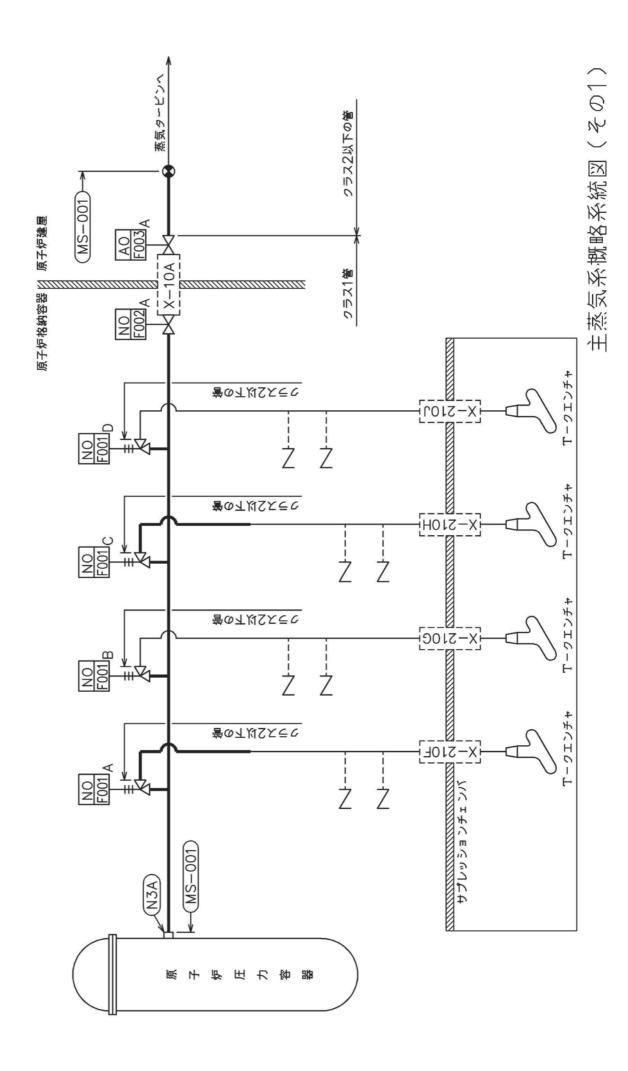
		2 #	K	Ī	1	Ĭ	0	Ī	1	1	Ī	1	1	Ī
	疲労評価			T	Ţ	Ţ		Ţ	Į.	Ţ	Ī	ľ	Ţ	Ţ
		疲労評	族 累	係数	I]	[0.8381	Ī	[]	Ī	[Ţ
		評価	乓	1	1	1	131	1	-[1	1	1	1	-
		2 #	女	I	1	Ĺ	0	1	Ţ]	Ţ	Ţ]	[
	7*	裕度		1.04	2.54	1.47	0.79	3.65	6.52	7.14	7.50	3.65	8.82	6.81
IV_AS	一次十二次応力*	許容応力	(MPa)	394	394	394	364	300	300	300	300	300	300	300
	一次	計算 応力	(MPa)	376	155	268	458	82	46	42	40	82	34	44
許容応力狀態		計 甲	点	307	101	215	131	3	4	4	5	4	4	4
ıjii 🗆		代#	Ķ	0	1	T	T	1	1	1	Ī	-[1	T
		裕度		1.42	4.33	2.38	1.74	6.08	9.51	10.02	10.60	6.39	11.96	9.76
	一次応力	許容 応力	(MPa)	363	377	363	363	371	371	371	371	371	371	371
	ı	計算 応力	(MPa)	255	87	152	208	61	39	37	35	28	31	38
		計	祇	307	43	215	131	3	4	4	5	4	4	4
		21	K	0	1	Ι	Ι	1	1	1	T	[Τ	1
Π_A S		裕度		1.17	2.64	1.79	1.30	3, 33	5.00	5.17	5.55	3, 57	6.25	5.17
	一次応力	許容応力	(MPa)	197	198	197	182	150	150	150	150	150	150	150
許容応力状態		計算 応力	(MPa)	168	75	110	139	45	30	29	27	42	24	29
		計	点	307	43	215	131	3	4	4	5	4	4	4
	1	配管モケル		MS-001	MS-002	MS-003	MS-004	WS-05	90-SW	MS-07	MS-08	MS-09	MS-10	MS-11
	3	No.		1	2	3	4	2	9	7	∞	6	10	11

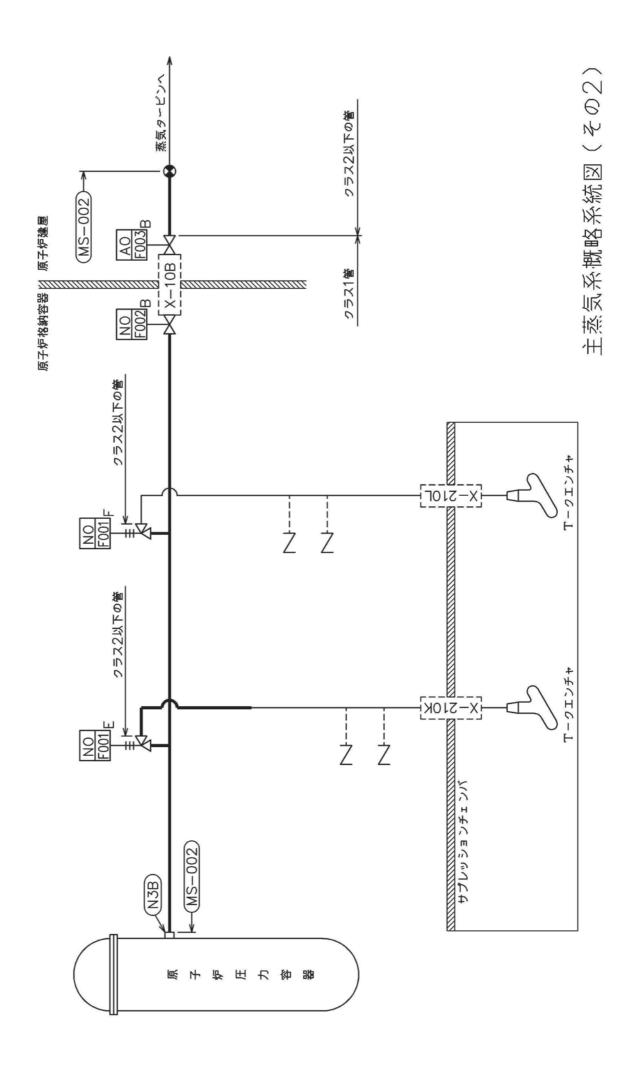
注記 $*: \Pi_A S の一次+二次応力の許容値はIV_A S と同様であることから、地震荷重が大きいIV_A S の一次+二次応力裕度最小を代表とする。$

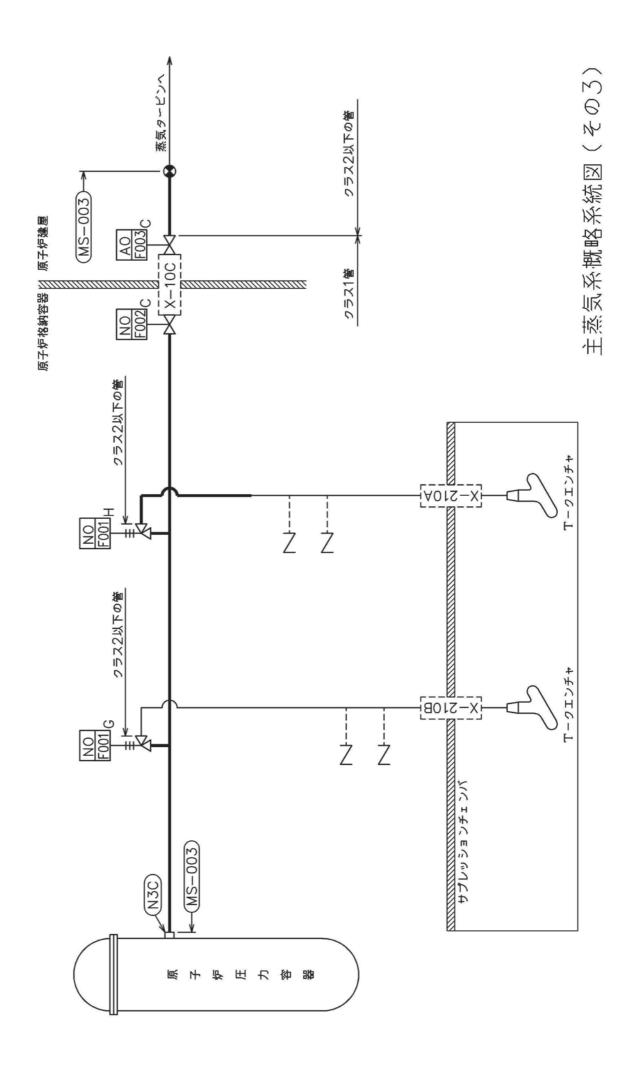
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(クラス2以下の管)

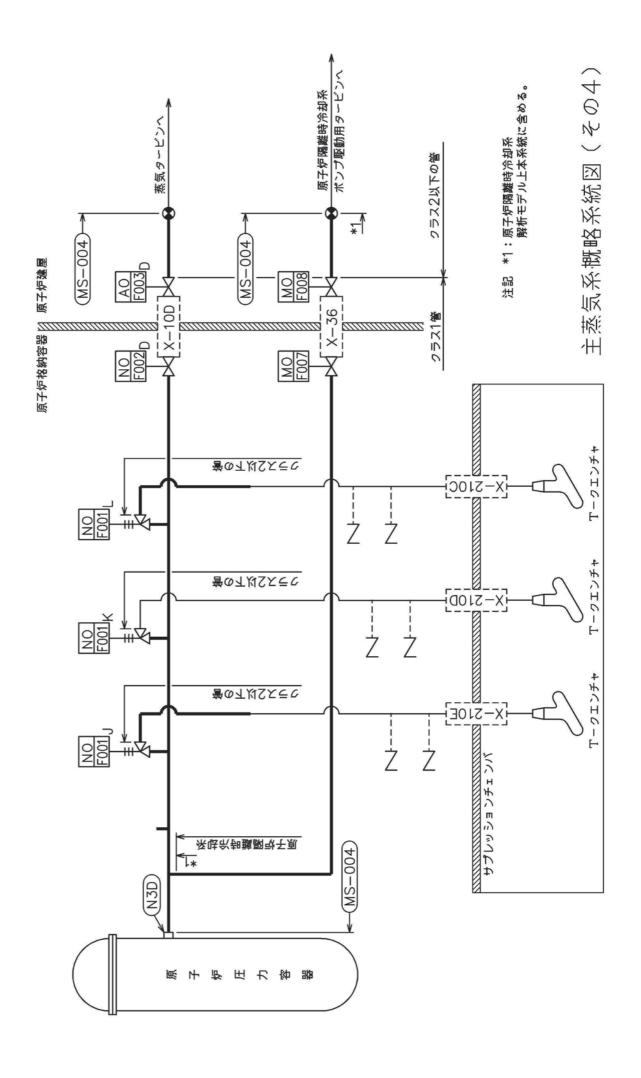
		代表	Ι	J		1	Ţ	[]	I	[]	
	疲労評価	被緊發	Ι]		Ι	ļ	[]	I	[Ţ	
	N.	評価点	1						1]	
*		代表	1]		I	Ţ	[1	Ţ]	
	力*	裕度	7.89	7.50	13, 63	6.81	3.84	12.50	7.14	15.00	4. 16	4.83	
IV_AS	一次十二次応力*	許容 応力 (MPa)	300	300	300	300	300	300	300	300	300	300	
許容応力状態]	一次	計算 応力 (MPa)	38	40	22	44	78	24	42	20	72	62	
F容応		評価点	3	9	3	3	4	4	4	3	3	4	
ilii E		代表	T	1	1	T	1	1	1	1	-	1	
		裕度	10.91	10.60	16,86	10.02	6.74	15, 45	11.24	17.66	6.50	8. 43	
	一次応力	許容 応力 (MPa)	371	371	371	371	371	371	371	371	371	371	
	1	計算 応力 (MPa)	34	35	22	37	22	24	33	21	57	44	
		評価点	33	9	3	3	4	4	4	3	3	4	
		代表	T	1	1	Τ	1	Τ	1	1	Ι	1	
III S		裕度	5.76	5.55	8.33	5.17	3, 75	7.89	6.00	8.82	3, 48	4.68	
1 1	- 次応力	一次応力	許 所力 (MPa)	150	150	150	150	150	150	150	150	150	150
許容応力状態	1	計算 応力 (MPa)	26	27	18	29	40	19	25	17	43	32	
		評価点	33	9	33	3	4	4	4	3	3	4	
		配管モデル	MS-12	MS-13	MS-14	MS-15	MS-16	MS-17	MS-18	MS-19	MS-20	MS-21	
	3	No.	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	

注記 $*: \Pi_A S の一次+二次応力の許容値はIV_A S と同様であることから,地震荷重が大きいIV_A S の一次+二次応力裕度最小を代表とする。$

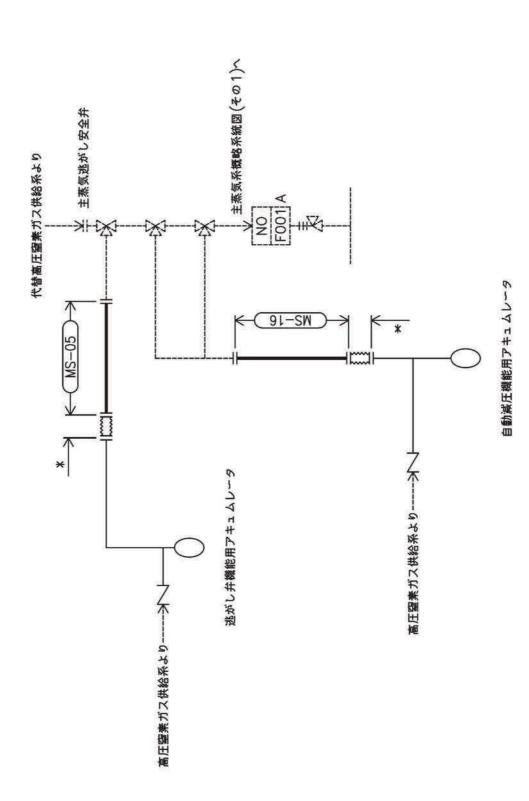




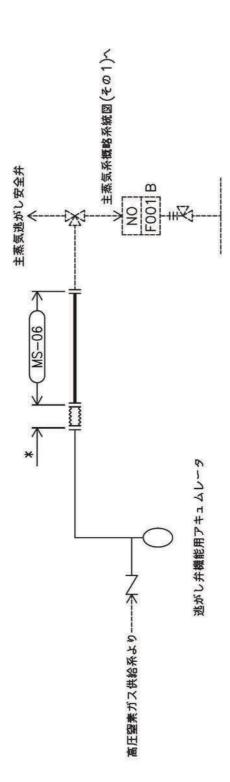




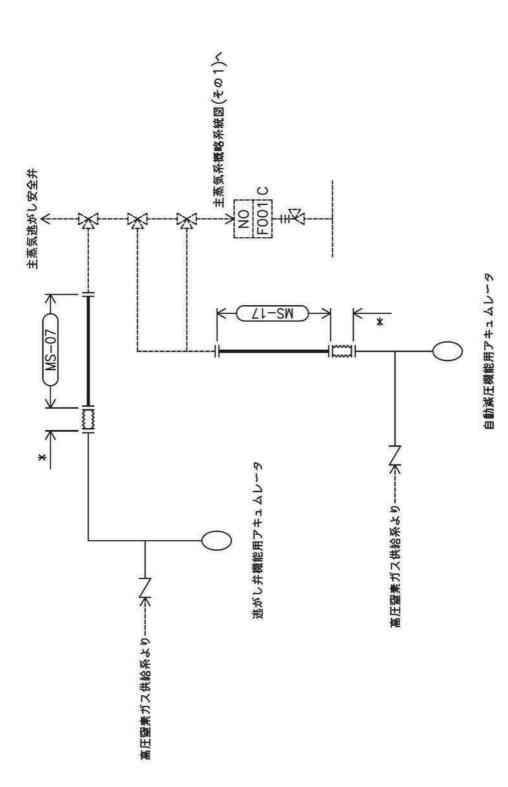




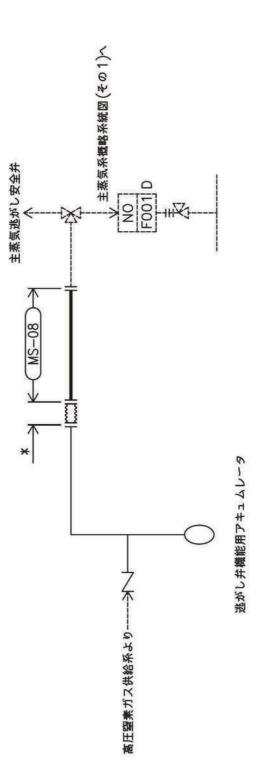
注記*: 高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



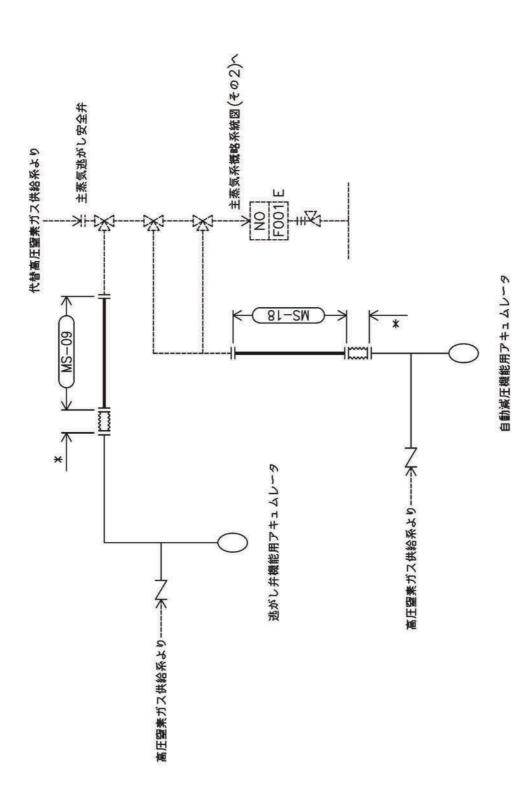
注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



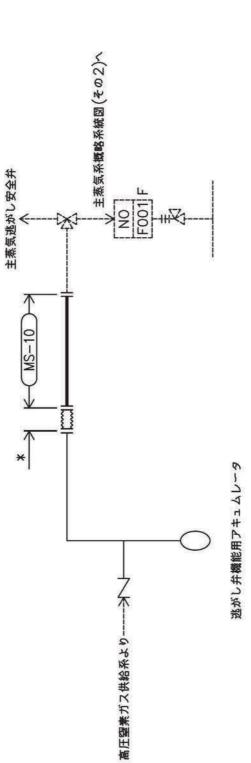
注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める

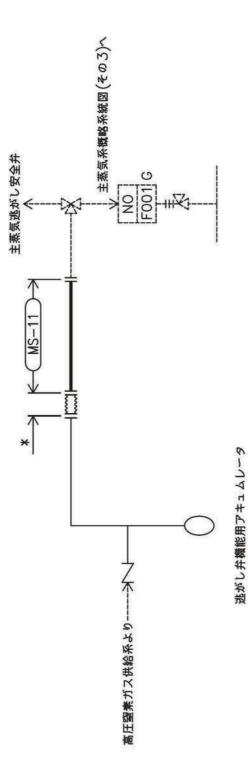


注記*: 高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



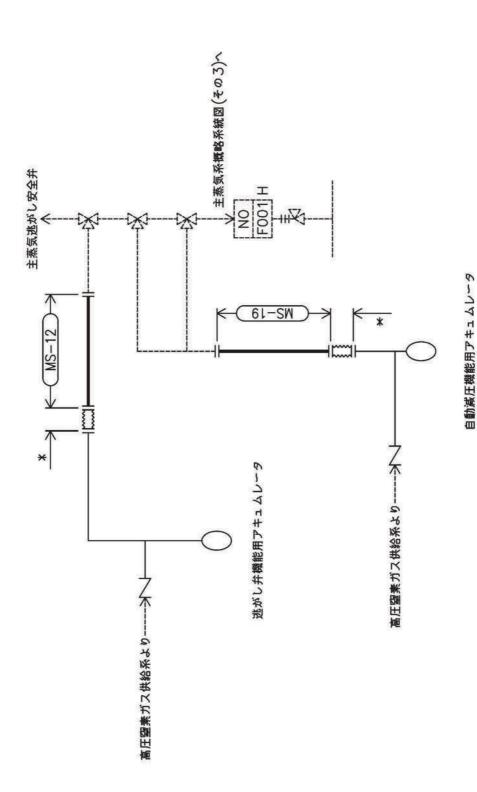
解析モデル上本系統に含める

注記*:高压窒素ガス供給系



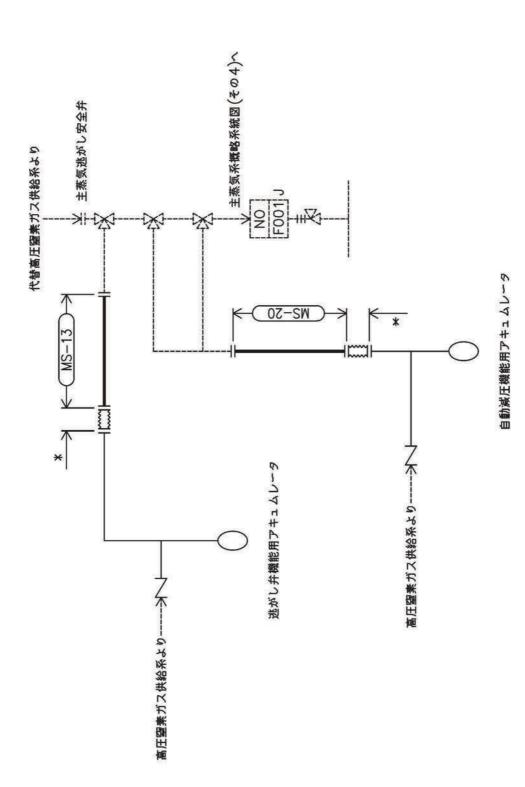
180

注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



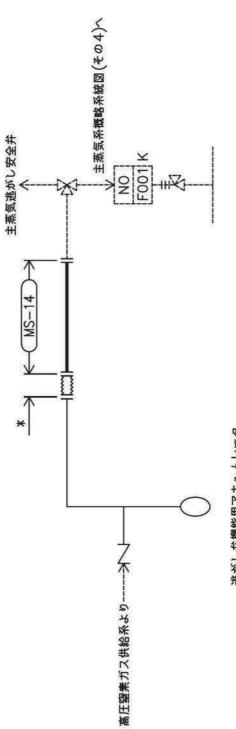
181

注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



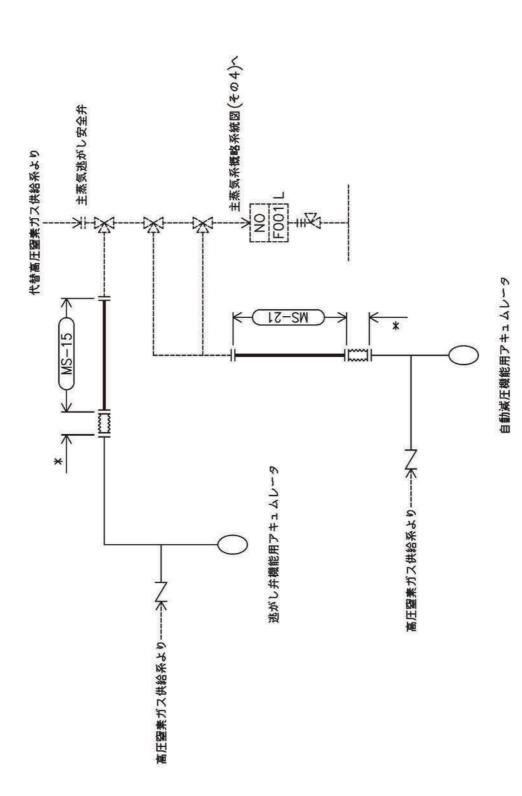
解析モデル上本系統に含める

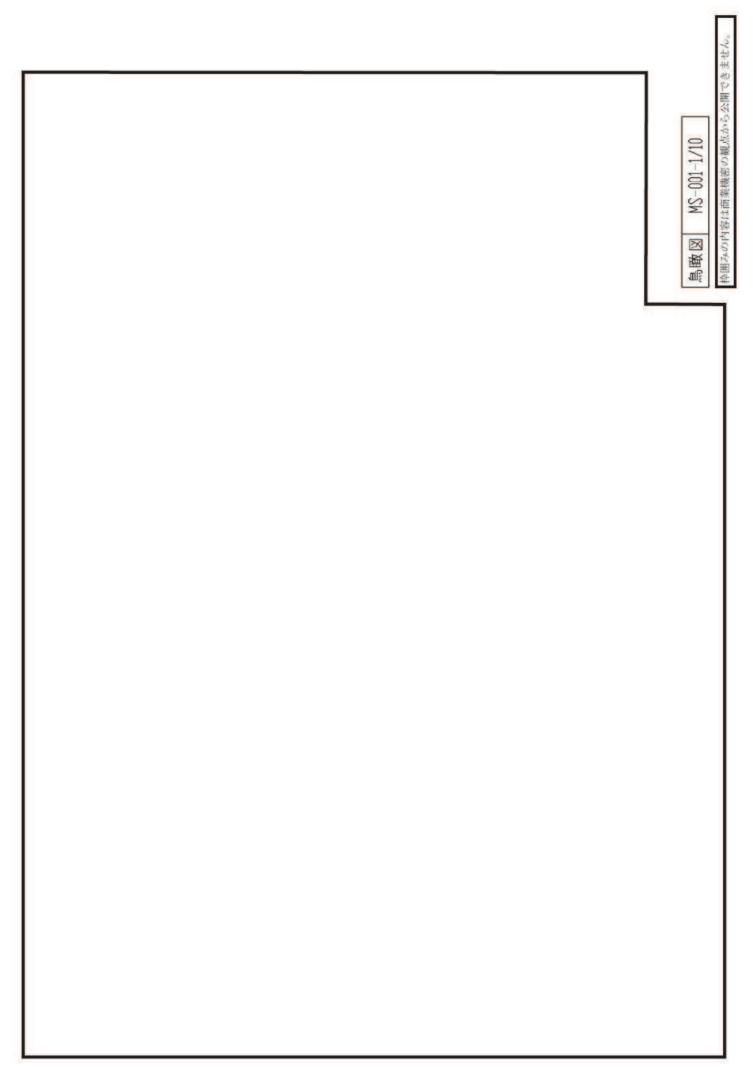
注記*:高压窒素ガス供給系

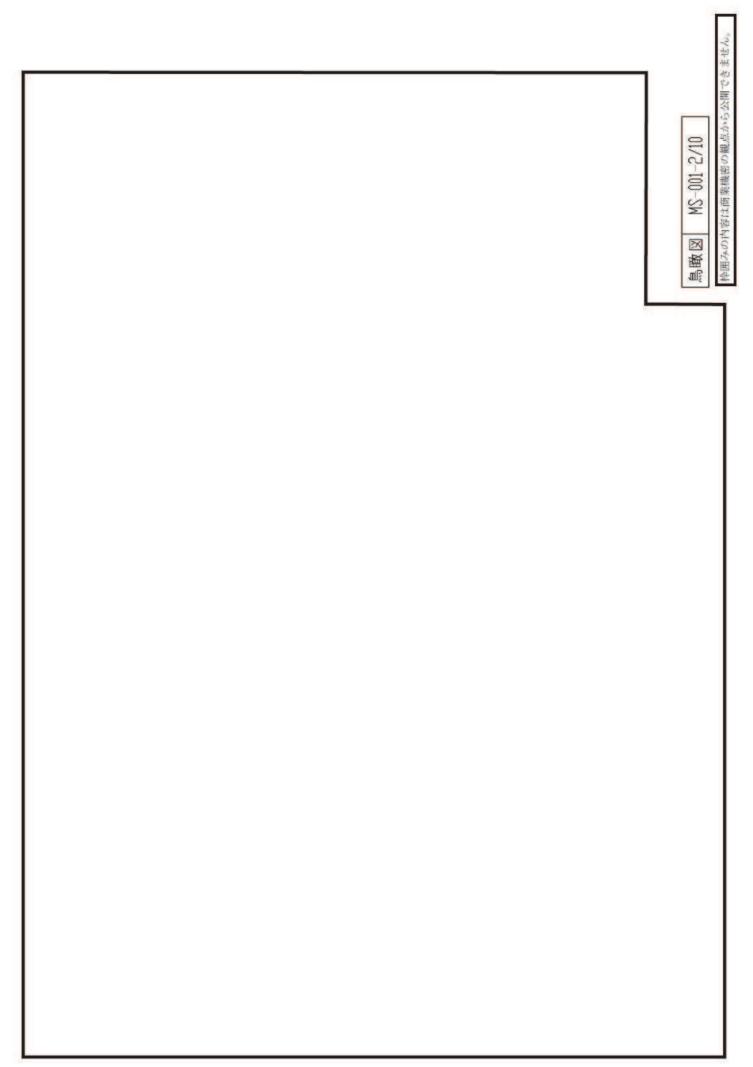


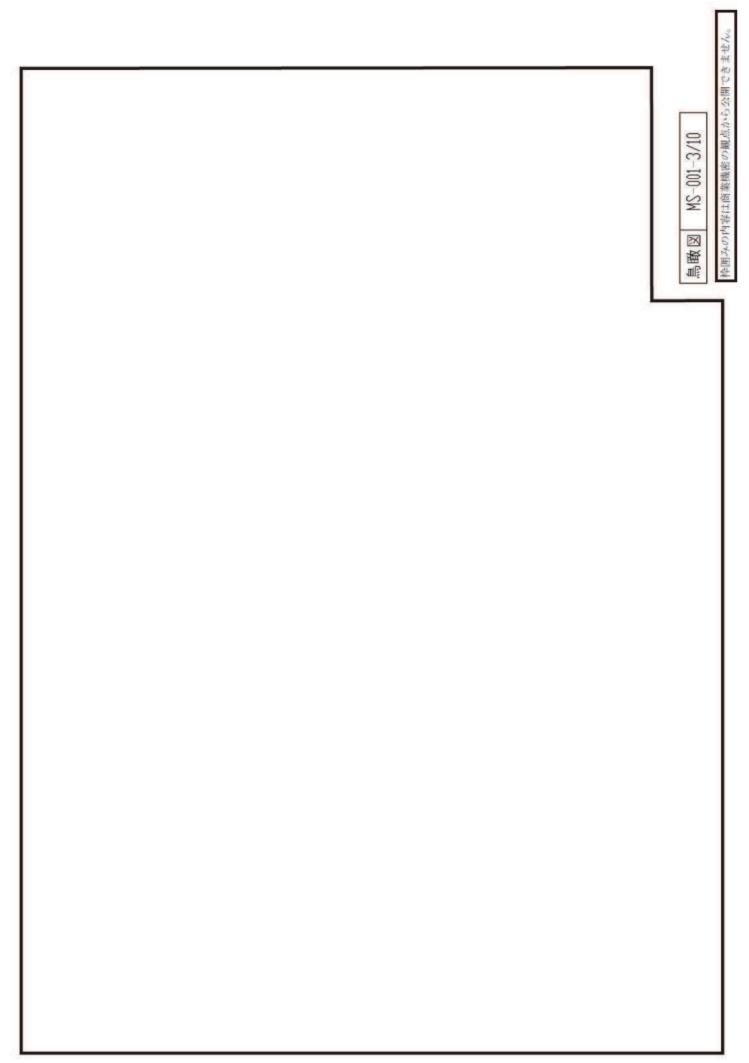
逃がし弁機能用アキュムレータ

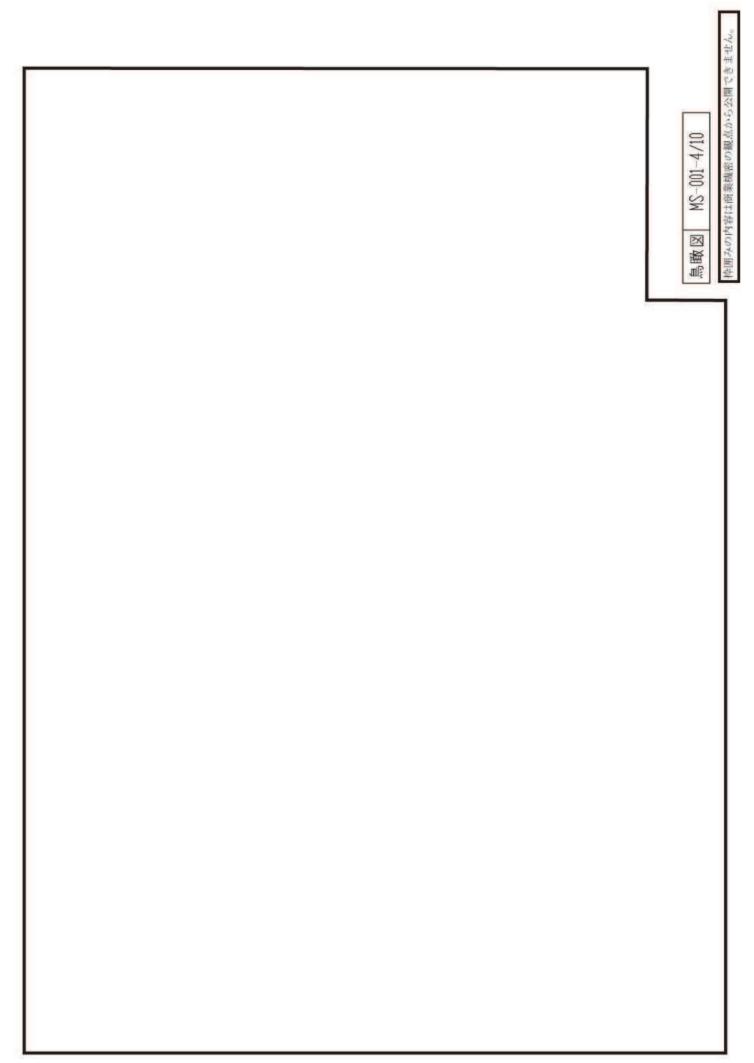
注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める

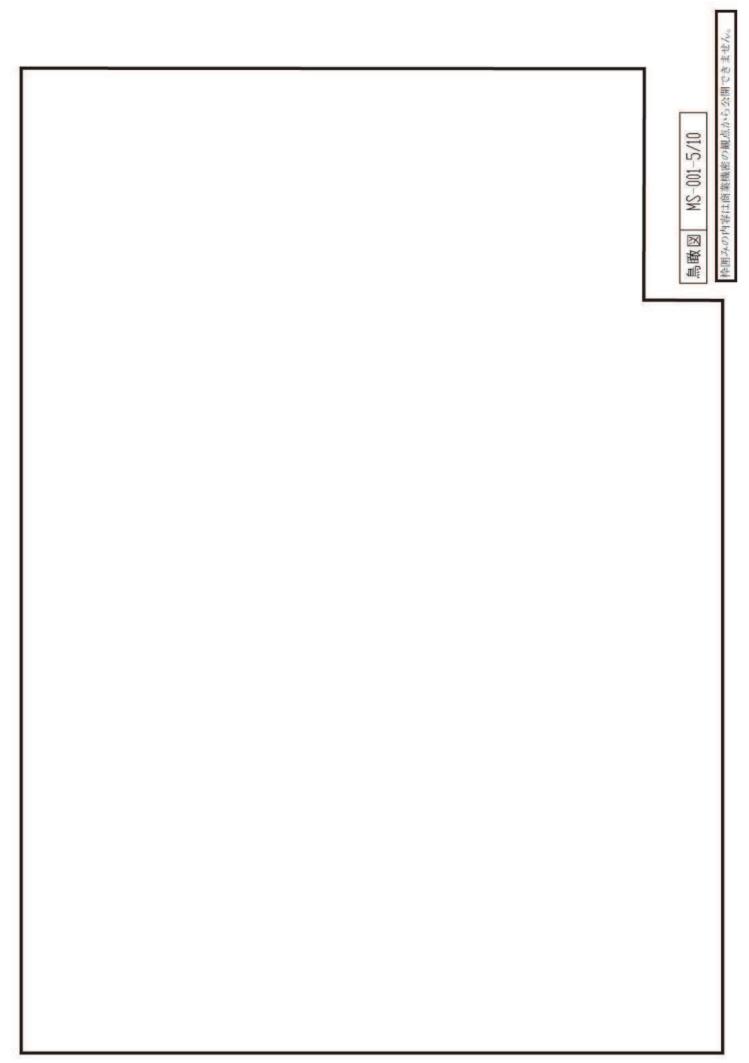


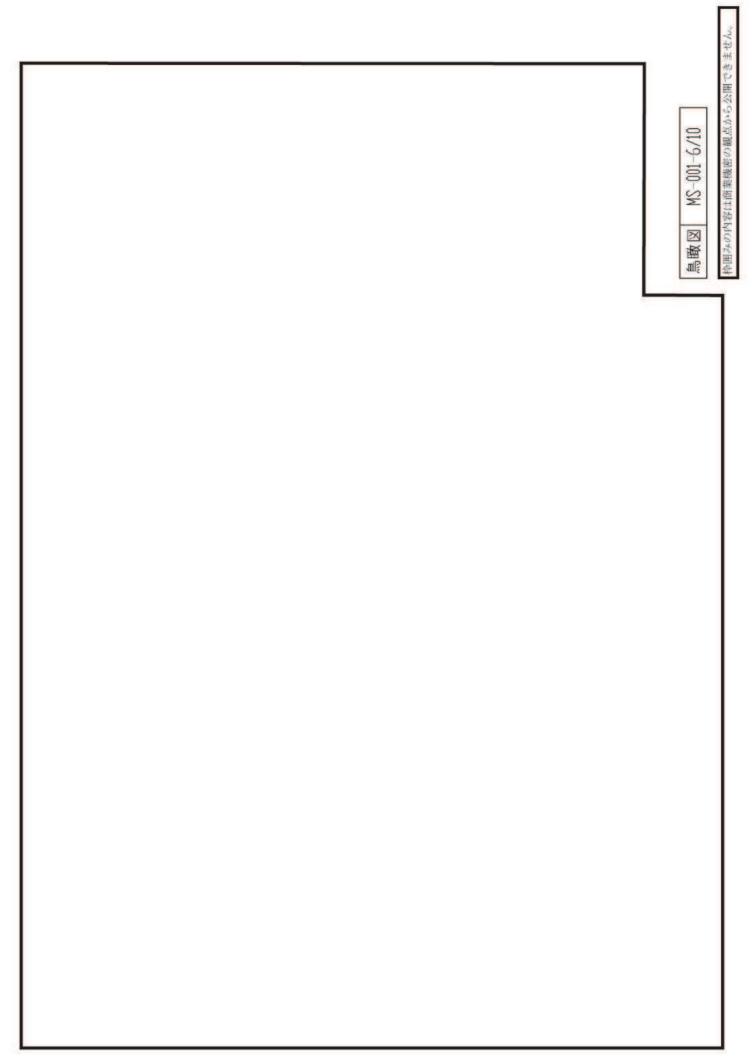


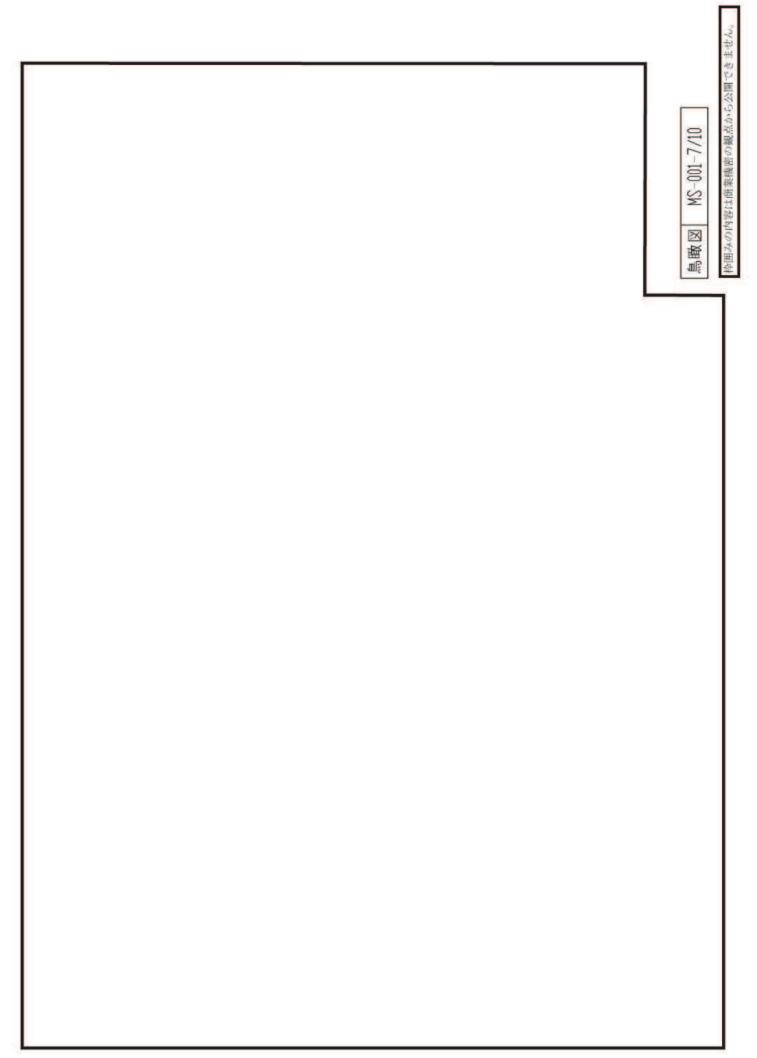


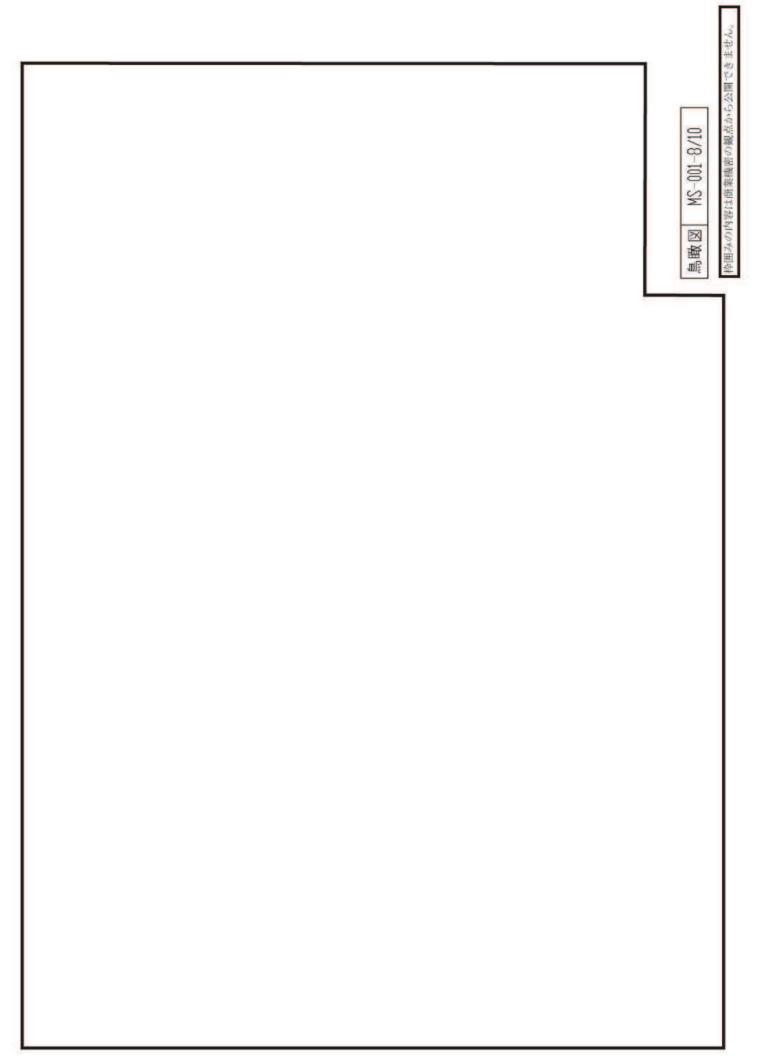


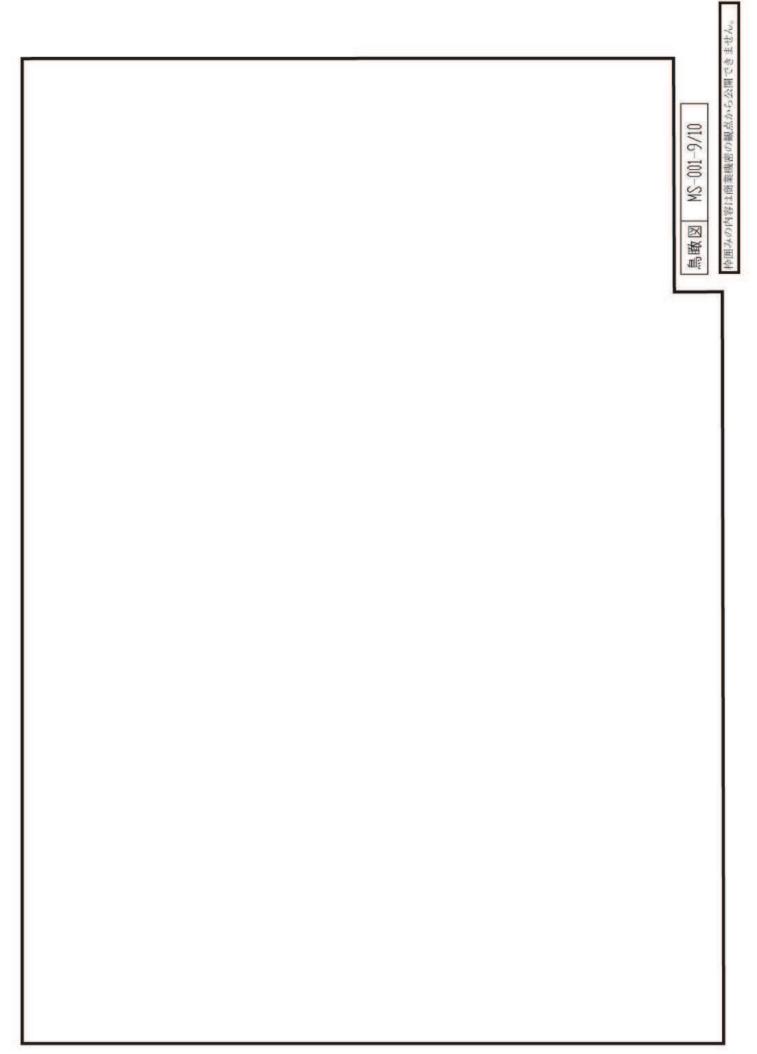


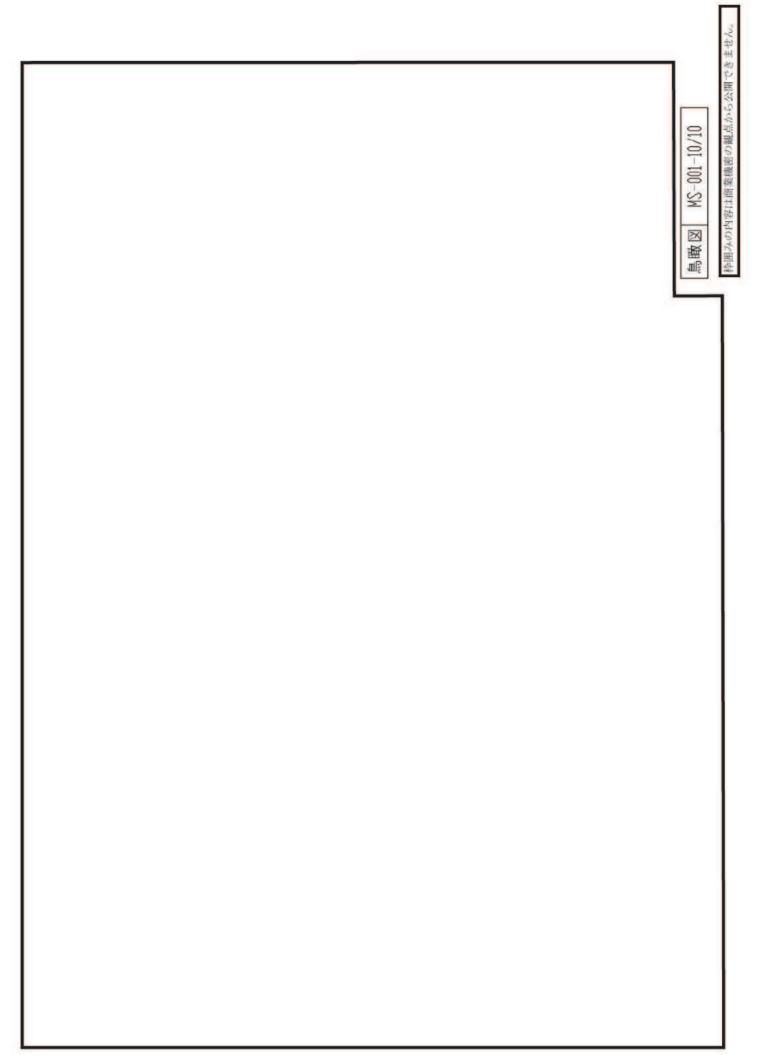


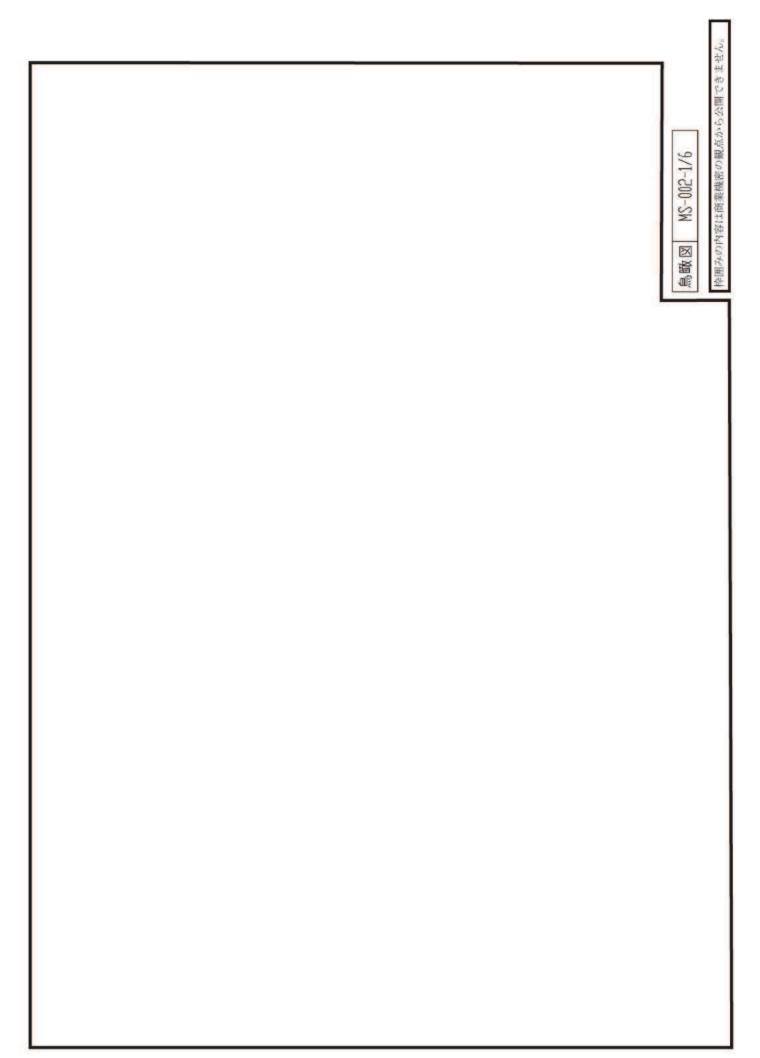


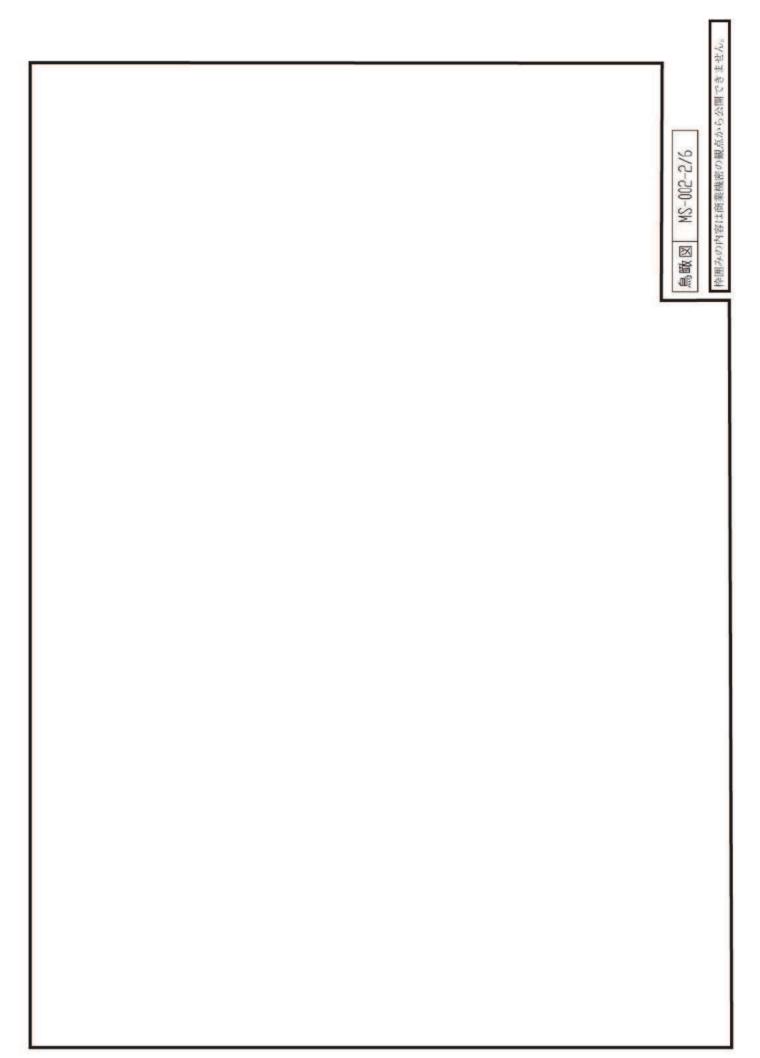


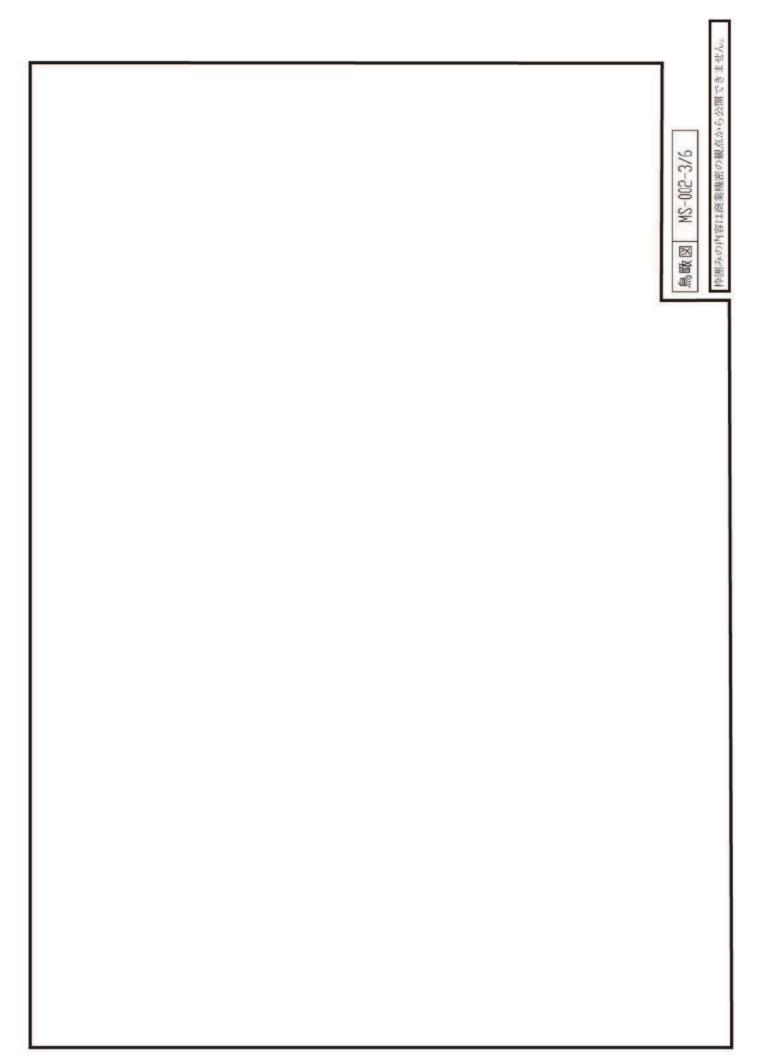


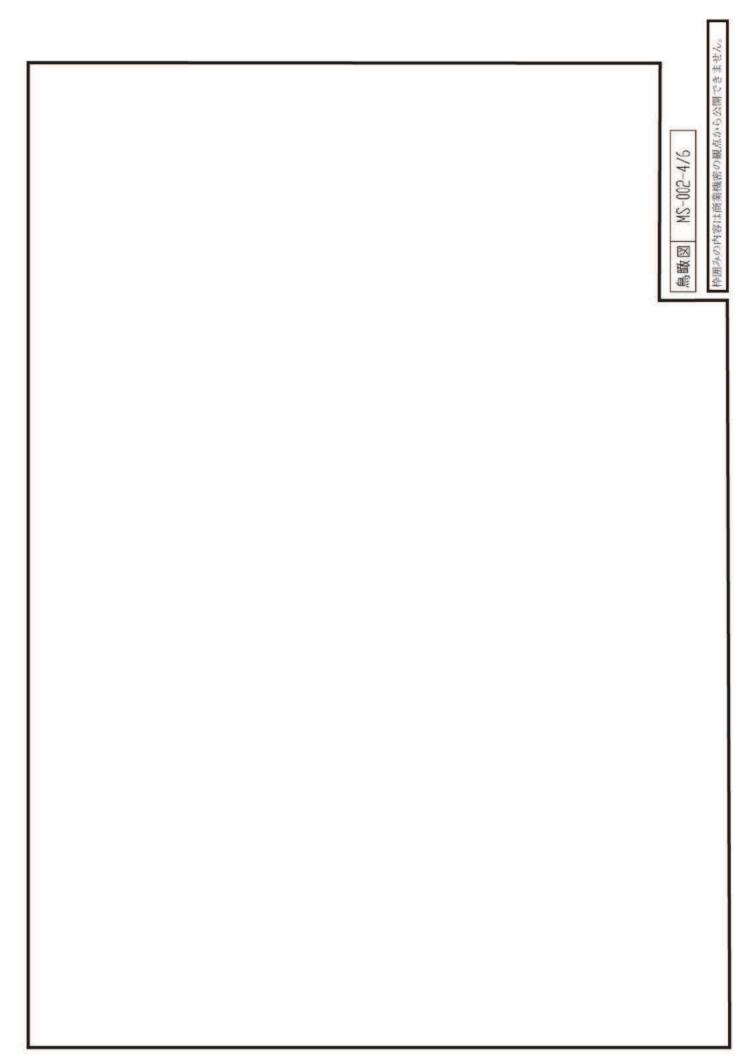


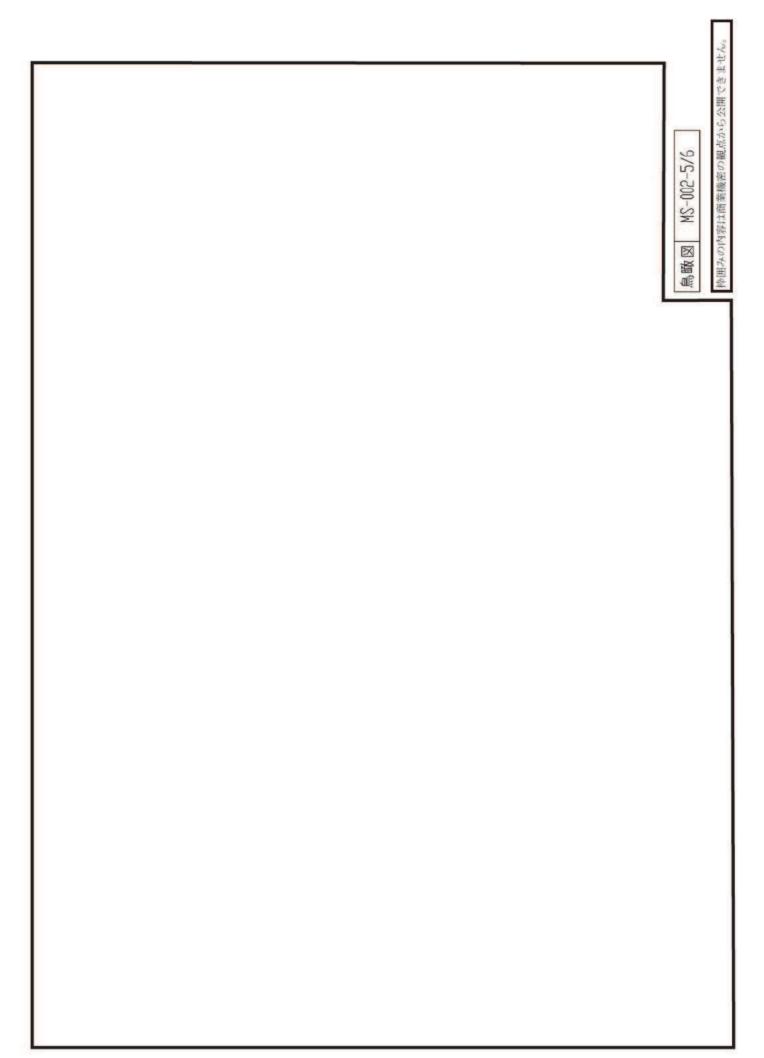


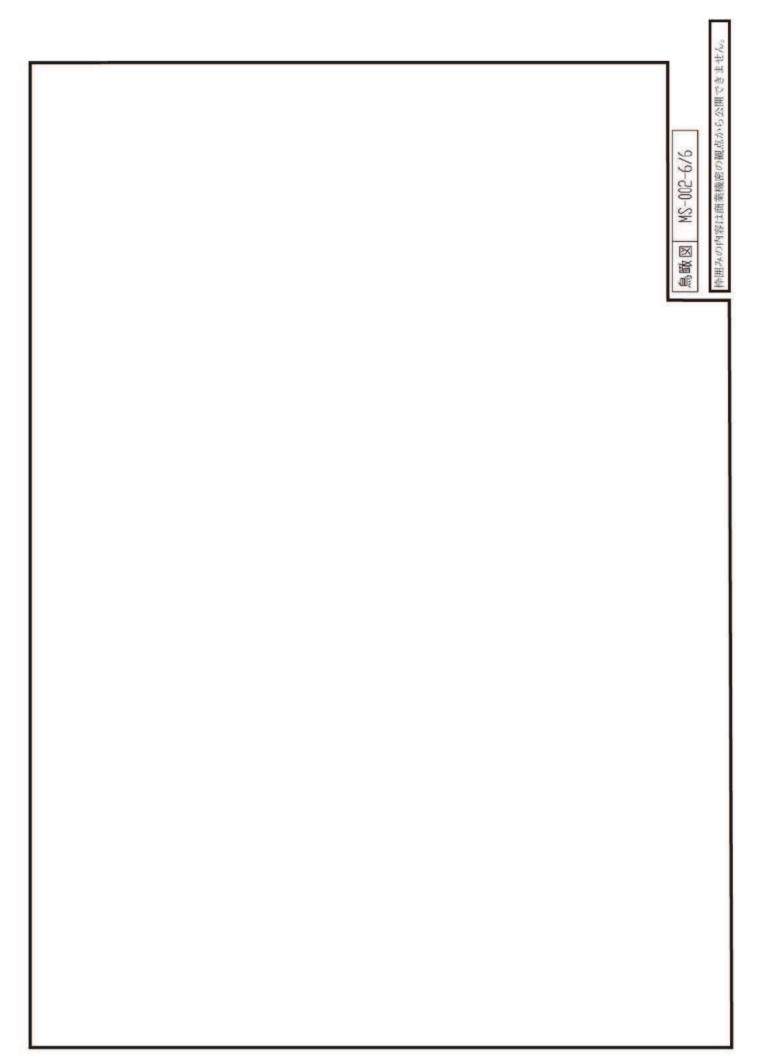


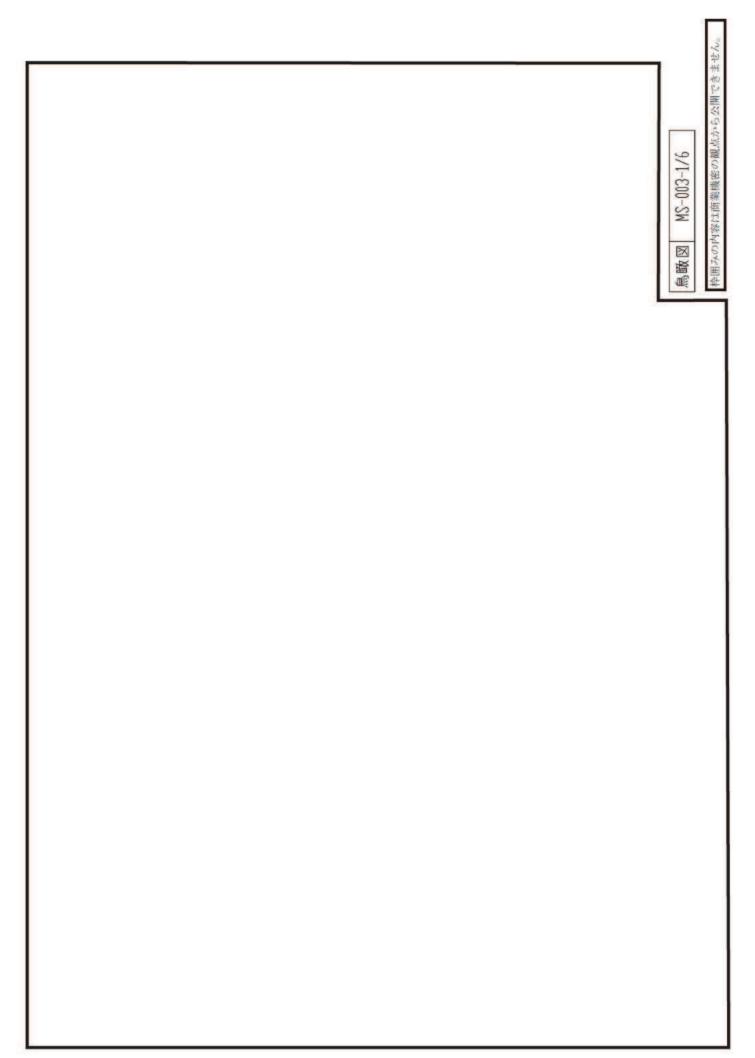


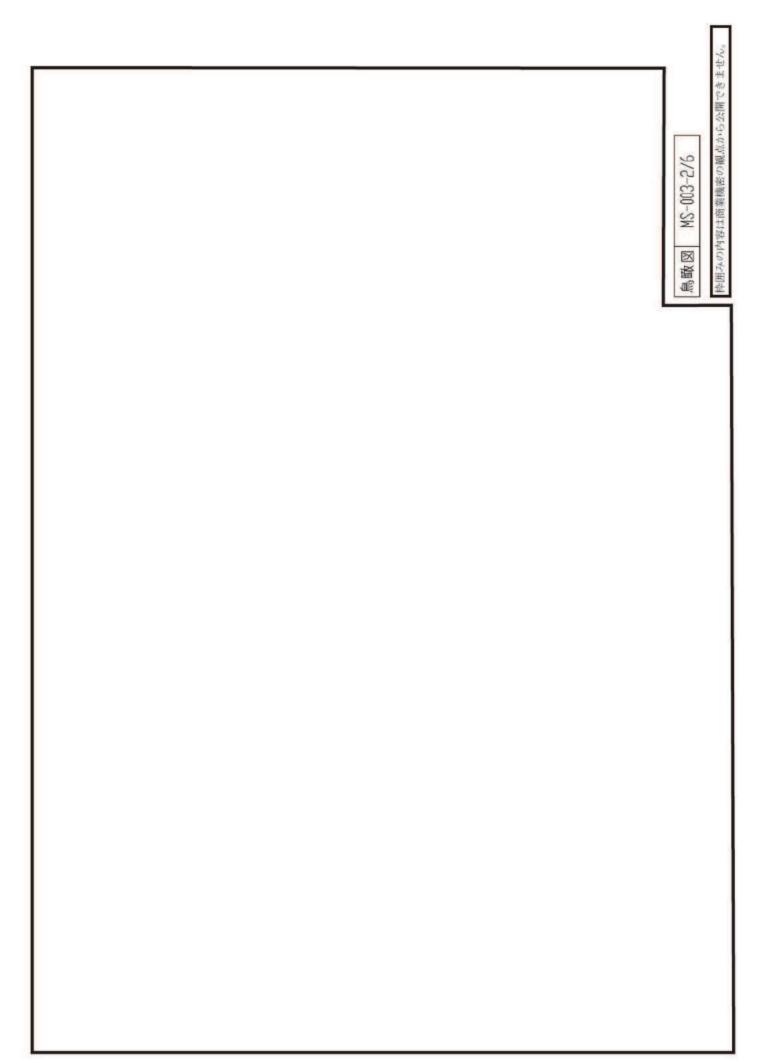




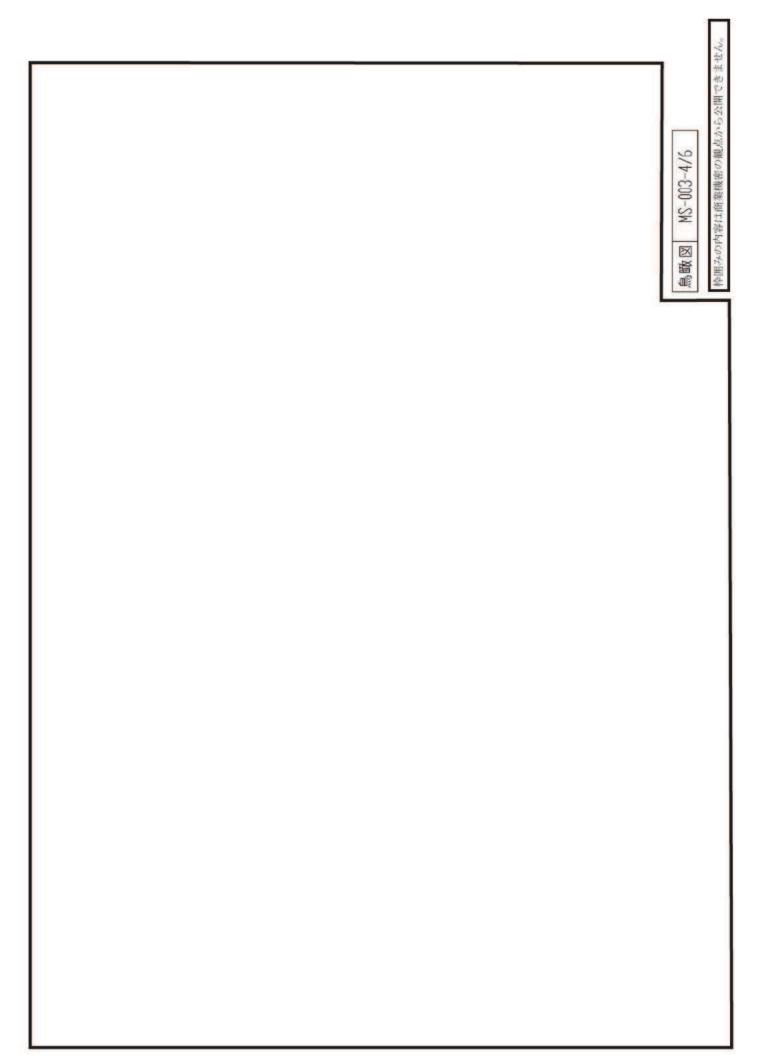


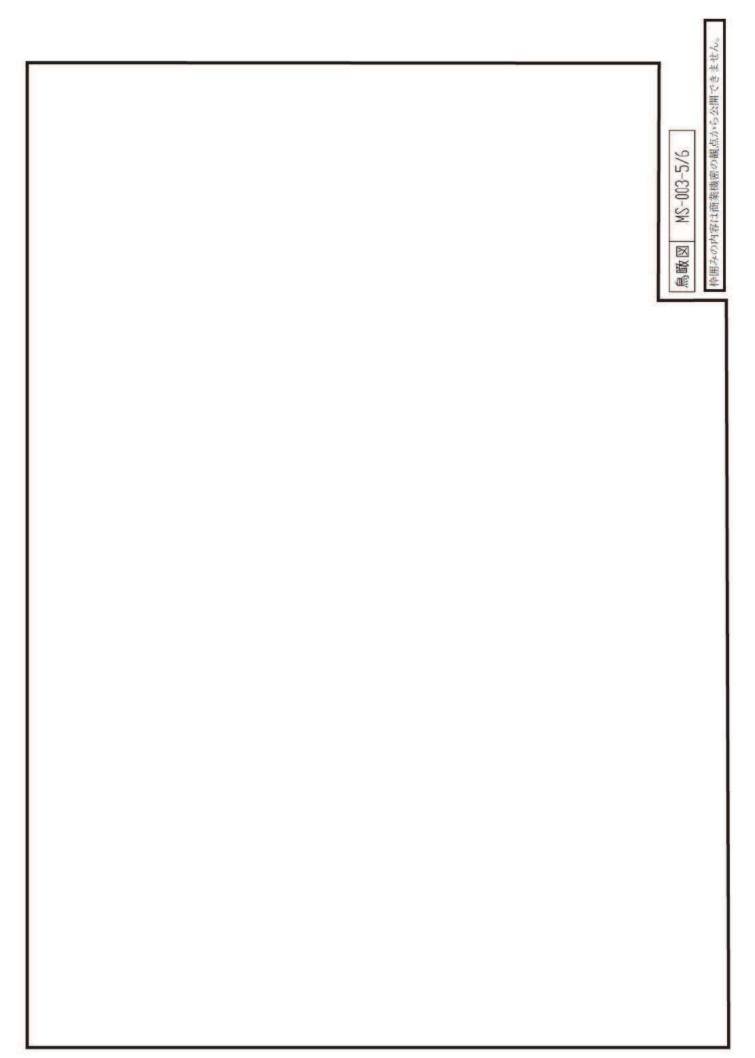


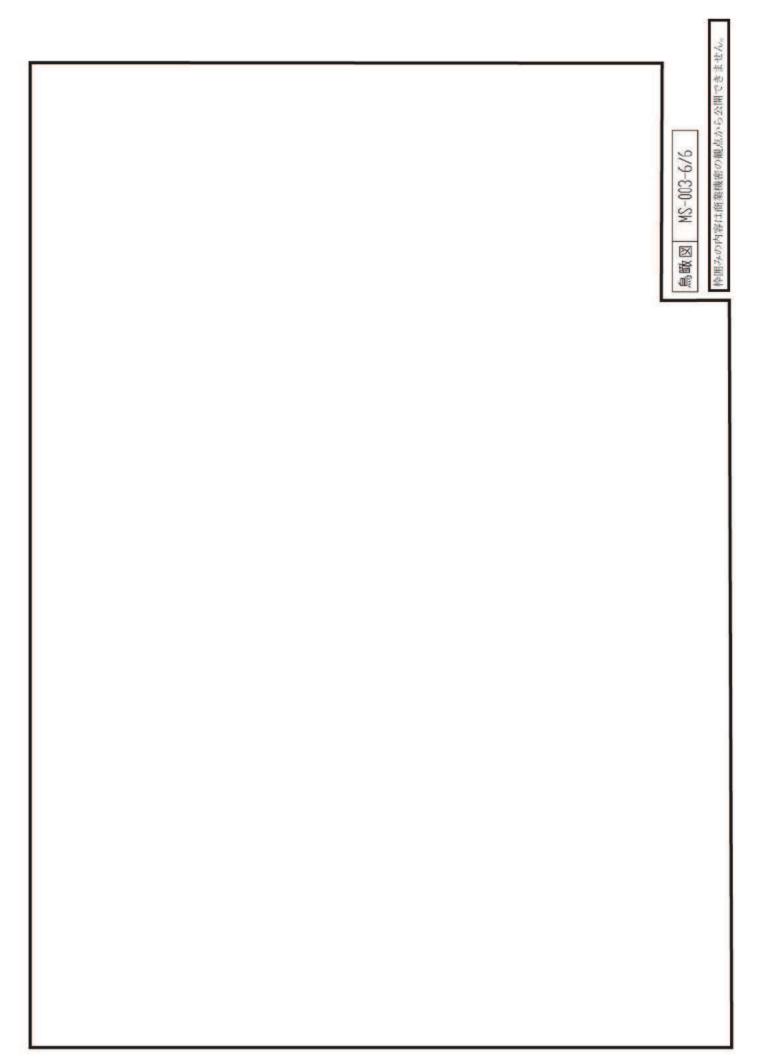


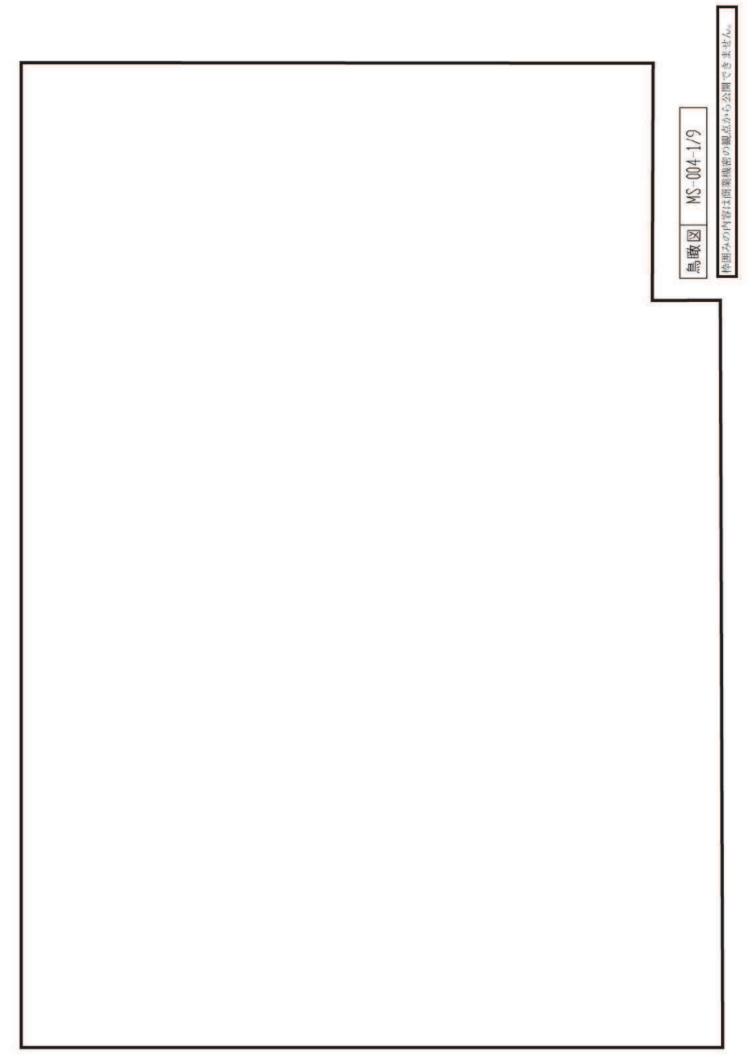


	1	ません。
		公開でき
	MS-003-3/6	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
	鳥瞰図	枠囲みの内容

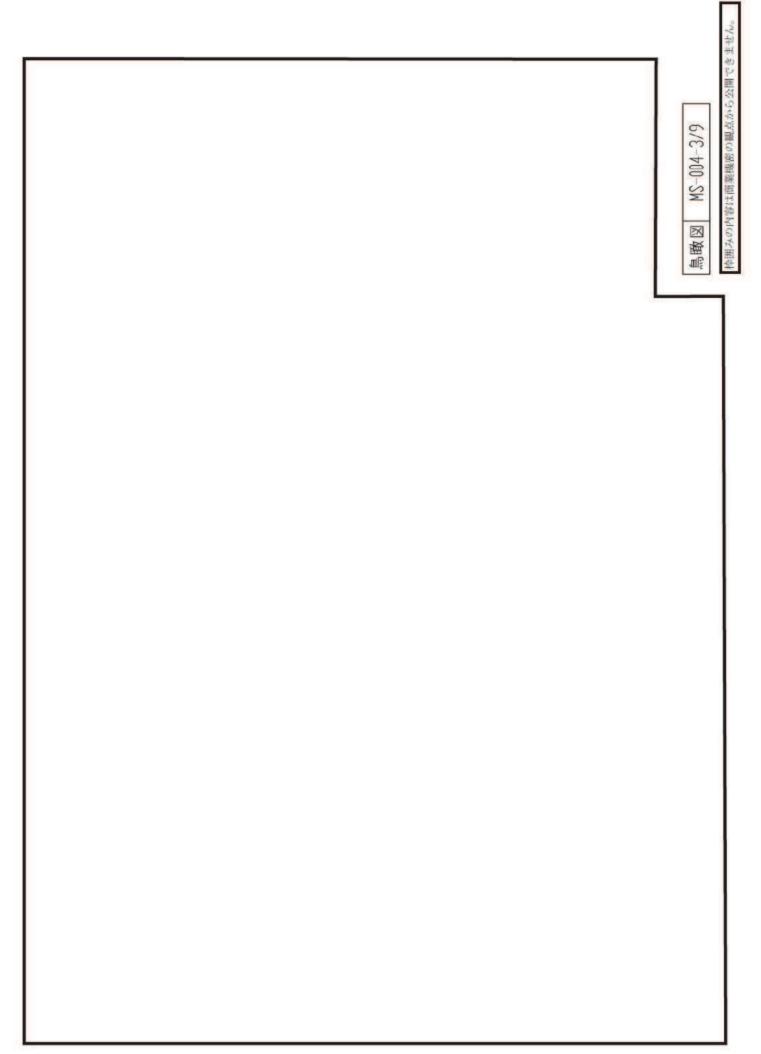


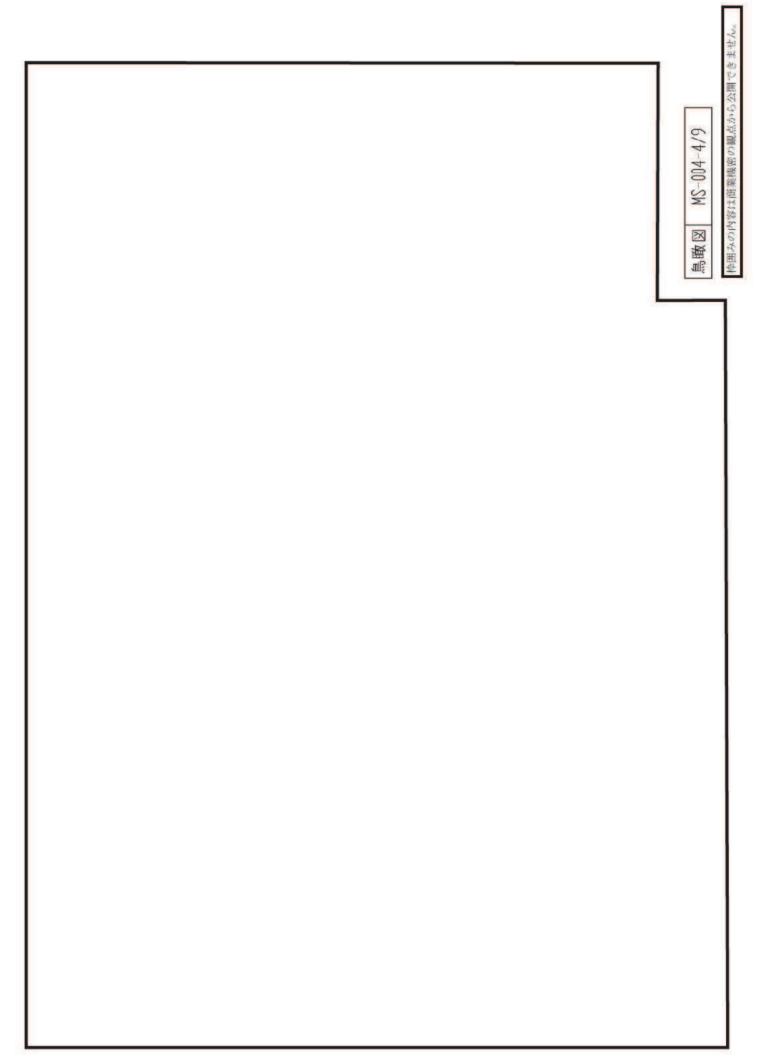


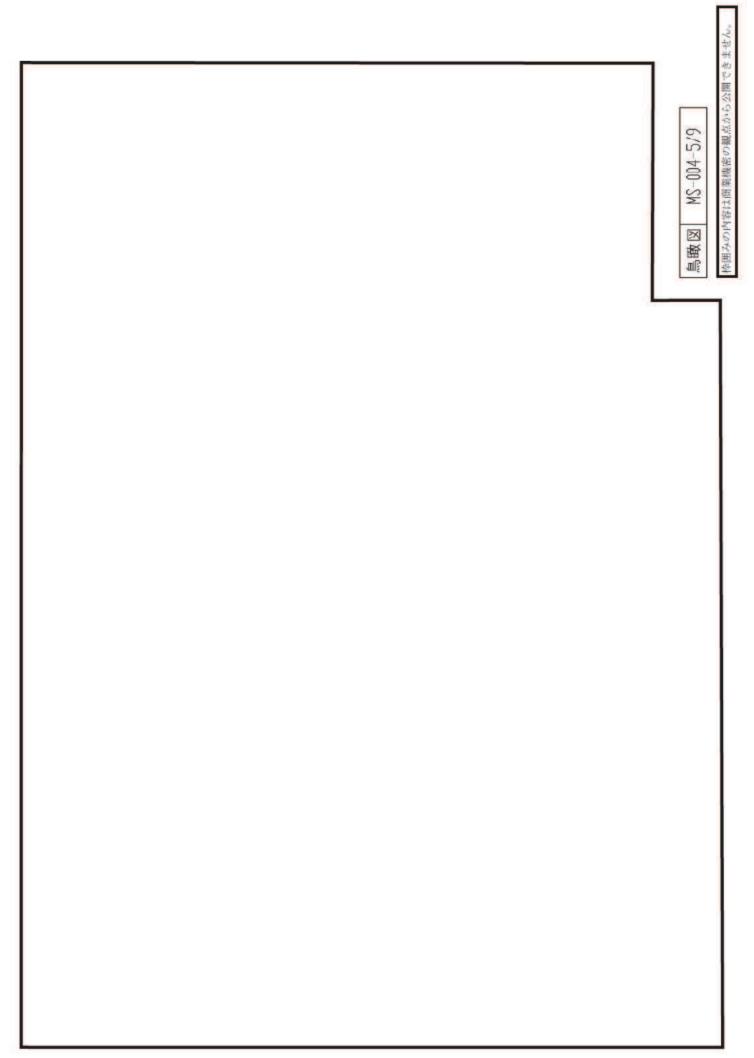


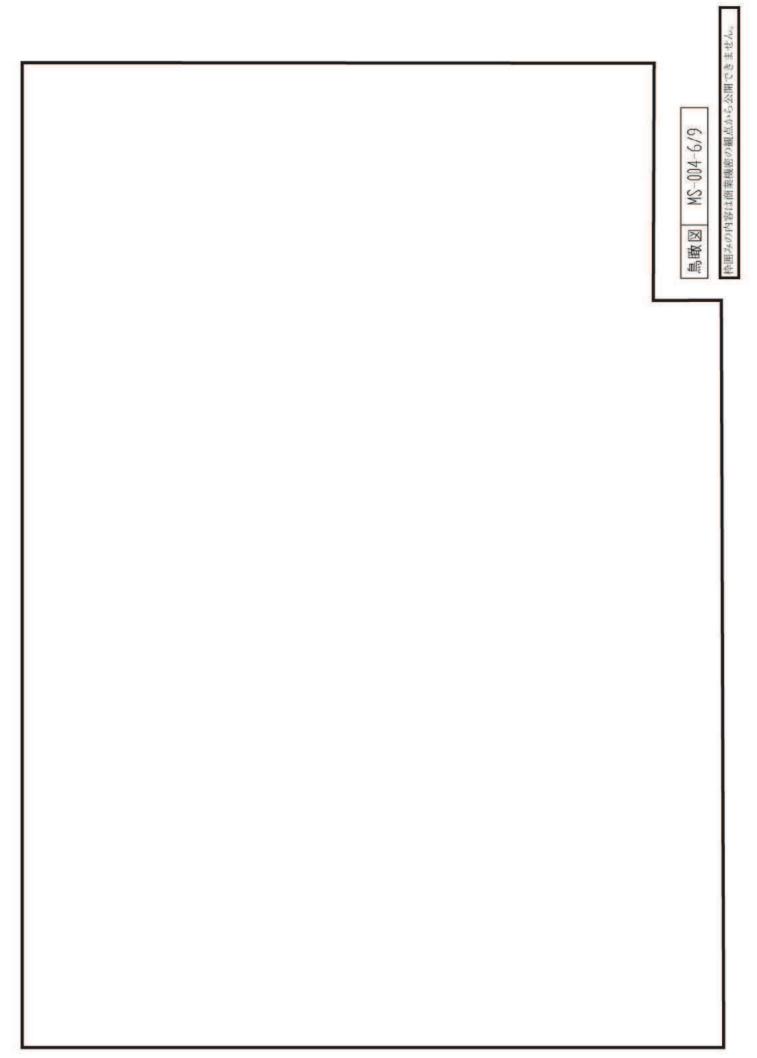


		鳥瞰図 MS-004-2/9

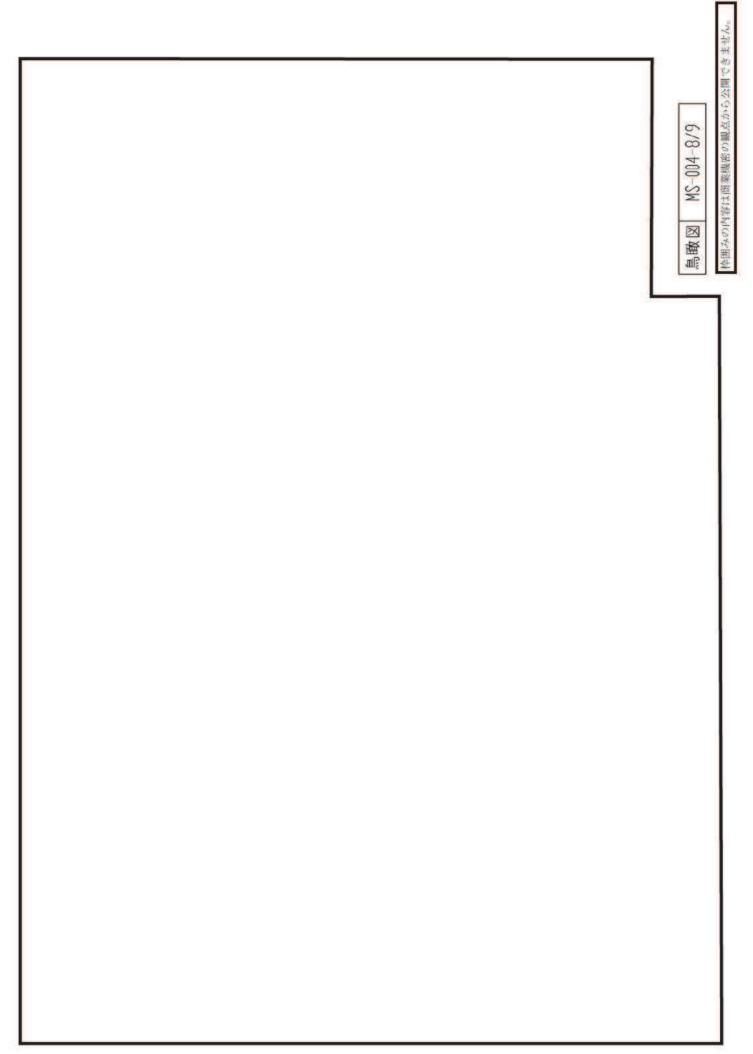


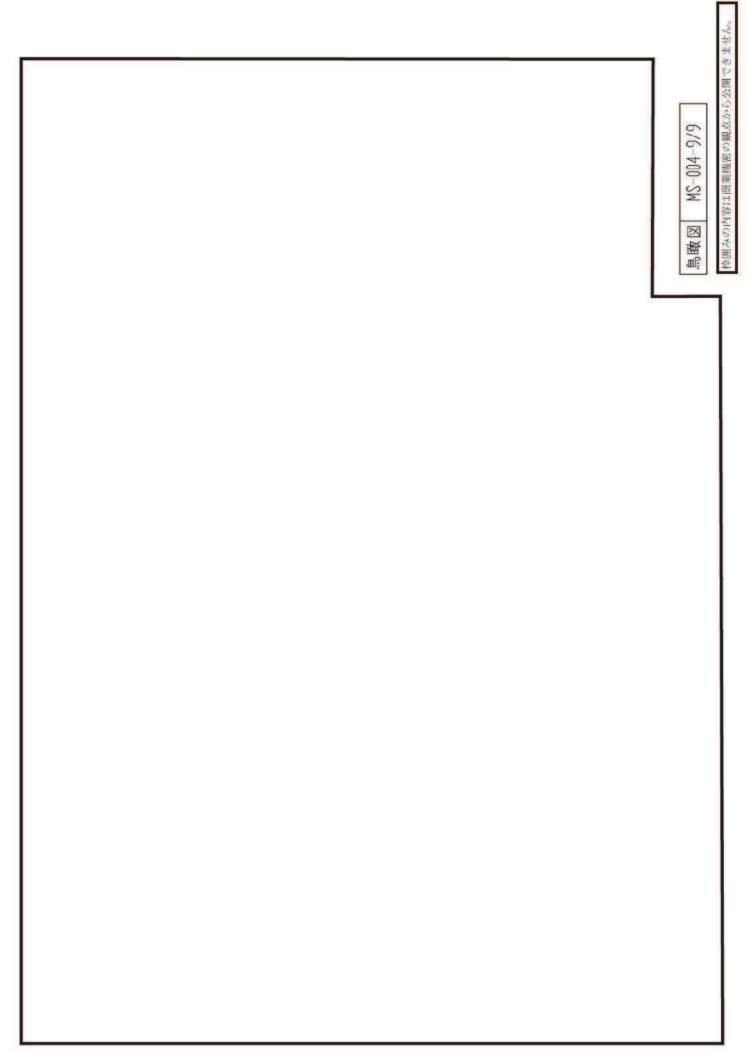


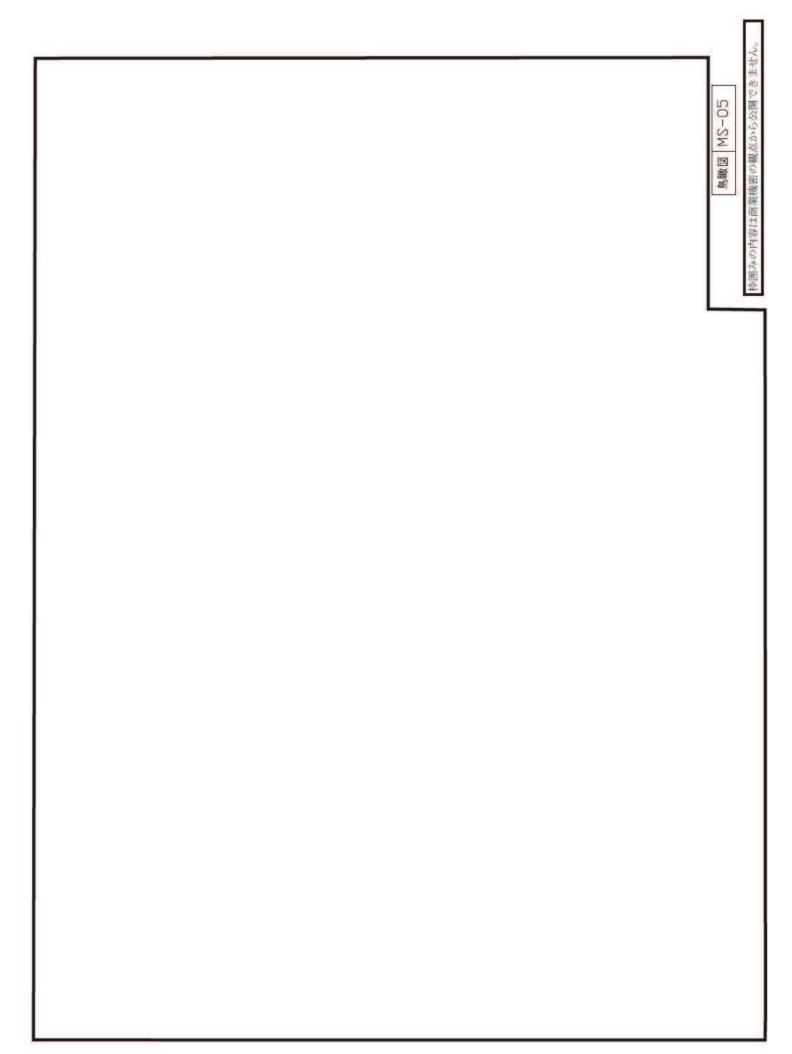


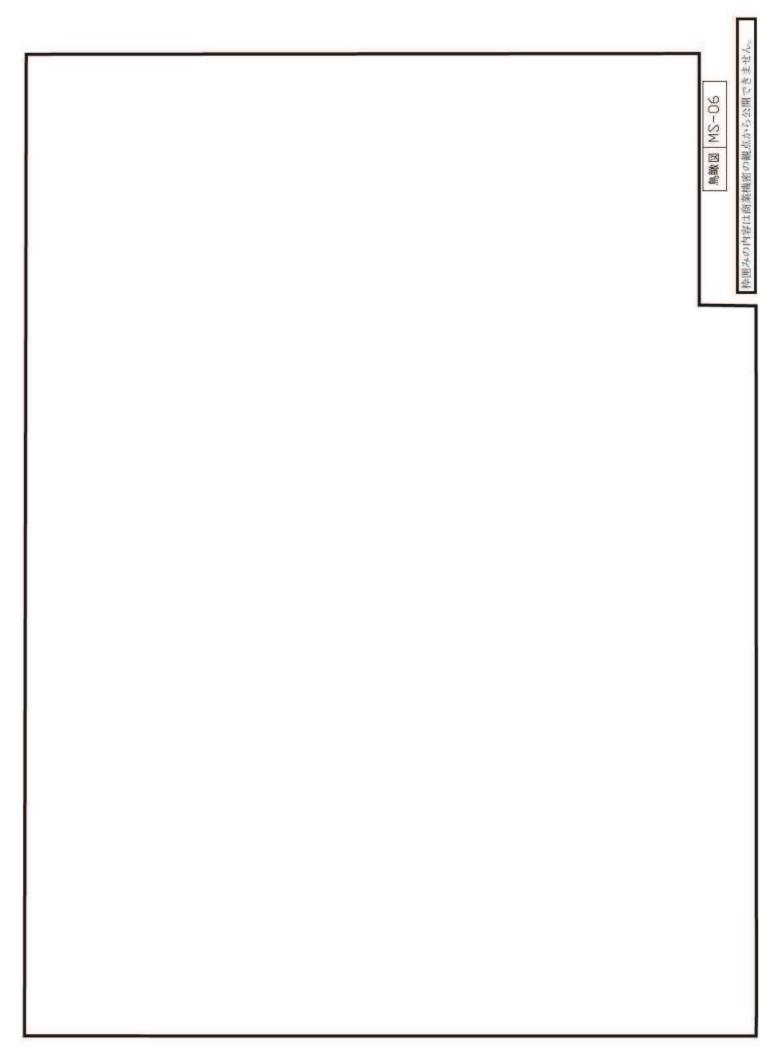


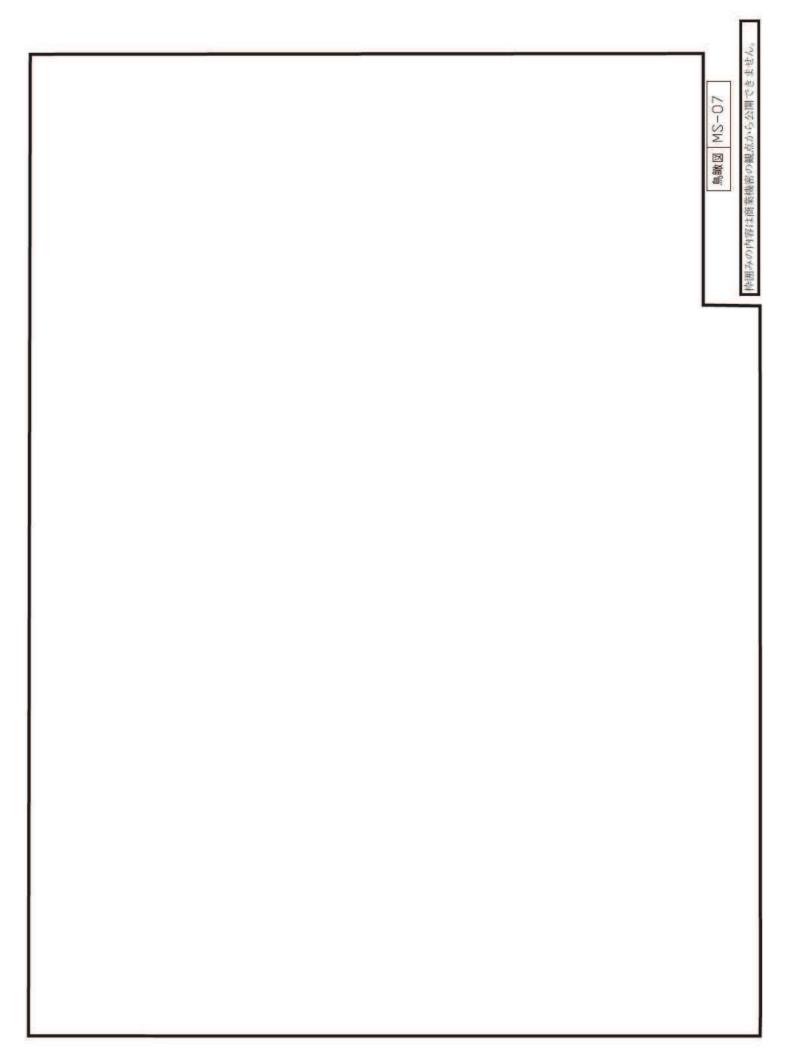
			鳥瞰図 MS-004-7/9
			鳥瞰図

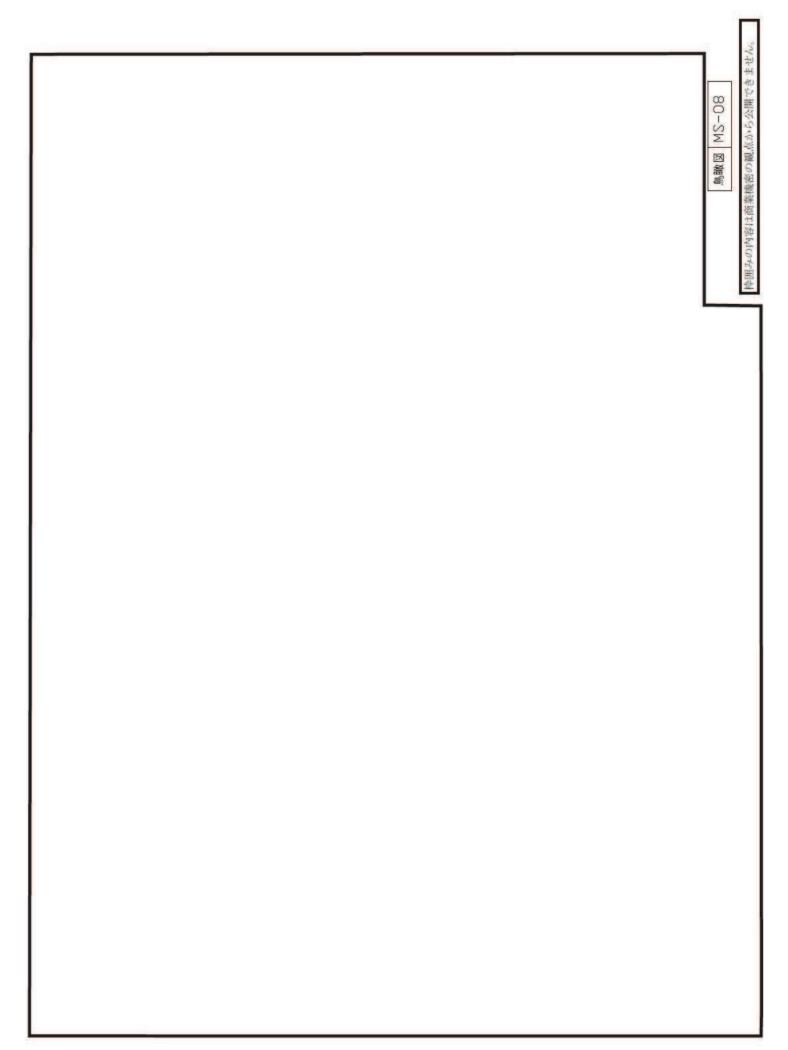


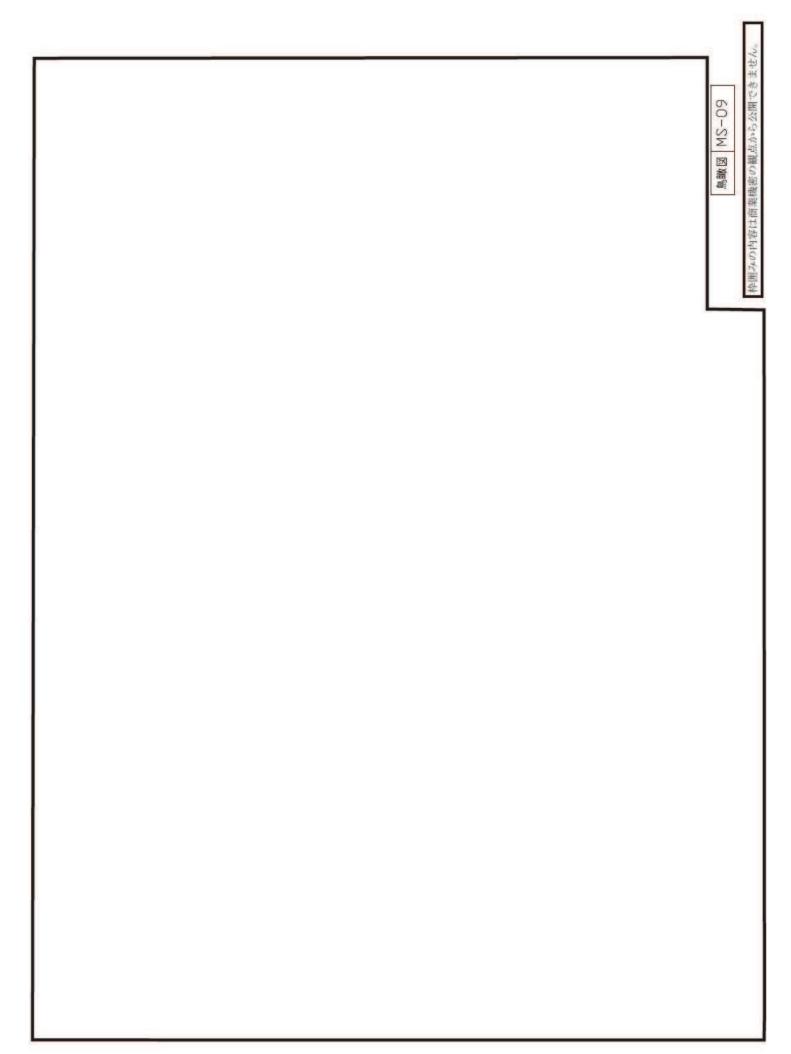


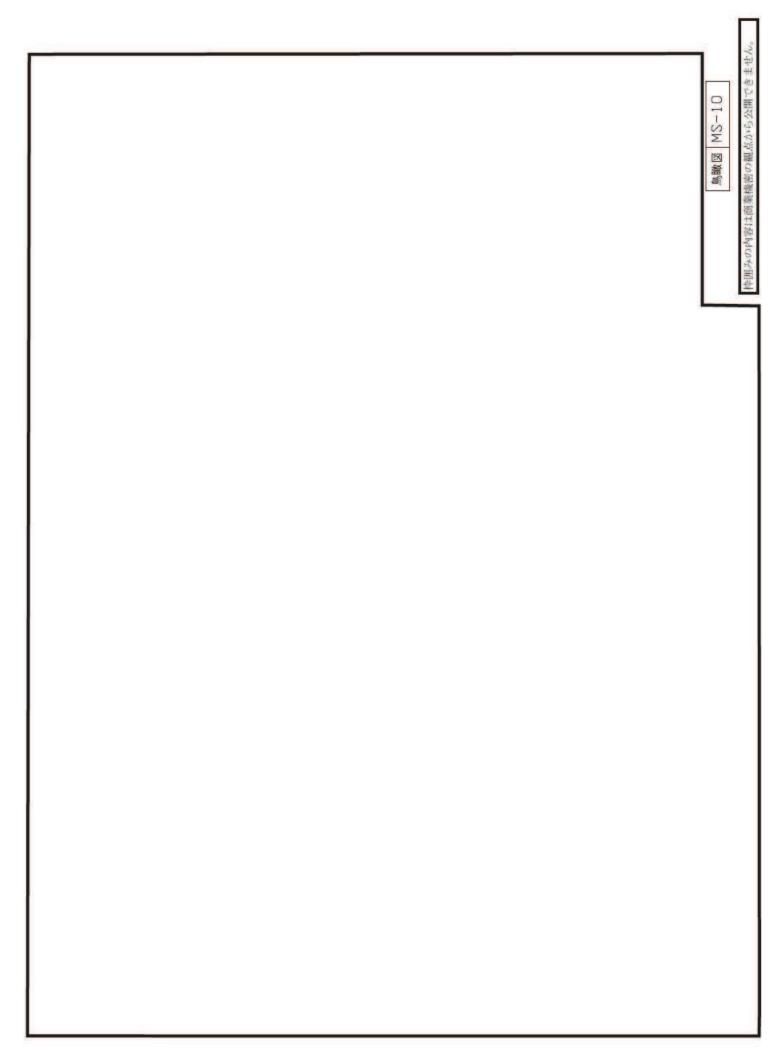


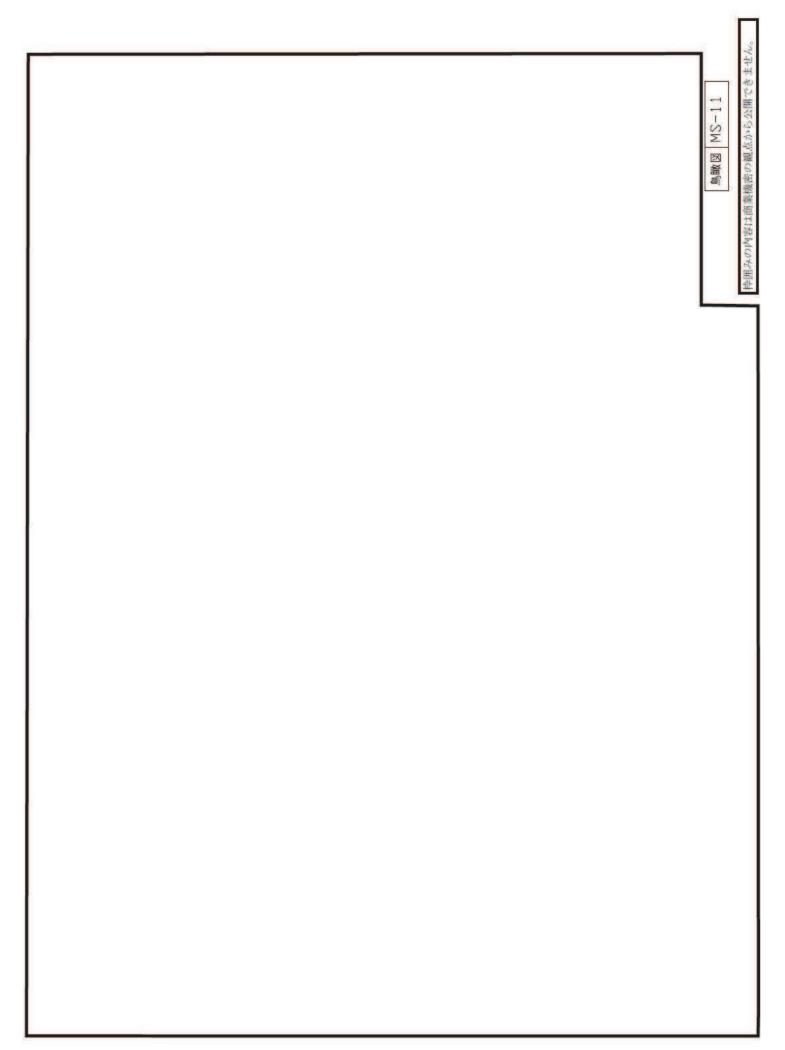


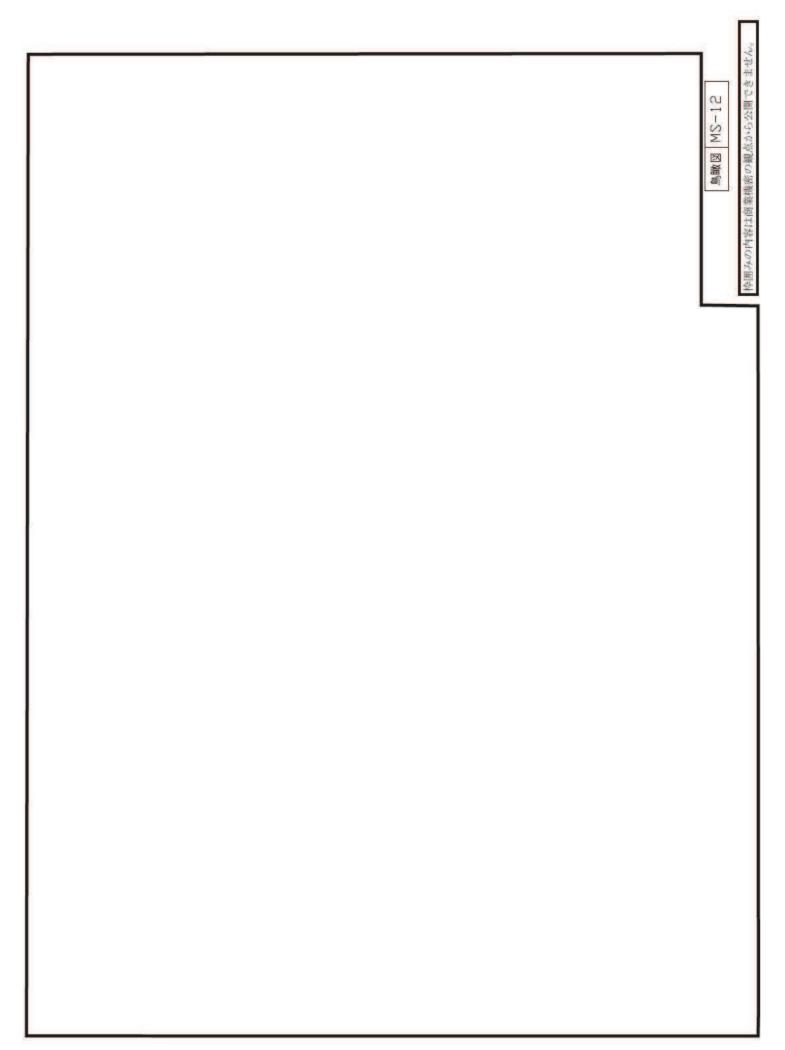


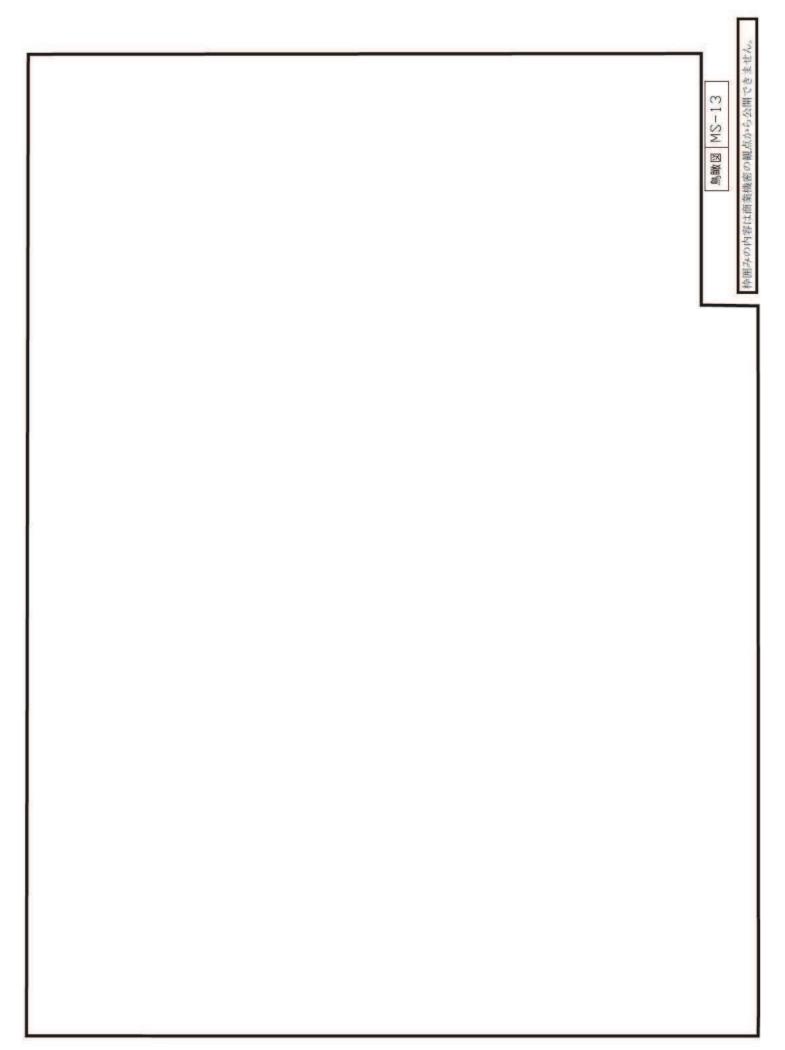


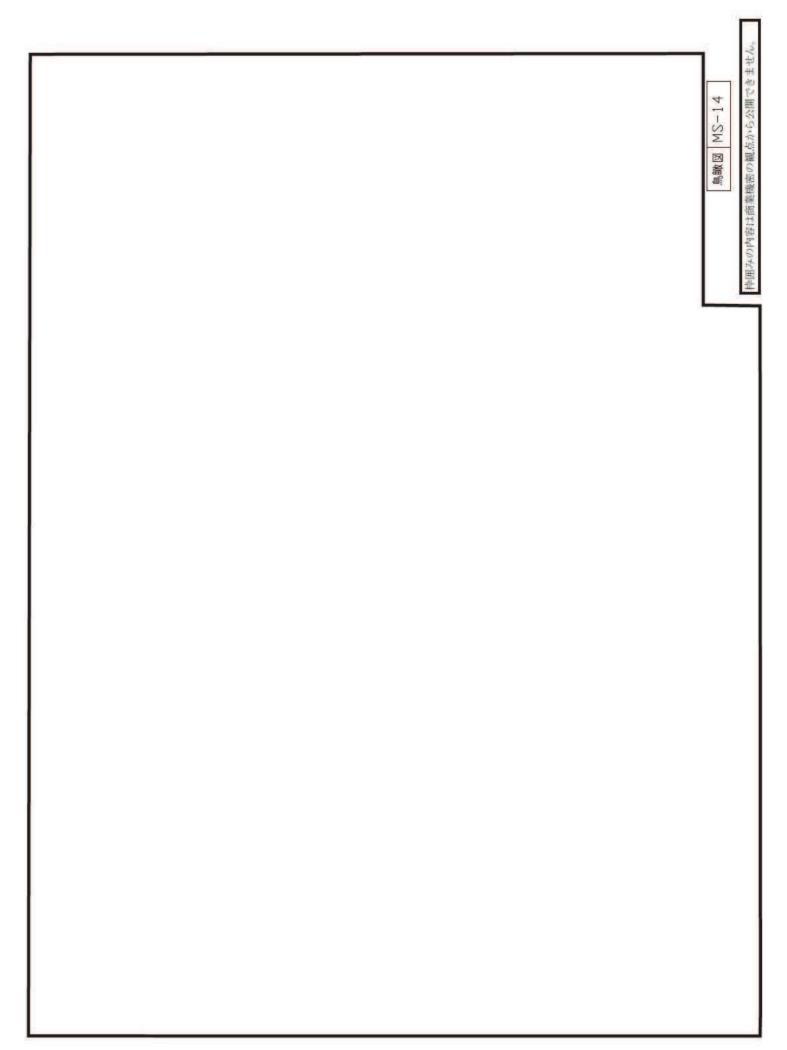


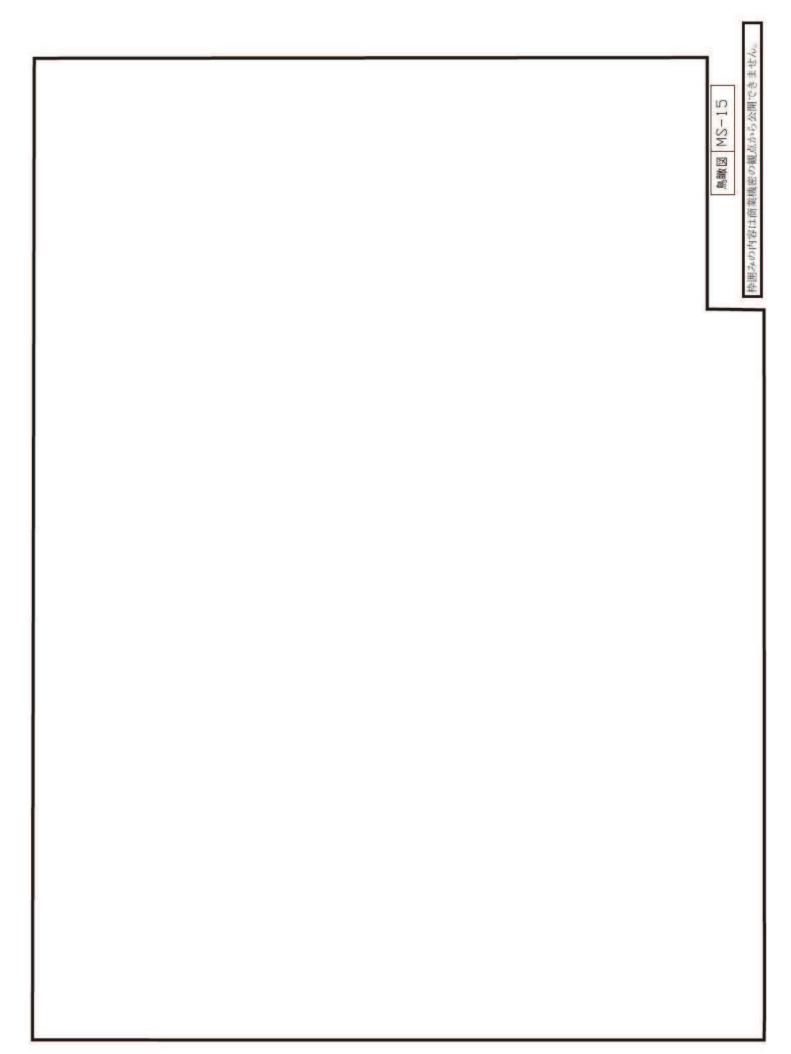


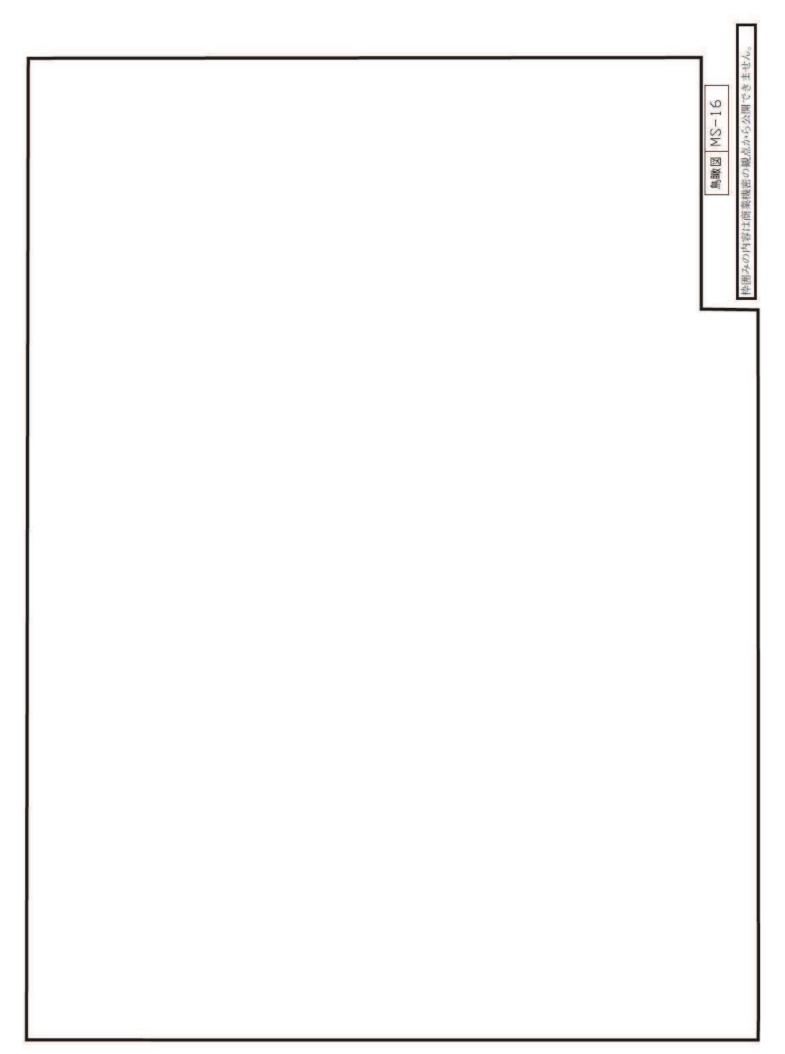


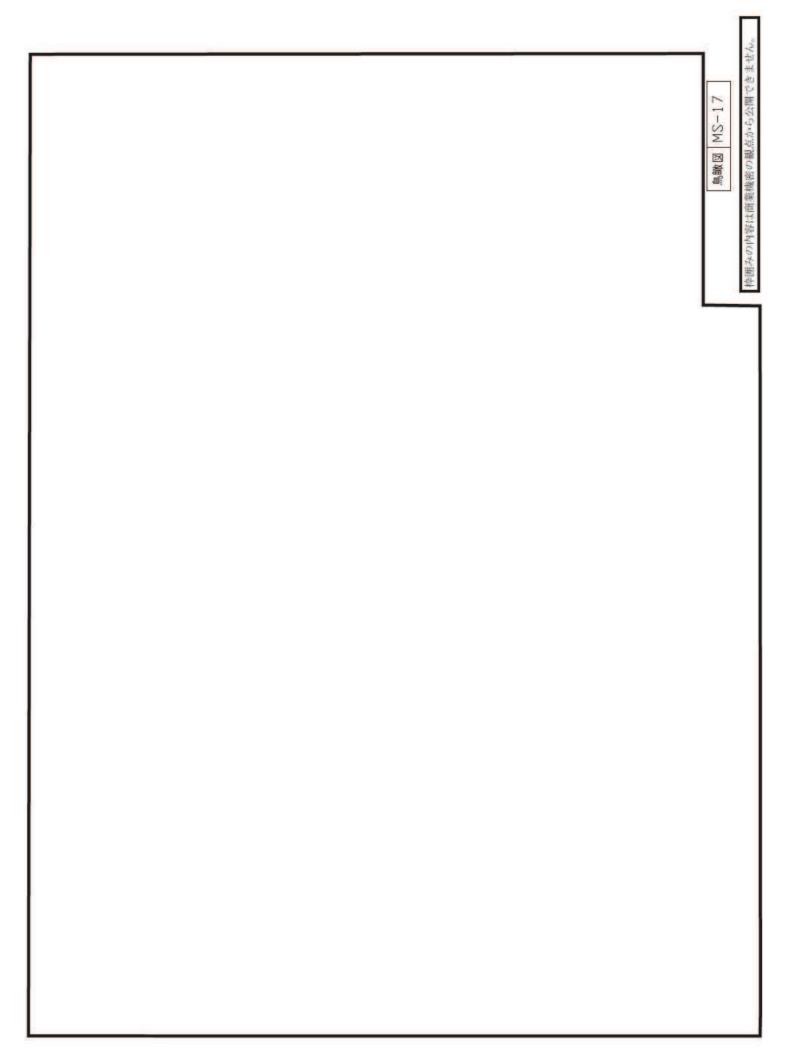


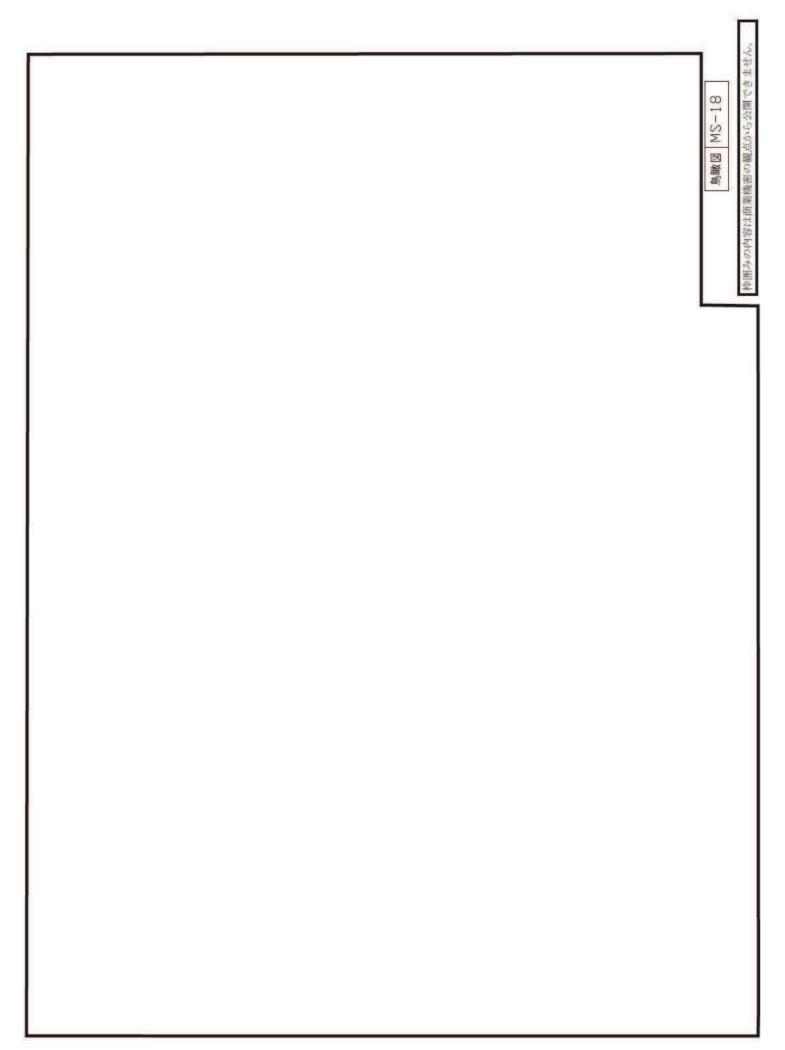


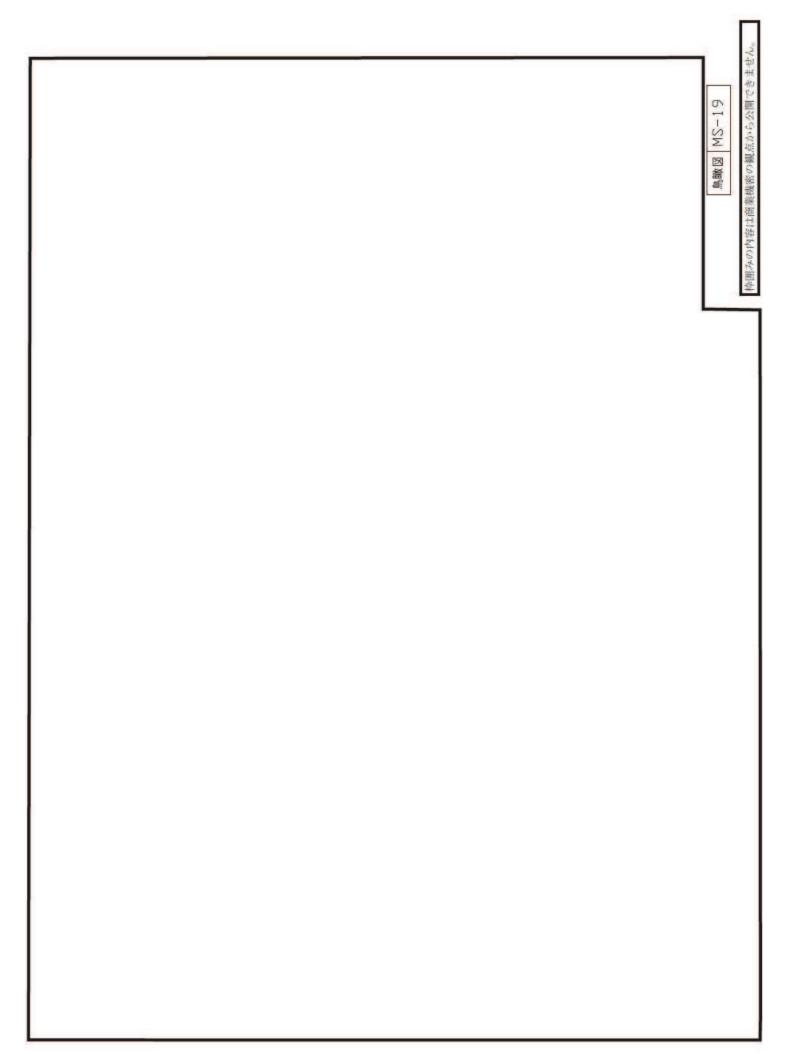


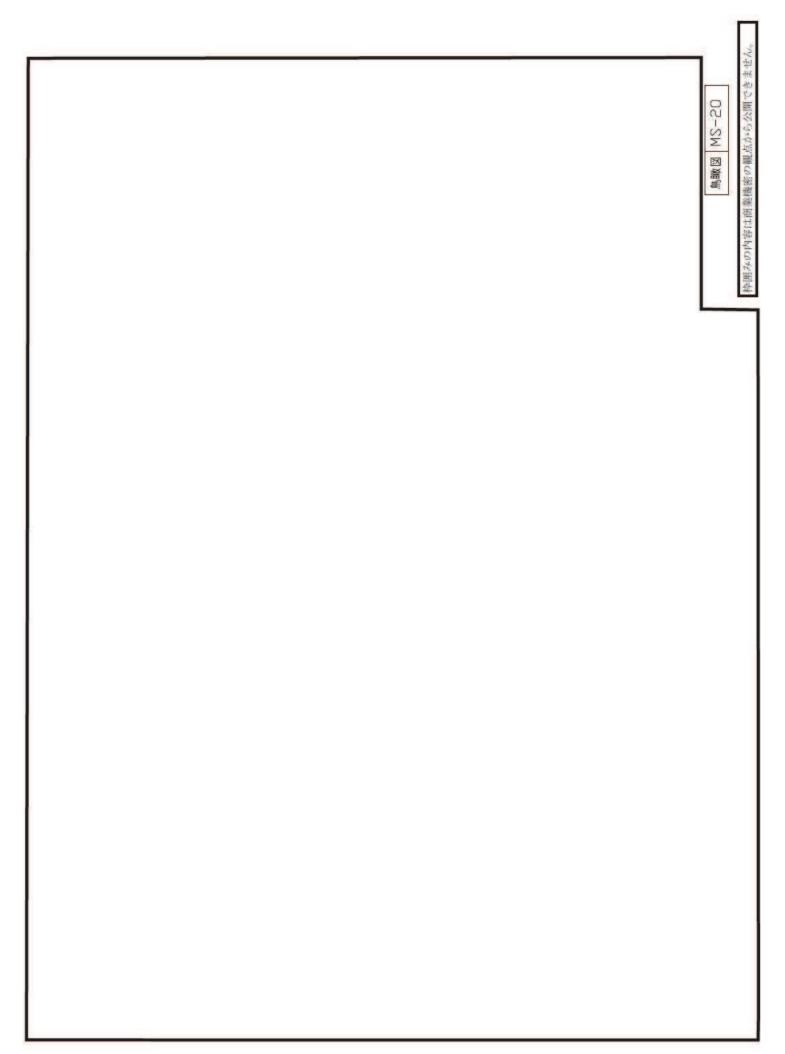


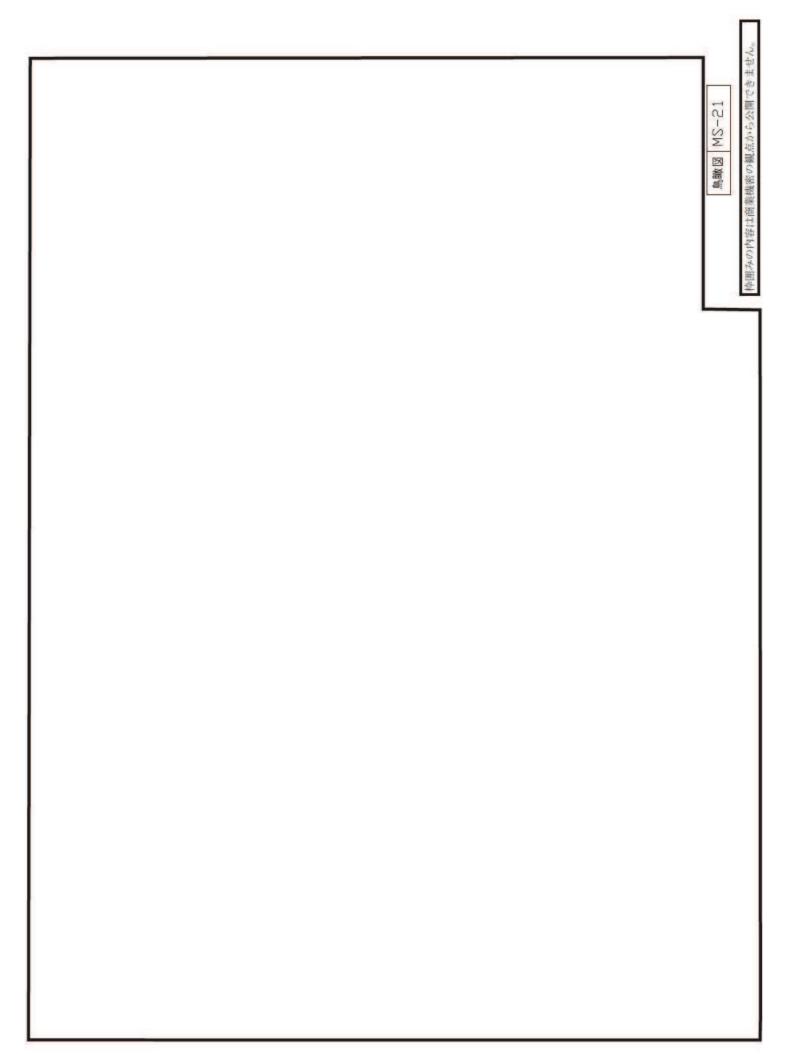












重大事故等対処設備

4.2.4 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果

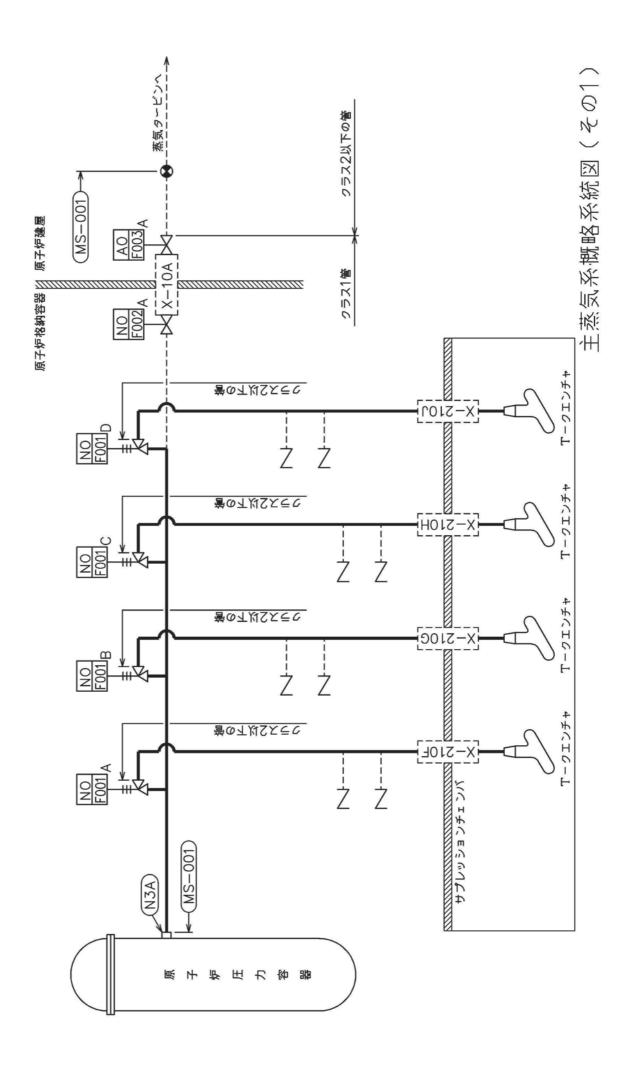
代表モデルは各モデルの最大応力点の応力と裕度を算出し、応力分類ごとに裕度が最小のモデルを選定して鳥瞰図、計算条件及び評価結 果を記載している。下表に, 代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果を示す。

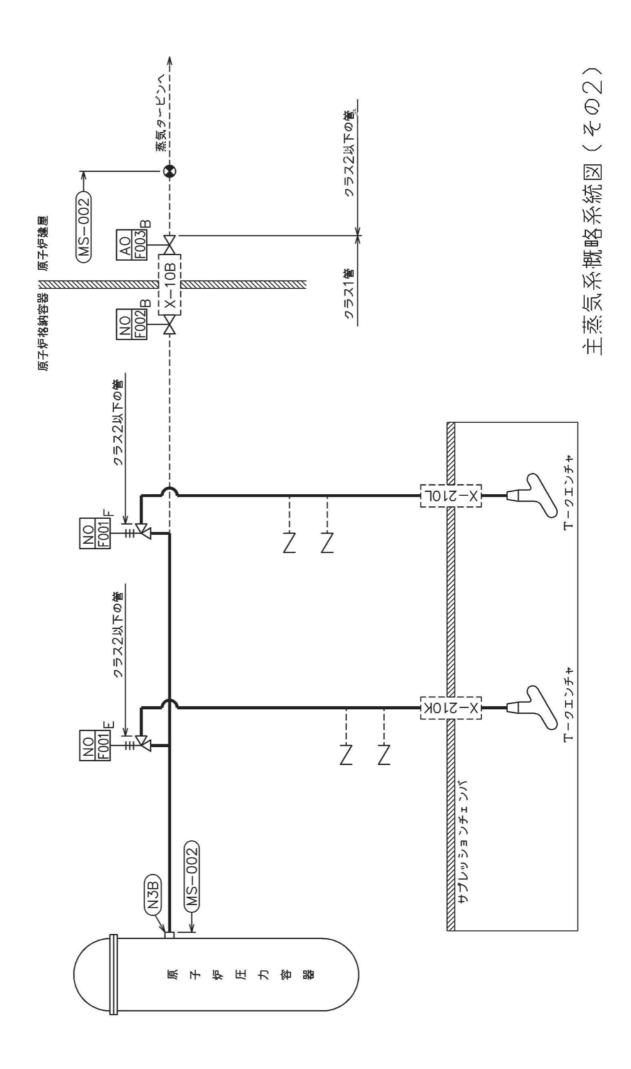
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

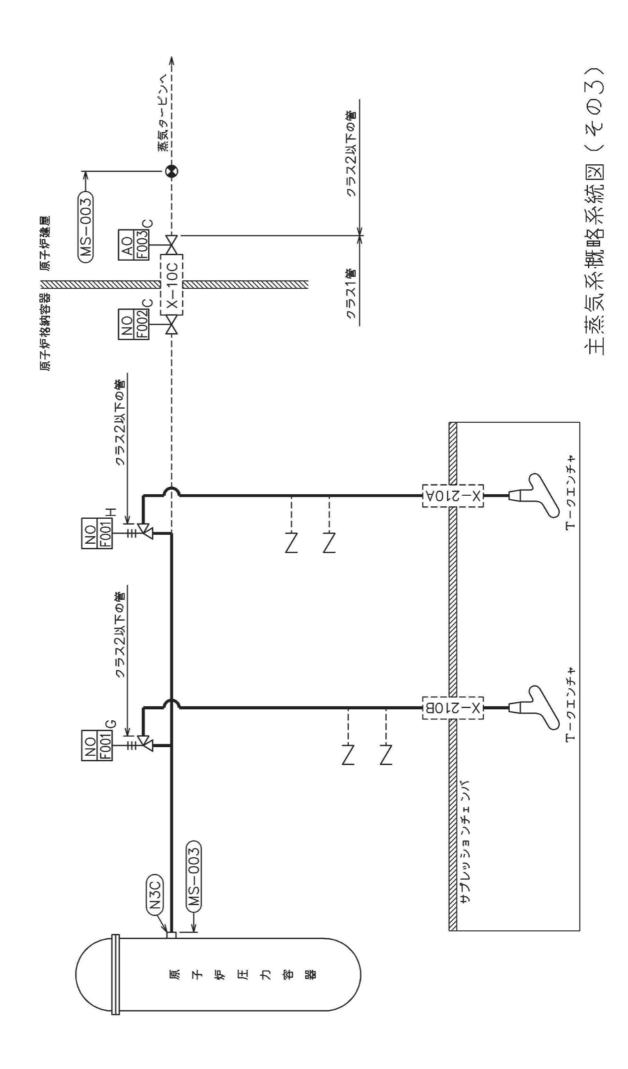
許容応力状態 VAS	疲労評価	代表	1			0]		1			1
		換 跳 绿 嶽 嶽 黎	I]		0.9004	1]	1	Ι]		Ι
		計 恒 位	1			432			1		1			Ι
	一次応力	代表	1	Ţ		0	1	[J		1		l	1
		裕	1.03	1.21	1.28	0.82	3.65	6.52	7.14	7.50	3,65	8.82	6.81	7.89
		許容 応力 (MPa)	386	386	386	386	300	300	300	300	300	300	300	300
		計算 応力 (MPa)	373	319	300	468	82	46	42	40	82	34	44	38
		評価点	307	151	135	432	က	4	4	5	4	4	4	လ
		代表	0	Ţ	1	0	1	ĺ]	I	1		I	1
		裕	1.41	2.32	2.16	1.41	6.08	9.51	10.02	10.60	6.39	11.96	9.76	10.91
		許容 応力 (MPa)	363	363	363	363	371	371	371	371	371	371	371	371
		計算 応力 (MPa)	256	156	168	256	61	39	37	35	58	31	38	34
		評価点	307	151	220	237	3	4	4	5	4	4	4	3
配管モデル			MS-001	MS-002	MS-003	MS-004	MS-05	MS-06	MS-07	MS-08	60-SM	MS-10	MS-11	MS-12
No.			П	2	3	4	5	9	7	8	6	10	11	12

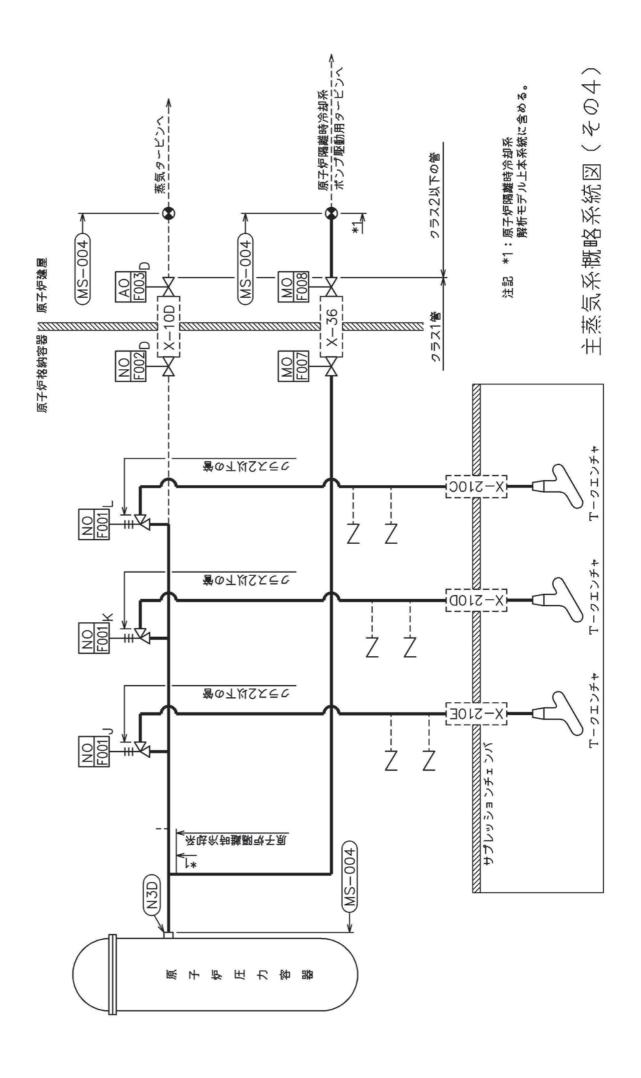
代表モデルの選定結果及び全モデルの評価結果(重大事故等クラス2管であってクラス2以下の管)

許容応力状態 VAS	疲労評価	代表					1	1		1	
		報 と と と と と と と な な な な な な な な な か か か か	1]	Ţ	Ι	1	[Ι	I
		評価点			1		Ι	1	1	Ι	
	一次十二次応力	代表	I	ĺ]	1	Ī]	I	Ι	Ī
		裕	7.50	13.63	6.81	3.84	12, 50	7.14	15.00	4.16	4.83
		許容 応力 (MPa)	300	300	300	300	300	300	300	300	300
		計算 応力 (MPa)	40	22	44	78	24	42	20	72	62
		評価点	9	3	3	4	4	4	3	3	4
	一次応力	代表		[]	1	1	1	I	1	1
		裕	10.60	16.86	10.02	6.74	15, 45	11.24	17.66	6.50	8, 43
		許容 応力 (MPa)	371	371	371	371	371	371	371	371	371
		計算 応力 (MPa)	35	22	37	22	24	33	21	57	44
		評価点	9	3	3	4	4	4	3	3	4
配管モデル			MS-13	MS-14	MS-15	MS-16	MS-17	MS-18	MS-19	MS-20	MS-21
No.			13	14	15	16	17	18	19	20	21

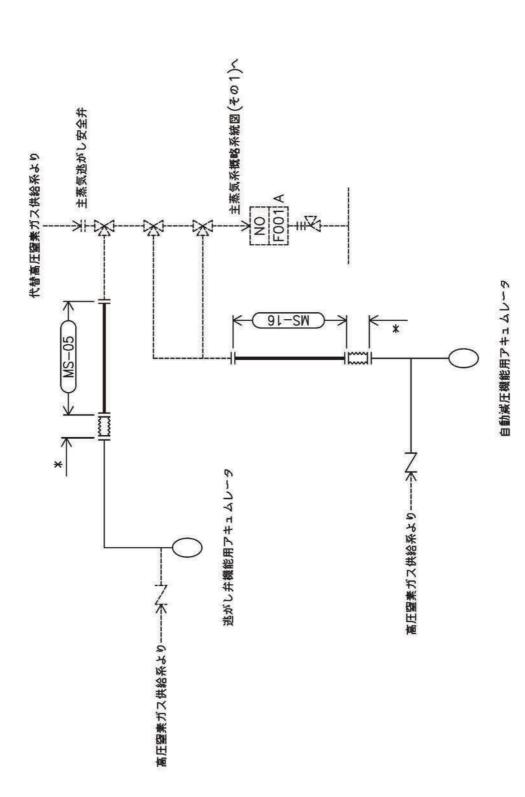






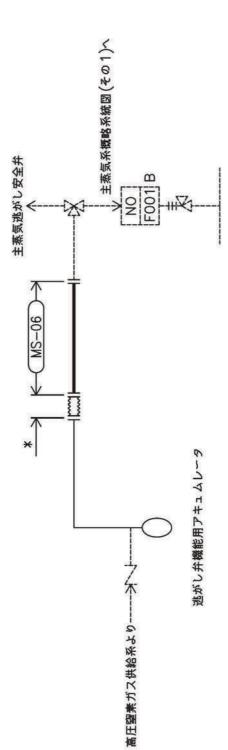


注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



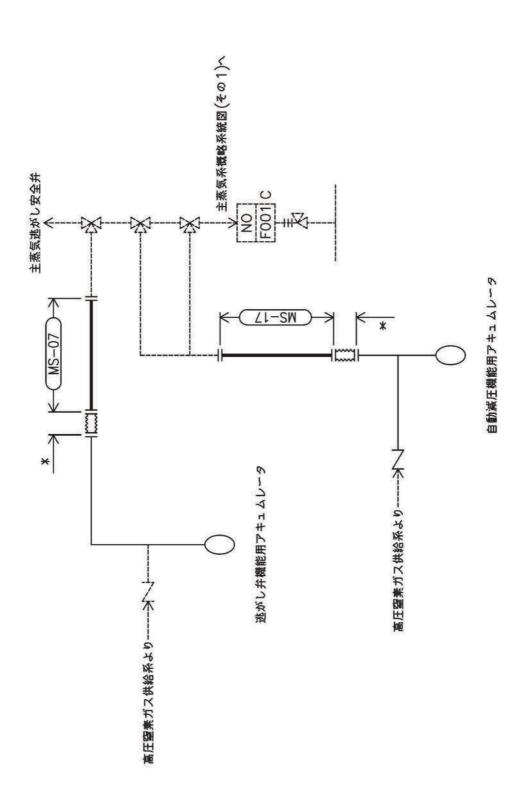
解析モデル上本系統に含める

注記*:高压窒素ガス供給系

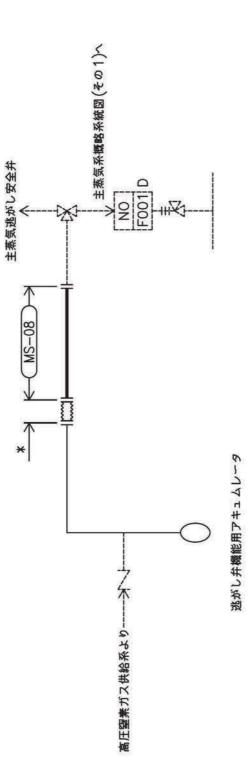


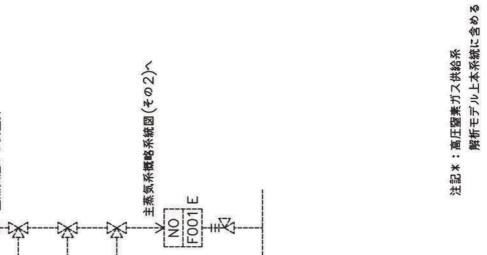
241

注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



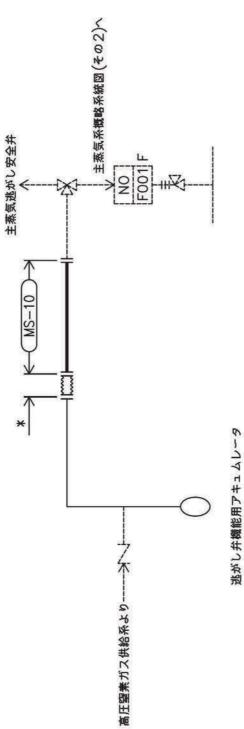
注記 *: 高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める



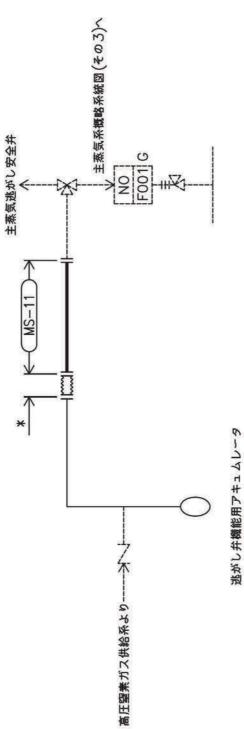


代替高圧窒素ガス供給系より 自動減圧機能用アキュムレータ 81-2M * 高圧窒素ガス供給系より-----メート 逃がし弁機能用アキュムレータ

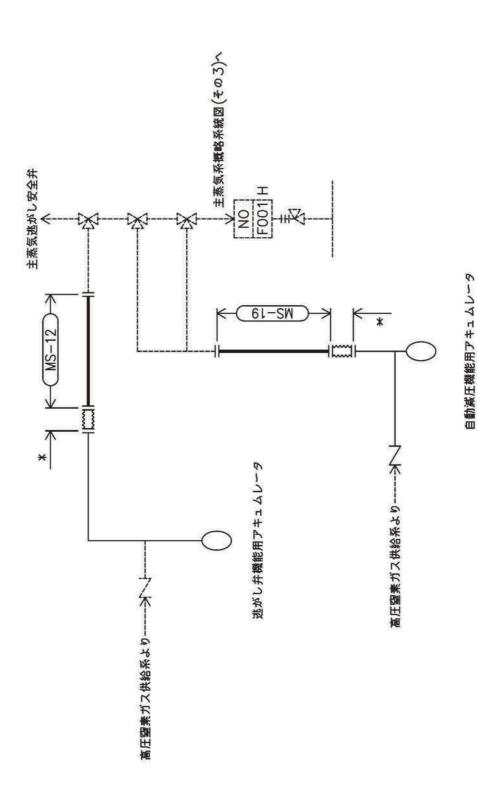
解析モデル上本系統に含める 注記*:高压窒素ガス供給系



解析モデル上本系統に含める 注記*:高压窒素ガス供給系

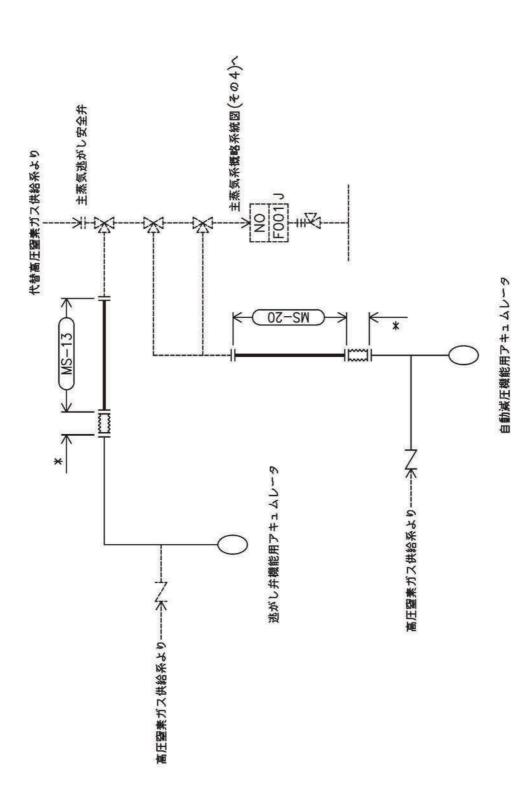


注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める

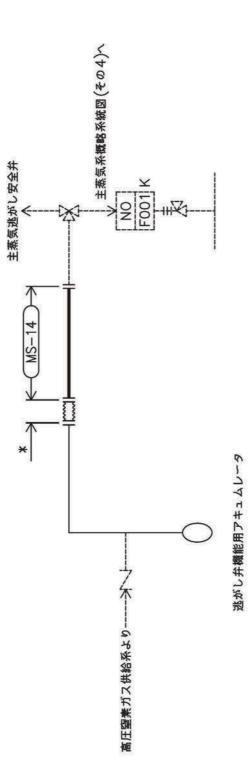


247

注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める

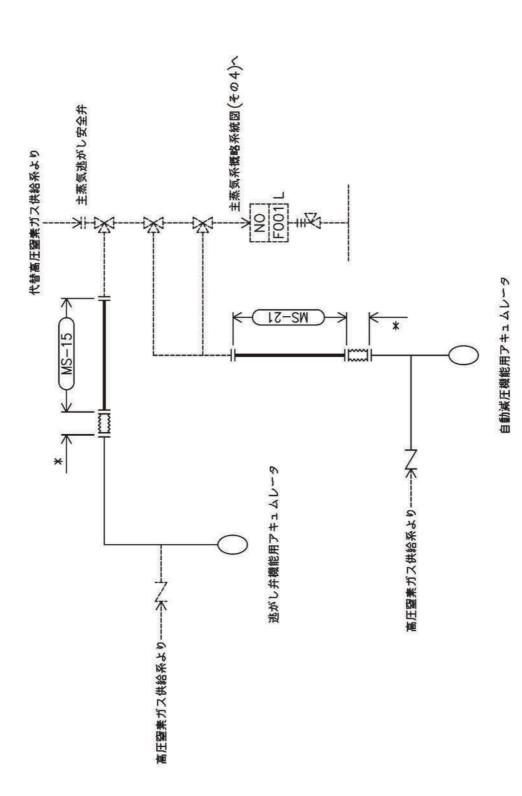


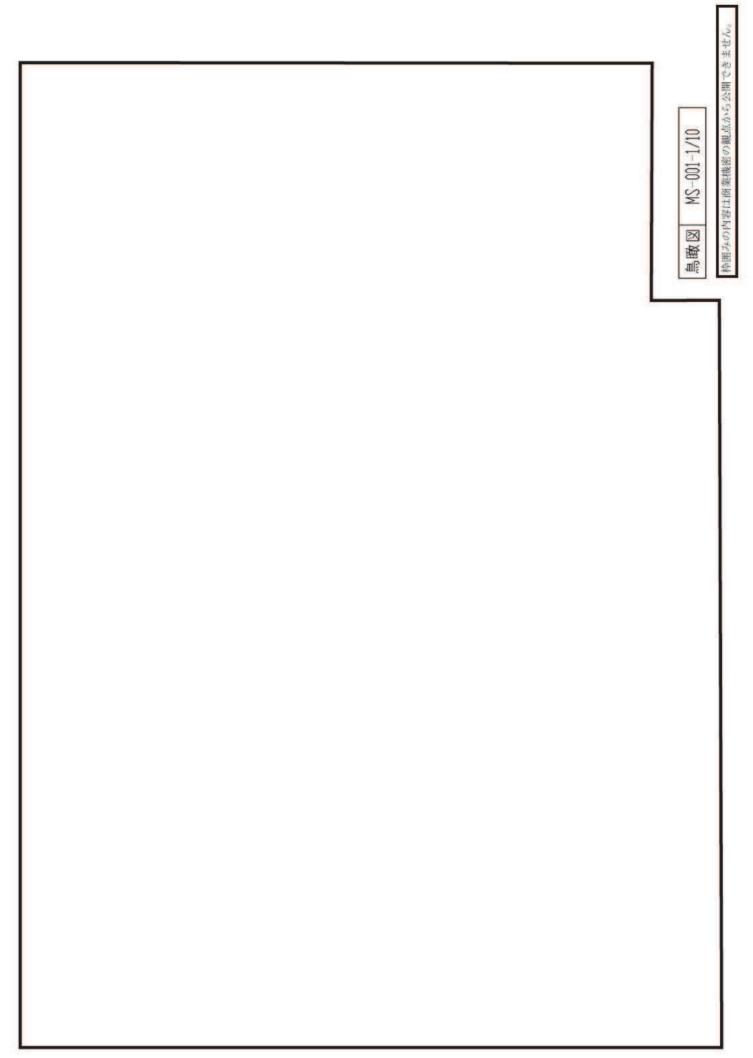
注記 *: 高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める

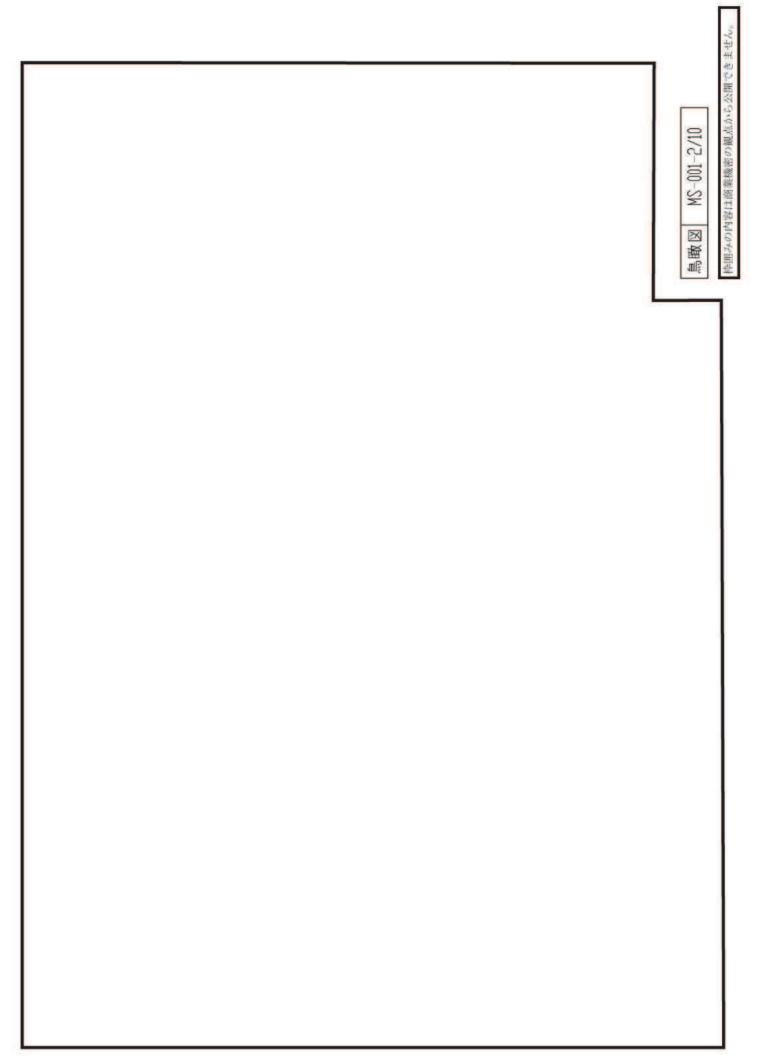


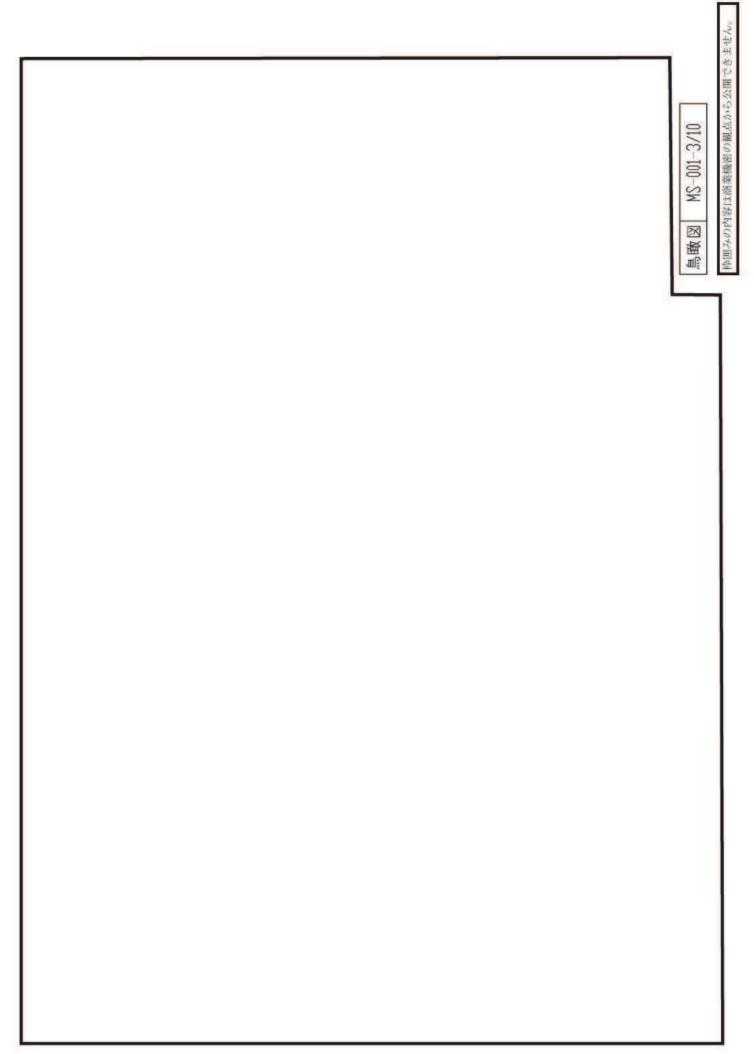
249

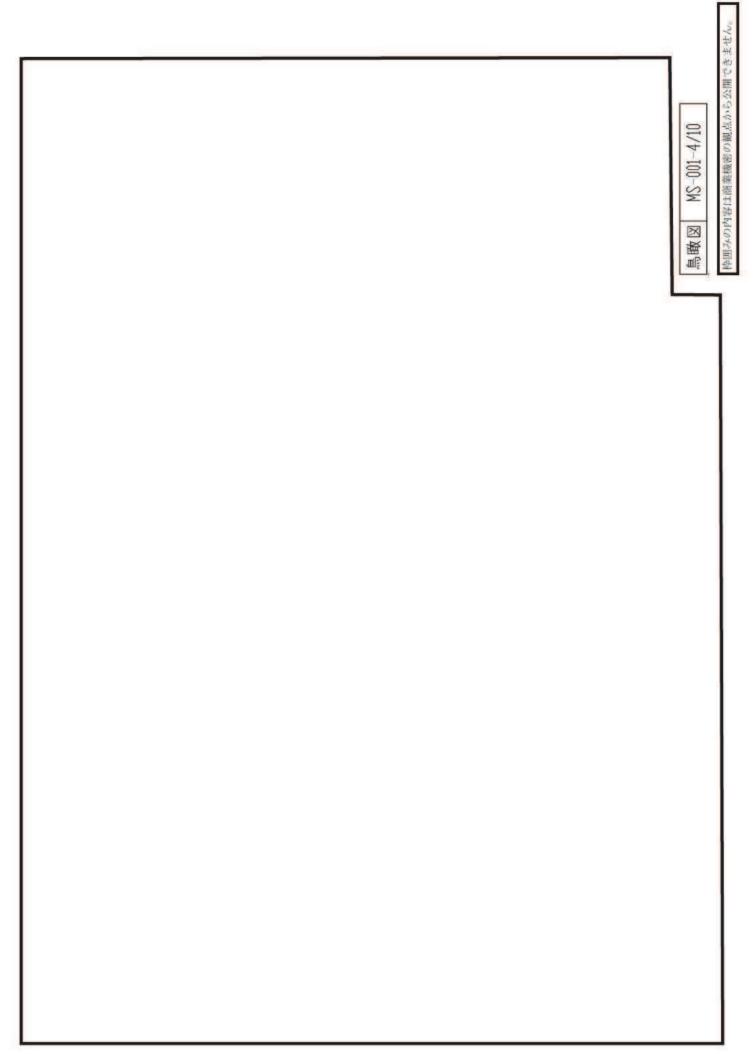
注記*:高圧窒素ガス供給系 解析モデル上本系統に含める

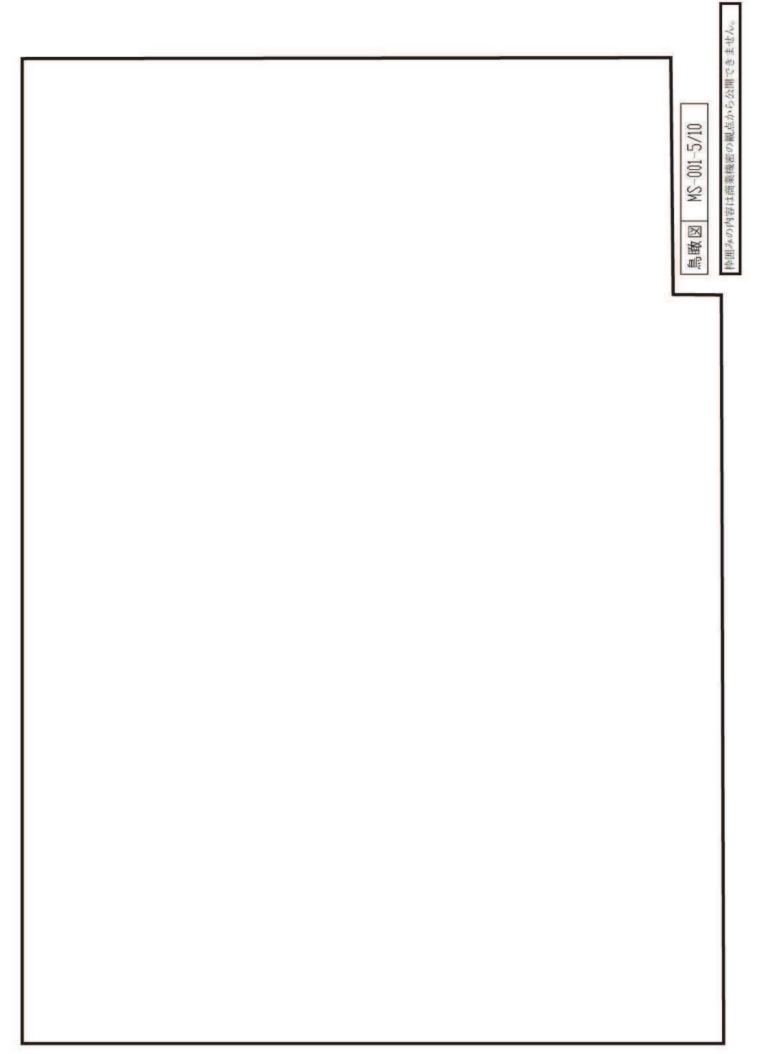


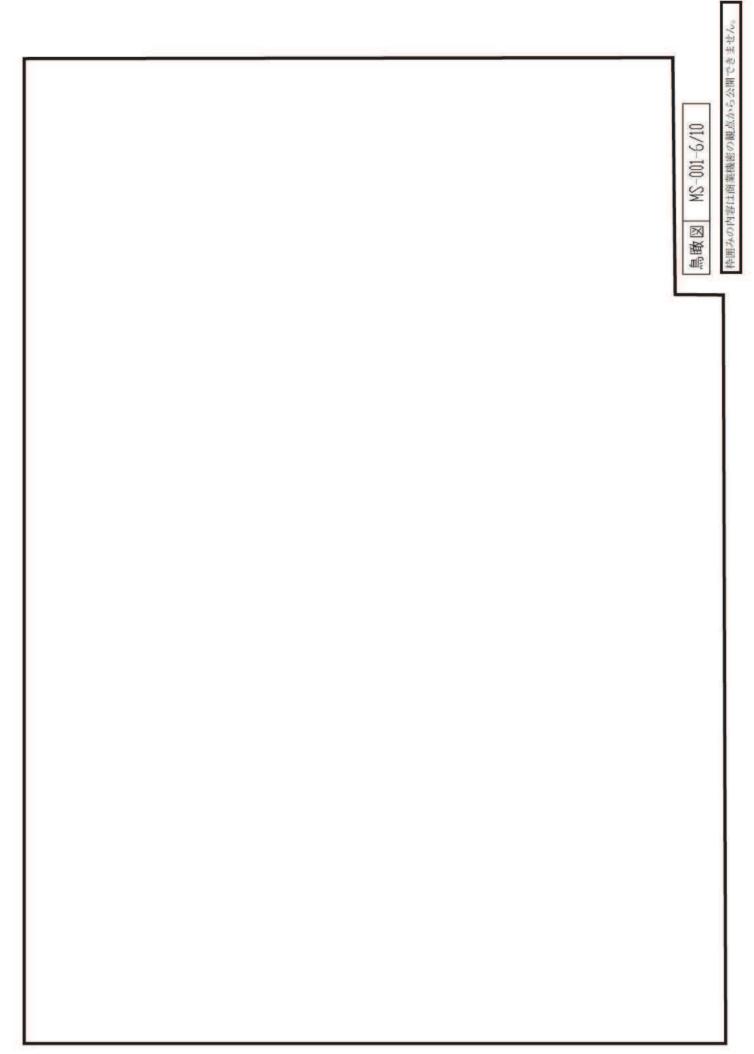


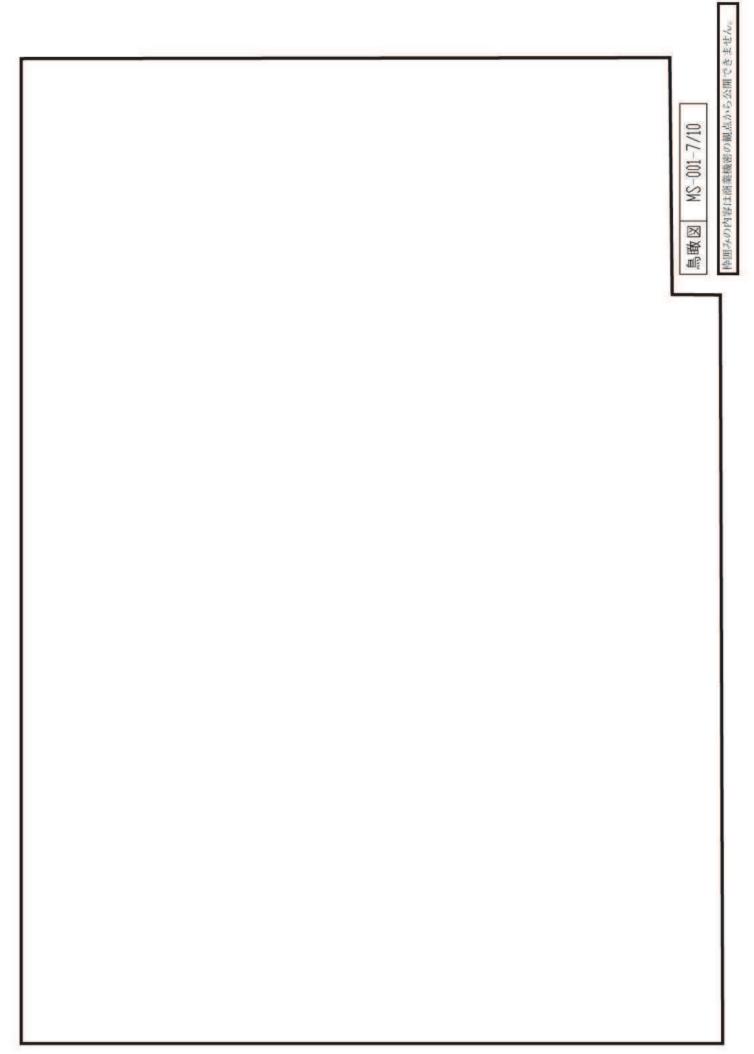


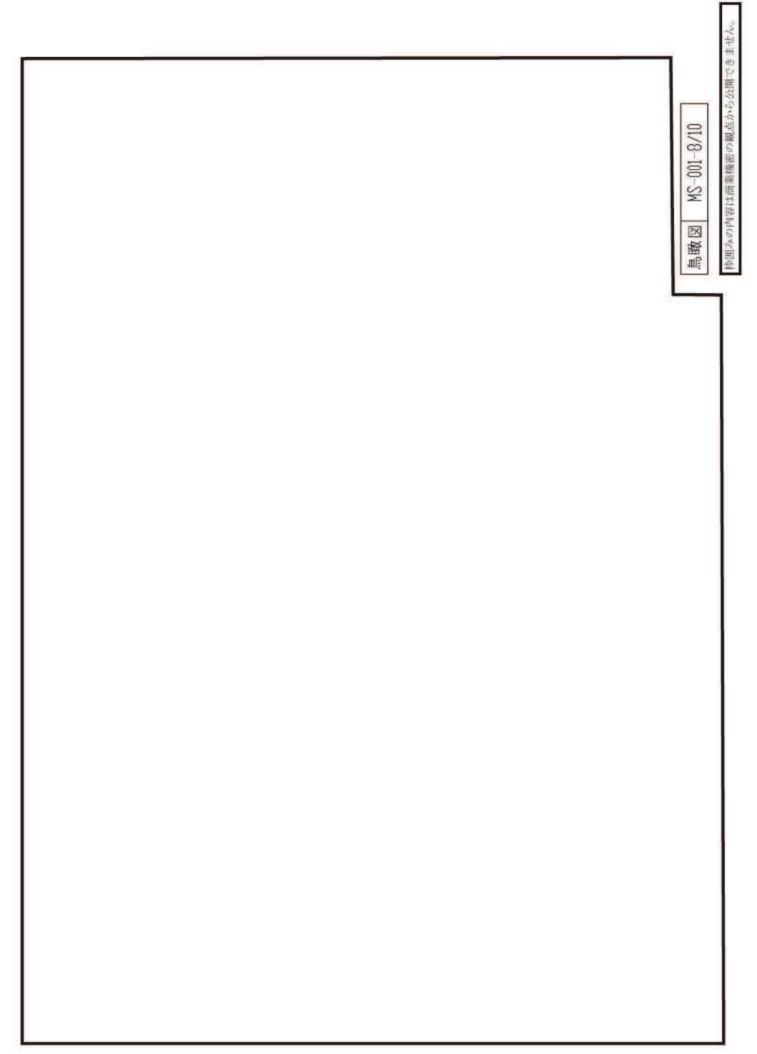


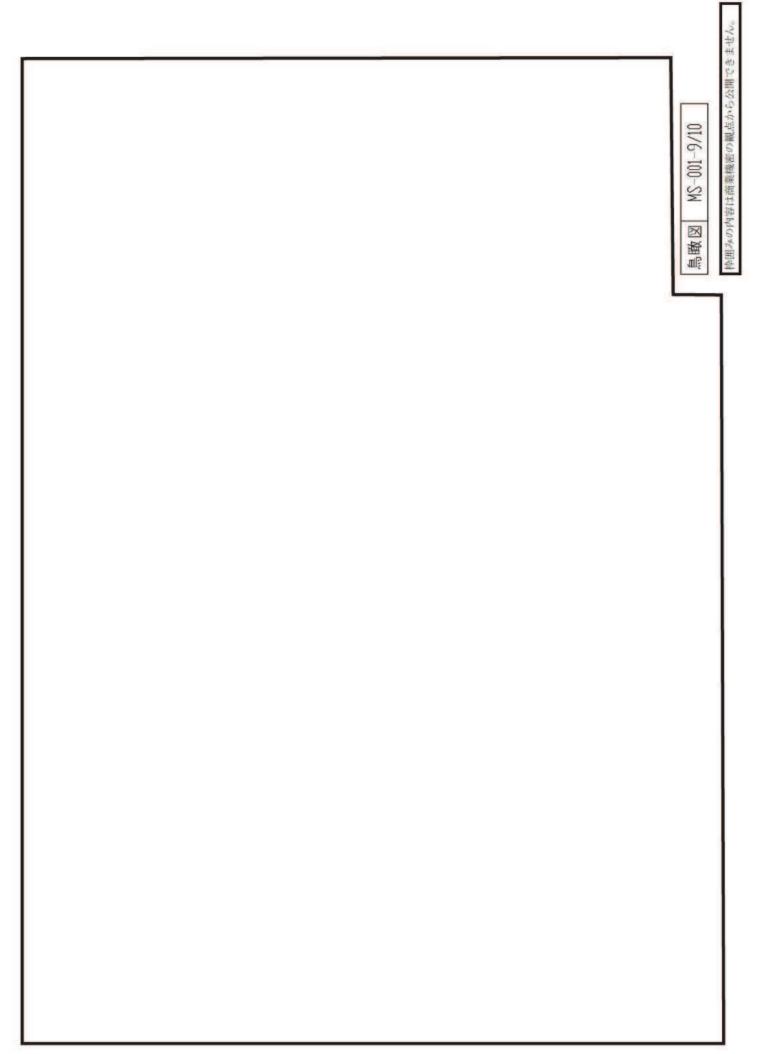


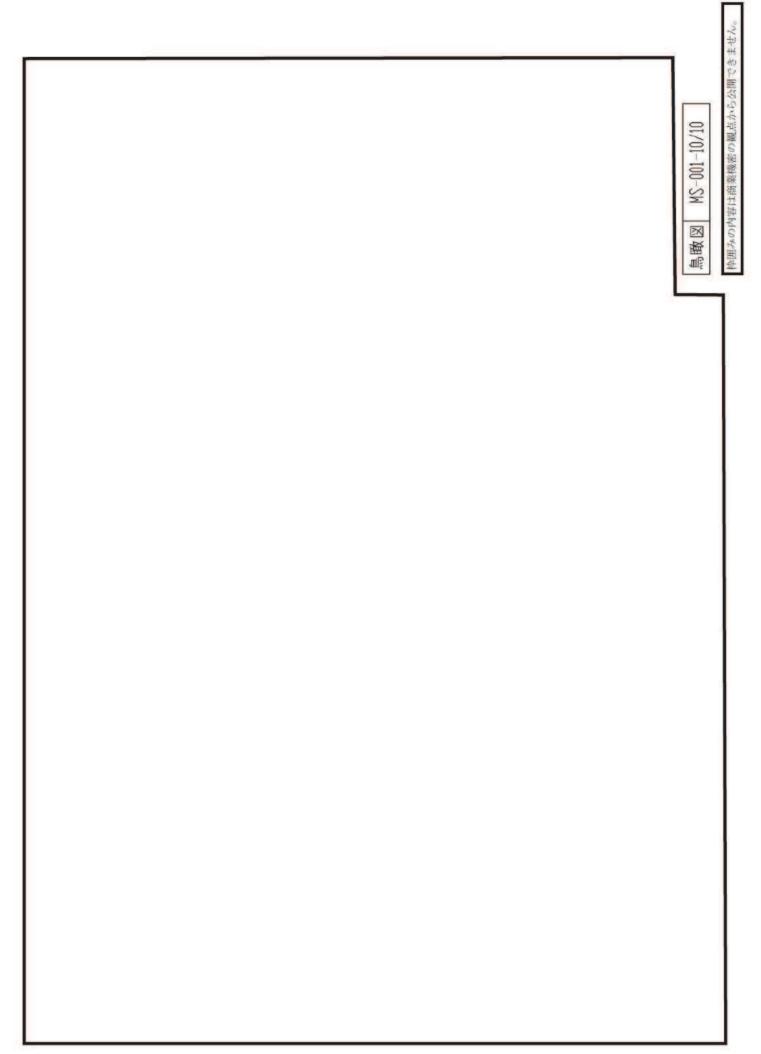


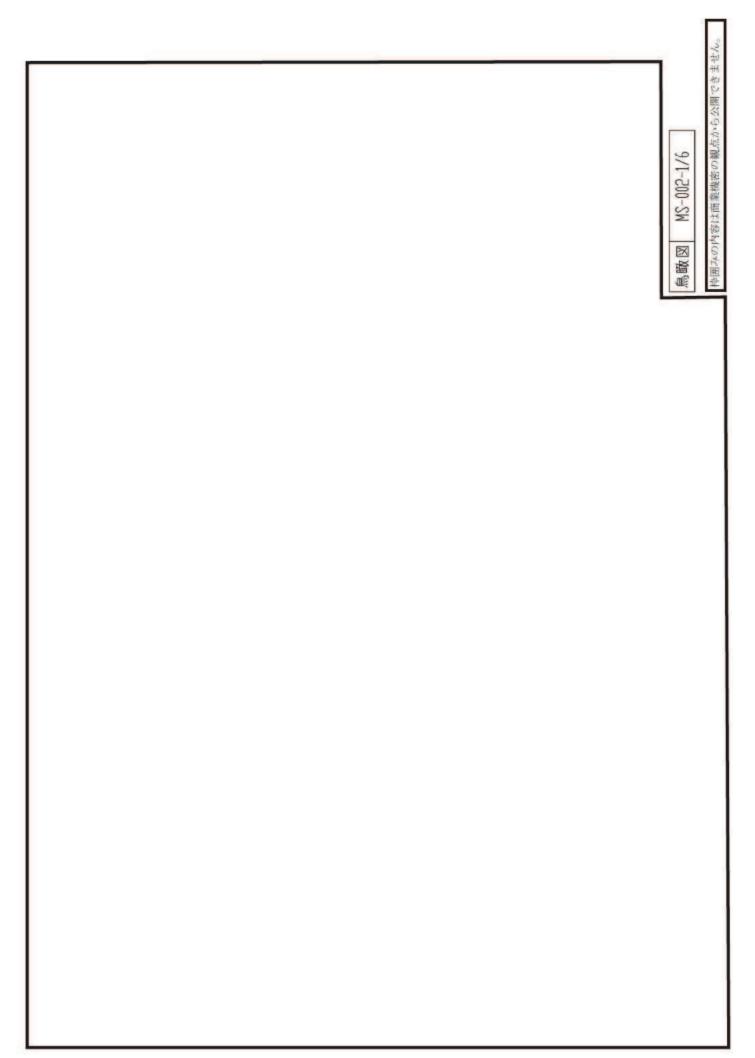


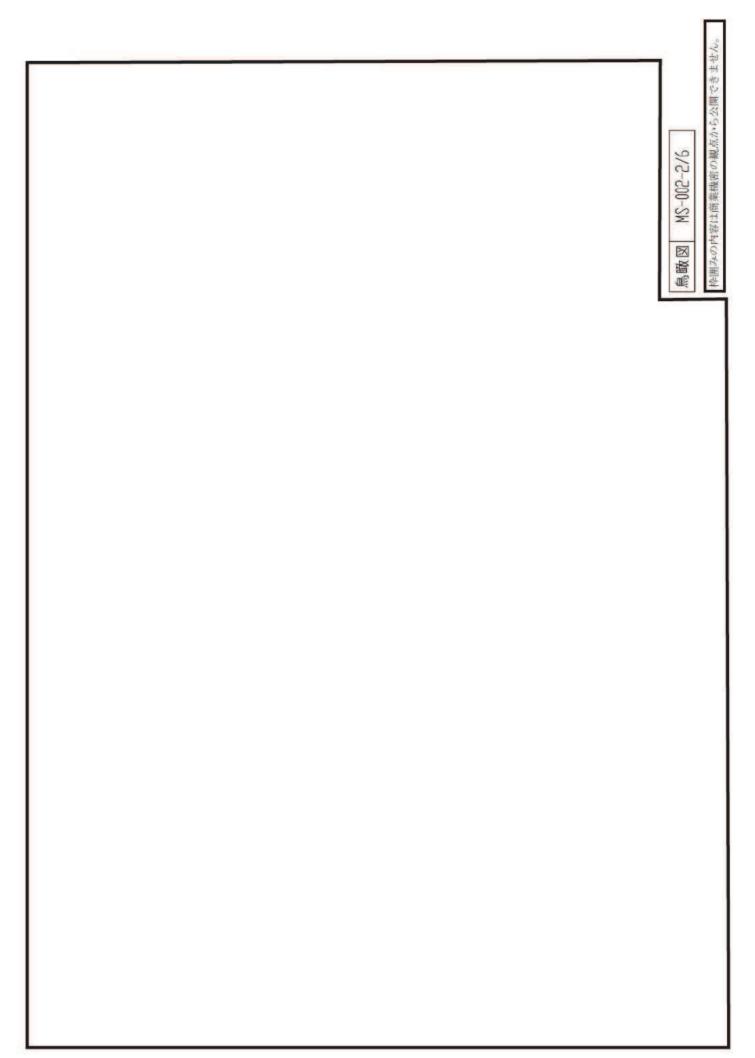


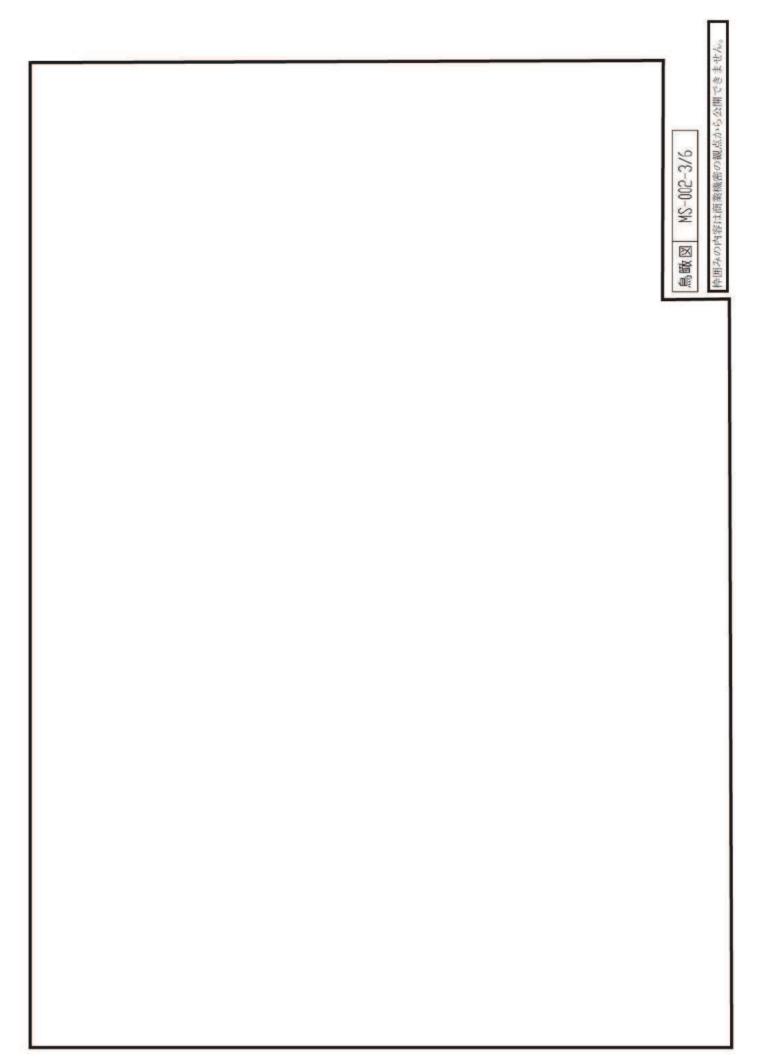


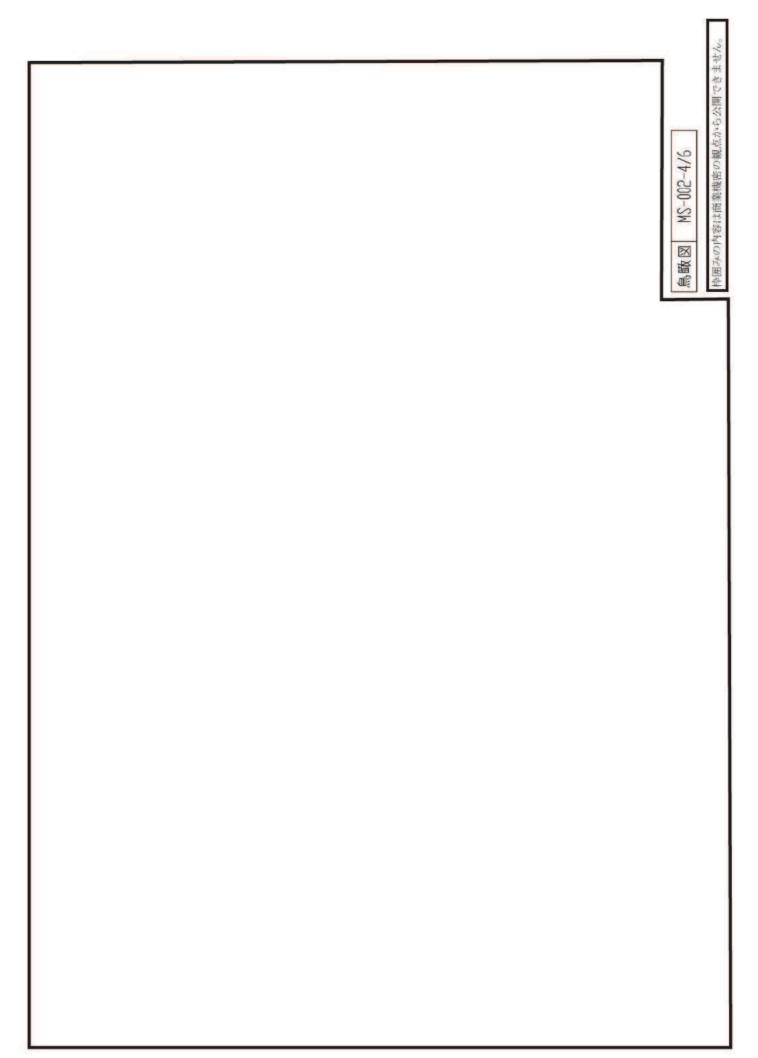


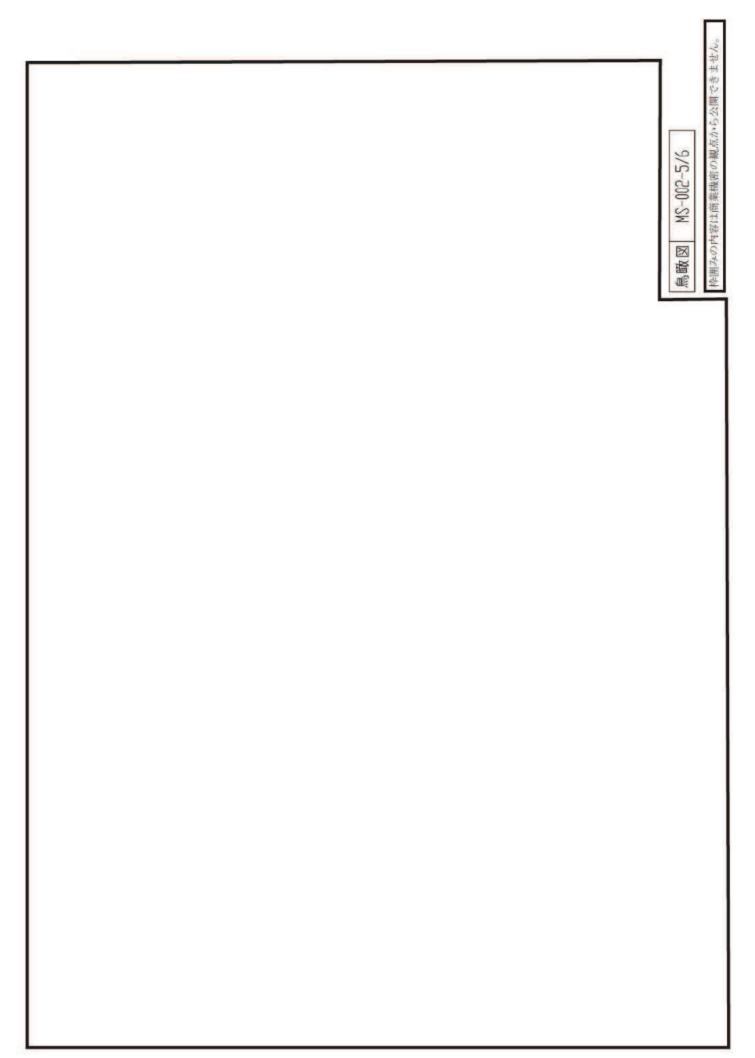


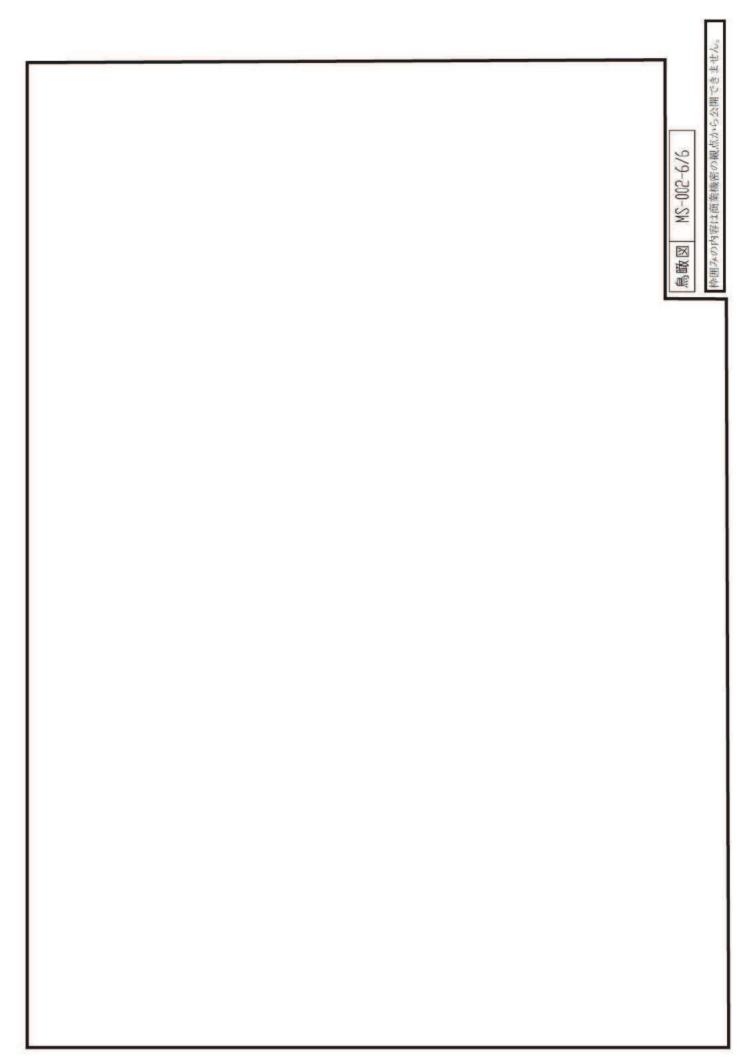




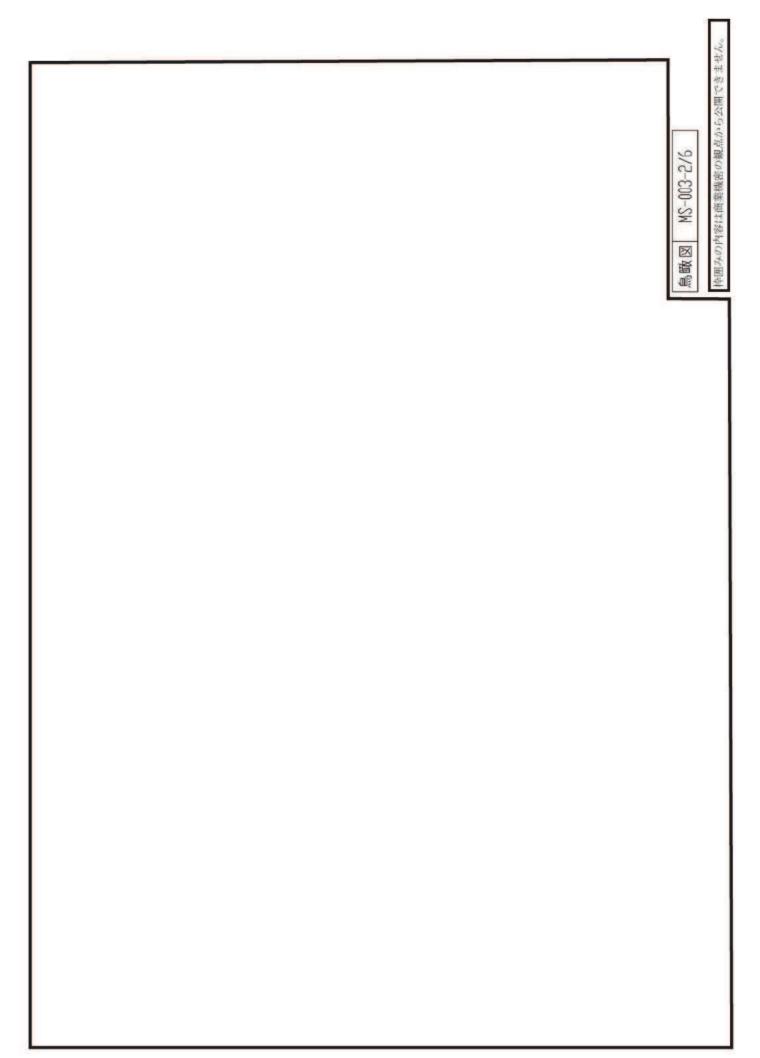


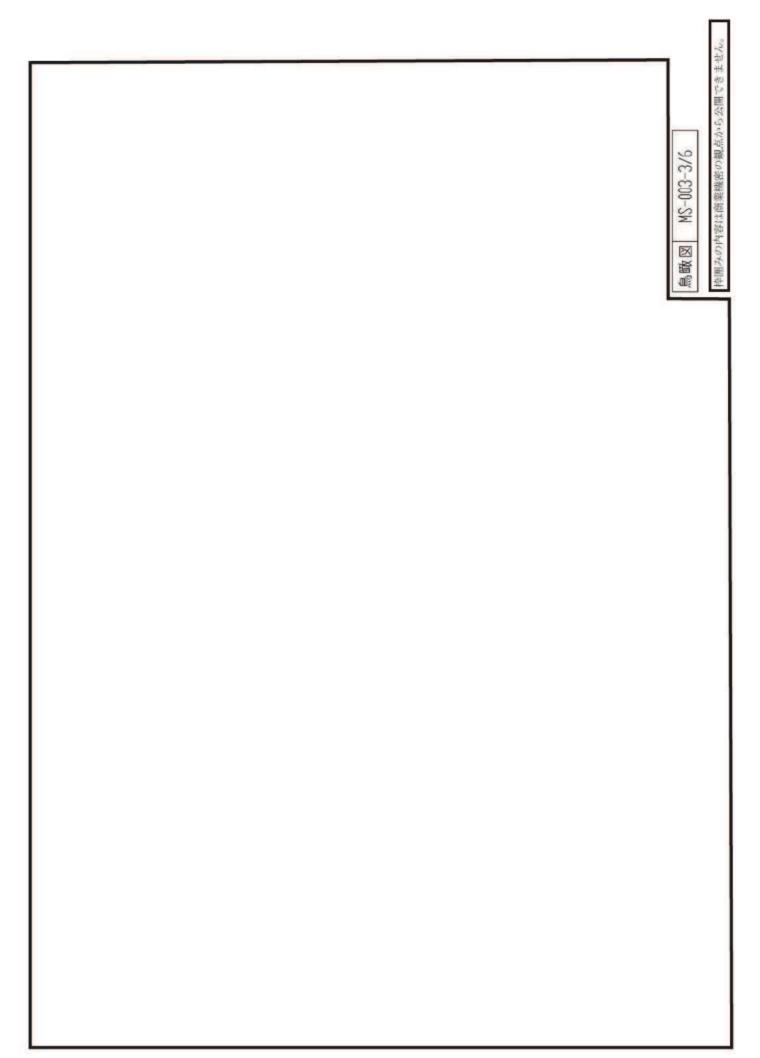


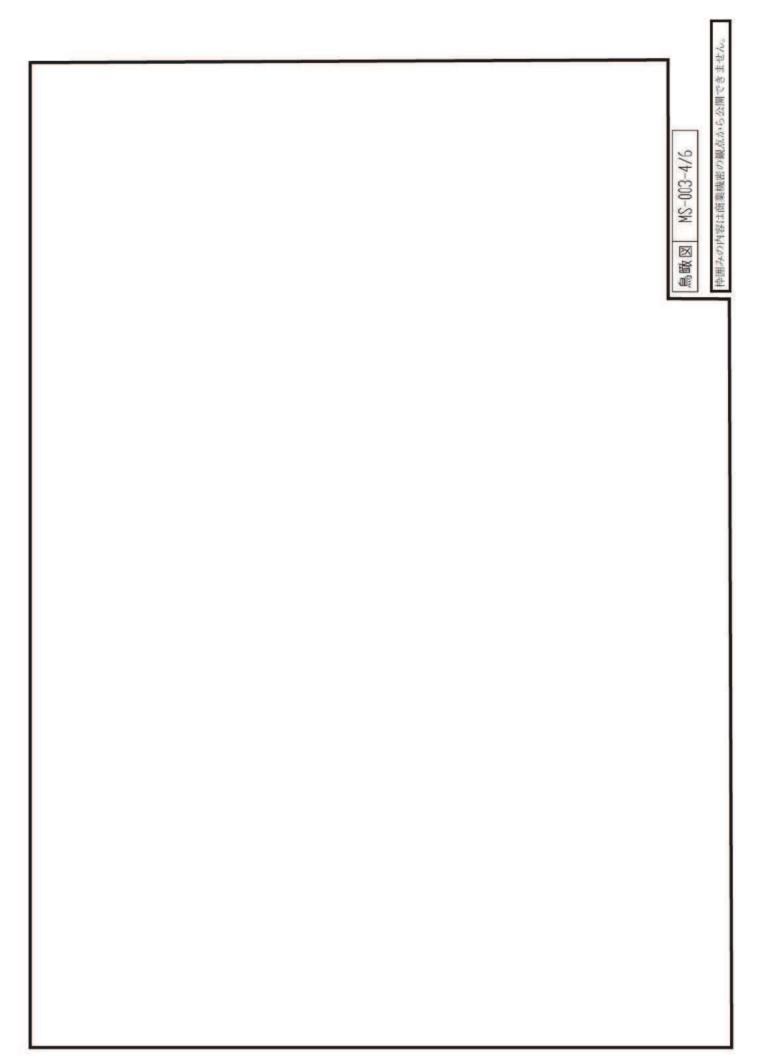


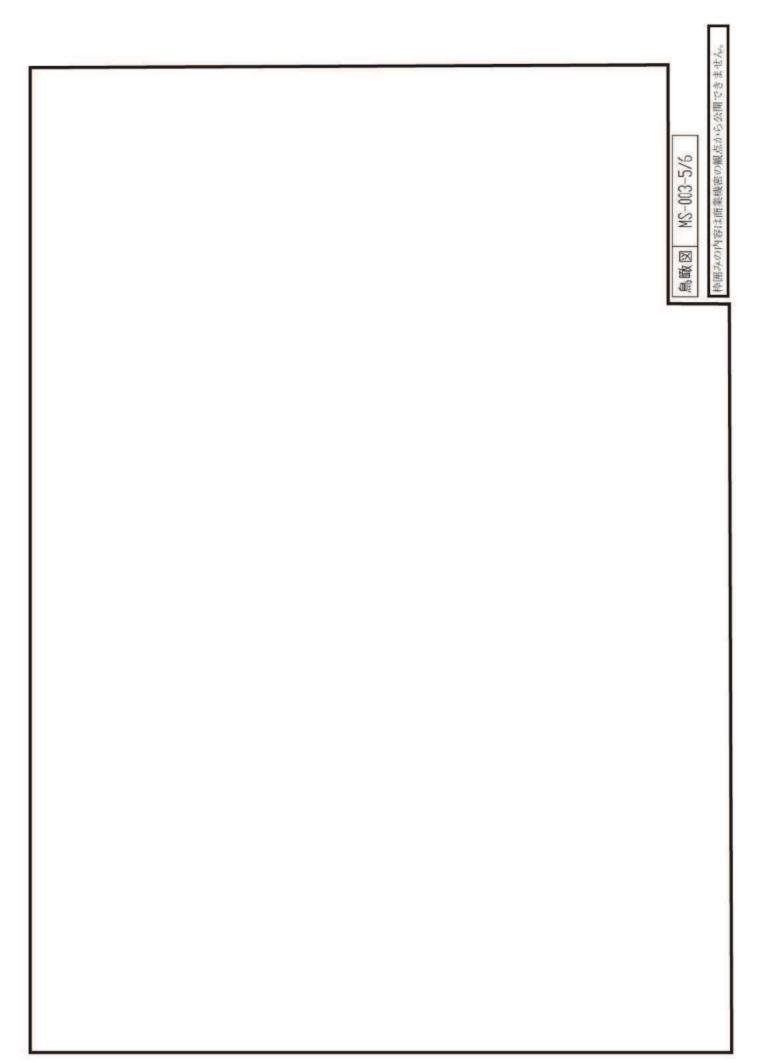


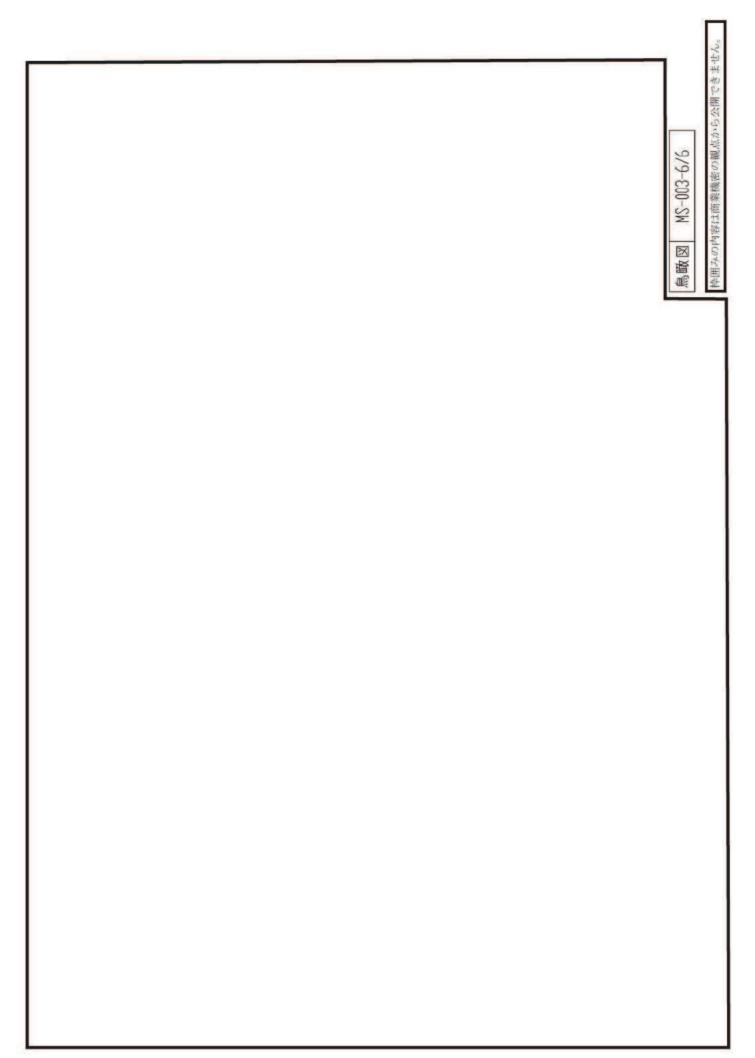
育できません。
鳥瞰図 MS-003-1/6 格囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。
図 MS-003-1/6 の内容は商業機密の観点
鳥瞰図

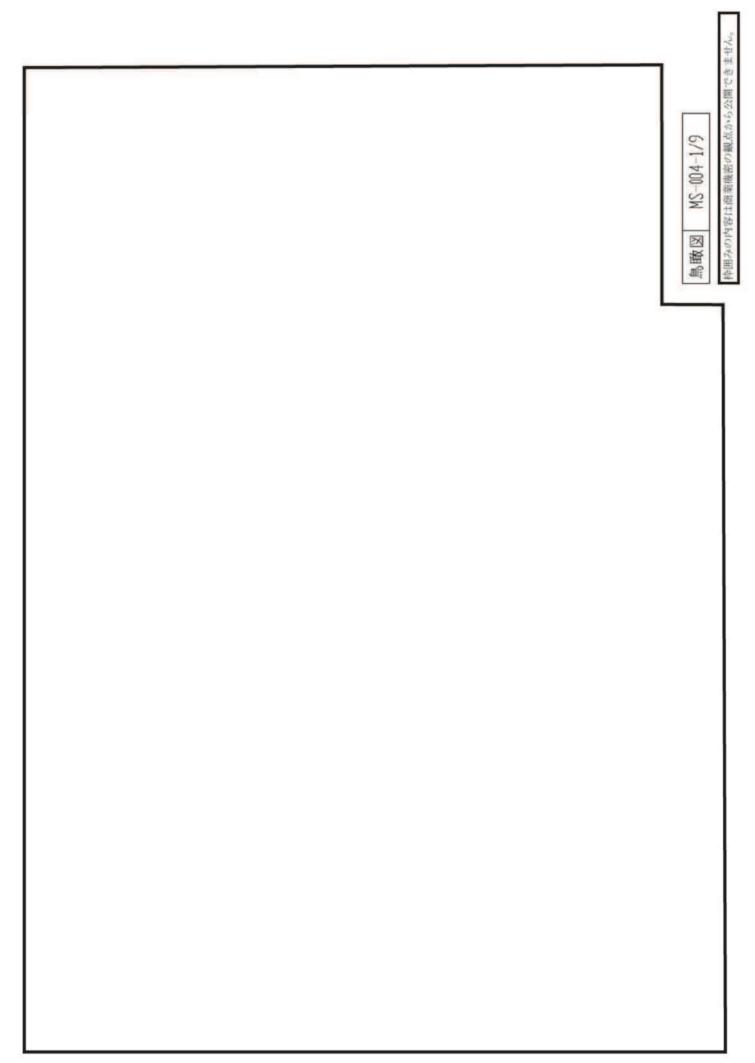


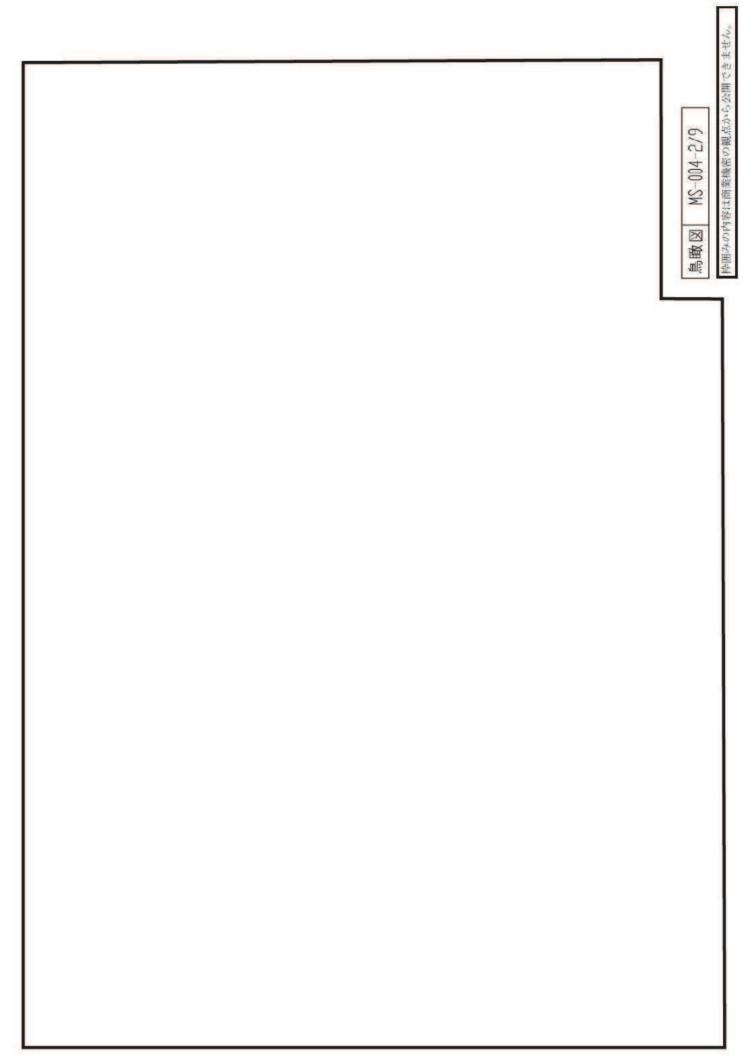


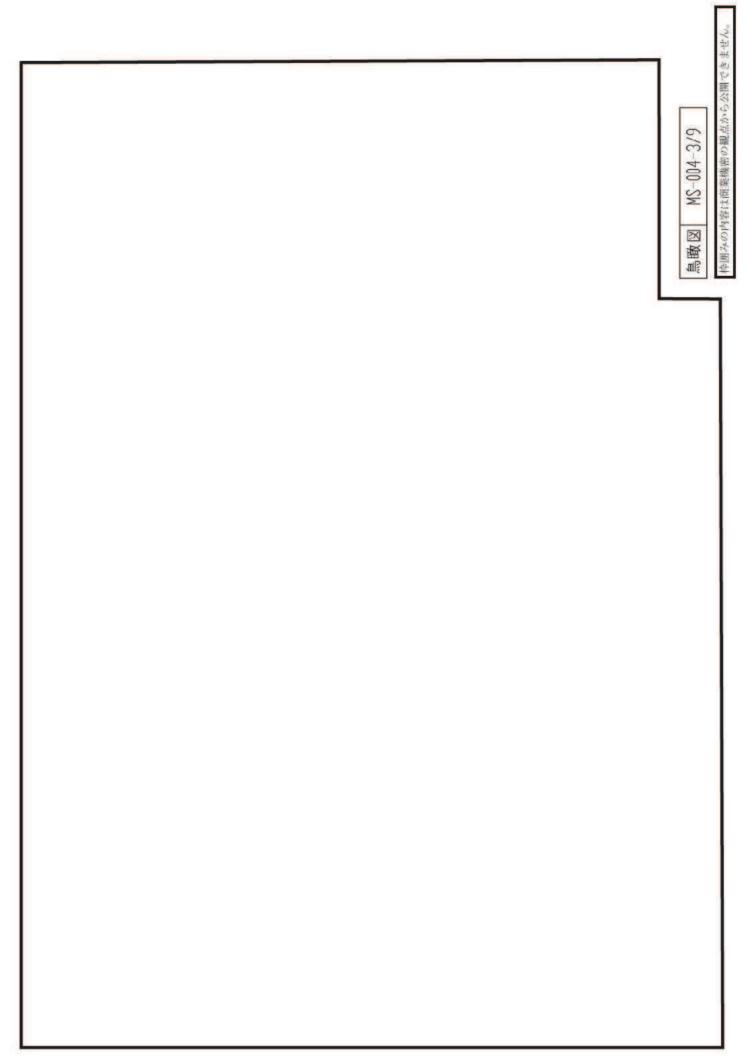


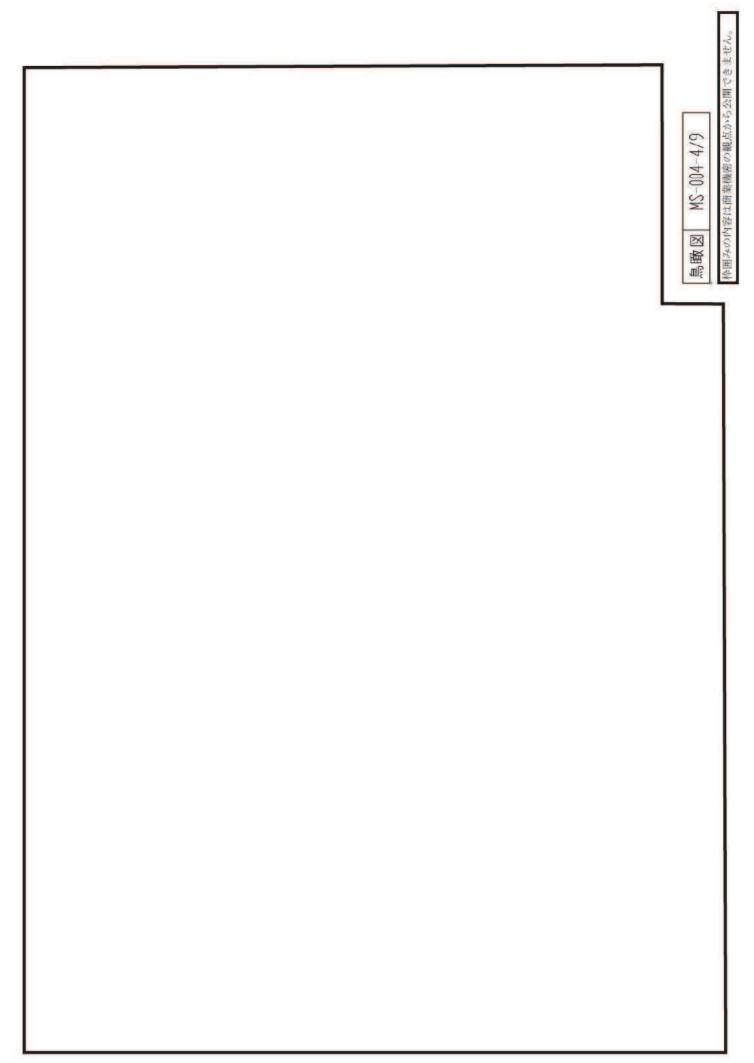


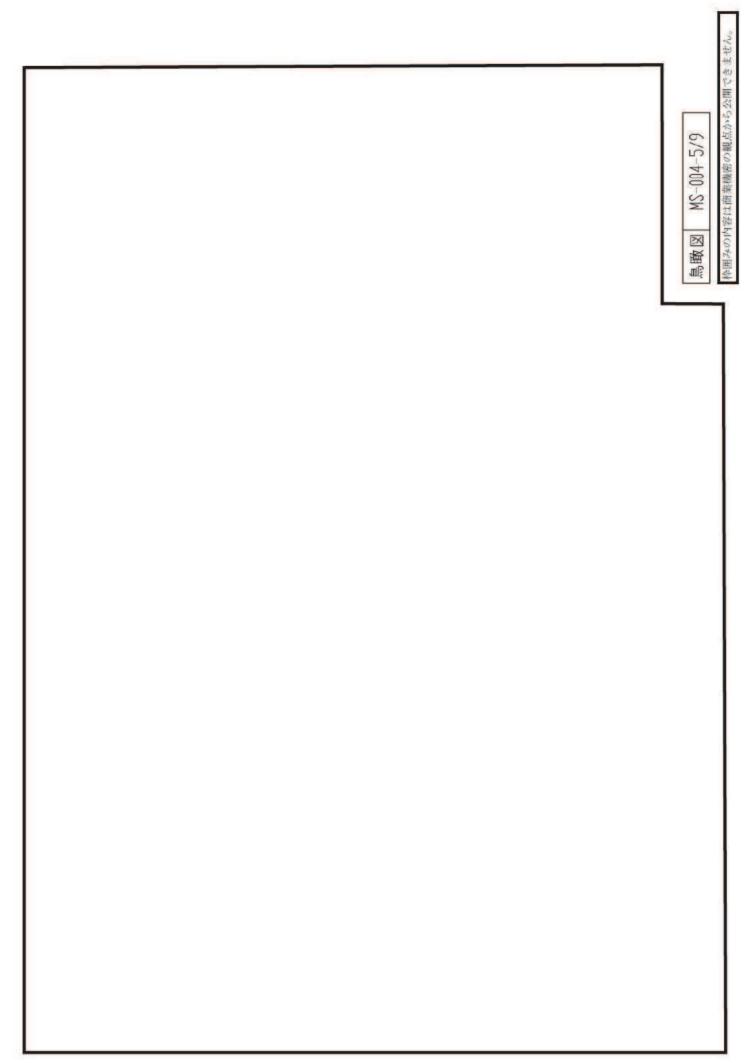




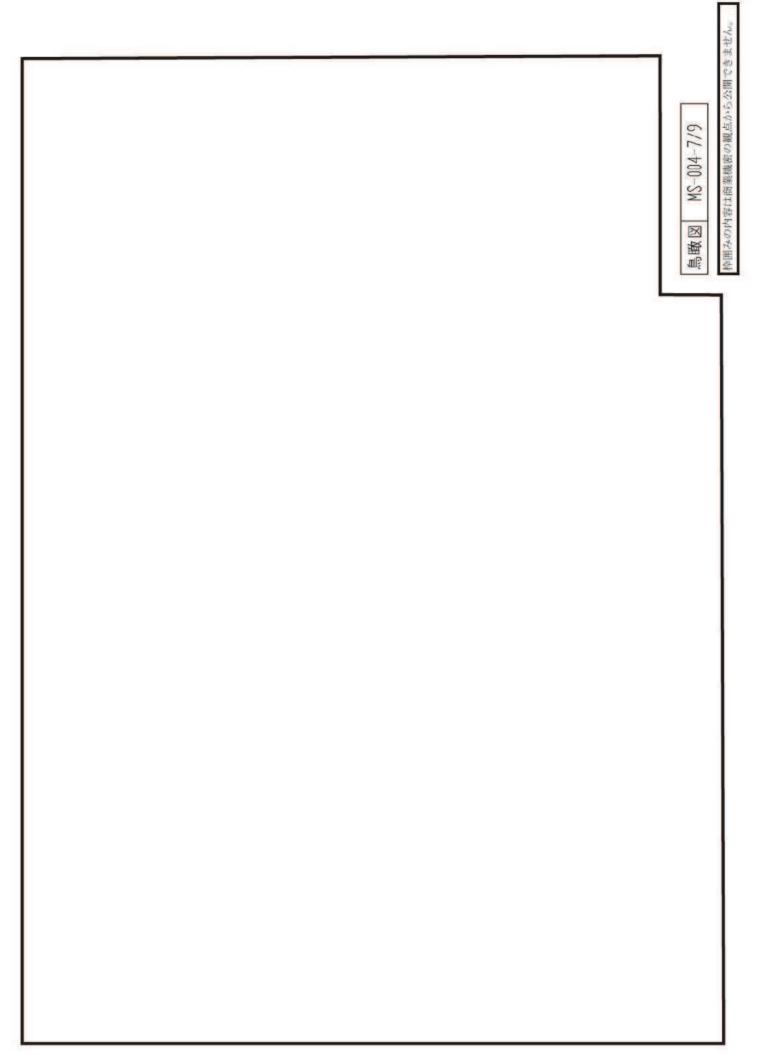


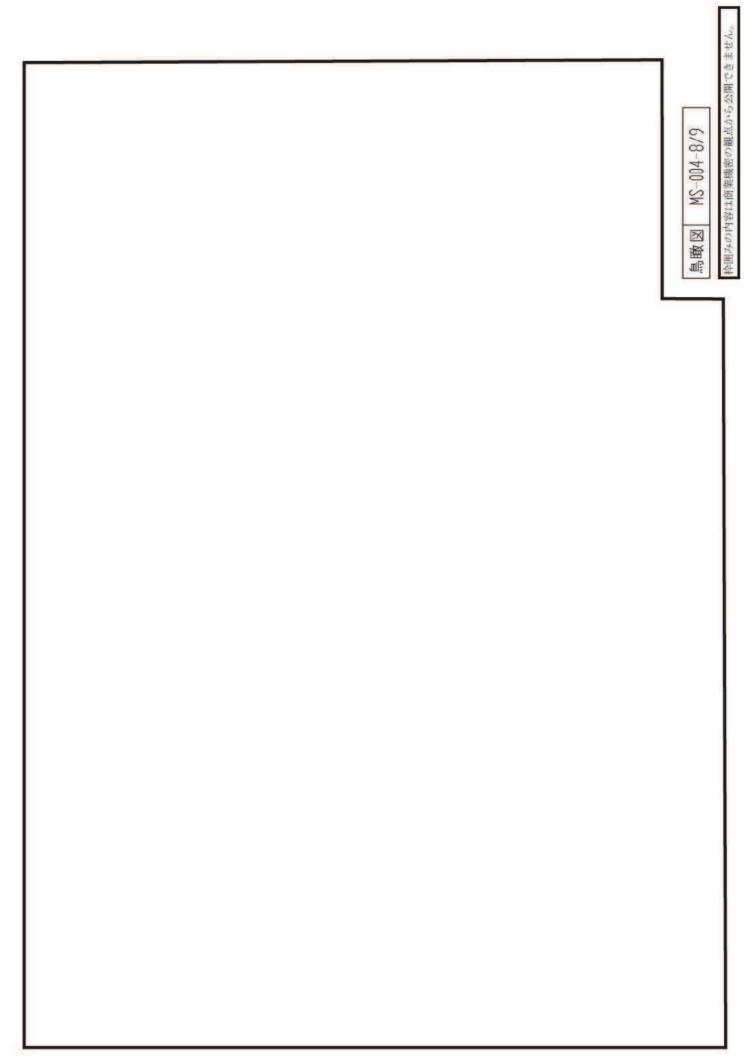


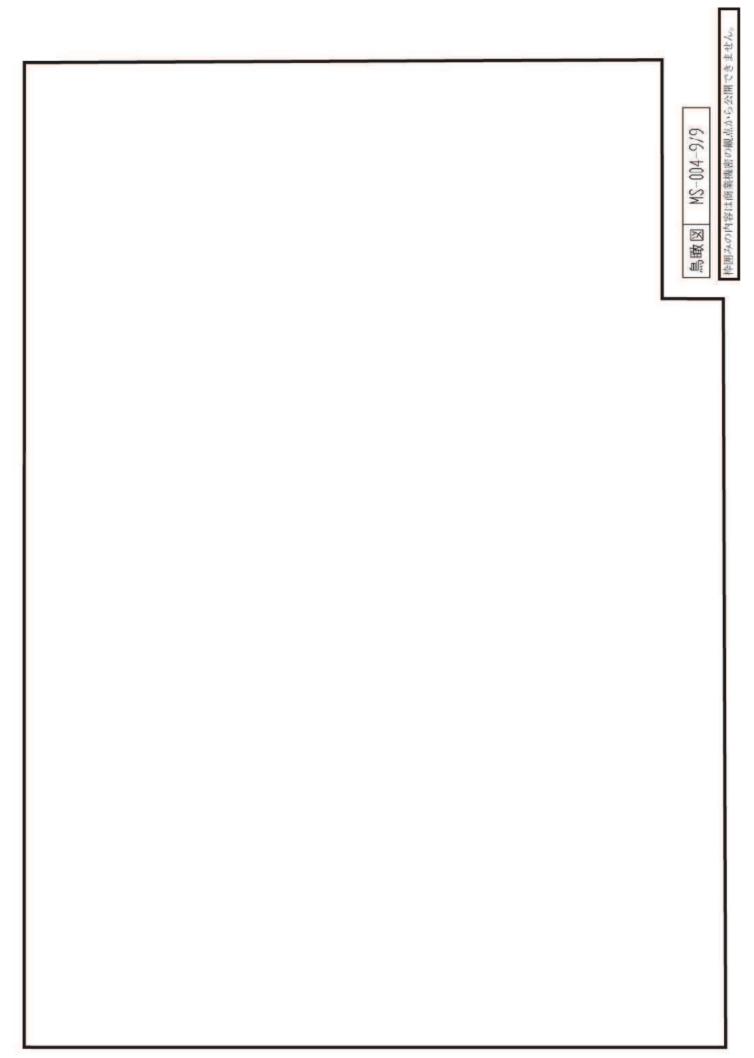


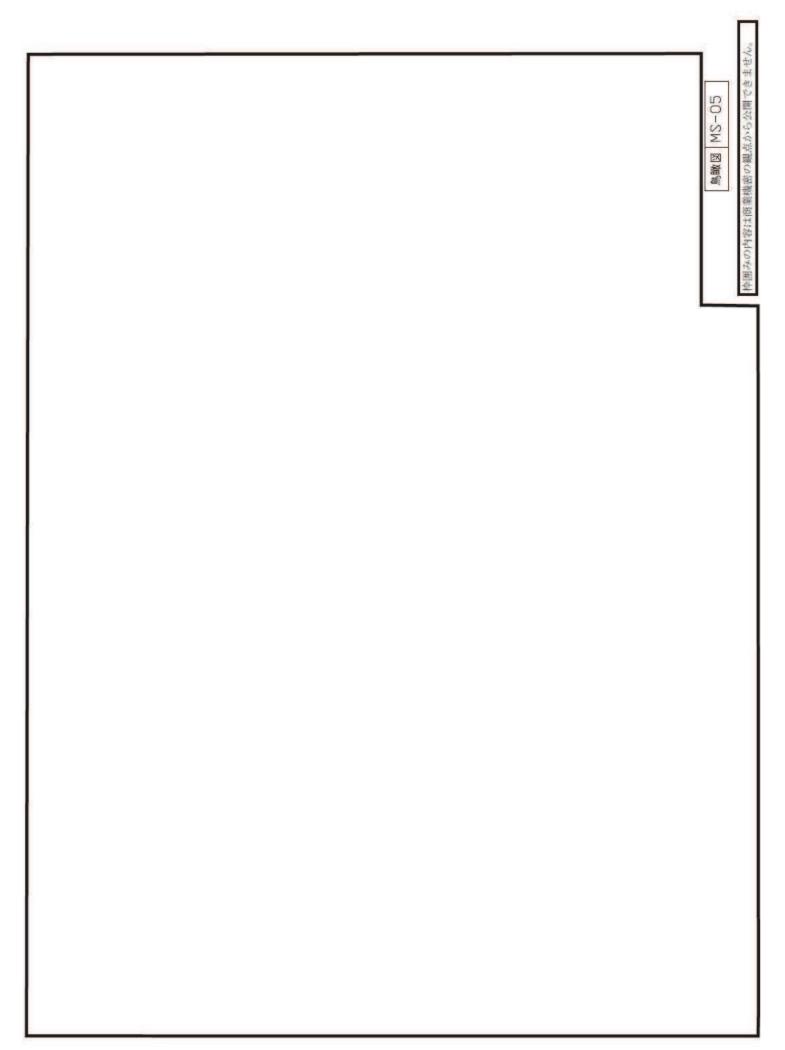


		MS-004-6/9	
		MS-0-SM 図 WS-0	STATE OF STA

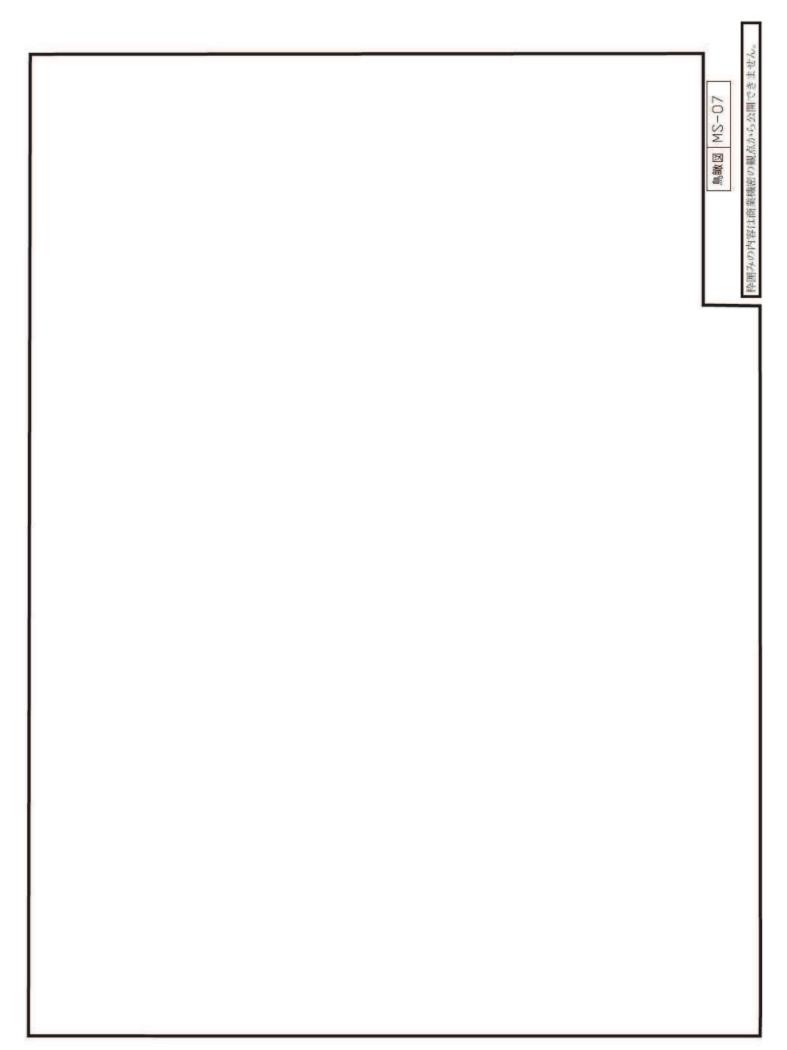


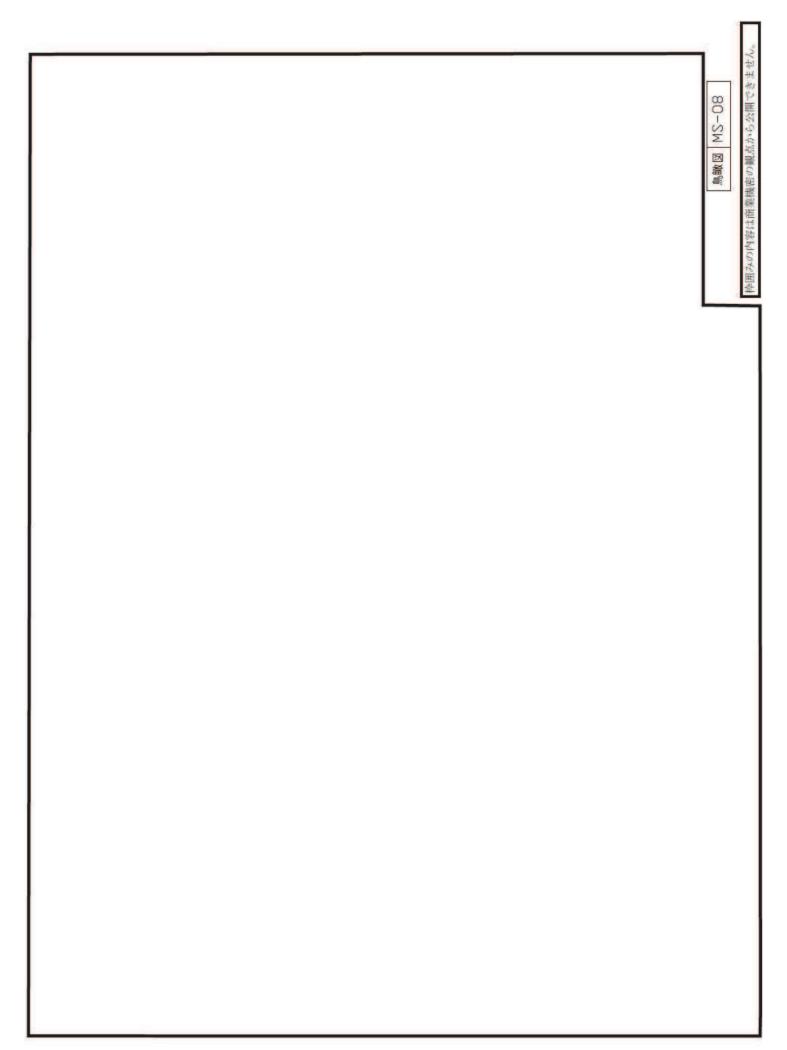


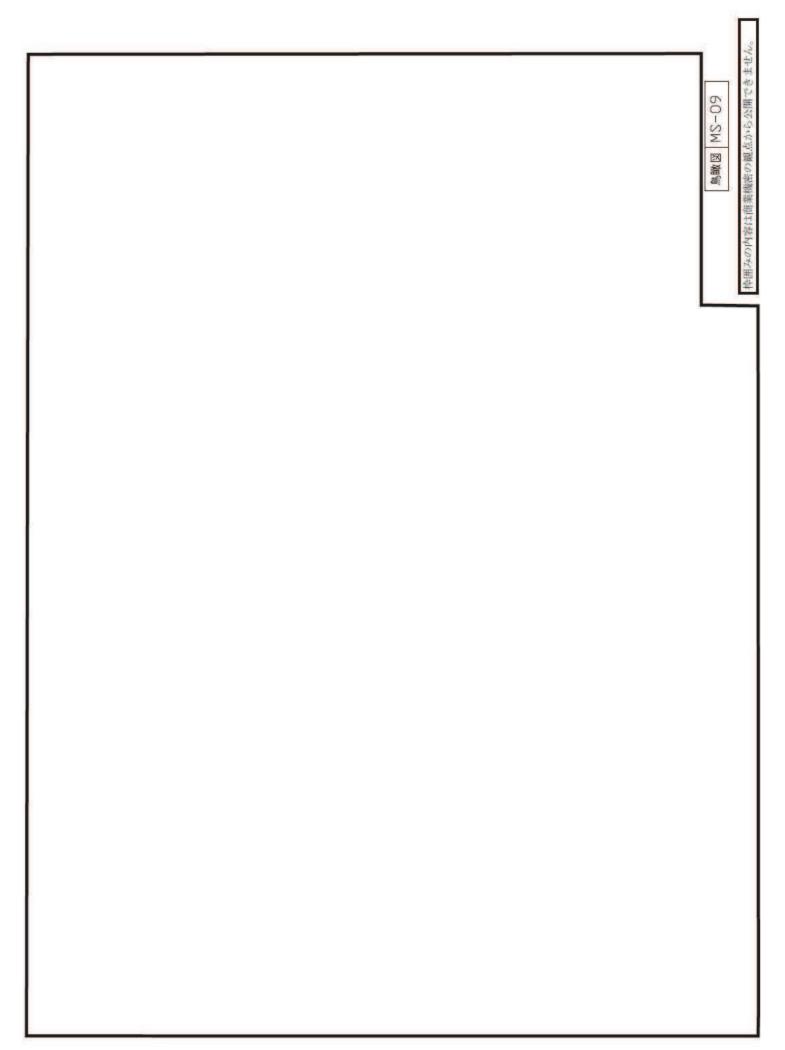


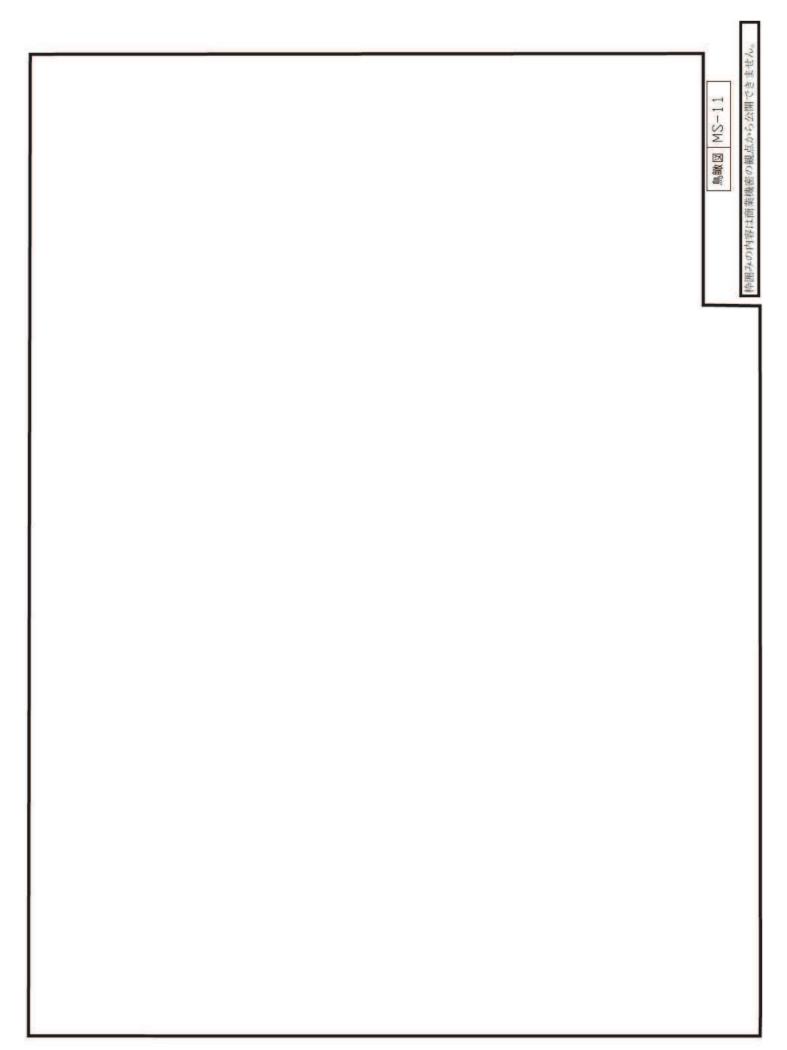


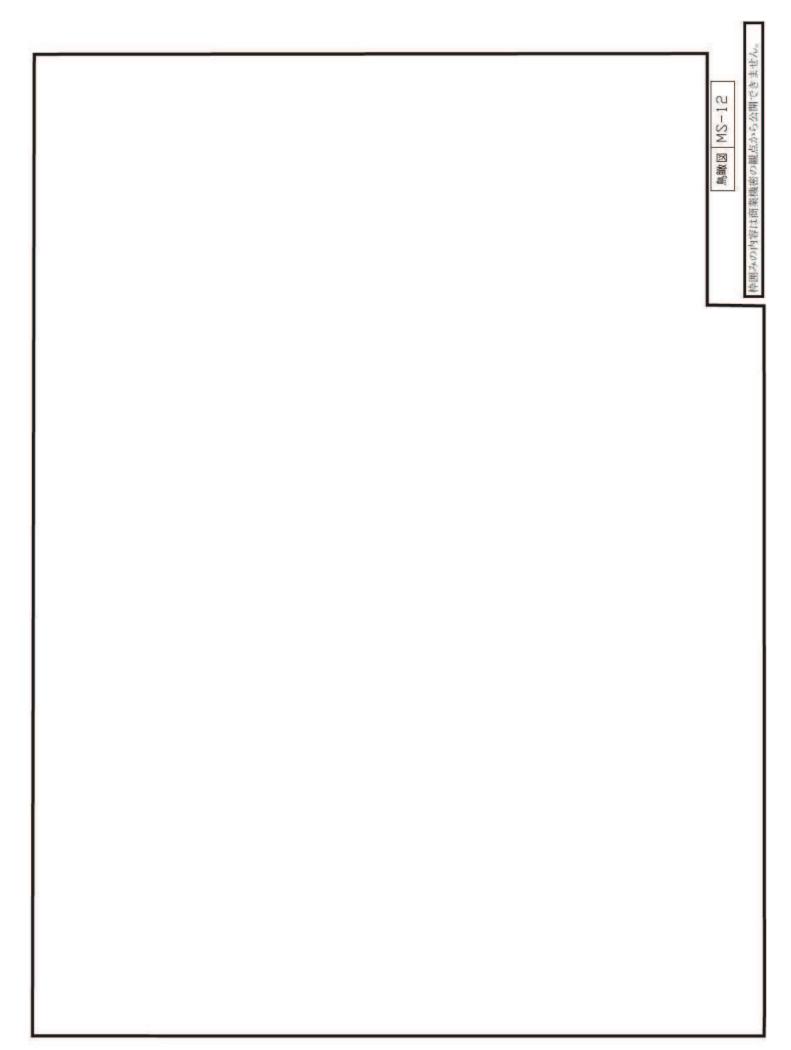
		無政図 MS-06
		田林



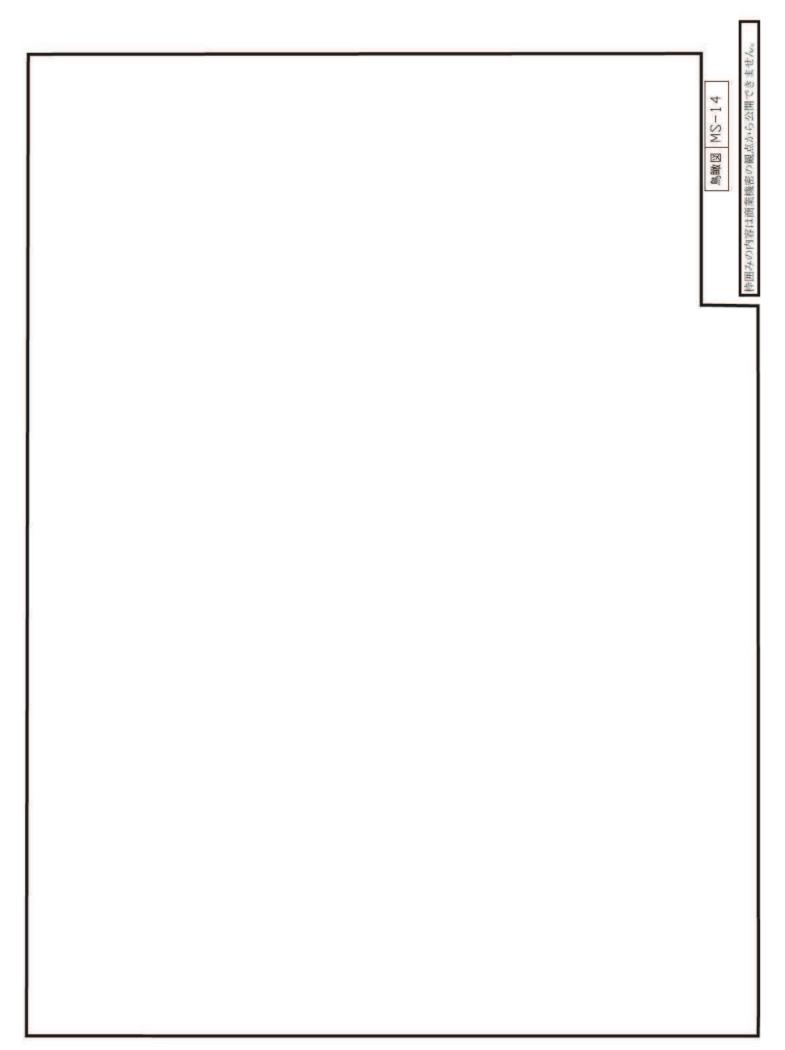








			鳥瞰図 MS-13
			数4500-75 班林



		無限 MS-15	枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。

制図 MS-16	
	無限図 MS-16

